



MFJ
MOTORCYCLE FEDERATION OF JAPAN

**国内競技規則
1996年版**



MOTOR

CYCLE

SPORTS

RULES

この国内競技規則書は、日本小型自動車振興会からオートレースの公益資金の補助を受けて作成されたものです。

Arai
HELMETS

安全と機能の追求で鍛えたと
美しいフォルムへと進化する



RAPIDE



●機種名:ラバイド-J ●帽体:CLC(コンプレックス・ラミネート・コンストラクション) ●規格:スネル1995 JIS C種 ●内装:フルシステム内装(頬パッド調節可能-特許出願中) ●シールド:スーパーアドンス標準装備(特許出願中) ●色:白、黒、Vメタリック、キャンディレッド、フライトシルバー、プロテイングレイ ●サイズ:(53-54) (55-56) (57-58) (59-60) (61-62)

※価格に消費税は含まれていません。 ●アライ製品については、品質管理課までお問い合わせください。 直通TEL(0448)648-3961 株式会社 アライヘルメット 〒330 埼玉県大宮市東町2-12 TEL(048)641-3826~7

¥34,000



アライヘルメットは

変わります。

ヘルメットの基本形状が、大きく変わりはじめています。

より高い剛性を追求するためには、

より立体的にヘルメットを進化させていく必要があったのです。

より人間の頭に近いカタチこそ、次世代の主流となるヘルメットなのです。

3次元方向での微妙なRの組み合わせを数ミリ以下の単位で調整し、

金型レベルから新しいフォルムを生み出すことは、もちろん手間も労力もかかります。

しかし、それは、安全を追求するヘルメットメーカーとして当然の使命。

すべてのArai製品が、

より研ぎ澄まされて引き締まった顔を持つヘルメットとなるために、

ヘルメットの形状さえも見直していきたいのです。

素顔の美しさ、それが、これからのAraiが追求するテーマです。



BLACK

V-METALLIC

CANDY-RED

BLIGHT-SILVER

PROTEIN-GRAY



●ニューフォルム

後方確認でも鎖骨に当たらないトリムライン。剛性を確保しつつ生まれた個性的な新形状。



●サイドアウトレット

マウススリットからエアを吸入し頭部の熱気を逃がすサイドアウトレット。



●ニューマウススリット

チンバー部分の剛性をより高めるために滑らかな段差をもたせたニューマウススリット。



●フルシステム内装

天井部とサイドパッドが一体型のフルシステム内装を採用し、手軽なメンテナンスを実現。



●ノーズディフレクター

シールドに直接息が当たることを防ぐ、取り外し可能なノーズディフレクター。



●フォーミュラダクト

F1ドライバーの要求から生まれた強力なベンチレーション、フォーミュラダクト。



見る・見られる・いい運転。

- バイクは銀色6ライト・オン!
- カフェ交差点では、スローインクラウン!

バイクでひろがるいい仲間

バイクは いつも 光ってる



全日本ロードレース選手権
招待券プレゼント実施中
'96年1月～12月にモーターサイクル
/スクーターをお買い上げの方全員に

街で見た。
新スポーツセダン。

斬新なスタイリングに、スポーティな走りに、そして、このうえないその快適性に、いま、街の視線が集まっている。誕生、ヤマハマジェスティ250。鋭い瞬発力を秘めたパワーに加えて、安定感のあるハンドリング。扱いやすいサイズのボディと足着き性、さらにはサポート性を徹底追求した大型シートや、3個所に設けられた大容量収納スペースなど。数々の新性能・新装備が、バイクの行動力とクルマのゆとりをもたらしてくれる。ヤマハマジェスティ250。新しいモーターサイクルの世界は、もう走り出している。

●加速力が違う新開発250ccエンジン ●前後輪12インチホイール&フロントφ245mmディスクブレーキ ●座れを最小限に抑える可変バックレスト付大型シート ●高いウインドプロテクション効果を発揮するボディマウントフェアリング ●安定した操作性を確保する両手ハンドブレーキ ●B4サイズのバッグも収納するメインランクルーム ●レインウェアを2着収納できるフロントトランク&クラス初の床下トランク

YAMAHA MAJESTY 250



¥479,000 YP250

●型式4HC ●4サイクル・水冷・OHC・2バルブ・単気筒・249cc
●最高出力21ps/6,500rpm
●最大トルク2.4kg-m/5,500rpm
●乾燥重量147kg ●乗車定員2名 ●カラーリング:コンペティションシルバー/ブラック21ディープレッドカクテル2

●価格はメーカー希望小売価格です。(北海道・沖縄および一部地域を除く)
●価格は参考価格です。●価格には保険料、税金(含む消費税)、登録などに伴う費用等は含まれていません。
●消費税は別途計算のうえ申し受けます。●詳しくは販売店にお問い合わせください。

走りどゆとりの、モーターサイクル新ジャンル。
ヤマハマジェスティ250誕生。

●ヤマハモーターサイクルに関するお問い合わせは、下記のお客相談室へ。

お客様相談室 ☎0120-090-819

●カタログご希望の方は、機種名・機種名と住所・氏名・年齢・職業を明記し、郵送料として郵便切手190円分を同封の上、下記へお申し込みください。〒430静岡県豊田市新野町2500 ヤマハ発動機株式会社 広報室宣伝課 カタログ係宛

マジェスティFAXインフォメーション ☎03-3225-4123

※正しくのマジェスティ・販売店と商品情報をご案内いたします。販売店に詳しくお尋ねください。サービス期間2008年8月～12月まで。●電話番号はお間違えのないようご注意ください。●ファックス用電話からの操作になりますので、ファックス機からおかけください。●電話料金はご本人の負担となります。●ダイヤル回線の場合一部のファックス機からは取り出しが出来ない場合があります。

BOXコード 001 北海道・東北地方 002 東京都 003 関東地方(東京都以外) 004 中部・北陸地方 005 関西地方 006 中国・四国・九州地方 010 マジェスティ商品情報

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社

RSS Racing Service Shop

コンペモデル(レース専用車)

1200ccのキットパーツ

は、RSSで扱っています。

コンペモデルは、最新の技術と信頼のRSSにお任せください。お近くのRSSにご相談下さい。



1/1000sec.の領域。



'96 TZ250



'96 TZ125

※価格には、同梱パーツも含まれます。※写真は参考のためにカラーリングしてあります。
 ※改良のため、製品の仕様は予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。
 ※台数に限りがありますのでRSSにお早めにお申し込みください。尚、予約が予定数量を超えた場合、一部納車が来年になりますのでご了承下さい。
 ●価格は全てメーカー希望小売価格です。メーカー希望小売価格には消費税は含まれていません。

見る・見られる・いい運転。
 ●1200cc 12バルブ 4ストローク
 ●4バルブ 12バルブ 4ストローク

バイクでひろがるいい仲間
 バイクは いつも 笑ってる

お客様相談室 ☎0120-090-819
 ●お客様相談室は、受付時間外は、お電話でのお問い合わせはできません。
 ●お問い合わせの際は、お電話の受付時間をご確認ください。
 ●お問い合わせの際は、お電話の受付時間をご確認ください。

Y.E.S.S. 初年度年会費すべて無料!
 ●Y.E.S.S.は、初年度年会費がすべて無料です。年会費は、2年目以降に発生します。
 ●Y.E.S.S.は、初年度年会費がすべて無料です。年会費は、2年目以降に発生します。



北海道地区

YSP札幌南 **RR・MX**

北海道札幌市中央区南3条西5丁目1-1
TEL.011-563-6021

YOU SHOP SHIMA **MX**

北海道札幌市東区東5条5丁目5
TEL.011-582-4474

YSP札幌西 **RR・MX**

北海道札幌市西区宮の沢2条4丁目10-27
TEL.011-662-6526

衛ミカホ スポーツ **RR・MX**

北海道札幌市東区北20条東7丁目30
TEL.011-742-9507

YOU SHOP トヨキ **MX**

北海道札幌市東区東25条7丁目8
TEL.011-641-5878

天狗モータースポーツ **RR・MX**

北海道札幌市東区北34条東10丁目2-1
TEL.011-753-5668

びいほうす サラダ **RR**

北海道札幌市東区中央1条5丁目3-16
TEL.011-824-2497

新オートランド札幌 **RR・MX・TR**

北海道札幌市東区東1条中央1丁目1-43
TEL.011-892-3323

YOU SHOP 勝木 **MX**

北海道札幌市東区北18条東9丁目17
TEL.011-741-3132

新カムス SAPPORO **RR**

北海道札幌市東区北20条東1丁目3-5
TEL.011-723-4364

バイクロード RSR **RR**

北海道札幌市東区平野1条6丁目1-26
TEL.011-686-1577

新マイモーターサイクル **RR・MX・TR**

北海道札幌市東区東11丁目1-2
TEL.011-852-6600

ウィンドワード **RR**

北海道札幌市北区新琴似6条6丁目1-3
TEL.011-769-3173

新オートフレンド北海道 **RR**

北海道千歳市道南4丁目1-2
TEL.0123-22-3996

YSP小樽 **MX**

北海道小樽市南1丁目13番211号
TEL.0134-33-3211

藤沢オートサイクル **RR**

北海道札幌市東区東14条6丁目
TEL.0136-57-5522

株野村商会 **MX**

北海道苫小牧市南1丁目1-3
TEL.0144-32-8896

YSP旭川 **MX**

北海道旭川市南3条4丁目331
TEL.0166-61-9086

YOU SHOP 世紀屋 **RR**

北海道旭川市南7条3丁目101
TEL.0166-68-0321

バイク屋 じゃるめ **RR**

北海道旭川市東光14条6丁目
TEL.0166-33-8978

モーターサイクルプロショップZP **MX**

北海道旭川市東1条10丁目3
TEL.0166-54-5051

新オートスタジオ ツアードフォー **RR**

北海道旭川市東10条5丁目
TEL.0144-55-0110

株モトショップ ワークス **RR・MX**

北海道旭川市東15丁目
TEL.0166-51-3069

YOU SHOP ほうけんしゃ **MX**

北海道旭川市東光13条4丁目
TEL.0166-31-3301

YOU SHOP オカジマ **MX**

北海道旭川市東14丁目4-27
TEL.0125-25-2579

YSP 帯広 新びととう会 **RR**

北海道帯広市南1南7条25
TEL.0155-48-1417

ハヤシモータープロジェクト **RR**

北海道帯広市南1南29-11
TEL.0155-47-1296

YOU SHOP 勇三 **MX**

北海道帯広市東部町新道3丁目3-17
TEL.0155-42-8196

YSP 釧路 **MX**

北海道釧路市大通り9丁目9番4
TEL.0154-53-0255

YOU SHOP 野上 **RR**

北海道釧路市南1丁目25-3
TEL.0154-37-8950

函館マジマ様 **MX**

北海道函館市南栄町17-11
TEL.0138-51-6666

YOU SHOP ライディングスポーツ **MX**

北海道函館市南栄町271-1
TEL.0138-45-0111

新スナゴロ **RR・MX**

北海道函館市南栄町大橋2丁目1-42
TEL.0138-73-7773

YOU SHOP 山本 **MX**

北海道函館市南栄町富田6-6
TEL.01376-3-3857

YOU SHOP 大嶋 **MX**

北海道網走市東部町大通り南2丁目20-2
TEL.01527-3-3288

YSP 北見 **MX**

北海道北見市南野町字三033-1
TEL.0157-56-3131

新松村商会 **RR・MX**

北海道江別市野町町40-3
TEL.011-383-7394

モトマツダ **MX・TR**

北海道夕張郡山形町新1丁目13-8
TEL.01237-2-6171

東北地区

YOU SHOP Fジオー **MX**

青森県青森市西田字浜田7-2
TEL.0177-88-5349

モーターファン小切田 **MX**

青森県三戸市南町3丁目2-18
TEL.0176-57-4949

YOU SHOP ホットスタッフ **MX**

岩手県盛岡市南1丁目4-12
TEL.0196-22-8451

株ホトラ BIG BOX **MX・TR**

岩手県盛岡市東山2丁目15-14
TEL.0196-35-2611

花巻オート **MX**

岩手県花巻市南1丁目29-2
TEL.0198-24-7356

YSP 水沢 **MX**

岩手県水沢市南1丁目49-1
TEL.0197-23-3063

岩崎モーターズ **MX**

岩手県二戸市南1字長瀬72-1
TEL.0195-23-8393

ライダーズサロン 大泉 **RR・MX**

岩手県大泉市南町5-15
TEL.0229-23-3593

新井本輪業商会 **RR・MX**

北海道旭川市東15丁目
TEL.022-366-3810

YSP 大河原 **MX**

岩手県大河原町大字新道56-6
TEL.0224-52-3369

YOU SHOP よこえ **RR**

宮城県仙台市宮城野区宮野ヶ丘1丁目5-10
TEL.022-358-6962

BS ハタヤマ **TR**

宮城県宮城郡利府町神谷字化蔵地10-25
TEL.022-250-5056

新井オートバイ店 **RR**

宮城県仙台市宮城野区南2丁目5-31
TEL.022-244-1555

YOU SHOP 黒松 **MX**

宮城県仙台市青葉区原ヶ丘1丁目22-27
TEL.022-234-3582

YSP 仙台西 **MX**

宮城県仙台市青葉区船木2丁目1-12
TEL.022-234-2012

YSP 仙台中央 **MX**

宮城県仙台市青葉区区立5丁目4-3
TEL.022-269-4222

NOVA モーターサイクル **RR・MX**

宮城県仙台市太白区宮沢1丁目3-1
TEL.022-243-2253

新スピードショップ イノ **MX**

宮城県仙台市宮城野区南2丁目3-16
TEL.022-271-9393

YSP 仙台北 **MX**

宮城県仙台市青葉区区立3丁目41-15
TEL.022-278-9955

ピットイン わたなべ **MX**

宮城県仙台市太白区白旗ヶ丘3丁目3-10
TEL.022-249-4077

PSS ティーズ **RR・MX**

宮城県仙台市青葉区八幡3丁目1-44
TEL.022-225-2755

モトショップビッグライフ **MX**

宮城県仙台市青葉区聖堂5丁目12-1
TEL.022-362-6315

YOU SHOP スカイロード **RR・MX**

宮城県仙台市宮城野区南2丁目4-8
TEL.0223-29-2339

YSP 石巻西 **TR**

宮城県石巻市南町南2丁目756-1
TEL.0225-22-8272

YSP 名取 **MX**

宮城県名取市南町1丁目4-23
TEL.022-383-0427

コム・プロダクト株式会社 **RR**

宮城県仙台市太白区区立字人妻田東38-3
TEL.022-743-2851

YSP 気仙沼 **MX・TR**

宮城県気仙沼市土地区2丁目1-8
TEL.0226-24-1331

新三輪モーターズ **TR**

山形県山形市南1丁目14
TEL.0236-22-9939

YSP 山形南 **RR・MX**

山形県山形市南2丁目4-1
TEL.0236-31-9707

YSP 山形西 **RR・MX**

山形県山形市西がねヶ丘3丁目17-25
TEL.0236-44-1316

モトショップ ワンバイワ **MX**

山形県山形市北町2丁目8-28
TEL.0236-84-0623

YOU SHOP テラオ **RR・MX**

山形県庄内市南1丁目1325-22
TEL.0233-22-2905

YOU SHOP ヤマカ **MX**

山形県平沢市中央4丁目1-76
TEL.0238-23-1108

YSP 酒田 **MX**

山形県酒田市のがね2丁目1-16
TEL.0234-23-3232

YSP 福島南 **RR**

福島県福島市島野町南038-1
TEL.0245-46-3116

バイクワールド ハイブリッジ **RR**

福島県福島市上本倉字清倉西25-1
TEL.0245-93-0248

YSP 福島北 **RR・MX**

福島県伊達郡伊達町前川原16-3
TEL.0245-64-2033

新オートエクスプレッシング東北 **RR**

福島県須賀川市南町138
TEL.0248-72-1201

新井本輪業商会 **RR・MX**

福島県郡山市南町下町10-8
TEL.0249-27-1764

YSP 郡山沖 **RR・MX**

福島県郡山市字東横塚東5
TEL.0249-38-0096

大倉オート **MX**

福島県郡山市南町島本町4-53
TEL.0248-28-2873

太平オート **TR**

福島県郡山市南町字宮内牧草38
TEL.0248-34-0695

モトショップ 菊地 **MX**

福島県郡山市南町今戸字イナリ南17
TEL.0248-74-2287

エクスパート **RR**

福島県郡山市南町島本町25-1
TEL.0248-32-9911

YSP 秋田大曲 **MX・TR**

秋田県大曲市南1丁目13
TEL.0218-66-2969

東京地区

スポーツショップコム **RR・MX**

東京都千代田市南千代田123-3
TEL.0292-47-5215

MIYAMOTO MOTORCYCLE **MX**

東京都千代田市千代田1201-1
TEL.0292-41-1837

YOU SHOP 夢野 **MX**

東京都千代田市南千代田217-2
TEL.0292-47-9995

YOU SHOP タカノ **RR・MX**

東京都千代田市野町1-15-48
TEL.0292-75-2939

YSP つばき屋 **RR・MX**

東京都千代田市南千代田700-1
TEL.0298-57-3321

株オートショップ大月 **RR・MX**

東京都千代田市南千代田中央1丁目1-10
TEL.0296-77-6924

新井原商会 **MX**

東京都千代田市南千代田2738-1
TEL.0297-62-0149

カシマレーシング **RR**

東京都葛飾区船場住居311
TEL.0299-83-7428

オートショップ 坂 **MX**

東京都葛飾区美輪2丁目15-24
TEL.0298-21-3830

モトショップ タカハシ **RR・MX・TR**

東京都千代田市南千代田1709-4
TEL.0296-52-4166

モトハウス マツモト **MX**

東京都葛飾区南千代田上中島79-85
TEL.0287-63-6656

バイクショップ 竹沢 **MX**

東京都葛飾区南千代田523-31
TEL.0289-76-3030

新小島堅三輪業 **RR**

千葉県流山町南2丁目230-2
TEL.0284-71-2730

グレージ ハイブリッド **MX**

千葉県流山町南町大字大前1964
TEL.0282-62-4799

新モトショップシタ **RR・MX**

群馬県高崎市中央町456-4
TEL.0273-61-0222

YSP 前橋西 **RR・MX**

群馬県前橋市大太町1丁目5-15
TEL.0272-53-1078

株スーパーバイク夢夢 **TR**

群馬県前橋市北郷町730-5
TEL.0272-53-5364

YSP 前橋 **MX**

群馬県前橋市南町3-15-5
TEL.02

RSS

Racing Service Shop

コンペモデル(レース専用車)

[[2]]に[[1]]のキットパーツ

は、RSSで扱っています。

コンペモデルに関するお問い合わせは技術と信頼のRSSをおすすめします。お近くのRSSにもご相談下さい。



1/1000%の確実。



フルモデルチェンジ

'96 YZ250 ¥569,000

フルモデルチェンジ

'96 YZ125 ¥479,000

'96 YZ80LW (ラージキール) ¥319,000
YZ80 ¥299,000 ※写真はYZ80LWです

※改良のため、製品の仕様は予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。
※台数に限りがありますのでRSSにお早めにお申し込みください。尚、予約が予定数量を超えた場合、一部納車が来年になりますのでご了承下さい。
●価格は全てメーカー希望小売価格です。メーカー希望小売価格には消費税は含まれていません。

見る・見られる・いい運転。

バイクでひろがるいい仲間

バイクはいつも笑ってる

お客様相談室 ☎0120-090-819

Y.E.S.S. 初年度年会費すべて無料!



太平洋モーターズ MX 東京都中央区千代田4-4-30 TEL.03-3336-8000	YS国分寺 MX 東京都小平市国分寺北5-12-7 TEL.0423-23-2697	株梅田モーターズ MX 神奈川県茅ヶ崎市中央5-25 TEL.0467-87-0211	YSP上田 MX・TR 長野県上田市御台1-337-1 TEL.0263-22-3995	スピードアンリミテッド TR 静岡県浜松市東区藤野7228 TEL.053-664-5048	YOU SHOPモト・キッズ RR 愛知県豊橋市西中瀬4丁目2-1 TEL.0532-63-6103
もとしょぶ神楽坂 MX 東京都練馬区豊原2-7番地 TEL.03-3235-3141	東京都厚木川輪業 RR 東京都厚木市中松島5-22-11 TEL.03-3488-2907	YSP高塚渋谷 MX 神奈川県大和市高塚下町952 TEL.0462-68-3777	ティーピースポーツ RR・MX・TR 新潟県上越市南59529 TEL.055-421-7001	レーシングスポーツ RR・MX 静岡県浜松市緑ヶ谷7期1219 TEL.053-29-1702	YSP豊橋南 RR・MX 愛知県豊橋市南郷町字南松原3-2 TEL.0532-48-2518
YSP上板橋モーターズ RR 東京都板橋区上板橋2-12-4 TEL.03-3934-6666	YOU SHOPチェイス RR 東京都多摩市北園747 TEL.0423-73-3910	YSP大和 MX 神奈川県大和市深見西4-1-1 TEL.0462-63-6000	株ブライton RR 新潟県新潟市東区131 TEL.025-261-0770	YSP浜北大橋 RR・MX 静岡県浜北市大島272-2 TEL.053-586-6880	YSP豊川中央 MX・TR 愛知県豊川市東町2丁目7-34 TEL.05338-6-0286
YSP成増 RR 東京都練馬区成増4丁目3-4 TEL.03-3977-5025	ライダーショップケウー相模原店 RR 神奈川県横浜相模原市南区204-1-22 TEL.0427-51-2124	モトショップ7OUT RUN RR 神奈川県横浜相模原市大上4-3-2 TEL.0467-78-0194	YSP新潟中央 RR 新潟県新潟市東区4 TEL.025-284-6602	モトスポーツアベ RR・MX 静岡県静岡市下大塚151 TEL.0538-34-4817	株スズボールジョーショップ MX 愛知県豊川市西野ヶ原2丁目56 TEL.05338-6-3066
YSP目黒中央 RR 東京都目黒区中央1-10-10 TEL.03-3712-0207	SP忠実 MX 神奈川県横浜磯子区店屋1-11-6 TEL.045-333-3544	アクロス MX 神奈川県横浜相模原市橋3-17-12 TEL.0427-56-5456	YOU SHOPさいとう MX 新潟県中蒲原郡刈谷町5-44 TEL.025-381-2917	YOU SHOPモトベア MX 静岡県静岡市東区478-2 TEL.0538-34-6925	モーターショップヨハシ RR 愛知県豊川市西野ヶ原4丁目3 TEL.05338-6-1568
ハヤシカスタム RR 東京都中央区丸の内2-1-101 TEL.03-3266-2160	YSP鶴見 MX 神奈川県横浜鶴見区鶴見3-37-16 TEL.045-575-0885	YSP相模原中央 RR・MX 神奈川県横浜相模原市富士5-2-18 TEL.0427-59-8616	RSS高喜屋 MX 新潟県新潟市東区栄町1423 TEL.0257-83-2403	YSP磐田 MX 静岡県磐田市志士町508 TEL.0538-32-7904	YSP刈谷 RR・MX 愛知県刈谷市一ツ木町稲原50-1 TEL.0566-23-2647
SP忠実 RR 東京都大田区東中3-6-6 TEL.03-3741-1771	YSP横浜浜南 RR・MX 神奈川県横浜西区南横浜2丁目150 TEL.045-741-5123	モトワン マルフク MX 神奈川県中郡大磯町西本郷883 TEL.0463-71-1784	YOU SHOP小林ヤマハ MX 新潟県新潟市東区1丁目3-3 TEL.0258-22-2426	北林トラックセンター RR・MX 静岡県静岡市東区2104-1 TEL.0538-43-4646	YDS岡部 RR・MX 愛知県名古屋市中区区津1丁目204 TEL.052-431-8171
YSP大森 RR 東京都大田区大森3-2-14 TEL.03-3763-3028	YSP田奈 MX 神奈川県横浜青葉区新田町15-1 TEL.045-982-4850	サヌー バイクサービス RR 神奈川県中郡相模原市高島2丁目5-5 TEL.0463-35-6363	新テクニカルショップイウイ RR・MX 新潟県新潟市東区1-3-6 TEL.0258-28-1627	ガレージT.T MX 石川県金沢市西町837 TEL.0762-44-4582	YSP名東本郷 MX 愛知県名古屋市中区東区藤森2-278 TEL.052-773-9557
YSP下丸子 RR・MX 東京都大田区下丸子3-18-3 TEL.03-3759-9590	YSP横浜旭 RR・MX 神奈川県横浜西区東青葉5丁目188 TEL.045-363-5111	井上モーターズ RR 山梨県甲府市東1-11-16 TEL.0552-28-3377	YSP長岡東 RR・MX・TR 新潟県長岡市東1-3-2 TEL.0258-32-5078	YSP金沢西 MX 石川県金沢市西町837 TEL.0762-37-1313	マコ商会 TR 愛知県名古屋市中区区津2-269 TEL.052-413-0022
YSP寛の宮 RR 東京都中野区寛の宮2-2-2 TEL.03-3825-1479	YOU SHOP越前ニュータウン RR 神奈川県横浜磯子区磯子3-1-27 TEL.045-942-4888	YSP甲府バイパス RR 山梨県甲府市西15-12-22 TEL.0552-28-1961	YSP静岡南 RR・MX 静岡県静岡市南17丁目7-27 TEL.054-285-4441	有ハイパスオート MX 神奈川県横浜市青葉区22-4 TEL.0762-74-4141	バイク&バイク MX 愛知県名古屋市中区山崎11丁目328 TEL.052-794-8326
YSP福生 RR 東京都福生市南105-11 TEL.0425-53-2345	YSP洋光台 MX 神奈川県横浜磯子区洋光台5丁目12-1 TEL.045-831-0778	YOU SHOPはらおら RR・MX 山梨県甲府市西2-2-6 TEL.0554-45-2819	株YSP静岡中央 MX 静岡県静岡市東区11-5-14 TEL.054-253-2260	YSP富山東 RR・MX 山梨県富士山町2丁目1-25 TEL.0564-33-4828	スポーツラサライタウ TR 愛知県名古屋市中区東区東山12-28 TEL.052-795-2262
YSP新緑7ハスーンクラブ RR・MX 東京都練馬区新緑1-34-16 TEL.0424-82-7891	YSP洋光台 MX 神奈川県横浜磯子区洋光台5丁目12-1 TEL.045-831-0778	YSP中巨摩 RR 山梨県中巨摩郡高岡町西本郷725-2 TEL.0552-73-6640	株YSP静岡中央 MX 静岡県静岡市東区11-5-14 TEL.054-253-2260	オートショップ堀 富山店 TR 山梨県富山町新田町511-5 TEL.0764-51-8180	YSP名古屋白鳥 RR・MX・TR 愛知県名古屋市中区白鳥町南2丁目137 TEL.052-803-2524
ライディングハウス TR 東京都立川市羽鳥2-27-3 TEL.0425-28-0455	YSP鎌倉 RR・MX 神奈川県横浜市鎌倉210 TEL.0467-31-8439	YSP長野南 RR・MX 長野県長野市南1-1-1509 TEL.0262-93-5616	モトショップ スキウラ TR 新潟県新潟市東区41-5-14 TEL.0254-247-4643	YSP富山中野 RR MX 山梨県富山町中野2丁目4-12 TEL.0764-21-6269	バイクショップカツラガ RR 愛知県名古屋市中区天白区天白1丁目515 TEL.052-804-2378
精モーターサイクルセンター MX 東京都大田区南長崎6-884-12 TEL.0425-65-0775	YOU SHOP小野田 MX 神奈川県横浜青葉区3-11-25 TEL.0467-45-5993	YSP長野中央 RR・MX 長野県長野市中央2丁目2-1 TEL.0262-41-7841	秋山モーターズ MX 新潟県新潟市東区17丁目12-5 TEL.0254-52-2259	サイクルショップ伊藤 MX 山梨県静岡市東区11-5-14 TEL.0764-54-2571	レーシングプロジェクト RR 愛知県名古屋市中区東区藤森3-961 TEL.052-862-0117
バイクルーム多摩 MX 東京都八王子市西大塚1457 TEL.0425-76-3304	YSP南川崎 RR・MX 神奈川県川崎市川崎区南1-4-18 TEL.044-233-3333	YSP安曇野 RR 長野県安曇野市穂波4888 TEL.0263-72-2334	YOU SHOPフタイ MX 新潟県新潟市東区11-5-23 TEL.0254-52-7624	YSP富山中央 RR・MX 山梨県富山町中央17丁目12-5 TEL.0564-33-4828	YSP名港 MX 愛知県名古屋市中区東区名港2-2-202 TEL.052-483-1317
YSP八王子南 RR 東京都八王子市南長崎713-1 TEL.0425-36-9426	YOU SHOP PHANTOM RR 神奈川県川崎市川崎区北加瀬2-5-1 TEL.044-591-1675	YSP松本 RR・MX 長野県松本市東3丁目2-20 TEL.0263-76-2780	有モト・ランド三澤 MX 新潟県新潟市東区1179-4 TEL.0254-71-3929	塩場サイクル TR 山梨県静岡市東区12-1-13 TEL.0764-22-0633	バイクショップカワ RR・MX・TR 愛知県名古屋市中区中島区東2丁目102 TEL.052-353-6664
YSP八王子中央 RR 東京都八王子市中央7-12 TEL.0425-46-6181	YSP川崎中央 RR・MX 神奈川県川崎市川崎区南10847 TEL.044-755-1141	三沢モーターズ RR・MX・TR 長野県松本市立川原177 TEL.0263-47-3167	株青山商会 MX 新潟県新潟市東区411-1 TEL.0259-22-5311	ヤマハオートセンター株 MX 愛知県豊川市大平町市23 TEL.0564-22-0024	YSP尾山小牧 RR・MX・TR 愛知県豊川市小牧町稲原180 TEL.0567-54-3228
YSP八王子西 MX 東京都八王子市西大塚1557-7 TEL.0425-63-5425	有モトショップ梶ヶ谷 RR 神奈川県横浜市港北区下作楽818 TEL.044-865-8933	有翔武 MX 長野県松本市港南4丁目5-32 TEL.0263-34-1151	株中島技術開発研究所 RR 新潟県新潟市東区2740-1 TEL.0259-24-0617	YSP岡崎中央 RR・MX 愛知県岡崎市西通1丁目6 TEL.0564-21-0511	YOU SHOP栗木 RR・MX 愛知県豊川市日野町1丁目1-19 TEL.0567-32-2762
YOU SHOP サンライズ MX 東京都葛飾区山本町1丁目8-1 TEL.0425-63-1148	YOU SHOP PAST MX・TR 神奈川県川崎市川崎区高島3-13-1 TEL.044-954-5512	バイクショップ ヒロ MX 長野県松本市西4丁目2丁目8-6 TEL.0263-75-6539	石田オートサロン MX 新潟県新潟市東区41-5-23 TEL.0259-77-4737	有オートショップヨタ MX 愛知県豊川市永野町3-22-1 TEL.0565-29-1388	YSP名古屋北 MX・MX 愛知県名古屋市中区東区豊田町豊田56 TEL.0568-29-0605
有サム MX 東京都西葛城102207-16 TEL.0427-26-1123	株マックス MX 神奈川県横浜青葉区東2丁目11-7 TEL.0468-56-0200	オートショップモセ RR・MX 長野県北安曇郡松川町7322-52 TEL.0261-62-2286	バイクショップ金鐘屋 RR・MX 新潟県新潟市東区205-4 TEL.0250-82-0144	有セフティモーター大進 RR 愛知県豊川市小坂町1-5 TEL.0565-34-0330	オートスポーツラザレ倶楽部 RR 愛知県豊川市南郷町3-23 TEL.0569-22-5821
YSP町田中央 RR 東京都町田市町田4-15-11 TEL.0427-29-6456	有サカエオート TR 神奈川県横浜青葉区大島2-1-10 TEL.0468-36-0010	YSP伊那 RR・MX・TR 長野県伊那市大字伊那1300-2 TEL.0265-73-8385	石野モーターズ RR・MX 新潟県新潟市東区32-1 TEL.0254-641-2913	トカーオートレーシング MX 愛知県豊川市西町4丁目高30 TEL.0565-21-0511	RACING GARAGE Support 愛知県豊川市西町4丁目高302-1 TEL.0562-96-1944
YSP小平 RR・MX 東京都小平市小川東町1-11-11 TEL.0423-45-4731	株クラブベンディス横浜店 RR 神奈川県横浜青葉区182-3-10 TEL.0468-49-6884	テクニカルショップ Q MX 長野県諏訪郡清水町4552-22 TEL.0266-28-2303	中央モーターズ RR 新潟県新潟市東区308-1 TEL.0253-421-3518	協和自動車株式会社 MX 愛知県豊川市西町4丁目高30 TEL.0565-52-6811	YSP一宮中央 MX 愛知県一宮市西町1馬場宇野町33-4 TEL.0568-44-2303
YSP三浦 MX 東京都三浦市東4-3-48 TEL.0422-32-5454	ジェスモーターサイクル RR 神奈川県横浜青葉区東海7-5-37 TEL.0468-56-5667	YSP小諸 RR・MX 長野県小諸市緑町2-300-8 TEL.0267-22-0640	株川島モーターズ MX 新潟県新潟市東区11丁目10-8 TEL.0253-471-2543	モトスイング TR 愛知県豊川市日野町1丁目86-8 TEL.0565-80-3133	有イモーターズ RR・MX 愛知県豊川市南郷町2-14 TEL.0567-26-3894
YSP東小金井 RR・TR 東京都小金井市板野町1-7-34 TEL.0422-52-9656	YSP藤沢 RR・MX 神奈川県横浜青葉区2375 TEL.0467-24-0011	北沢モーターズ RR 長野県東村九手町大字坂口1322-6 TEL.0268-25-2934	YSP浜松北 RR・MX 静岡県浜松市東区南471 TEL.053-434-4127	有モトハウス21st MX 愛知県豊川市西町4丁目高30 TEL.0566-96-2248	岡本ヤマハ商会 MX 愛知県名古屋市中区東区東山1丁目855-2 TEL.0594-22-2671
YSP小金井 RR 東京都小金井市前原町5-7-30 TEL.0423-65-0511	YSP茅ヶ崎 MX 神奈川県茅ヶ崎市本町1-3-5 TEL.0467-51-2983	YSP佐久 RR・MX 長野県佐久郡白根町大字白根字原田1115 TEL.0267-82-3008	タイヤレーシング株 RR 新潟県新潟市東区553-30 TEL.0253-437-2125	ライダーエージェントオカ RR 愛知県豊川市南郷町タノ880-3 TEL.0532-31-6092	サンビモーターズ RR・MX 三重県桑名市東通3 TEL.0594-22-1616

※各ショップの取り扱い区分を、RR(ロードレース)、MX(モトクロス)、TR(トライアル)、の記号でショップ名の右側に表示してあります。

HAVE A NICE RIDE!

ナイスライディングをよろしく。

- YZ250, YZ125, YZ80, YZ80LW(ラージホイール)は運輸省の認定を受けていませんので、ナンバープレートを取得することはできません。
- YZ250, YZ125, YZ80, YZ80LW(ラージホイール)は道路を走行できません。道路を走行するまで、道路交通法及び道路運送車両法との確認となります。
- 私道、社内の境内、公園、海辺、堤防上、農道、林道など、いわゆる道路の形態を整えていないところでも人や車が自由に出入りできるところは、道路と見なされます。走行場所には十分注意してください。

YAMAHA
ヤマハ発動機株式会社

GSX-R750

'96 GSX-R Engine

'96 GSX-R Engine



新たな栄光へ。

スーパーバイク——それは、激しいレースを勝ち抜くための、そして4ストロークモーターサイクルの頂点に立つ高性能モーターサイクルの代名詞。1985年の登場以来、GSX-R750は単なるストリートバイクの域を超えて世界中のサーキットで数々の勝利を獲得し、スーパーバイクの歴史を築いてきた。そこには高性能モーターサイクルを造り上げようとする、スズキの独創の技術と

GSX-R750 メーカー希望小売価格¥988,000(北海道・沖縄及び一部地域を除く) ●エンジン型式：R726・水冷・4サイクル・4気筒 ●ボア・ストローク：72.0×46.0mm ●最高出力：77ps/10,000rpm

●価格には保険料・税金(消費税を含む)・登録などに伴う諸費用は、含まれていません。●消費税額は、別途計算の上、申し受けます。●価格は参考価格です。詳しくは販売店にお問い合わせください。●速度警告灯装着車もタイプ設定しております。(10,000円高)

見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライト・オン!
- カーブ・交差点では、スローイングダウン!

バイクでひろがるいい仲間

バイクは いつも 光ってる



全日本ロードレース選手権

招待券プレゼント実施中

'96年1月～12月にモーターサイクル/スクーターをお買上げの方全員に



情熱がいつも流れている。そして今、新しきニューメカニズムを与えられて新世代GSX-R750が誕生した。さまざまなシチュエーションでその高性能を発揮する、高次元にバランスしたトータルパッケージ。そして虚飾のない純粋な走りの性能—伝統が生んだ真のスーパーバイクを、新たな走りを、スズキから栄光を求めるすべてのライダーに送る。



●最大トルク：6.7kg-m/7,500rpm ●シート高：830mm ●乾燥重量：179kg ●ボディカラー：キャンディファラオイエロー/エンペラーブラウンメタリック、パールスティールホワイト/パールスズキディープブルー

カタログご希望の方は、機種名・雑誌名と住所・氏名・年齢・職業を明記し、切手190円分(送料)を同封のうえ、右記までお申込み下さい。〒432-91 浜松市高塚町300 スズキ顧客カタログ発送センター—GSX-R750係まで。

もっと個性的に、もっとあなたらしく
Personal Best  **SUZUKI**

Kawasaki

Let the good times roll.

見つめれば、
さきに心が走りだす。

—— 異彩を放つ、ライディング・テイスト ——



ZRX-II

ZRX-II ● Engine type: Liquid-cooled, 4-stroke, 4-cylinder, DOHC, 16-valve

● Displacement: 399cm³ ● Max. power: 53ps/11,000rpm ● Max. torque: 3.8kg-m/9,000rpm ● Dry weight: 185kg

● Color: Candy persimmon red, Black pearl ● ¥589,000

※ 価格はメーカー希望小売価格(北海道・沖縄を除く)です。詳しくはARKにおたずねください。

※ 価格には保険料、税金(消費税など)、登録のための諸費用などは含まれていません。※ オプションで速度警告灯装着仕様車(¥10,000高)もあります。

見る・見られる・いい運転。

- バイクは長時間もライト・オン!
- カーブ・交差点では、スローイングダウン!

バイクでひろがるいい仲間

バイクは いつも 光ってる



*ARK*はカワサキの
信頼ある正規取扱店です。



KAZEに入りませんか? **KAZE**

「Kawasaki Amusing Zone for Everybody」——KAZEはどなたにでも、自分存分スポーツやアウトドアライフをお楽しみいただけるメンバーズクラブです。ぜひ、あなたもご入会ください。

ご入会のお申込みはARK、または
KAZEフリーダイヤルまで、お気軽に。 ☎ 0120-100819

Kawasakiに関するご意見、ご要望はお気軽に
お客様相談室

東京: ☎03(3595)0663 明石: ☎078(925)2003

カタログご希望の方は欄名と住所、氏名、生年月日、職業をご記入になり、
送料150円分の切手を同封して、下記までお申込みください。
〒673 明石市川崎町1-1 株式会社カワサキモータース ジャパン (カタクラ)まで。

 **Kawasaki**
株式会社 カワサキモータース ジャパン

Get the glory, NSR.

HSRシリーズの限定チューンバージョン〈SP〉

だけに許された勝者のきらめき、

レプソル・ホンダチームカラー。

そこには頂点のレースを二連覇で飾った男の

不屈の闘志が熱く宿る。

勝利の歴史をまた一ページ加え、

栄光はHSRとともにある。



1995 WORLD GP CHAMPION COLOR 限定販売 1,000台

■型式MC26 ■水冷2サイクルクランクケースリードバルブ90度V型2気筒・240cm³ ■最高出力40PS/9,000rpm ■最大トルク
※価格はメーカー希望小売価格(北海道、沖縄および一部地域を除く)です。※価格には保険料・税金(消費税を含む)が
※価格は参考価格ですので、詳しくは販売店にお尋ねください。※速度警告機・付PGMメモリーカード(オプション)

バイクが好きだから、セーフティライド。

Come ride with us.  HONDA

**TWO-YEAR
CONSECUTIVE CHAMPION**
'95 FIM ROAD RACING
WORLD CHAMPIONSHIP-500cc

CHAMPION

1995 FIM WORLD 500cc RIDERS' & MANUFACTURERS' CHAMPIONS

M. DOOHAN & the NSR500



New
PROSPEC NSR 250R SP

23.3kgm/8,500rpm ■ 乾燥重量137kg ■ 車体色：ヘルスブルートメタリック ■ ¥800,000
登録などに伴う諸費用は含まれておりません。
10,000円) を使用することによって、速度警告仕様とすることが可能です。

見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライト・オン!
- カーブ・交差点では、スローイングダウン!

バイクでひろがるいい仲間

バイクは いつも 光ってる

カタログご希望の方は、カタログ請求券と切手190円(送料)を同時に、機種名と住所・氏名・年齢・職業を明記の上、〒150東京都渋谷区郵便局留 本田技研工業(株)カタログ係まで。

カタログ請求券
NSR250R SP
SP

HRC商品のご予約・お問合せは下記取扱い販売店及び ホンダ二輪ディストリビュータ(代理店)へどうぞ。

HRCサービショップ(95年11月現在)

神戸レース ②③ 〒981-15 宮城県仙台市青葉区南1-152 TEL.0224-62-9871 神戸ダサスポーツ ウィリー ②③④ 〒782 宮城県仙台市青葉区大沢町字下7-17-14 TEL.022-246-1919 街TOWNS 原町ホンダ ②③④ 〒930 宮城県仙台市青葉区原町1-63-3 TEL.022-224-1984 街ホンダウイング 荘内 ②③④ 〒998-01 山形県山形市大字宮下中通4-1 TEL.0234-42-3038 街ワールドツバメ ②③④ 〒200-36 茨城県つくば市十代町大字塚山字神代町3 TEL.0296-49-3138 IFACTORY ②③④ 〒329-32 栃木県宇都宮市東1-13-45 TEL.0286-79-0509 街ホンダショップ 和光 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒351-01 埼玉県草加市南草加7-29-11 TEL.048-461-1474	街エデュランス ②③④ 〒200 埼玉県浦和市大宮1-167-1 TEL.04852-22-7776 街インターテック ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒200 埼玉県浦和市大宮南1-1-1 TEL.048-648-6044 U-GEAR (ユー・ギア) ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒176 東京都板橋区板橋1-5-4 TEL.0473-61-0501 街ポールポジション 町田店 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒116 東京都町田市小野町1528 TEL.0427-54-6001 オートショップ スガハラ南 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒114 東京都大田区王子3-29-2 TEL.03-2914-7508 HONDA SPORTS MOTO BUM ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒119 東京都荒川区東池袋4-13-23 TEL.03-3631-4265 街桜井ホンダ ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒148 東京都葛飾区下高井戸2-6-3 TEL.03-3375-0988	街北北ホンダオート ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒141 東京都葛飾区新小岩2-26-4 TEL.03-2652-4004 街八ルコ・プロ ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒189 東京都大田区南町1-9-2 TEL.0425-66-3851 ホンダショップ 福田 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒234 神奈川県横浜市西区南幸4-203 TEL.044-411-4171 街スーパードラッグ まるやま ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒255 神奈川県中郡大磯町高島2-28 TEL.0463-34-0651 街ライダーズサロン 横浜 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒226 神奈川県横浜市中区元町4-25-26 TEL.045-780-3038 ラ・モト・KOHSAKA ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒481 愛知県豊田県豊田1-1-6 TEL.0535-79-5991 ホンダワールド ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒713 三重県松阪市吉田町976 TEL.0579-78-1465 TEL.0579-79-5991	MITANI MOTOR SPORTS SUZUKA ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒513 三重県津市津南町2147-71 TEL.0593-29-2689 モトショップ ヨシハラ ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒519 三重県津市日南寺町2142-2 TEL.0593-26-7770 スーパードラッグ コタニ ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒761 広島県広島市東区南島町20-6 TEL.07712-4-6308 街TOM'S ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒803 京都府京都市北区小倉南大野町3-5 TEL.075-415-1200 街アルニス タイチ ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒574 大阪府大阪市東淀川区1-25 TEL.072-74-3266 街サイクルワールド ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒573 兵庫県神戸市西区森谷3-11 TEL.078-929-3232 ミネモーターサイクル ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒654 和歌山県和歌山市西宮町2-1-10 TEL.073-343-5440	街熊本商会 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒960 熊本県阿蘇郡中央町1-9 TEL.0962-32-0901 街ホンダショップ ライフ ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒983 宮城県大崎市小倉金谷町守邦町1-11 TEL.093-963-0900 街F&C ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ 〒989-12 熊本県熊本市東区津島1-194-1 TEL.096-295-2625
--	---	--	--	---

北海道

街オートランド 札幌 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒984 札幌市東区南三条1-1-43 TEL.011-832-3223
ホンダウイング 函館 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒990 函館市栄町1-4 TEL.0137-56-0510
バイセル ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒763 苫小牧市五軒町4-14-12 TEL.0146-32-4318
街ナカガワ ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒964 札幌市中央区南一条西3-2 TEL.011-511-8417
ホンダ札幌販売 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒964 札幌市中央区南一条西3-10 TEL.011-641-5967
街ホンダウイング 旭川 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒993 旭川市東区北条通東2-4-1 TEL.011-794-5111
街オートフレンド 北海道 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒966 千歳市南条4-1-2 TEL.0121-22-2996
江別ホンダ有松村商会 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒983 江別市南町4-2-1 TEL.011-283-7894

宮城

ホンダ宮城販売 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒982 仙台市青葉区3-3-10 TEL.022-47-0123
街ライズポスト ビバ 南支店 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒981-31 仙台市青葉区南支店 14-3 TEL.022-261-5799

秋田

街手サイクルセンター ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒713 横手市石原1-2 TEL.0182-32-9911

山形

街ホンダウイング 鶴岡 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒976 山形県鶴岡市南1-23-13 TEL.023-41-3201
サイクルショップ 山形 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒976 山形市南支店3-10 TEL.023-22-4158
ホンダウイング サイトウ ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒986 東庄市十日町10 TEL.0232-22-1645

福島

モト・ビット・マックス ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒969-11 安達郡安達町東1-1-1 TEL.0243-22-2655
ホンダウイング 福島 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒960-01 福島県福島市南1-4-1 TEL.0249-51-5407
街桜井販売商会 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒960-02 福島県福島市南1-1-10 TEL.0249-51-5988

茨城

モトショップ 茨城 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒308-0 鹿嶋市東3丁目1番25-10 TEL.0296-41-4120
オートショップ 大月 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒308-07 鹿嶋市東3丁目1-10 TEL.0296-41-8484
モトアルファ ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒312 鹿嶋市東1丁目4-1 TEL.0292-72-1988
カメレーシング BIKE SHOP ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒314 鹿嶋市鹿嶋市南支店11 TEL.0299-83-7428

栃木

宇都宮ホワイトハウス ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒321 宇都宮市南町15-1 TEL.0286-22-0921
街ヴァンサンク ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒321-2 宇都宮市南町15-1 TEL.0286-67-7053
モトハウス アスカ ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒322 鹿沼市下町2-146 TEL.0289-62-3838
街バイクショップ 宇都宮 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒322 鹿沼市南町15-1 TEL.0289-76-1030
街小林商会 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒326 足利市南町2702 TEL.0284-41-3825
大井商会 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒327-02 安達郡安達町大字南支店 TEL.0283-62-2666

群馬

モトショップ シロタ ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒719 高崎市中央町436-4 TEL.0273-41-0222
街モトウェイ ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒719-12 高崎市南町195-4 TEL.0273-46-9440

マイティーズロード ツツミ

〒378-21 多野郡吾妻町3316 TEL.0273-87-3888
久保田モーターサイクル ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒726 山形県尾花町尾花町4-1 TEL.0271-31-3407
街プロショップ ツツミ ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒726 山形県尾花町尾花町4-1 TEL.0271-31-3407
オートショップ 会津 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒978-22 郡山市西町南支店 TEL.0271-76-2388

埼玉

街サイクルロード イトー ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒331 大宮市中央1-108-3 TEL.048-627-3055
街バイクショップ クマキ ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒333 川口市南町2-18-23 TEL.048-294-2615
街オートショップ ミズミン ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒334 川口市南町1-1-2 TEL.048-296-4331
街インターテック 浦和店 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒336 浦和区大宮南町1379-1 TEL.048-674-7880
街金城バイク ミサト ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 〒341 三浦市戸ノ崎1-1 TEL.0489-56-2700
オートランド 川口

ミシュラン。私の信頼。

その走りは、ミシュランとの出会いから始まった。
小気味よいコーナーの連なるワインディングロードで、
はるかに続くハイウェイで、路面の質感までがしっかりと伝わってくる。
マシンのポテンシャルをありのままに引き出しながら、
思いのままにコントロールする喜びが味わえる。
ロードレース/スーパーバイク世界選手権をはじめとする、
数々のレースにおける圧倒的な勝利。
そこに培われたテクノロジーとノウハウが私にくれたものは、
どこまでも深い快感の走り。
流れるようなライディングの、一瞬一瞬にあふれる厚い信頼。
まさに感性がうなずく、ミシュラン モーターサイクルタイヤ。
ひとりひとりのライダーが追い求めてきた、究極の走りがここにある。



TX15



TX25



MACADAM
90X (Front)



MACADAM
90X (Rear)



THE TIRE
MICHELIN

勝利の道は カストロールから



A747

YAMAHA TZ125/250 YZシリーズ
HONDA RS125/250R TLM260
KAWASAKI KXシリーズ
MORIWAKI MH80
メーカー指定エンジンオイル

2サイクルレース専用混合専用オイル
SAE:50 化学合成油・植物油の混合油
1ℓ/¥4,000



R30

YAMAHA TZ125/250 ミッションオイル
YAMAHA YZシリーズ エンジンオイル
メーカー指定オイル

2サイクルレース専用エンジンオイル/
ミッションオイル
SAE:30 植物油
1ℓ/¥3,000



B353

レーシングエンジンを支えてきたオイル
2サイクルのミッションオイルとしても好評
4サイクルレース専用オイル/2サイクル
レース専用ミッションオイル
SAE:40化学合成油・植物油の合成油
5ℓ/¥13,000

◆植物油を使用しているため、1回使用する
毎にオイル交換して下さい。また、他のオ
イルと混ぜて使用しないで下さい。



TTS

YAMAHA TYZ
メーカー指定エンジンオイル

2サイクルレース用高性能ストリート用
エンジンオイル
JASO規格FC
100%化学合成油
0.5ℓ/¥1,500



Neues Formular RS

数多くのレースで培われた
信頼の高性能マシン用オイル

4サイクルエンジンオイル/2サイクル
ミッションオイル
API:SH
SAE:10W-50 100%化学合成油
1ℓ/¥2,800 4ℓ/¥7,500



レーシングブレーキ液

カストロールサポートチームが
使用している定番

レーシング専用ブレーキフルード
ドライ沸点290°C、ウェット沸点150°C
1ℓ/¥3,200



ガーリングユニバーサル ブレーキクラッチ液

KAWASAKI KXシリーズ
メーカー指定・推奨オイル

ディスクブレーキ/ドラムブレーキ用
ドライ沸点265°C、ウェット沸点165°C
DOT3/4タイプ
1ℓ/¥3,800



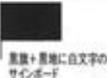
Castrol

カストロール株式会社

〒102 東京都千代田区麴町3-1泉屋ビル
TEL.03-3265-6101(代表)

SIGNAL FLAGS

公式シグナル(シグナル旗およびシグナル)

旗の種類	旗の意味	
	ロードレース	モトクロス
 国旗	レーススタート (通常シグナルで示す)	レーススタート (スターティングマシンで行なう場合もある)
 黄旗	静止 危険予告・追い越し禁止	危険予告・減速
	振動 コース上(ランオフエリア含む)に危険がある。減速・停止準備・追い越し禁止	危険予告・徐行・停止準備・安全確認・追い越し禁止
 白旗	静止 1つ先のポスト付近に徐行中の介入車両あり	コース上にサービス車両(救急車等)あり
	振動 直前に徐行中の介入車両あり	
 ホストタイプ付黄旗	コース表面が滑りやすい状態	
 緑旗	先に出した合図の解除(コースクリアー)	先に出した合図の解除
 赤旗	レースまたはプラクティスが中断され、すべてのライダーは最大限の慎重さと注意を持ってそれぞれのピットに戻る。サーキットを閉鎖する場合にも用いる。	全ライダー停止
 黒旗+黒地に白文字のサインボード 1	速やかにピットインしオフィシャルの指示に従う。(オイル漏れ等の場合は速やかに安全な場所に停止する)	サインボードで示された番号の競技車両は速やかにピットインする。
 黒旗+黒地に白文字の付いたサインボード P1	サインボードで示された番号の競技車両は、速やかにピットインし一旦停止のペナルティを受ける。	
 青旗	静止 追い越しシグナル。1台またはそれ以上のスピードの速いマシンが追い越そうとしている。	
	振動 追い越される直前	警告、ラップされようとしている。
 チェッカー旗	レース終了	レース終了
 青旗+チェッカー	・トップライダーはゴール ・トップライダーの直前を走るライダーはゴールではない。	

レースナンバープレート

(ナンバープレート色見本)

ロードレース	タテ235×ヨコ285mm		
 GP125	 GP250	 SP	
 SB耐久	 SB		
注：タテ×ヨコの数字はナンバープレートの寸法。数字の書体は、FIMの指定に基づくMFJの正規のものである。			
モトクロス	タテ235×ヨコ285mm		
 ジュニア	 国内B級	 国内A級	
 国際A級 (125cc)	 国際A級 (250cc)	 国際B級	
トライアル	タテ150以上×ヨコ175mm以上		
 ジュニア	 国内B級	 国内A級	
 T.NIPPON 国際B級	 T.NIPPON 国際A級		
ヘルメットのMFJ公認マーク			
ロードレース特選	ロードレース用・モトクロス用	トライアル用・ツーリング用	
			
※MFJ公認ヘルメットでMFJ公認マークが貼付されていないヘルメットは、特別検査料(1,000円)を支払い、特別検査を受けなければならない。			
レーシングスーツのMFJ公認マーク			
			
※使用するレーシングスーツには、MFJ公認マークが付いていなければならない。			

MFJ

国内競技規則書

1996年版

CONTENTS

信号旗/レースナンバープレート・ライセンス識別カラー	22
MFJ 国内競技規則	24
ROAD RACE	
細則 1 ロードレース競技細則	48
細則 2 '96全日本選手権大会特別規則	62
細則 3 '96エリア選手権大会特別規則	69
MOTOCROSS	
細則 4 モトクロス競技細則	84
細則 5 '96全日本選手権大会特別規則	91
TRIAL	
細則 6 トライアル競技細則	108
細則 7 '96全日本選手権大会特別規則	116
DRAGRACE	
細則 8 ドラッグレース競技細則	122
細則 9 '96全日本選手権大会特別規則	129
TECHNICAL RULES	
MFJ 技術規則	136
基本仕様〈ロードレース〉	141
基本仕様〈モトクロス〉	150
基本仕様〈トライアル〉	155
SP クラスの仕様	160
耐久レースの追加仕様	165
国内 GP クラスの仕様	167
国内モトクロスの仕様	171
国内トライアルの仕様	175
FIM 技術仕様	177
ドラッグレースの仕様	188
ロードレースジュニアクラスの仕様	196
ミニバイクの仕様	200
SUPPLEMENT	
細則10 MFJ ライセンス昇格・降格に関する規則	203
細則11 MFJ 公認クラブ等の名称に関する規程	209
MFJ 共済会制度	211
MFJ 公認車両・部品・用品	212
全国公認サーキット	229
歴代チャンピオンリスト	232
ビットクルーに関する指導要項	236

1996年1月1日発行
ライディング臨時増刊・通巻320号

財団法人 **日本モーターサイクルスポーツ協会**

〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F ☎03(3865)8441

■発行所：財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会

■編集：至文堂ライディング編集部 ■印刷：河和田屋印刷株式会社

国内競技規則

ロードレース

モトクロス

トライアル

ドラッグレース

技術規則

付録

この国内競技規則書は、日本小型自動車振興会からオートレースの公益資金の補助を受けて作成されたものです。

1996

MFJ国内競技規則

▼第1章 総 則

- 1. モーターサイクル・スポーツの国内的統括25
- 2. 公認競技会、承認競技会の格式および種目25
- 3. 大会特別規則ならびに公式通知26

▼第2章 競技ライセンス

- 4. 競技ライセンスとその種目27
- 5. 競技ライセンスの取得資格28
- 6. 競技ライセンスの有効期間30
- 7. 競技ライセンスの効力の失効等30
- 8. 競技ライセンス資格の昇格および降格30

▼第3章 競技会

- 9. 競技会参加者31
- 10. 競技参加者の遵守事項31
- 11. ライダーの装備(MFJ公認ヘルメット及びレーシングスーツ) 32
- 12. 出場車両33

- 13. MFJ公認車両および公認部品・用品33
- 14. 燃料およびオイル33
- 15. 競技出場の申し込み33
- 16. 出場料およびMFJ共済会掛金34
- 17. ライダーおよび車両の変更34
- 18. 車両検査34
- 19. 競 技34
- 20. 優勝者の決定35
- 21. 入 賞35
- 22. 入賞者の車両検査35
- 23. 競技結果および記録の公表35
- 24. 公式得点(ポイント)35
- 25. 競技会の延期および中止等36
- 26. 損害に対する責任37
- 27. 抗 議37
- 28. 控 訴 権37
- 29. 違反行為に対する罰則38
- 30. 大会審査委員会の権限38

本国内競技規則は、国際モーターサイクリスト連盟(Fédération Internationale Motocycliste: 略称 FIM)の国際スポーツ憲章、FIM 競技規則に基づいて作成され、日本国内のモーターサイクル・スポーツ規則の一部として発行する。

本国内競技規則は、総則と細則に大別され、競技種目によって内容に差異のある事項は細則に示される。

第1章

総則

1 モーターサイクルスポーツの国内的統括

- 1) この規則は、わが国のモーターサイクル・スポーツの国内管理並びにこれの普及振興、競技の安全、公正および秩序を保持することを目的とする。
- 2) 財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（以下「MFJ」という）は、国際モーターサイクリスト連盟（Fédération Internationale Motocycliste 以下「FIM」という）の日本における代表機関として、国際スポーツ憲章、FIM 競技規則に準拠してこの規則を制定する。
- 3) モーターサイクル・スポーツに参画するすべての者は、スポーツマンとしての誇りを堅持し、本国内競技規則ならびに特別規則等を遵守する等、善良なる市民でなければならない。
- 4) この規則は、MFJ の主催または MFJ の公認する競技会に適用され、各競技種目の細部については、別に定めるそれぞれの細則による。また公認競技会以外の競技会（以下「承認競技会」という）についても適用される。
- 5) 個々の競技会における判定および競技規約全般の解釈は、本規則に基づいて当該大会審査委員会が行い、これを最終的なものとする。

また競技会において疑義が生じた場合、本規則に規定されていない事項は FIM 国際スポーツ憲章、FIM 競技規則およびその趣旨により判定する。

2 公認競技会、承認競技会の格式および種目

1) 公認競技会の格式

(1) 国内格式競技会

国内格式競技会は、MFJ ライセンス所持者のみが参加することができ、この競技会運営には MFJ 国内競技規則が適用される。

(2) 国際格式競技会

国際格式競技会は、各国モーターサイクル協会（以下「FMN」という）が発行する FIM インターナショナルライセンスを所持する複数の FMN のライダーが参加することができ、この競技会は FIM 競技規則が適用される。

2) 格式の内訳およびその優先順位は、下記のとおりとする。

公 認 競 技 会			
優先順位	国 際 格 式	優先順位	国 内 格 式
1	世界選手権競技会 (FIM カップ含む)	6	全日本選手権競技会
2	国際選手権競技会 (パンパシフィック選手権含む)	7	特別競技会
3	日本 (MFJ) グランプリ	8	エリア選手権競技会
4	全日本選手権 (インターナショナル)	9	地方選手権競技会
5	国際競技会	10	県選手権競技会
		11	その他公認競技会
		12	承認競技会

3) 公認競技会の種目

公認競技会の種目は次のとおりとする。

- | | |
|------------|---------------------------|
| (1) ロードレース | (5) ドラッグレース |
| (2) モトクロス | (6) エンデューロ |
| (3) トライアル | (7) その他 MFJ スポーツ委員会で認める競技 |
| (4) スノーモビル | |

4) 承認競技会の種目は、競技会の格式が銘柄競技会およびそれ以外の競技会で次のとおりとする。

- | | |
|------------|---------------------------|
| (1) ロードレース | (5) エンデューロ |
| (2) モトクロス | (6) ミニバイクレース |
| (3) トライアル | (7) その他 MFJ スポーツ委員会で認める競技 |
| (4) スノーモビル | |

3 大会特別規則ならびに公式通知

1) 競技会は、本規則および各種目別細則に基づいて行われるほか、競技会の運営、競技の細部および指示は、大会ごとの特別規則、公示または公式通知によって行われる。

2) 大会特別規則および公式通知は、競技会主催者（以下「主催者」という）が制定または発行する。

(1) 大会特別規則には次の各項が示される。

- ① 競技会の名称・格式
- ② 競技会の組織
- ③ 主催者の名称、所在地および連絡先
- ④ 開催日時・場所
- ⑤ 競技の種目および内容
- ⑥ 参加資格
- ⑦ 出場申し込み受け場所
- ⑧ 出場申し込み期間
- ⑨ 出場料と MFJ 共済会掛金
- ⑩ 出走者の定員
- ⑪ 賞およびその詳細
- ⑫ その他

3) 公式通知には大会特別規則に規定し得なかった競技会運営の細部にわたる規則および大会特別規則発表後に生じた問題を処理するため、主催者は参加者に対し、公式通知をもって指示することができる。

ただし、その内容は大会特別規則および MFJ 国内競技規則に反するものであってはならない。

第2章

ライセンス

4 競技ライセンスとその種目

- 1) ライセンスには、競技ライセンス、Lライセンスおよびビットクルーライセンスとがあり、競技ライセンスは公認競技会に、Lライセンスは承認競技会に参加するために必要な証書である。
- 2) 競技ライセンスの種目と競技会の参加区分は、次のとおりとする。

●競技ライセンス別の種目

ロードレース	
クラス	国際
	国内
	フレッシュマン
	ジュニア

モトクロス/トライアル	
クラス	国際A級
	国際B級
	国内A級
	国内B級
	ジュニア

スノーモビル	
クラス	A級
	B級
	ジュニア

ドラッグレース	
クラス	A級
	B級

●競技ライセンス別の参加できる競技会

取得している ライセンス	参加できる 種目	競技ライセンス						
		ロードレース ライセンス	モトクロス ライセンス	トライアル ライセンス	スノーモビル ライセンス	ドラッグレース ライセンス	エンデューロ ライセンス	Lライセンス
公認 競技会	ロードレース	○	—	—	—	—	—	—
	モトクロス	—	○	—	—	—	—	—
	トライアル	—	—	○	—	—	—	—
	スノーモビル	—	—	—	○	—	—	—
	ドラッグレース	—	—	—	—	○	—	—
	エンデューロ	—	—	—	—	—	○	—
承認 競技会	ロードレース	○	—	—	—	—	—	—
	モトクロス	○	○	○	○	○	○	○
	トライアル	○	○	○	○	○	○	○
	エンデューロ	○	○	○	○	○	○	○
	ミニバイク	○	○	○	○	○	○	○
	スノーモビル	○	○	○	○	○	○	○
その他MFJス ポーツ委員会の 認める競技会	○	○	○	○	○	○	○	

※運転免許を受けている、ビットクルーライセンス(ライセンスに④と表記されているもの)所持者に限りライダーとして承認競技会に参加できる(Lライセンスと同じ)

'96ロードレースライセンス区分

ライセンス区分	参加可能格式
国際ライセンス (インターナショナル)	世界選手権 (参加資格は別途) 国際選手権 (参加資格は別途) 国内で行われるインターナショナル競技会 全日本選手権 (参加資格は別途) エリア選手権 その他承認・公認競技会
国内ライセンス (ナショナル)	エリア選手権/地方選手権 地方大会/その他承認・公認競技会
フレッシュマン	地方選手権/地方大会
ジュニア	その他承認・公認競技会

3) FIM ライセンス (MFJ を経由して取得することができる)

国内・国外における世界選手権競技会、国際競技会に参加することのできるライセンスの区分は、次のとおりである。

種目	競技会	必要なライセンス		申請資格
		シリーズ参加の場合	大会のみ参加(国外でも使用可)	
ロードレース	世界選手権 GP (グランプリ)	世界選手権 GP 用年間ライセンス	世界選手権 GP 用 I 大会ライセンス	ロードレース国際ライセンス所持者 最低年齢 ・ 125cc = 15歳 ・ 250cc = 16歳 ・ スーパーバイク、その他 = 18歳
	スーパーバイク世界選手権	SB 世界選手権用年間ライセンス	SB 世界選手権用 I 大会ライセンス	
	世界耐久選手権	世界耐久選手権用年間ライセンス	世界耐久選手権用 I 大会ライセンス	
	その他の国際競技会	FIM インターナショナルライセンス年間用 ※国内での国際競技会には必要ありません。	FIM インターナショナルライセンス I 大会用	
モトクロス	世界選手権 GP (グランプリ)	世界選手権 GP 用年間ライセンス	世界選手権 GP 用 I 大会ライセンス	モトクロス国際 A 級ライセンス所持者 最低年齢 1 世界選手権用 ① 125cc = 15歳 ② 250cc = 16歳 ③ その他 = 18歳 2 その他の国際競技会用 125cc、250cc = 14歳
	その他の国際競技会	FIM インターナショナルライセンス年間用	FIM インターナショナルライセンス I 大会用	
トライアル	世界選手権	世界選手権用年間ライセンス	世界選手権用 I 大会ライセンス	トライアル国際 A 級ライセンス所持者 運転免許証を受けていること
	その他の国際競技会	FIM インターナショナルライセンス年間用	FIM インターナショナルライセンス I 大会用	
エンデューロ	ISDE 等	ISDE 用ライセンス		MFJ モトクロスライセンス所持者でスポーツ委員会にて実績を認められた者
ラリーレイド	ラリーレイド	ラリーライセンス		

5 競技ライセンスの取得資格

競技ライセンス取得申請を行う者は、次の要件を満たしていなければならない。

- 1) 日本にスポーツ国籍を有すること。
- 2) 日本にスポーツ国籍を有しない者は、日本国内に3ヶ月以上継続的に居住した外国国籍の者が、その期間を公的に証明できる書類を提出でき、かつ本人が所属する国の FMN の承諾書を受けていること。ただし、本人が所属する国の FMN から FIM インターナショナルライセンスの発給を受けており、かつ FMN からの移籍許可を得、MFJ スポーツ委員会が認めた場合は、3ヶ月の居住証明は不要とする。

当該年度に MFJ から他国協会(FMN)に移籍した者は、当該年度内は MFJ ライセンスの再取得はできない。

- 3) 過去6ヶ月以内に重大な刑法上の犯罪により処罰された者でないこと。
- 4) 種目による条件

(1) モトクロス、トライアル、スノーモビル、エンデューロ、L ライセンス

- ① 運転免許 (小型特殊免許を除く・以下同じ) を受けていること。

- ② 運転免許を受けていない9歳以上の者は競技ライセンス講習会の修了証（発行後6ヶ月以内のものに限る・以下同じ）を受けていること。
- ③ 運転免許を受けることのできる身体的要件を備えていること。

(2) ロードレース

① 国内ライセンス

下記いずれかの要件を満たしていること。

- ① MFJの公認するロードレース国内ライセンス講習会の修了証を受けていること。
有効期間：受講日より6ヶ月
- ② MFJ国内公認以上のサーキットにおける3時間以上の走行証明書を受けていること（走行券やカードは不可）。
準国内公認サーキットにおける走行の場合は上記に加えて当該サーキットと所属ブロック支部の推薦を必要とする。
有効期間：発行日より1年間
- ③ フレッシュマンライセンスにて、公認・承認ロードレース大会に2回以上出走の実績があること。
準国内公認サーキットにおけるレースの場合は上記に加えて当該サーキットと所属ブロック支部の推薦を必要とする。
有効期間：前々年度（'94年1月1日以降）の大会より。
- ④ フレッシュマンライセンスにて、MFJ国内公認サーキット以上の施設で開催された公認・承認ロードレース大会にて下記の成績を得たもの。
準国内公認サーキットにおけるレースの場合は下記に加えて当該サーキットと所属ブロック支部の推薦を必要とする。
・予選出走台数が20台以上のレースで10位以内に入賞。
・予選出走台数が10台以上のレースで6位以内に入賞。
有効期間：前々年度（'94年1月1日以降）の大会より。

② フレッシュマンライセンス

下記いずれかの要件を満たしていること。

- ① MFJ国内公認以上の格式のサーキットにてサーキットライセンス講習会の修了証を受けていること。
- ② MFJ準国内公認サーキットにてサーキットライセンス講習会の修了証を受けたものは上記に加えて当該サーキットと所属ブロック支部の推薦を必要とする。
- ③ MFJの公認するフレッシュマンライセンス講習会を受講し修了証を得たもの。
- ④ 満16歳以上で運転免許証を有しないものはMFJの公認するロードレースジュニアライセンス講習会を受講し修了証を受けていること。

③ ジュニアライセンス

満12歳以上16歳未満の者はMFJの公認するロードレースジュニアライセンス講習会を受講し修了証を受けていること。

(3) ドラッグレース

運転免許を受けており、下記要件を満たしていること。
ドラッグレース講習会を受講し修了証を受けていること。

(4) ビットクルー

16歳以上であること。

※本規則でいう「スポーツ国籍」とは競技参加者が最後にライセンスを交付されたFIM加盟の各国モーターサイクル協会「FMN」の国籍とする。

※ライセンス取得後の昇格については別に定める MFJ ライセンス昇格・降格に関する規則による。(203頁参照)

6 競技ライセンスの有効期間

1. MFJ の発行するライセンスの有効期間は、交付された日から当該ライセンスに表示された年の12月31日までとする。
2. MFJ ライセンスは未更新期間がある場合、ライセンス区分が降格したり、再度走行証明を取得する等の条件が付される場合がある。詳細については別に定める MFJ ライセンス昇格・降格に関する規則による。(203頁参照)

7 競技ライセンスの効力の失効等

- 1) 次の者のライセンスの効力は失効し、または停止される。
 - (1) 日本のスポーツ国籍を失った者。
 - (2) 運転免許の効力を失った者、または停止されている者。
 - (3) 氏名・年齢等を偽り、不正にライセンスを受けた者。
 - (4) MFJ の認めない競技会に出場した者。
 - (5) 前条の有効期限を経過し、継続申請をしなかった者。
 - (6) MFJ スポーツ委員会の裁定により、停止処分を受けた者（スポーツ委員会の定める期間）。
 - (7) 海外での競技会への参加に関しては、事前に MFJ に報告し、許可を得なければならない。(相手国協会に対し MFJ より出場許可を文書で発行する)

8 競技ライセンス資格の昇格および降格

- 1) 競技ライセンスの昇格および降格については、別に定める MFJ ライセンス昇格・降格に関する規則による (203頁参照)。

第3章

競技会

9 競技参加者

- 1) MFJの公認または承認する競技会に参加することのできる者は、次のとおりとする。
 - (1) ライダー
 - ① 当該競技に必要なMFJ競技ライセンスを受け、参加申請した者(効力の停止中の者を除く)で当該競技に必要な身体的条件を備えていること。
 - ② 当該競技の参加に必要な諸手続きを行なっているもの。
 - ③ 満20歳未満の者は、親権者の承諾書を提出したもの。
 - ④ 負傷しているライダーは、主催者の指定する医師の競技参加の承諾を得ているもの。
 - (2) ピットクルー
 - ① 当該競技に必要なMFJピットクルーライセンスを受けて参加申請をした者。
 - ② 当該競技の参加に必要な諸手続きを行なっているもの。
 - (3) エントラント
ここで規定するエントラントとは下記の者で競技参加申請を行なった団体または個人を言う。
 - ① MFJ公認クラブ(別に定める「MFJ公認クラブ等の名称に関する規程」(209頁)参照)
 - ② MFJライセンス取得者
 - ③ MFJメーカーライセンスを所有している車両メーカー
 - ④ MFJ賛助会員ライセンスを所有しているコンストラクター、部品関連メーカー※ エントラント資格を有し、エントリー用紙により参加申請をすることによりMFJ国内競技規則に定められている抗議者の資格が得られる。
- 2) 主催者および競技役員は、競技会当日随時ライセンスの提示を求めることにより、ライダーおよびピットクルーの資格要件を確かめることができ、もし本規則に違反している者に対しては、所定の罰則が適用される。

10 競技参加者の遵守事項

- 1) 競技参加者は、次の事項を守らなければならない。
 - (1) 競技会中は、MFJ国内競技規則に従って行動し、参加者は、すべての行動に対して責任を持たなければならない。
 - (2) 国内競技規則および競技管理上のあらゆる規定および競技役員の指示に従い、かつレース場以外では交通規則を守らなければならない。
 - (3) 常にスポーツマンとしての態度を保ち、下品でいやしい言葉や言動は厳に慎まなければならない。

- (4) 競技に関する業務についているときは、アルコール類あるいは薬品（興奮剤、麻薬等）によって精神状態をつくろってはならない。
 - (5) 競技会中は、参加するためのライセンスを必ず携帯していなければならない。
 - (6) 競技会に参加することが認められた者が出場しない場合（競技現場での不参加を含む）は、正当な理由をもって、その旨主催者に通告しなければならない。この通知を怠るか、または欠場の理由が正当でない場合、主催者は速やかに MFJ スポーツ委員会に報告し、ペナルティを求めることができる。
 - (7) ライダーまたはエントラントが集団で競技または予選を欠場した場合、または、そのような働きかけをした場合、主催者は速やかに MFJ スポーツ委員会に報告し、ペナルティを求めることができる。
- 2) 特にライダーは、上記のほか次の事項を守らなければならない。
- (1) 必要以外にハンドルから手を離したり、足をフットレストから離し、または外につき出したりするような危険な姿勢をとってはならない。
 - (2) 他のライダーの走行を妨害するような走りかたをしてはならない。
 - (3) 競技中（公式練習も含む）は、他人の迷惑、または危険を伴うような行為をしてはならない。
 - (4) 車両は、それ自体が持つ動力およびライダーの筋力、または重力などの自然現象以外の方法で、走ったり、加速したりしてはならない。
 - (5) 他の者の援助を一切受けてはならない。
他の者による援助とは、そのレースに参加しているライダー、決められた位置についている担当のメカニックおよび業務執行中の競技役員以外の者が車両に触れることをいう。
なお、援助に関する細部については、別に定める競技種目別細則による。
 - (6) 競技中の車両には、いかなる者も同乗させてはならない。
 - (7) ライダーは、コース（ラン・オフ・エリアを含む）にある間は、MFJ が公認したヘルメットを装着しなければならない。
 - (8) ライダーは競技中、アルコール類、または薬品等（興奮剤、麻薬等）によって精神状態をつくろってはならない。
 - (9) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し医師団長もしくは指定医師による診断を受けさせ、競技出場の上の理由による可否を最終的に決定することができる。

11 ライダーの装備(MFJ 公認ヘルメット及びレーシングスーツ)

- 1) ライダーの装備は、次のとおりとする。
 - (1) ヘルメット
 - ① 競技に使用するヘルメットは MFJ が公認したものでなければならない。
 - ② MFJ 公認ヘルメットには、規定の認証マークが貼付されていなければならない。
 - ③ MFJ が公認するヘルメットの規格については、各競技種目別細則により定める。
なお、国際競技会においては FIM で認められた各 FMN 規格のマークが前項のマークとみなされる。
 - ④ 競技会の車両検査の際、ヘルメット検査が行われ、MFJ が公認したものであっても、損傷しているなど著しくその機能を失っていると認められるものは、ライダーの安全上からその使用を禁止する。
 - ⑤ MFJ 公認ヘルメットで、その認証マークの貼付されていないヘルメットについては、その場で特別検査を受け合格すれば使用することができる。
この場合は、別に定める特別検査料（各競技種目別細則による）を支払わなければな

らない。

(2) 服装

- ① ロードレースのレーシングスーツについては、MFJ 公認のものでなければならない。
- ② ライダーの服装は、競技中ライダーの身体の安全を確保し、運転を妨げるものであってはならない。
- ③ その他細部については、各競技種目別細則により定める。

12 出場車両

- 1) 競技に出場する車両のクラス区分等は、各競技種目別細則の定めるところによる。
- 2) 車両は細則に示す「出場車両」と「基本仕様」に合致し、かつ大会特別規則の条件を満たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。
- 3) 大会審査委員会により危険であると判断された車両は、理由のいかんを問わず競技に使用することはできない。

13 MFJ 公認車両および公認部品・用品

- 1) MFJ 公認車両および公認部品・用品については、「MFJ 車両・部品公認ならびに承認に関する規則」の定めるところによる。
 なお、公認された車両および部品・用品については、MFJ の発行する月刊「ライディング」誌、その他により公示される。
- 2) 公認は、MFJ 技術委員会において審査し、承認された日を基準にして一定の告知期間の後に正式に発効する。告知期間は、MFJ 技術規則第 6 章公認制度 (138頁) を参照のこと。
- 3) 車両は、当該競技会公式車検日時点で公認が発効されている車両でなければ出場申し込みをすることができない。

14 燃料およびオイル

- 1) 競技に使用する燃料・オイル等については別に定める MFJ 技術規則による。
- 2) その他燃料については、次のとおりとする。
 - (1) ガソリンおよびオイルは、オクタン価や燃焼効率を高めるような添加剤、あるいは起爆剤を加えてはならない。
 - (2) ガソリンにオイルを混合する必要があるときは、安全を確認して作業しなければならない。
 - (3) ガソリンおよびオイルを入れる容器とその取扱いは、消防法に適合する金属製の容器を使用すること。
- 3) 世界選手権に関しては FIM 規則が適用される。

15 競技出場申し込み

- 1) 競技会への出場の申し込みは、次のとおりとする。
 - (1) 主催者が準備した用紙の記載事項のすべてを記入し、この競技規則を厳守することを誓約しなければならない (エントリー時で当該ライセンスを取得していること)。
 - ① 車両の登録はエントリー用紙に下記事項を記入すること。参加受理書発送後記入事項に変更がある場合は、選手受付時に車両変更手続きを行わなければならない。
 - Ⓐ 銘柄
 - Ⓑ 車名
 - Ⓒ 年式

- ④ フレーム打刻型式頭番号
 - ⑤ エンジン打刻型式頭番号
- (2) 主催者は、エントラント、ライダーおよびピットクルーのいずれに対しても、その理由を明らかにすることなく申し込みを拒否、または無効とする権限を有する。
 - (3) 申し込み期間、申し込み場所、その他の詳細については、当該競技主催者の定める大会特別規則に示される。
- 2) 競技出走者数または出場申し込み者数の定員は、大会特別規則に示される。
- なお、出場申し込み者数が10名に満たない場合は、そのクラスの競技会を中止することがある。

16 出場料およびMFJ 共済会掛金

- 1) エントラントまたはライダーは、出場申し込みのとき、大会特別規則に明示する出場料を支払わなければならない。
- 2) ライダーは、出場申し込みのときMFJ 共済会掛金を主催者に支払わなければならない。主催者は、その共済会掛金をMFJ 共済会に納める。(別に定めるMFJ 共済会規則による)
- 3) いったん主催者に受理された出場料および共済会掛金は、競技会の延期および中止等に合致する以外は払い戻しされない。

17 ライダーおよび車両の変更

- 1) エントリーされたライダーの変更は認められない。
- 2) 登録された車両の変更は、原則として認められない。変更する必要がある場合は、所定の書式に従って車両の変更申請を行い、競技監督がこれを認めた場合に限り、車両の変更が認められる。
車両変更手数料は5,000円とする。
- (1) 公式予選終了後、安全上の理由により、フレームボディおよびクランクケースなどを交換する必要がある場合は、競技監督に申告し、元の部品を指示して、許可を受けなければならない。
- (2) 公式車検終了後ライダー間でマシンを交換することは禁止される。
- (3) 紛争に際して製造メーカーについての立証の責任は、参加者側にあるものとする。

18 車両検査

- 1) 競技車両は、本規則および各競技種目別細則の定めるところにより、車両検査を受けなければならない。車両検査の時刻、および場所は公式通知により示される。
- 2) 車両は、競技直前に車両検査を受けたままの状態に保たれているかどうかのチェックを受けなければならない(スタート前チェック)。チェックの時刻およびチェックの場所は、公式通知により示される。
- 3) ライダーが車両仕様申告を行う場合は、車両検査時に大会事務局より配布された車両仕様書をもって申請することができる。

19 競技

- 1) 出場者数が多い場合は、予選またはタイムトライアルによって決勝競技出場者を決定することがある。その詳細については、各競技種目別細則および大会特別規則の定めるところによる。
- 2) スタートの方法は各種目細則および大会特別規則の定めるところによる。

- 3) 競技中競技役員が合図旗（シグナル旗）を示した場合、各ライダーはただちにそれに従わなければならない。
- 4) 合図旗（シグナル旗）とその意味については、各競技種目別細則の定めるところによる。
- 5) 停止
 - (1) 競技中、コース内で停止する場合には、ライダーはただちに車両をコース脇によせ、他のライダーの走行の邪魔にならないように十分注意しなければならない。
 - (2) 競技中、車両をコースの進行方向と逆方向に移動してはならない。ただし、競技役員の指示による場合はこの限りではない。
 - (3) 事故または車両故障などの理由によってリタイヤ（中途退場）する場合は、その地点からもっとも近い競技役員（コース審判）に報告し、用意してある用紙によってリタイヤ届けを提出しなければならない。
 - (4) ライダーは、リタイヤ届けを提出した競技役員に車両をあずけて退場しなければならない。
 - (5) ライダーは、停止車両をその競技が終了するまで、競技役員の管理下におかななければならない。
ただし、その競技に支障のない地点まで、車両を移動させることを競技役員（コース審判）から指示された場合には、これに従わなければならない。
- 6) ゴールライン通過の際、ライダーは、マシンと離れた状態にあってはならない。
- 7) 競技の終了
競技の終了は、チェッカー旗によりトップ走者がゴールしたのち、細則および大会特別規則に示す時間を経過した時点である。

20 優勝者等の決定

優勝者、入賞者および完走者の定義については、それぞれ種目の細則の定めるところによる。

21 入賞

入賞者は、原則として6位までとし、その詳細は大会特別規則に示される。
また賞は主催者（大会事務局）から交付されるが、これの交付時間等詳細は大会特別規則により示される。

22 入賞者の車両検査

- 1) 競技終了後、原則として1位から6位までの車両は、レース終了後、ただちに車両保管区域に確保され、暫定結果発表後30分間保管され、必要に応じて検査される。
- 2) その他、種目別細則ならびに大会特別規則による。

23 競技結果および記録の公表

- 1) 競技終了後、暫定結果の公表を行う。
- 2) 競技の正式結果は、暫定結果発表後3時間以内に公表される。
- 3) 参加者は、公表された競技の正式結果に対して抗議することはできない。

24 公式得点（ポイント）

- 1) 公認競技会における成績により、MFJから公式に与えられる得点（ポイント）は、下記のとおりとし、これの詳細は、別に定める「MFJライセンス昇格・降格に関する規則」による。

① 全日本選手権・エリア選手権および地方選手権競技会

台数 順位	25以上	22-24	20-21	18-19	16-17	14-15	12-13	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	不成立
2位	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	
3位	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15		
4位	13	13	13	13	13	13	13	13	13			
5位	11	11	11	11	11	11	11	11				
6位	10	10	10	10	10	10	10					
7位	9	9	9	9	9	9						
8位	8	8	8	8	8							
9位	7	7	7	7								
10位	6	6	6									
11位	5	5										
12位	4	4										
13位	3											
14位	2											
15位	1											

② 県大会その他

予選出場台数（トライアルは除く）						
台数 順位	12台以上	10~11	8~9	6~7	5	0~4
1位	10	10	10	10	10	不成立
2位	9	9	9	9	9	
3位	8	8	8	8		
4位	7	7	7	7		
5位	6	6	6			
6位	5	5	5			
7位	4	4				
8位	3	3				
9位	2					
10位	1					

25 競技会の延期および中止等

- 1) 競技は、天候・異変その他安全確保に支障をきたすおそれがある等、特別の理由がある場合にかぎり、競技の一部を打ち切りまたは中止することができる。
- 2) 前項の判断決定は、大会審査委員会が行う。
- 3) すべての関係者は、大会審査委員会の決定した競技の一部打ち切りまたは中止に従わなければならない。
- 4) 原則として中止されたレースは別の日程で再レースを行なわない。
- 5) レースの短縮及び打ち切り
 - (1) 決勝レース出走前の短縮
 - ① 出走前にレース周回数・時間を短縮する場合は、原則として本来のレースの2/3以上とする。(但し、モトクロスの場合+2周は考慮しない)
 - ② 2/3以上に短縮し参加者に発表した後にさらに状況が悪化し、短縮が必要となった場合さらにその2/3以上まで短縮することが出来る。
 - ③ 上記を上回る短縮の場合は選手の得点(ポイント)は半分とする。
 - ④ 上記の短縮の決定は大会審査委員会が行い、参加者にこのことが速やかに通知されなければならない。
 - (2) 決勝レース出走後の短縮・打ち切り
 - ① トップ走者(トライアルの場合は、選手の95%以上)が定められた周回数/時間/セクション数の2/3を完走しないうちにレースを打ち切った場合。(但し、モトクロスの場合+2周は考慮しない)
 - Ⓐ ロードレース：走行が2周以下=中止・ノーポイント
走行が3周以上=再スタートが不可能な場合は半分の得点(ポイント)
 - Ⓑ トライアル：選手の95%以上が終了したセクション数が、全セクションの25%未満のクラス=中止・ノーポイント
選手の95%以上が終了したセクション数が、全セクションの25%以上のクラス=半分のポイント

◎ モトクロス他：中止・ノーポイント

- 6) トップ走者（トライアルの場合は、選手の95%以上）が決められた周回数（または時間）の2/3以上を完走して競技を打ち切った場合は、大会審査委員会は、その競技の判定結果にその理由を付して発表するものとする。
- 7) 競技の中止と出場料等の返却は、下記表の通りとする。参加者はその他の一切の損害賠償を主催者に請求することは出来ない。

事 例	出 場 料	共 済 会 掛 金
予選が1回も行われず中止	選手受付した全員に返却	共済会の適用となる練習走行が行なわれていなければ返却する
予選は行われ、決勝グリッド発表後中止	決勝進出者のみ返却	返却しない
決勝スタートが行われたのち中止	返却しない	返却しない

- 8) 大会審査委員会が本項に関して下した裁定に対しては、何人も抗議することはできない。
※上記の2/3またはパーセント表示で端数が出る場合、小数点以下は切り捨てる。

26 損害に対する責任

- 1) 競技中、車両およびその付属品等が破損した場合、その責任は参加者が負わなければならない。ただし、車両が車検長または大会審査委員会によって保管されている期間中に生じたものを除く。
車検長または大会審査委員会は、車両を保管している期間中に、これらの車両がなんらかの理由によって破損した場合には、1台当たり10万円を最高限度額として、その所有者に補償する。
- 2) 競技会開催期間中、またはその前後に起こされた傷害は、参加者自ら責任を負うものとする。
- 3) 競技役員は、その職務に最善をつくすが、仮に競技役員行為によって起きたエントラント、ライダー、ピットクルーおよび車両等の損害に対しても、競技役員はいつさいの責任を負わない。

27 抗議

- 1) 抗議は、暫定結果発表後30分以内に当該ライダー及びエントラント代表者だけが行うことができる。抗議しようとする時の手続きならびにこれの措置は、次のとおりとする。
- (1) 大会事務局に備えつけられた抗議申し立て書に記載し、1項目ごとに抗議保証金を添えて大会事務局に提出すること。
- (2) 正式の手続きにより提出された抗議申し立て書のみが受け入れられ、大会審査委員会において審議裁定される。
- (3) 大会審査委員会は、証人を必要と認めた場合は証人をたて、その証言を求め、十分に実情を調査したうえで裁定を下すものとする。
- (4) 大会審査委員会が下した裁定に対しては、いつさい抗議することはできない。
- (5) 抗議保証金は、抗議が成立した場合のみ返還される。
抗議保証金は、1項目につき10,000円とする。ガソリンに関する抗議保証金は100,000円とする。

28 控訴権

- 1) すべての当該競技参加者（ライダーまたはエントラント代表者）は、競技会審査委員会が宣告した罰則または裁定に対し、本協会に控訴する権利を有するものとする。
- 2) 裁定機関

- ・大会審査委員会決定に関する控訴に関してはスポーツ委員会にて裁定される。
 - ・スポーツ委員会決定を最終とする。
 - ・スポーツ委員会が証人を必要と認めた場合は証人をたて、その証言を求め、充分に実情を調査した上で裁定を下すものとする。
- 3) 控訴の期限
大会審査委員会決定に対する控訴：通知されてから5日間
- 4) 控訴保証金
控訴保証金は5万円とする。
裁定機関は事情に応じて保証金の返還または没収について、または経費処理について指示する。
- 5) 控訴が受理される為に必要な手続き
- ・期日までに控訴文書と控訴保証金がMFJ事務局まで提出されなければならない。
 - ・文書には訴え出る決定の詳細・理由が的確に述べられていなければならない。

29 違反行為に対する罰則

- 1) 大会中(競技中も含む)における本規則または大会特別規則に違反する行為に対しては、その軽重によって大会審査委員会ならびに競技監督の権限で下記の罰則を科することができる。

軽重 順位	罰 則	内 容	決定機関
1	訓 戒	文書による注意……始末書を提出	大会審査委員会
2	罰 金	現金100,000円以下	大会審査委員会
3	タイム/ポイント/ 周回数に対する罰則	当該ライダーの実際の成績に影響を及ぼすタイム/ポイント/周回数の加算・減算のペナルティ	大会審査委員会
4	失 格	大会、イベント、レースまたは結果から失格となる	大会審査委員会
5	資格停止	一定期間競技会に参加する資格を停止する	スポーツ委員会
6	資格剥奪	競技会に参加する資格を剥奪する	スポーツ委員会

※罰金はMFJにて保管され、安全対策等に使用される。

※罰則の詳細はリザルトに居示される場合がある。

違反の事実認定は、競技監督の判断を優先するが、罰則の量刑ならびに適用は、大会審査委員会の決定によるものとする。

- 2) ライセンスについての罰則は、大会審査委員会の報告に基づき、MFJスポーツ委員会によって、さらに事後の出場停止、資格停止までおよびかどうか審査裁定され、30日以内に通告される。

30 大会審査委員会の権限

大会審査委員会は、本規則ならびにその細則に基づき、当該競技会において最終的な権限を行使することができる。

附 則

1. 本規則は、1996年1月1日から施行する。

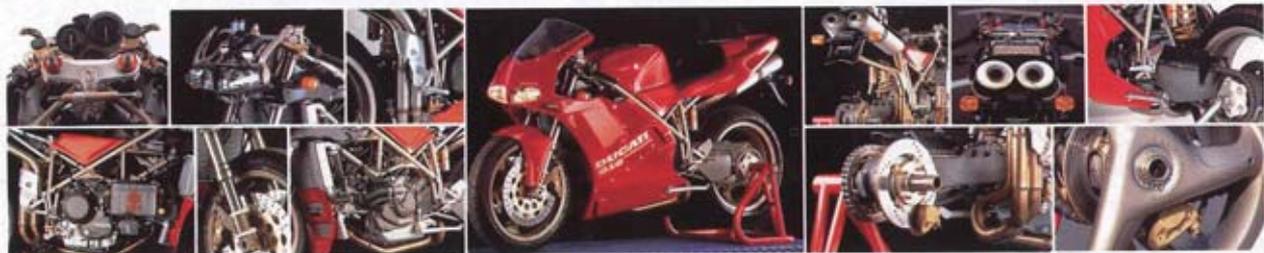


DUCATI



916

SUPERBIKE WORLD CHAMPION



Engine: Twin-cylinder "L" 90° engine 4 strokes

Max. horse power: 114 bhp at 9000 r.p.m.

Frame: Steel trellis using engine as stressed member

Front suspension: Showa fork "Upside-down" fully adjustable

Wheelbase: 1410 mm

Cooling system: with fluid
Displacement: 916 cc

Fuel system: Weber electronic indirect type

Castor: adjustable

Rear suspension: progressive type with Showa shock absorber, fully adjustable Single-side swingarm

Dry weight: 195 Kg

The above specifications are subject to modification without notice

Trail: 97 mm

ドゥカティ専用オイル



AGIP "4T DUCATI"

- Semi Synthetic
- Multi-grade Oil
- SAE 10W-40 API SG, CCMC C4
- 1L ¥2,200 (without TAX)



AGIP "4T SUPER DUCATI"

- Full Synthetic
- Multi-grade Oil
- SAE 10W-50 API SG, CCMC C4
- 1L ¥3,800 (without TAX)



カシバグループモーターサイクル輸入総代理店

株式会社 村山モータース

営業時間 AM9:00~PM6:00 定休日 全曜日、第2、第4土曜日、夜祭日

本社 〒151 東京都渋谷区広尾2-7-8
TEL.03(3376)0181 FAX.03(3375)6666

八王子営業所 〒182 八王子市宇津木町729-1
TEL.0426(91)6511 FAX.0426(91)0777

横浜営業所 〒223 横浜市港南区日野9-1-2
TEL.045(841)0161 FAX.045(841)0183

 Superiorita

地球創生期の贈り物。

その山々には多くのライダーの物語が刻まれてきた
太古の昔、地球創生期のダイナミックな

造山活動により形成されたヨーロッパの屋根。

悠久の時を経て、その神聖な地、イタリアアルプス、ドロミテ地方に
産する良質なマグネシウムを原料とし、このホイールは生まれる。

マルケジーニ™

頂上を制したライダー達が選ぶ、頂上を制したホイール。

今日も、アルプスを越えるライダー達のエキゾーストノートが
この地に新たな物語を刻んでゆく。



CORTINA D'AMPEZZO DOLOMITI-ITALY



M5 RUT



M3 RUT



GORA

ROUTE marchesini 日本総発売元
株式会社ジーラ 二輪事業部

〒488 愛知県尾張旭市東本地ヶ原町3丁目20番地 TEL:0561-52-4500 FAX:0561-52-4454



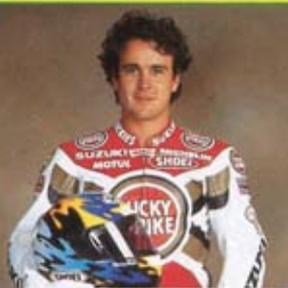
資料請求

製品に関する詳しい資料を用意いたしております。RACING / STRADA (ロードホイール)の区分を記入の上、ハガキまたはFAXにてご請求ください。



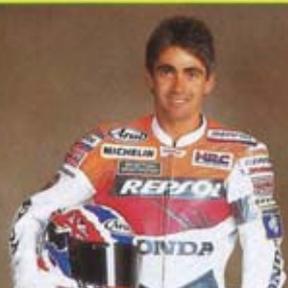
伊藤 真一

- 1966年12月7日生まれ ● 宮城県出身
- 戦績
 - 86年日本GPデビュー(500cc)
 - WGP最高ランキング 83年GP1クラス7位
 - WGP最高位: 84年デュークGP2位
 - 90年全日本500ccクラス チャンピオン
 - 95年鈴鹿3戦2位
 - WGP500ccクラスランキング5位



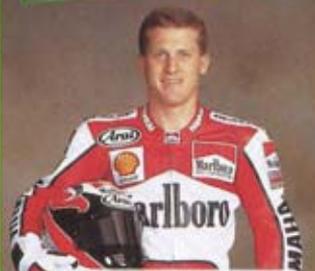
ダリル・ピーティ

- 1970年9月26日生まれ ● オーストラリア出身
- 戦績
 - 89年WGPデビュー(250cc)
 - 92年全日本500ccクラス チャンピオン
 - 92年鈴鹿耐久優勝 (with W-ガードナー)
 - 95年WGP500ccクラス日本GP鈴鹿優勝
 - ランキング2位



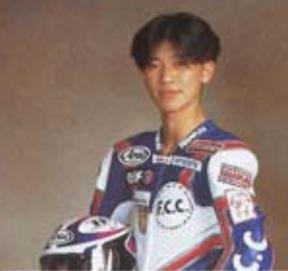
マイケル・ドゥーバン

- 1965年6月4日生まれ ● オーストラリア出身
- 戦績
 - 89年WGPデビュー(500cc)
 - WGP初勝利: 90年ハンガリーGP
 - 91年鈴鹿耐久優勝 (with W-ガードナー)
 - 94, 95年WGP500ccクラスチャンピオン



ケネー・ロバーツJr.

- 1973年7月25日生まれ ● アメリカ出身
- 戦績
 - 91年WERA250 ランキング2位
 - 92年AMA250 GPランキング4位
 - 93年オープン・ドック250 第3戦優勝
 - 94年WGPデビュー(250cc)
 - 95年WGP250ccクラスランキング8位



辻村 猛

- 1974年7月4日生まれ ● 大阪府出身
- 戦績
 - 93年オーストラリアGPデビュー(125cc)
 - WGP初勝利: 93年オーストラリアGP
 - WGP最高ランキング: 94年WGP125ccクラス3位
 - 94年WGP優勝回数: 4回
 - 95年WGP250ccクラス
 - ランキング22位



原田 哲也

- 1970年6月14日生まれ ● 千葉県出身
- 戦績
 - 90年日本GPデビュー(250cc)
 - WGP初勝利: 83年オーストラリアGP
 - WGP優勝回数: 5回
 - 83年WGP250ccクラス チャンピオン
 - 95年南クラスランキング2位

チャンピオンはいつも
NANKAJ!
WGP NANKAJ! 契約ライダー
プロファイナル

武 装 革 命

1995年6月22日、世界GP第6戦、オランダ、アッセン、250ccクラスオリアファイ。1周目のウォームアップを終え、ペースを上げた2周目、最も速度の乗る高速右コーナーに差し掛かった。

そのとき、250km/h以上の高速でフロントがやや切れ込んだかに見えたTZMIは一瞬にして横倒しになり、原田哲也はコース脇のグリーンを滑り、クラッシュパッドに激突。更にそれを突き飛ばし、100数十メートル滑走してようやく停まった。倒れたまま動かない原田の姿がモニターに映し出され、尋常ではない事態にサーキットは凍り付いた。

ところが、翌日の朝のフリー走行に、原田はマシンのにまたがって登場した。負傷箇所は左腕尺骨のヒビと背中への打撲のみで大きな骨折はもちろん、擦過傷さえ負わなかった。先日、南海部品本社を訪れた原田選手はこうコメントした。

「VTRで転倒シーンを見たけど、6速全開のクラッシュであの転び方じゃあ死んじやってもおかしく無いですよ。少々のケガはしかたないけど、本当に助かりましたよ。」

ナンカイレザースーツの開発には、こうした世界のトップライダーたちの命を掛けた実戦からのデータがフィードバックされている。

一般市販用のレザースーツも、革質・パターン・裁断・縫製の総てを契約ライダーたちのレザースーツを製作するベテランの職人たちが仕上げ、ユーザーの手もとに届けられる。

それがナンカイレザースーツの安全性を保证するレーシングテクノロジーなのだ。

その時、原田を守ったスーツ



MOTORCYCLE TOP FASHION LEADER
NANKAJ
FOR GOOD MOTORCYCLE LIFE

FOR GOOD MOTORCYCLE LIFE
南海部品株式会社

〒530 大阪市北区曽根崎新地2-6-28 ☎(06)344-1581(代)

素肌のような軽さ。
 コンマ1秒を考えた動きやすさ。
 鋼鉄のような安全性。
 それが、クシタニのスーツです。

PURE PRINT 才色兼備なスーツ ……ビュアプリント技法。

クシタニはレザーに、「ビュアプリント技法」を開発し、採用しています。これにより、従来では考えられないアーティスティックなカラーリング・デザインが可能になり、しかも、1枚革で構成されるので、軽く、身体に馴染みやすく、より優れた運動性に大きく貢献しています。



PUNCHING クシタニだけの快適仕様 ……特許パンチング。

特許「パンチング・メッシュ」(PAT.1810469)と、「パンチング・シャーリング」(PAT.1810470)を採用。従来にない快適にして爽快な走りを実現しています。



KI-XM PATTERN 幅広いライティングに対応 ……Xパターン。

クシタニ独自のXパターン(特許登録No.905216)を採用。太腿から腰にかけての文字通りのXパターンで、素材はケブラーニット。身体の動きをよりスムーズにし、様々なライティングフォームに無理なく対応します。



KEVLAR KNIT より自由なアクションを創出 ……ケブラーニット。

ムービング要素に、ケブラーニットを採用。従来のジャージ素材やカットینگ・シャーリングでは得られなかった高い運動性と安全性を実現しています。



KI-114XX ¥140,000
 コスミックスーツ

無限の宇宙をイメージしたニュースーツ、プリント技法を存分に生かした斬新なデザインです。●素材:(表)牛革・ケブラーニット(裏)ポリエステル ●カラー:ホワイト/レッド、ホワイト/ブルー ●サイズ:M、L、LL



安全の世界を創造します。
 株式会社クシタニ
 静岡県浜松市三島町231 Y 430
 ☎053(44)2251

SHOP LINE-UP

- 福岡店 ☎077-739-3663
- 那覇店 ☎0249-22-5184
- 高崎店 ☎0273-65-2185
- 那覇店 ☎0485-24-2264
- 大宮店 ☎049-849-2814
- 川口店 ☎048-255-9290
- 人間店 ☎0479-32-7204
- 千葉店 ☎043-242-8363
- 工業店 ☎03-3636-1681
- 群馬店 ☎03-3931-5010
- 静岡市店 ☎053-3708-3551

- 甲中店 ☎0423-69-3599
- 横浜店 ☎045-641-9445
- 茅ヶ崎店 ☎0467-87-6890
- 千葉店 ☎0463-21-7880
- 津田店 ☎053-456-5418
- 名古屋店 ☎052-522-0169
- 名古屋東店 ☎054-82-3031
- 静岡店 ☎053-79-0186
- 京都店 ☎075-682-5370
- 東屋川店 ☎0720-25-1199

- 買取店 ☎0727-22-4105
- 堺店 ☎0722-53-8231
- 西宮店 ☎0798-73-6641
- 神戸店 ☎078-871-7915
- 姫路店 ☎0794-47-6333
- 岡山店 ☎086-225-8330
- 広島店 ☎082-230-9012
- 北九州店 ☎093-921-3014
- 福岡店 ☎092-504-1711
- 熊本店 ☎096-378-1752

セーフティキアテ快速ライティング JMGCA
 全国二輪車用品流通協会

SUPER NAKED

ガンバレ!! 未来のトップライダー。

GPmini



SUPER BIKERS in SUZUKA

世界のトップライダーたちが、
熱いドラマを繰り広げている鈴鹿サーキット。
しかしその一方で、モータースポーツ界に新風を吹き込む
ライダーの誕生を願い、ライセンスから参加できる
GPminiやスーパーバイカーズなど、
年少者や初心者のためのレースも数多く開催しています。
ガンバレ!未来のトップライダーたち。
鈴鹿サーキットは君たちの夢を応援します。

'96 鈴鹿サーキットロードレース暫定カレンダー (変更される場合がありますのでご注意ください)

選手権	日程	大会名	世界選手権(○)/全日本選手権(□)					アジア選手権			地方選手権			承認競技会			主催者
			国	国内	国内	国内	国内	国内	国内	国内	国内	国内	国内	国内	国内		
1月6-7日	鈴鹿サンデーロードレース①	西	GP500	S B	GP250	GP125	GP250	GP125	GP250	GP125	SP400	SP250	SP125	SP50	SP25	SP12.5	鈴鹿サーキット
1月21日	ブロンズカップ 鈴鹿ロードレース①	南															ミスターヒロ
2月24-25日	鈴鹿サンデーロードレース②	西															鈴鹿サーキット
3月10日	鈴鹿サンデーロードレース③	南															テクニカルスポーツ
3月16-17日	鈴鹿スーパーバイク100Miles(11回)	全	○	○	○	○											鈴鹿サーキット
4月13-14日	鈴鹿サンデーロードレース④	全															鈴鹿サーキット
4月19-20-21日	マールボログランプリ・ジャパン	全	☆		☆	☆											鈴鹿サーキット
6月2日	ブロンズカップ 鈴鹿ロードレース②	南															ミスターヒロ
6月8-9日	鈴鹿スーパーバイク200km(4回)	全	○	○	○	○											鈴鹿サーキット
6月16日	鈴鹿サンデーロードレース⑦	南															テクニカルスポーツ
7月19-20-21日	4耐+NK4耐①	全									○4耐(速走)				●NK4耐		鈴鹿サーキット
7月25-28日	*コカ・コーラ鈴鹿5時間耐久ロードレース	全	☆														鈴鹿サーキット
9月1日	鈴鹿サンデーロードレース⑤	南															テクニカルスポーツ
9月7-8日	鈴鹿スーパーバイク2ヒートレース(8回)	全	○	○	○	○											鈴鹿サーキット
10月12-13日	鈴鹿サンデーロードレース⑧「ストリートバイクフェスタ」	全															鈴鹿サーキット
10月27日	ブロンズカップ 鈴鹿ロードレース③	南															ミスターヒロ
11月17日	鈴鹿サンデーロードレース⑥(GPmini耐)	南															テクニカルスポーツ
12月7-8日	鈴鹿サンデーチャンピオンロードレース①	全															鈴鹿サーキット
開催回数			18	1	1+3	1+3	1+3	3	3	5+1	6+3	6+3	5+3	6	7+3	6	6

●スーパーNK= SUPER NAKEDは、従来のNK1とNK41による混走レースで、妻コースにて開催されます。 ●NK4耐は国際(ハンディキャップが課せられる)・国内ライセンス保持者によるNK4レースです。 ●○=昇格ポイント対象種目 ●●=特別昇格可能種目 ●■=ブロンズはサンデー予選不通過者対象のレースです。 ●全日本SBIについては、8耐出場を考慮し、年間資格者以外からの参加申込みも原則的に受理します。

'95-'96 スーパーバイカーズ in SUZUKA カレンダー

第1戦	日程	ライセンス以上			
		70cc以下	70cc以上-4	Mini	Open
第1戦	'95年11月19日(日)	●	●	●	●
第2戦	'95年12月24日(日)	●	●	●	●
第3戦	'96年1月15日(祝)	●	●	●	●
第4戦	'96年2月12日(祭休)	●	●	●	●

●主催者/参加申込先:Jレーシング

主催者連絡先/参加申込先

- テクニカルスポーツ 〒513 三重県鈴鹿市住吉町6786 TEL.0593-78-1455
- チームミスターヒロ 〒580 大阪府松原市立部2丁目499-1 TEL.0723-36-1550
- Jレーシング 〒468 名古屋市天白区植田西3丁目901 TEL.052-802-0117
- 鈴鹿サーキット/SMSC事務局 〒510-88 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL.0593-78-3405

「世界へ挑戦するための切符。SMSCライセンス」



鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)では鈴鹿サーキット(国際レーシングコース/南コース)でスポーツ走行をお楽しみいただくための会員を募集中です。8耐+WGPが開催される世界最高峰のコースに君もチャレンジしてみませんか? 明日のGPライダーになるための第1歩。それがSMSCのライセンスです。

スポーツ走行ライセンス

- 2輪会員(国際レーシングコース/南コース)
- ミニバイク会員(南コース)

講習日:フルコースレースのない日曜日(あらかじめTELにてご確認ください)

スポーツ走行をアシストされる方のための「ピットクルーバスポート会員」も募集しております。(講習不要・毎日受付中)

会員特典

- ★鈴鹿サーキット開催レース入場無料(世界選手権レース除く)
- ★鈴鹿サーキット/多摩テックの年間入場無料
- ★鈴鹿サーキットホテル宿泊割引
- ★SMSCオリジナルグッズの進呈
- ★F1日本GPの優先購入
- ★世界選手権レース(F1を除く)の優先割引購入
- SMSCライセンスについての詳細は、鈴鹿サーキット/SMSC事務局までお問い合わせ下さい。

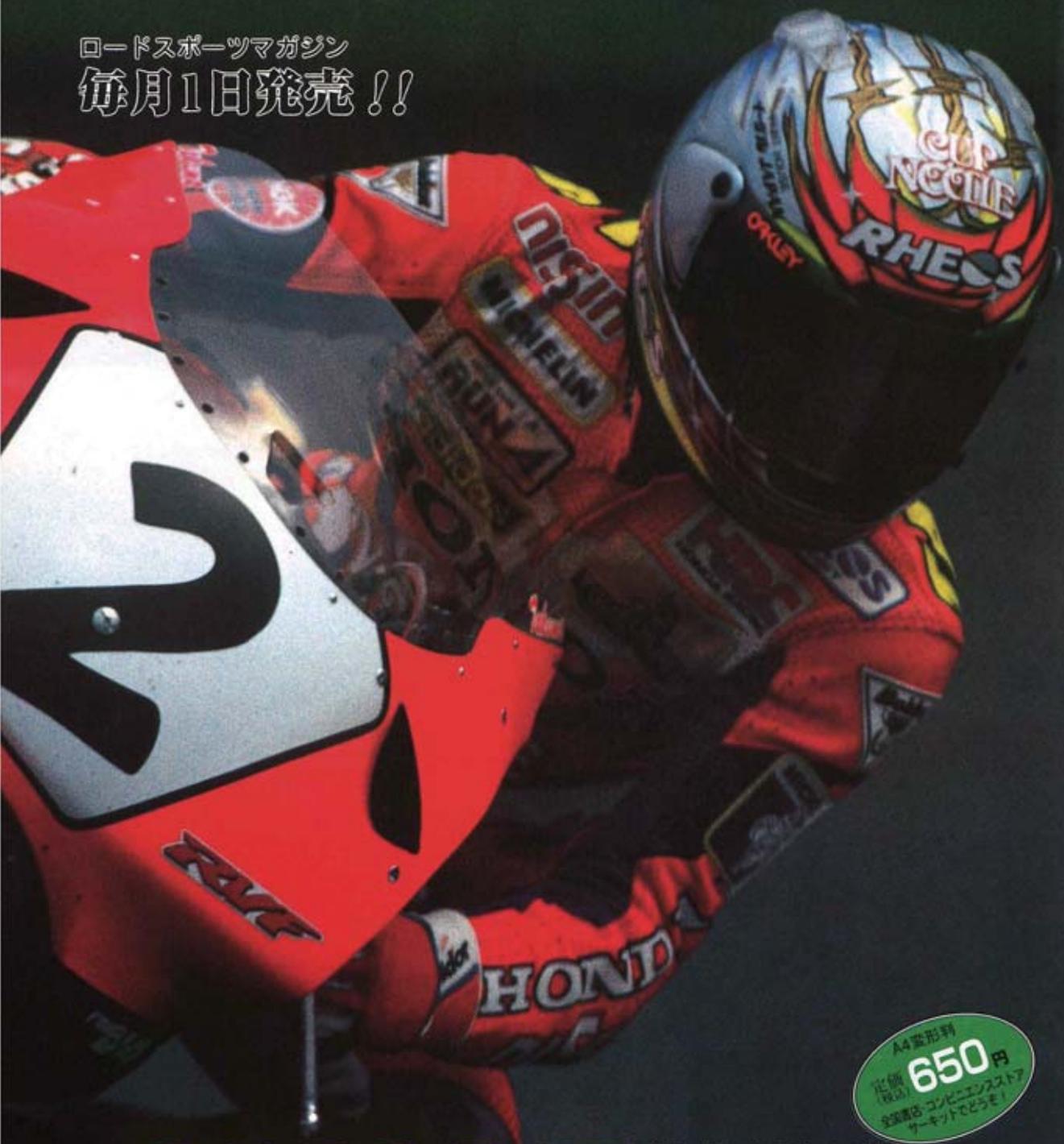


鈴鹿サーキットホテル M



天然温泉 クラ・ガーデン

ロードスポーツマガジン
毎月1日発売!!



A4変形判
定価
(税込) **650円**
全国書店・コンビニエンスストア
サーキットでどうぞ!

CYCLE SOUNDS

「サイクルサウンズ」は
ロードレースの
総合誌です

SINCE
1982

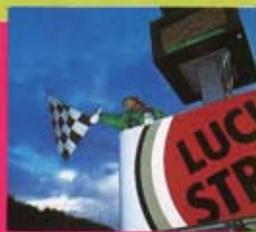
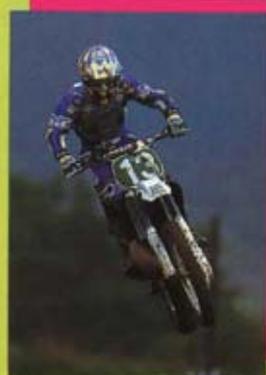


山海堂

〒113 東京都文京区本郷5-5-18

☎03(3816)1617

☎03-3616-1619



明日への挑戦



RACING COURSE 2輪

開催日	大会名
3/30(土)~31(日)	SUGOロードレース選手権第1戦
4/27(土)~28(日)	全日本ロードレース選手権第3戦
5/4(土)~5(日)	SUGOロードレース選手権第2戦
5/6(祝)	SUGOスプリングサウンドフェス96(シングル&ツインレース)
6/1(土)~2(日)	SUGOロードレース選手権第3戦
7/6(土)~7(日)	全日本ロードレース選手権第6戦
7/20(土)~21(日)	SUGOロードレース選手権第4戦
8/10(土)~11(日)	第13回SUGO400km耐久ロードレース
8/24(土)~25(日)	スーパーバイク世界選手権レース
9/7(土)~8(日)	SUGOロードレース選手権第5戦
9/16(祝)	SUGOオートサウンドフェス96(シングル&ツインレース)
9/28(土)~29(日)	SUGOロードレース選手権第6戦
10/19(土)~20(日)	SUGOロードレース選手権第7戦
11/2(土)~3(日)	全日本ロードレース選手権 MFJ GP

RACING COURSE 4輪

開催日	大会名
5/18(土)~19(日)	全日本スーパーターニングカー選手権レース
8/3(土)~4(日)	フォーミュラニッポン第6戦&F3レース
10/5(土)~6(日)	全日本GT選手権レース
11/16(土)~17(日)	SUGO N1耐久レース

OFF ROAD COURSE

開催日	大会名
6/8(土)~9(日)	全日本モトクロス選手権第5戦
9/14(土)~15(日)	全日本モトクロス選手権第10戦
9/22(日)	全日本ATVレース
10/27(日)	全日本トライアル選手権 日本GP

(レース日程は95年11月暫定)



- テニス(27面) ●驚険ジャルダン(フィールドアスレチック)
- ゴーカート ●レーシングカート ●ランドカー ●プール
- アーチェリー ●おかしな自転車 ●つり堀
- ガーデンゴルフ ●ローラースケート ●カフェテリア
- オリエンテーリング ●ウォークラリー ●ミニ運動会
- レーシング、カート、モトクロス、トライアル、各コース 他



- ホテル「くぬぎ山荘」49室200名収容
- 会議室・ダイニング・ラウンジ・バー
- バーベキューガーデン 他
- キャンプ場
- 5人用・8人用テント・営火場 他
- オートキャンプ



© 1995 Brown & Williamson Tobacco Corporation

LUCKY STRIKE レーシングインフォメーション

03-3490-7878

最新のレース情報を24時間お届けしています。



BOX SUPPORT

スーパーマイルド & SUPER

AN AMERICAN ORIGINAL.

LUCKY STRIKE

未成年者の喫煙は禁じられています
あなたの健康を損なうおそれがありますので吸いすぎに注意しましょう

ROAD RACE

ロードレース

▼細則1 ロードレース競技細則

1. 適用の範囲	48
2. ロードレース	48
3. 競技会と開催クラス	48
4. 公式シグナル	49
5. 参加資格	50
6. 出場申し込み	50
7. 参加受理	50
8. ゼッケン・ナンバー	50
9. ライダーの装備	51
10. 出場受け付け	51
11. 出場車両の変更	51
12. 車両および装備の検査	51
13. プリーフィング	52
14. 公式予選	52
15. 決勝レース出場台数	53
16. スタート方法	53
17. スタートにおける反則	56
18. "ウェット" および "ドライ" レース	56
19. レース中の行為	56
20. 停車指示	58
21. レースの停止	58
22. 中断されたレースの再スタート	59
23. リタイヤ (棄権)	59
24. レース終了	59
25. 優勝者、入賞順位、完走者および得点	60
26. レース終了後の車両保管と再検査	60
27. レースおよび大会の延期・中止等	61
28. 抗議	61
29. 違反に対する罰則	61
30. 本規則の解釈	61
31. 本規則の施行	61

▼細則2 '96全日本選手権大会特別規則

1. 公 示	62
2. 開催種目と競技会の日程	62
3. 追加のクラス	62
4. コース	62

5. 大会審査委員会	63
6. 参加資格	63
7. 出場料およびMFJ共済会掛金	64
8. ピット要員	64
9. スポーツ走行	64
10. レース当日の練習走行	64
11. ゼッケンナンバー	64
12. 車両の変更	65
13. タイヤの使用本数制限	65
14. 公式予選と予備予選	65
15. タイムキーピングシステム	66
16. スタートグリッド	66
17. レース距離	66
18. 賞および得点	66
19. ?ヒート制の規定	66
20. 主催者の権限	66
21. 本規則の施行	67
'96全日本ロードレース選手権開催日程	68

▼細則3 '96エリア選手権大会特別規則

1. 公 示	69
2. 開催種目	69
3. 追加のクラス	69
4. 選手権	69
5. コース	69
6. 大会審査委員会	69
7. 参加定員	69
8. 出場料およびMFJ共済会掛金	69
9. ピット要員	70
10. ゼッケンナンバー	70
11. 車両の変更	70
12. タイヤの使用本数制限	70
13. 公式予選	70
14. タイムキーピングシステム	70
15. スタートグリッド	70
16. 賞および得点	71
17. 主催者の権限	71
18. 本規則の施行	71

細則 1

ロードレース
競技細則

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則に基づき、すべての国内のロードレース競技会に適用される（世界選手権を除く）。

2 ロードレース

ロードレースとは、舗装され、完全にクローズドされたサーキットで行われるレースであり、国内競技規則およびこの細則により運営・管理される。スプリントレースと耐久レースに区別される。

耐久レースの詳細については特別規則による。

スプリントレースの定義：①レースの総走行距離250km以下もしくは走行時間2時間以下
②個人競技

耐久レースの定義：下記いずれかに合致すること。

- ①レースの総走行距離が250km越えるものもしくは走行時間2時間を越えるもの。
②2人もしくは3人の交代で行われる。

3 競技会と開催クラス

競技会と開催クラスは下記とする。

出場可能 ライセンス	大会格式	昇格ポイント対象種目				申請昇格		その他承認公認レース (特別昇格は可能)
		自動昇格						
国際ライセンス	全日本選手権	GP125	GP250	スーパーバイク				
国際ライセンス 国内ライセンス	エリア選手権	GP125	GP250	スーパーバイク (国内ライセンス参加可)		SP250	SP400	ネイキッド その他シングル/ツインレース等
国内ライセンス	地方選手権	GP125	GP250			SP250	SP400	SP125 ネイキッド GP80 その他シングル/ツインレース等
フレッシュマン ライセンス		GP125				SP250	SP400	SP125 ネイキッド GP80 MP12(ミニバイク) その他シングル/ツインレース等
ジュニア								GP80 その他

自動昇格＝規定の得点を得た場合は次年度は上級クラスへ強制的に昇格となる。

申請昇格＝規定の得点を得かつ申告をしたもののみ昇格する。(選択が出来る)

特別昇格＝規定の得点に満たない者または自動/申告昇格対象種目以外のクラスで同等の成績を得たものが申告を行い、審査される。

4 公式シグナル

1) 公式練習、予選および決勝レース中は、下記の公式シグナルが使用される。

(1) 寸法

- ・シグナル用旗 60×80cm (最小限)
- ・赤旗 80×100cm

(2) コントロールラインで使用される旗

- ・シグナルライトまたは国旗……レース・スタート
- ・白黒チェッカー旗……レース終了
- ・赤旗……レースまたはプラクティスが中断され、すべてのライダーは最大限の慎重さをもってそれぞれのピットに復帰。赤旗はサーキットを閉鎖する場合にも用いられる。
- ・黒旗と白ナンバーを付した黒の合図板との併用……示されたナンバーを付けているモーターサイクルのライダーは次のラップでピット停止。
- ・チェッカーフラッグと青旗を同時に提示……ファイナルラップにフィニッシュラインの手前でトップのライダーの前に他のライダーが走行している場合。トップのライダーはチェッカーであるが、直前を走行しているライダーはもう一周しなければならない事を伝える。

(3) 各コーナーポストで使用される旗

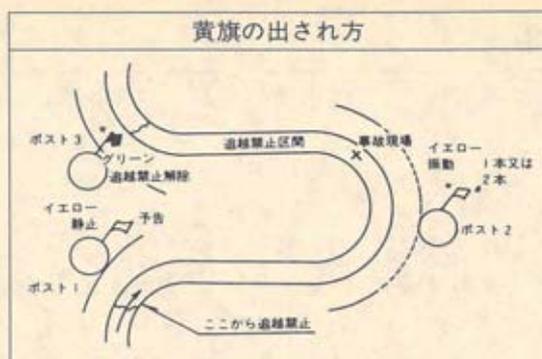
- ・黄旗……危険!
静 止……追い越し禁止。
振 る……減速・停止準備・追い越し禁止。
- ・赤色ストライプ付き黄旗……コース表面滑りやすい。
- ・赤旗……レース停止。コントロールライン上で赤旗が出されたらすぐに提示する。
- ・緑旗……コースクリア。
- ・白旗……コース上に徐行している介入車両あり。
静 止……1つ先のポスト付近に徐行中の介入車両あり。
振 る……直前に徐行中の介入車両あり。
介入車両がコース上に停止したら、すみやかに白旗を黄旗に入れかえる。
- ・青旗……追い越しシグナル。1台またはそれ以上の高速マシンが貴方を追い越そうとしている。
静 止……間もなく追い越される。
振 る……追い越される寸前。
- ・黒旗と白ナンバーを付した黒のシグナル板との併用……示されたナンバーを付けているモーターサイクルのライダーはピット停止。
フライングによるピットストップの場合は区別する為に P の文字をシグナル板に示す。
オイルもれの場合はすみやかに安全な場所で停止する。

2) ライトによるシグナル

スタートの際、国旗の代わりに、ライトによるシグナルを使うことができる。

- ・黄色燈の点滅 黄旗と同意味。
- ・緑色燈 緑旗と同意味。
- ・赤色燈 赤旗と同意味、競技監督および監視ポストで使用。

ライトによるシグナルは、スタート時と特に夜間に行われるレースに使用されなければならない。



5 参加資格

- 1) エントラントおよびライダー
 エントラントおよびライダーは、1996年度版 MFJ 国内競技規則・第3章〔⑨競技参加者〕(31頁)に合致していなければならない。

6 出場申し込み

- 1) 出場申し込み場所および期間は、大会特別規則の定めるところのものとする。
- 2) 出場申し込み手続き
 - (1) 各部門とも所定の申し込み書に必要事項をすべて記入し、出場料および MFJ 共済会掛金を添えて大会事務局に提出しなければならない。
 - (2) 2クラス以上に出場を申し込む場合は、別々に申し込み書を提出しなければならない。
 - (3) 郵送の場合は、現金書留又は主催者の定める方法とし、締切り日当日の消印のあるものまでが有効となる。
 - (4) 電話による申し込みおよび締切り日以後の申し込みはいっさい受け付けない。
 (締切り日以降のエントリー料金返却に際しての郵送料、送金手数料は返却金から差し引かれる)

7 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申し込み書、金額を大会事務局が受理したもののみ、参加受理書が発送される。
- 2) いったん受理された出場料、MFJ 共済会掛金はいかなる理由があっても返却されない。公式予選を通過しなかったものも同様である。
- 3) 大会が取り止めにになった場合、また参加申請が拒否された場合のみ出場料、MFJ 共済会掛金が返却される。(申し込み者が必要な手続きを怠った場合は、返却されない)

8 ゼッケン・ナンバー

- 1) 主催者によってナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 2) ゼッケン・ナンバーは、車両検査までに、規定の書体および色分けて記入しておかなければならない。
- 3) ゼッケン・ナンバーについては、車両検査時に検査され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。ゼッケンの修正を要求された場合、速やかに修正を行い、再度車両検査を受けなければならない。

9 ライダーの装備

1) ヘルメット

- (1) ヘルメットはフルフェイス型のもので、MFJが公認したものでなければならない。
- (2) MFJの公認したヘルメットには、下記の認証マークが貼付されている。
- (3) 競技会の車両検査受付時に、ヘルメット検査が行われる。MFJの公認したヘルメットでも、検査に合格しなかったヘルメットは、当該ライダーの安全上その使用を禁止する。
- (4) MFJ公認ヘルメットであっても、MFJの公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料(1,000円)を支払い、特別に検査を受け合格しなければならない。

2) ライダーの服装

(1) レーシングスーツ

- ① 革もしくは革と同等の素材(MFJの許可を得たもの)であり、MFJの公認したものでなければならない。
- ② MFJが公認したレーシングスーツには、公認マークが貼付されている。
- ③ 競技会の車両検査受付時にレーシングスーツの検査が行われ、合格しなかった場合は、ライダー本人の安全上使用を禁止する。



MFJが公認したレーシングスーツには、シルバー地の公認マークが付いていなければならない

(2) ブーツ・グローブ

革もしくは革と同等の素材(MFJの許可を得たもの)であり、フックなどが外部に突出していないものでなければならない。

- (3) 競技中のライダーは、レーシングスーツの下に肌着を着用しなければならない。ただし、レーシングスーツに裏地がついている場合は着用しなくてもよい。

10 出場受け

- 1) 出場受けの時間および場所は、公式通知に示される。
- 2) 定められた時間内に、必ず本人または参加者がMFJライセンス、参加受理書を提出して出場資格の確認を受けなければならない。
- 3) MFJライセンスまたは参加受理書の提示ができない者は、出場が認められない。

11 出場車両の変更

- 1) 車両の変更は国内競技規則・第3章〔⑦ライダーおよび車両の変更〕(34頁)による。
- 2) 車両変更の申請は、同部門・同クラスの車両に限られ、手数料5,000円を添付して大会事務局に申請しなければならない。

12 車両および装備の検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 2) 車両検査のための車両は、ライダー本人が持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を受けなければならない。これ以後の検査は競技監督が、不可抗力な事情による

ものとして特別に認めた場合以外は行われない。

- 3) ライダーは、車両仕様書を提出し、装備品一式の検査を受けなければならない。
- 4) 一大会において同一車両を複数のライダーが使用する事は出来ない。
- 5) 同一車両で複数の種目へのエントリーはできるが、競技運営進行上支障をきたさないことを条件とする。
- 6) 車両検査時持込み台数は、エリア選手権・地方選手権および地方大会は出場1レースにつき1台に限られ、全日本選手権は2台までとする（Tカーは同一メーカーに限る）。
- 7) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判断された車両は、公式予選を含むいっさいの走行を拒否される。
- 8) テレメトリーは禁止される。
- 9) 音量測定は車検時に全車測定、もしくは予選通過車両全車に対して行なう。
- 10) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両検査を行う権限を有する。
- 11) ガソリン
 - ① 使用するガソリンはMFJ技術規則（139頁参照）に合致しなければならない。
 - ② 使用するガソリンは当該レースのサーキットで供給するものを使用しなければならない。供給されるガソリンの仕様は特別規則もしくは公式通知に記載される。

予告事項：1997年1月1日より、ロードレースの2サイクルも無鉛ガソリンに限定される。

13 ブリーフィング

主催者がブリーフィング（競技に関する要領説明）を行なう場合はライダー本人が必ず出席しなければならない。出席なき場合は罰則が課せられる場合がある。

14 公式予選

- 1) 公式予選
 - (1) 公式予選は、原則として各クラス別に行われる。
 - (2) 公式予選の日程および時間は、特別規則に示される。
 - (3) 公式予選は、タイムトライアル方式とレース方式がある。

通常はタイムトライアル方式で行う。レース方式で行う場合は、特別規則または公式通知等に示される。
- 2) 公式予選の内容
 - (1) レースに出場するすべてのライダーは、必ず公式予選に参加し、最終的に出場資格を取得しなければならない。
 - (2) 公式予選においては、競技役員による車両の安全チェックがなされた後にスタートし、定められた時間内であれば走行を中断し、また再スタートすることができる。
 - (3) 公式予選では、ラップタイムが測定されている。この測定で、ベストラップタイムが甚だしく劣る者はたとえ定員内であってもレース出場資格を与えられない場合がある。
 - 基準
 - 全日本選手権：トップタイムの110%以内
 - エリア選手権以下：トップタイムの120%以内
 - (4) 公式予選において測定される各ライダーのベストラップタイムにより、大会特別規則に示されたレース出場台数を限度としてスタート位置が定められる。ベストラップタイムが同じ場合は、セカンドラップタイムによる。

- (5) 各クラスの公式予選義務周回数、特別規則に示される。なお、最初の1ラップ目は計測されないが、周回数には算定される。
- (6) 2種目以上に出場するライダーは、出場全種目の公式予選に出場しなければならない。
- (7) 予選が複数の組にわかれて行われる場合の予選順位
- ① 予選結果を総合タイム順によって決定する場合と予選組ごとの順位により決定する場合がある。通常タイム順によって決定する。
 - ② 天候の変化等により路面状況に大きな差異が認められると競技監督が判断した場合には各予選組ごとの順位によって決定する。この決定に対する抗議は一切受けつけない。
 - ③ 各予選組ごとのタイム順で決定した場合のグリッドは各予選組のトップのタイムを比較しその順番で振り分けることとする。
 - ④ 各予選組ごとのタイム順で決定した場合にグリッド数によって端数が出る場合の優先順序は下記とする。(ウエイティングも同様)
- 例：グリッド数30台、予選4組
- ① 予選組上位7台で28台が選抜される。
 - ② 残り2台を予選組の8位(4台)のなかから決定するには…
 - ・各予選組の1位のタイムと8位のタイムを比較する。
 - ・各予選組8位のものからタイム差の少ない順に2名を選出する
- (8) 最終的な予選選出方法とスターティンググリッドは大会審査委員会の決定による。
- (9) 予選通過者で出場不可能となった者は、すみやかにその旨を届け出なければならない。
- (10) レース出場が不可能となったことを届け出たライダーがいた場合、予選タイムを基準として繰り上げる場合がある(スタート前チェック時間内に連絡のないライダーはリタイヤとみなす)。
- (11) ウエイティング(繰り上げ出場)の方法
- ① 予選結果発表後1時間以内にウエイティングの願い書を提出する。
 - ② 願い書提出者のうち上位3名のものは、全装備にてスタート前チェックを済ませてコースインゲートにて待機する。全日本選手権等別途ウォーミングアップ走行が設定されている場合は、これに走行できる。
 - ③ スタート前チェック終了時点でリタイヤがない場合は出走は不可となる。

15 決勝レース出場台数

決勝レース出場台数は、各サーキットごとに定められ、特別規則に示される。

16 スタート方法

- 1) レースのスタート位置は、各ライダーに与えられているゼッケンナンバーとは関係なく、公式予選の結果によって決定される。
- 2) スタート方法は同時スタートとし、下記の3種類がある。通常はクラッチスタートにて行われる。
 - (1) 押しがけスタート
 - (2) クラッチスタート
 - (3) ルマン式スタート(耐久)
- 3) スタート位置は、すべてのライダーが正規のスタートラインからスタートされたものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップは一切考慮されない。
- 4) クラッチスタートの場合のスタート手順は以下の通りとする。

(1) スタート約30分前

ライダーはスタート前チェックを受け、マシンとともにコース外のウエイティングエリアに待機する。

(2) スタート15分前

サイティングラップの為にピットレーン出口が開放される。ピット出口で5分、4分、3分、2分、1分前のカウントダウンボードが表示される。

(3) スタート10分前

ピットレーン出口が閉鎖される。サイティングラップは義務づけられない。サイティングラップに参加しないライダーはウォームアップラップ開始の5分前まではオフィシャルの指示に従って自分のマシンをグリッドに押しつけておくことができる。

ライダーが所定の位置に着くのを助けるために、コースサイドでオフィシャルがグリッド列を示すボードを掲げる。この段階で競技監督はレースを「ウェット」または「ドライ」のいずれかを選んで宣言する。この宣言はグリッド上にいるライダーとピットレーンにいるライダーに対してボードで示す。ボードが出されない場合は自動的に「ドライ」とみなされる。

サイティングラップ中に技術的なトラブルに見舞われたライダーは、ピットに戻って調整またはマシンの交換（Tカー登録可能競技のみ。以後同様）を行うことができる。

この場合当該ライダーはピットレーンからウォームアップラップを開始しなくてはならない。

この段階でグリッド上のライダーはマシンの調整を行ったりコースコンディションに合わせてタイヤ交換を行うことができる。グリッド上でのタイヤウォーマーの使用は許可されるが、ジェネレーター、バッテリーまたはその他の電源をグリッドに持ち込むことは禁止される。

すべての調整は「3分前」のボードが出るまでに完了しなければならない。このボードが提示されたら、さらに調整を行うことを希望するライダーはマシンをピットレーンまで押しつけてゆき、そこで調整またはマシンの交換を行うことができる。この場合当該ライダーはピットレーンからウォームアップラップを開始する。サイティングラップが開始されてからの給油は厳禁される。

(4) ウォームアップラップ開始5分前ボード

グリッド上で5分前のボードが提示される。

(5) ウォームアップラップ開始3分前ボード

グリッド上で3分前のボードが提示される。

この時点でライダー1名につき1名のメカニックとそのライダーのために傘を持って立つ1名、主催者の認めるTVクルー、および必要なオフィシャル以外の人間は全員グリッドから退去しなければならない。

(6) ウォームアップラップ開始1分前ボード

グリッド上で1分前のボードが提示される。(エンジンスタート)

この時点でライダー1名につき1名のメカニック以外の全員がグリッドから退去する。このメカニックはライダーが押しがけするのを助けその後速やかにグリッドから退出する。

(7) ウォームアップラップ開始30秒前ボード

グリッド上で30秒前のボードが提示される。

全ライダーはエンジンが始動している状態でグリッドの所定の位置に着かなくてはならない。これ以降メカニックの援助は禁止される。マシンをスタート出来ないライダーはマシンをピットレーンに移動し、そこでさらにマシンを始動するよう試みるかマシンを交換

することが出来る。このようなライダーはピットレーンからウォームアップラップを開始することが出来る。

(8) ウォームアップラップ開始 (レースのスタート約2分前)

ウォームアップラップの開始を示す為にグリーンライトが点灯される。ライダーは1周走行し、その後ろにセーフティーカーが続く。集団が通過したらピットレーンで待機していたライダーはウォームアップラップに加わることが許可される。その後ピットレーン出口は閉鎖される。

グリッドに戻って来たらライダーはモーターサイクルのエンジンを始動したまま、フロントホイールをグリッドポジションを示すラインに合わせ、所定の位置につかなければならない。グリッド最前列の前には赤旗を持ったオフィシャルが立つ。

セーフティーカーが到着した後でグリッドに戻ってきたライダーはピットに導かれ、ピットからレースをスタートする。

ウォームアップラップ途中でトラブルに見舞われたライダーは、ピットレーンに戻って修理またはマシンの交換が出来る。

グリッドでエンジンをストールさせたライダーまたはその他のトラブルに見舞われたライダーは、モーターサイクルにまたがったままの状態であまり腕を上げる。その方法によって意図的にレースのスタートを遅らせることは許可されない。

グリッドの各列が整列したらオフィシャルは担当する列が整列したことを示す為にグリッド列ボードを降ろす。ある列のライダーがエンジンをストールさせた、または他のトラブルに見舞われている時にはその列のボードは降ろされない。すべてのボードが降ろされて、セーフティーカーが戻ってきたら、グリッド後方に待機するオフィシャルがグリーンフラッグを振る。

その後スターターはグリッド前方で赤旗を掲示するオフィシャルにコースサイドに歩こうよう指示を出す。

(9) レッドライトが点灯しその1~5秒後にグリーンライトが点灯しレースがスタートする。

フライングをしたライダーに対しては30秒間のタイム加算もしくはピットストップのペナルティが与えられる。ペナルティは当該ライダーのピットクルーにも通達されなければならない。

グリーンライトが点灯された後で、マシンがストールした場合、オフィシャルはエンジンがかかるまでそのマシンをコースに沿って押すことを補佐する。それでも始動しない場合にはオフィシャルの指示に従ってマシンをピットレーンに押しに行かなければならない。ピットレーンでは当該ライダーのメカニックがエンジンを始動させる為に援助する事とマシンを交換することが許可される。

ライダー達の集団がピットレーン出口を通過したらオフィシャルはピットレーンに待機するライダーをスタートさせる。

トップを走行するライダーが1周目を終えてフィニッシュラインを通過した後ではレースが中断されない限りマシンの交換は許可されない。

スタート時の安全性を脅かすようなトラブルがグリッド上で発生した場合にはスタートを受け持つオフィシャルがイエローライトを点滅させ「スタートディレイド」のボードを掲示する。この場合ライダーはエンジンを停止させなければならない。各ライダーについて1名のメカニックがエンジン始動を補佐するためにグリッドに立ち入ることが許可される。

スタート手順は「1分前」ボードの段階から再開され、ライダーは追加のウォームアップラップを1周走行し、レース周回数は1周減算される。

※全日本選手権以外の大会については、サイティングラップスタートの時間、グリッド列ボードの配列（隔列の場合もある）、またはその他の手順について省略する場合がある。この場合、各特別規則ならびに公式通知に示される。

17 スタートにおける反則

- 1) スタートラインについての車両およびライダーは、スタート用意からスタート合図が出されスタートが終了するまでスタート合図の統制下にある。
- 2) スタート合図が行われる前に自分のスタートポジションから前進した場合は、大会審査委員会の決定により、下記いずれかのペナルティが科せられる。
 - (1) 競技結果への30秒の加算。
 - (2) 一旦ピットストップを命じる。その場合には、メカニカルトラブルによる黒旗かフライングによるものかを区別するために黒旗と共に提示するブラックボードに「P」の文字を記入する。
- 3) ピットクルーがスタートの規則に従わなかった場合も反則とみなされ、当該ライダーに1分間もしくは失格のペナルティが科せられる。
- 4) ペナルティは、当該ライダーのピット要員にただちに通告されるが、判定に対する抗議は一切受けられない。

18 “ウェット” および “ドライ” レース

- 1) すべてのレースはウェットかドライに分けられる。グリッド上で、ボードが表示される。ボードが表示されない場合にはレースは自動的にドライとなる。この分類の目的は、ライダーにレース中天候状況の変化による影響があることを示すためである。
- 2) ドライレース
ドライレースと分類されたレースは天候状況が路面状態に影響を及ぼし、ライダーがタイヤ交換を望む可能性がある場合と競技監督が判断した場合に中断される。
- 3) ウェットレース
ウェットレースと分類されたレースは、変化して行く状況、またはウェットの状況で通常開始され、天候の理由により中断されることはない。タイヤ交換を望むライダーはレース中ピットに入りタイヤ交換する。
- 4) すべての場合において、最初にレースが天候上の理由により中断された場合、再スタートは自動的に“ウェット”レースとなる。

19 レース中の行為

- 1) 走行中の遵守事項は、国内競技規則・第3章【@@競技参加者の遵守事項】(31頁)のほかに次による。これに違反した場合罰則が課せられる。
 - (1) ライダーは、指示を伝えるフラッグシグナルに従わなければならない。
 - (2) もしライダーがコースアウトしたら、ライダーは、オフィシャルが指示した場所または、そのライダーが有利にならないような場所からレースに復帰することが出来る。
※この際オフィシャルは下記の補助ができる。
 - ・マシンを起こす補助。
 - ・修理・調整が行われている間マシンを支えている。
 - ・ライダーの再スタートを補助する。
 - (3) リタイヤする場合ライダーは自分のマシンをオフィシャルに指示された安全な場所に止めなければならない。

- (4) もしライダーがレースからリタイヤを余儀なくされるようなマシントラブルにあった場合、そのライダーは遅いスピードでピットまで戻ろうと試みず、コースアウトしてオフィシャルの指示に従い、安全な場所にマシンを止めなくてはならない。
- (5) コース上にオイル等の液体をまき散らす恐れのあるようなトラブルにあった場合、そのライダーはピットまで戻ろうと試みず、コースアウトして安全な場所にマシンを止めなければならない。

又、停止後再スタートを希望する場合はオフィシャルの確認を必要とする。

上記に違反した場合、最低罰金10,000円以上の罰則が課せられる。

- (6) 修復作業のためにゆっくりと戻るライダーは、出来るかぎりピット設置側を走行しなければならない。
- (7) コース外側より、作業もしくは工具・部品等の援助を受けてはならない。この場合は失格とされる。
- (8) いかなる場合でも、逆方向への走行あるいは規定外のコースを走行してはならない。これに違反した場合は罰則が科せられる。
- (9) レース中（予選中を含む）直線部分では前車を追い越すためあるいは後車のスリップ・ストリーミングを外す目的以外で、進路を著しく変更することは禁止される。

2) ピット

ピットとは車両の修理、調整、部品交換、燃料補給などの作業を行うことを目的に、ライダーに与えられた区域である。

3) ピットイン

- (1) ピットインする車両のライダーは、ピットロード入口手前よりピット側に車両を寄せ、手または足でピットインの合図を行ったのち、安全を確認してピットロードを徐行しなければならない。

ピットエリア（停車区域）を走行することは禁止される。

- (2) ピットインする車両のライダーは、自己のピットに出来るだけ近いピットゾードからピットエリアに入り、出来るだけ自己のピットに近づけて車両を停車させなければならない。
- (3) ピットインしてピットエリアに入った車両及び当該車両のライダーやピットクルーは、ピットロード及びピットエリアにおいて他の車両の通過を妨げてはならない。
- (4) ピットインの際、自己のピット前を通り過ぎて停車した車両のライダーは、競技役員の承認を得て、当該車両のライダーおよびピットクルーによって押し戻し、自己のピットにつけることが出来る。

4) ピットアウト

- (1) ピットロードにおいてはピットインしてくる車両に優先権がある。
- (2) ピットロードに出てコースに復帰するライダーは、ピットロードを出て最初のコーナー出口に達するまで、コースピット側に沿って走行しなければならない。その間、後方から近づく車両の走行を妨げてはならない。
- (3) ピットでエンジンを止めたライダーは、メカニックの補助を受けてマシンを再スタートすることができる。

5) ピット作業

- (1) レース中、車両の修理、調整、部品交換は、ピットに準備してある部品と工具によって行わなければならない。給油中は、必ずエンジンを停止しなければならない。
- (2) ピット区域内にオイルをこぼしたり、汚したりした場合は、安全上ただちに清掃しなければならない。

6) ピット作業人員

- (1) 大会の格式によって登録できるピットクルーの人数が大会特別規則に示される。
- (2) レース中にピットインした車両に対しての作業は、登録した2名のメカニックと、その車両のライダーの計3名だけに限られる。(全日本選手権は細則2全日本選手権特別規則参照) (62頁)
- (3) ライダーに対するピットクルー(メカニック、ピットサインマンおよびヘルパー)の合図は、大会競技役員の使用する合図旗にまぎらわしいものであってはならない。また主催者により定められたピット区域またはピットサインエリアのみで合図を送ることができる。
- (4) ピット作業を行う者は、すべてピットクルーライセンス所持者で、大会への参加申請がなされた者でなければならない。大会当日の追加は一切認められない。ただし参加申請がなされている者の変更は認められる(変更料1,000円)。
- (5) ピットクルーは競技期間中を通じて、すべて大会競技役員の指示に従わなければならない。
- (6) ピットクルーが諸規則に違反した場合の責任は、そのピットクルー担当のライダーに帰属し、罰則が科せられる。

20 停車指示

- 1) レース続行が危険とみなされるライダーまたは車両について、競技監督は、大会審査委員会の同意を得てピットインを命じるか、レースから除外することができる。
- 2) 天災、大事故等の不慮の事態が発生した場合は、競技監督は、赤旗によって全ライダーに対し、停止を指示することができる。

21 レースの停止

- 1) 競技監督が天候上の理由、あるいはそのほかの理由からレースを中断することを決定したら、赤旗がスタートラインとすべてのマーシャル・ポストで掲示される。ライダーはただちにスローダウンし、ピットレーンに戻らなくてはならない。当該レースの結果は前の周を終えた時点でのものとされる。
したがって、結果はレースを続行していたライダー全員が、赤旗が掲示されずにフルラップを完了した時点でのものとされる。
- 2) トップのライダー、およびトップのライダーと同じ周回数を走っていた残りのライダー全員が3周未満しか走行していないことを結果が示した場合、当該レースは無効とされ、まったく新たにレースが行われる。もしレースの再スタートが不可能だと判明した場合、このレースは中止になったと宣言される。
- 3) トップのライダー、およびトップのライダーと同じ周回数を走っていた残りのライダー全員が3周以上、しかし本来のレース距離の2/3未満(小数点以下切り捨て)であった場合、レースの最終結果は二つのレースの周回数とタイムを合計して出される。もしレースの再スタートが不可能だと判明した場合、ポイントは半分与えられる。

30週のレースの場合の例:

トップのライダーは9周目を終えて10周目に入ったが、その他のライダー全員が9周目を終えていない時点で赤旗が掲示された場合、レース結果は8周目を終えた時点でのものとされ、セカンド・ヒートは22周となる。

トップのライダー、およびトップのライダーと同じ周回数を走っていた残りのライダー全員が9周目を終えて10周目に入っていた時点で赤旗が掲示された場合、レース結果は9周目を終えた時点でのものとされ、セカンド・ヒートは21周となる。

- 4) トップのライダー、およびトップのライダーと同じ周回数を走っていた残りのライダー全

員が本来のレース距離2/3 (小数点以下切り捨て) を走行した場合、当該レースは完了したとみなされ、ポイントはフルに与えられる。

22 中断されたレースの再スタート

レースが再スタートされる場合、再スタートはコース・コンディションが許すかぎり早く行われなくてはならない。ライダーがピットに戻りしだい、競技監督は新たなスタート時刻を発表する。このスタート時刻は状況が許すかぎり最初の赤旗が掲示されてから30分以内に設定される。

- 1) 競技結果が2周以下の場合の再スタートには下記各項が適用される。
 - (1) 全ライダーがスタート出来る。
 - (2) マシンは修理・給油が出来る。
 - (3) 転倒車両を使用する際には車検長の許可を必要とする。
 - (4) 登録され車検に合格しているTカーに交換できる。
 - (5) 周回数は原則的にもとのレースと同じとする。
 - (6) グリッドポジションは本来のレースと同じとする。
 - (7) 再スタート出来ないライダーのグリッドはそのまま空席とする。
 - (8) スタートの手順は通常にサイティングラップから始める。
- 2) 競技結果が3周以上2/3 (小数点以下切り捨て) 未満の場合の再スタートには下記各項が適用される。
 - (1) 前回のレースでトップの周回数の2/3 (小数点以下切り捨て) を走行しているライダーだけが再スタートできる。
 - (2) 第2レースが開始される前に、第1レースの結果が公示されなくてはならない。
 - (3) 転倒車両を使用する際には車検長の許可を必要とする。
 - (4) マシンは修理・給油ができる。
 - (5) 登録され車検に合格しているTカーに交換できる。
 - (6) 第2レースの周回数は、本来のレース距離を満たすために必要な周回数とする。(前回のレース結果の周回数に基づく)
 - (7) グリッドポジションは第1レースの結果に基づく。
 - (8) レースの最終結果は、二つのレースの周回数を合算し、最大数の周回のライダーが優勝者となる。周回数が同数の場合二つのレースのタイムを合計したタイムによって順位が決定される。

23 リタイヤ (棄権)

- 1) リタイヤと停止は、国内競技規則・第3章 [⑨競技] (34頁) による。
- 2) ライダー本人が負傷その他の理由でリタイヤ届を提出できないときには、競技役員の判定によりリタイヤと認めることができる。
- 3) ピット以外の地域でリタイヤする場合、ライダーは車両をレース (または予選) 終了まで競技役員の管理下におかなければならない。ただし、競技役員から車両移動を指示された場合は、これに従わなければならない。

24 レース終了

- 1) トップのライダーにチェッカーフラッグが提示された後、引き続き後続ライダーにも特別規則に示す時間提示される。この時間が経過した時をもってレース終了となる。
※原則的にコース1周の距離1kmにつき1分とする。
- 2) ファイナルラップにフィニッシュライン手前でトップのライダーのすぐ前に他のライダー

がいる場合、スタート・フィニッシュマーシャルは同時にチェッカーと青旗を掲示する。これはトップを走行するライダーはレースを終了するが、そのすぐ前を走っているライダーはファイナルラップを完走しチェッカーフラッグを受けなければならないということを意味する。

25 優勝者、入賞順位、完走者および得点

- 1) 優勝者
 - (1) 優勝者は規定の距離（周回数）または時間を完走して最初にフィニッシュライン（コントロールライン）を通過したライダーである。
 - (2) 写真判定が用いられる場合には勝者の決定はフロントホイールの先端がフィニッシュラインを最初に通過した方を有利とする。
 - (3) 優勝者がフィニッシュラインを通過したら他のライダーはその時点で走行している周回を終え、フィニッシュラインを通過したら終了となる。
- 2) 入賞者および順位の優先順位（耐久レースは特別規則による）

入賞者および入賞順位は、チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定される。なお、周回数が同じ場合は、ゴールライン通過の順位による。
- 3) その他の優先順位
周回数の多い者を優先する。同周回数の場合は、ゴールライン通過の順位による。
- 4) 完走者
 - (1) 優勝者の周回数の75%（少数点以下は切り捨てる）以上を走行したライダー。
 - (2) 優勝者がフィニッシュラインを通過したのち特別規則に示す時間内にフィニッシュラインを通過したもの。
- 5) 得点
得点は、国内競技規則・第3章〔㊸公式得点〕（35頁）によって与えられる。

26 レース終了後の車両保管と再検査

- 1) 上位入賞車両は、所定の位置より競技役員の誘導に従って車両保管区域へ入らなければならない。
- 2) 上位入賞車両は、音量測定およびエンジンを分解して排気量を測定するほか、規定を越える改造などについて再検査を行うことがある。
- 3) 上位入賞車両は、暫定結果発表後30分間保管される。
- 4) 燃料検査
燃料検査の手順
 - (1) 燃料検査は各大会の審査委員会が必要と認めた場合実施できる。
 - (2) 燃料検査を行う対象クラス、ライダーは審査委員会が決定する。
 - (3) レース終了後に燃料タンク内に残っている燃料が十分でないとして予測される場合、燃料テストはウォームアップラップ開始直前または公式予選中に実施されてもよい。
 - (4) 各分析ごとに、それぞれ検査に必要な量のサンプルを2サンプル採取する。
ひとつは検査用、ひとつは保管用として封印され、当事者によってサインが施され、主催者が保管する。
潤滑油を混合した場合は混入したオイルも添えて提出しなければならない。
車検にて判別出来ない場合はMFJ指定の機関にて分析を依頼し検査する。
サンプルはエントラントに提出義務があり、その対価は自己負担とする。
- (5) 結果が不合格であった場合、当事者は本人の費用負担によってMFJ指定の別の機関に

て保管用サンプルの分析を依頼することが出来る。

(6) 分析の費用負担は下記の通り

- ① 大会審査委員会の決定により、特定の大会もしくはクラスに検査を行う場合。
 - ・最初の検査の費用は主催者が負担する。
 - ・結果が不合格で当事者が再度検査を要求する場合は当事者が負担する。
- ② 抗議が出され特定のライダーの検査をする場合は抗議者が費用を負担し、検査の結果違反が立証された場合は返却される。
- ③ 検査の結果違反が立証された場合は違反者が検査料を負担しなければならない。

(7) 競技結果

サンプル分析の結果、違反が立証された場合 MFJ スポーツ委員会に報告され、罰則が課せられる。又、当日受領した賞典等は返却しなければならない。

- 5) 出場者は、車両保管解除と同時に、保管車両を速やかに引き取らねばならない。主催者は車両保管解除発表後、保管車両の責任は一切負わない。

27 レースおよび大会の延期・中止等

- 1) 大会は、原則として本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。
- 2) レースまたは大会が参加申し込み後に中止された場合、参加者が支払った出場料、MFJ 共済会掛金は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

28 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔27抗議〕(37頁)による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定する。
- 3) ガソリンに関する抗議の場合の保証金は100,000円とする。

29 違反に対する罰則

競技規則による違反行為に対する罰則は、国内競技規則・第3章〔29違反行為に対する罰則〕(38頁)による。

30 本規則の解釈

規則および競技に関する疑義は、事務局あてに質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定が最終的なものとして示される。

31 本規則の施行

本規則は、1996年1月1日より有効となる。

細則 2

'96全日本 ロードレース選手権大会 特別規則

1 公示

全日本ロードレース選手権はFIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則と全日本選手権シリーズを通じて、共通した項目をまとめた本大会特別規則と各大会の特別規則に基づきFIM・MFJ公認の国際格式競技会として開催される。

2 開催種目と競技会の日程

- 1) 開催種目は下記とする。
国際（インターナショナル）GP125
GP250
スーパーバイク
- 2) クラス数
大会にはGP125、GP250、スーパーバイクの3クラスが必ず含まれていなければならない。
- 3) レースウィークの日程
 - ① 全日本選手権は下記日程で開催される。
月～木曜日：当該大会にエントリーしている選手は走行してはならない。これに違反した場合罰則が適用される。
金曜日：スポーツ走行 各クラス最低30分×2回
土曜日：公式予選 各クラス最低20分×2回
日曜日：午前 ウォーミングアップラン 各クラス10分
10：30～16：00以内 決勝レース
- 4) 競技会の日程は巻末に示す。

3 追加のクラス

全日本選手権には併催クラスが追加されても良い。ただし全日本選手権対象クラスを含めて全体で6クラスを限度とする。また併催クラスを追加する場合下記の条件が満たされなければならない。

- ・パドックが充分広く、主催者が全日本選手権のレースを優先させ規定の予選時間、決勝レース距離を設定できること。

4 コース

コースはMFJが国際公認もしくは準国際公認したコースとする。

各施設ごとの同時出走最多台数は以下の通り。

施設	決勝	予選
SUGO	40	48
筑波	32	38
FISCO	40	48
鈴鹿	44	52
TI	40	48
MINE	36	43

5 大会審査委員会

- 1) 大会審査委員長はMFJロードレース委員会の委員もしくは主催者が指名する1級競技役員でMFJが任命する。
- 2) 任命された審査委員長が定時まで会場に到着しない場合は次席のものがこれにあたる。

6 参加資格

- 1) 年間資格
年間資格者は'96年の全日本選手権のどのクラスにもエントリー出来る。また、無条件に公式予選に出場することが出来る。以下の者に年間資格が与えられる。
 - ① '95年度全日本選手権にてポイントを得た者
 - ② '96年度全日本選手権にてポイントを得た者
 - ③ MFJスポーツ委員会で認められた者（世界選手権出場者等）
- 2) 限定資格
・限定資格は全日本選手権に3回エントリー出来る資格である。（どの大会のどのクラスにも使用できます）
・限定資格を得た場合は専用エントリー用紙が3枚渡される。（次年度の6月の大会まで有効）
下記①～⑧の者に限定資格が与えられる。また①～⑧を優先順位とする。
 - ① '95年度全日本選手権に出場し、予選を通過したがポイントは得られなかった者。
 - ② '96年度全日本選手権に出場し予選を通過したがポイントは得られなかった者。
 - ③ '96年度エリア選手権に国際ライセンスにて出場し1～6位に入賞した者（どのクラスでもよい・国内競技規則第3章⑳公式得点（35頁）の台数による制限が適用される）
 - ④ '96年度エリア選手権の下記クラスに国内ライセンスにて出場し優勝した者
GP125/GP250/スーパーバイク
（国際ライセンスに昇格し以後の全日本の限定資格が与えられる。）
 - ⑤ '95年度国際ライセンスにてエリア選手権に出場し15点以上のポイントを得た者。
 - ⑥ '95年度国内ライセンスにてエリア選手権に出場し30点以上のポイントを得た者。
 - ⑦ '95年度全日本選手権にエントリーしたがポイントは得られなかった者。
 - ⑧ '95年度の成績により国際ライセンスに昇格した者。

※'95年に得た限定資格は'96年の6月の大会まで有効です。
- 3) 主催者権限
主催者は上記以外のライダーの参加について許可する権限を有する。（海外からの参加、あるいは受け入れ数に余裕がある場合）
- 4) エントリーを行ない主催者に連絡なく欠席した場合、または選手受付を行なった後に正当な理由なく出場しなかった場合は、以降の当該年度のエントリーは受けつけられない。

7 出場料およびMFJ 共済会掛金

出場料：1クラス	14,000円
MFJ 共済会掛金 1人	4,500円
合計	18,500円

8 ピット要員

- 1) 1ライダーに対して6名のピットクルーが認められる。いずれもピットクルーライセンスが必要であり、当日の変更は可能であるが追加は認められない。
- 2) ピットエリアではライダー1名について3名のピットクルーが作業できる。

9 スポーツ走行

- 1) スポーツ走行は各クラス(予選組)ごとに最低下記時間が設定され、MFJライセンスにて走行できる。
無料のスポーツ走行時間：30分間
有料のスポーツ走行時間：30分間
- 2) 天候等やむを得ない理由にて短縮または中止される場合がある。

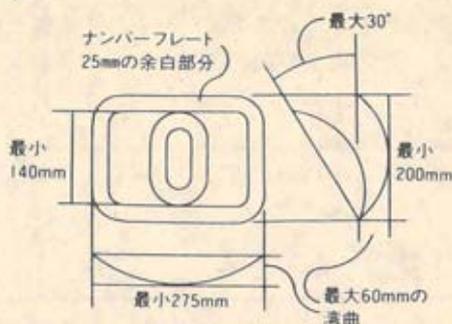
10 レース当日の練習走行

- 1) レース当日の朝、各クラスごとに最低10分間の練習走行が行われる。
- 2) 天候等やむを得ない理由にて短縮または中止される場合がある。

11 ゼッケンナンバー

- 1) 前年度全日本選手権の有得点者には当該クラスのランキング順位に従って年間指定ゼッケンナンバーが与えられる。
- 2) その他のライダーには大会ごとに主催者からゼッケンナンバーが指定される。
- 3) ランキング順位に従って定められたゼッケンナンバーを変更する場合はスポーツ委員会にて許可が必要であり、別途定める料金を必要とする。
- 4) 全日本選手権ゼッケン(ナンバープレート)規定
 - ① モーターサイクルのフロントと両サイドにナンバーが装着され、観客と競技役員が明確に識別できるようにしなくてはならない。
 - ② 文字およびバックグラウンドは、図Aに記載されている寸法に適合していなくてはならない。
 - ③ 文字の色は黒か白とし、バックグラウンドの色と判別しやすいようにされなくてはならない。
 - ④ バックグラウンドは最低限、下記の面積が単色でなければならない。蛍光色は禁止される。
・幅=275mm ・高さ=200mm
 - ⑤ ナンバープレートは、垂直から30°以上傾斜してはならない。
 - ⑥ ナンバープレートは、湾曲による突出が水平方向からも垂直方向からも60mm以上あってはならない。
 - ⑦ 文字の周囲には最低25mm幅の余白が残されていなくてはならない。
 - ⑧ ナンバーの明瞭度に関して議論が持ち上がった場合、車検長の決定を最終のものとする。判別しにくいと判断された場合はすみやかに修正しなければならない。

図A



12 車両の変更

- 1) 公式予選ではライダーは複数の車両を使用してもよいが、これはそのライダーの名前でTカーとして登録され、車検に合格していることを条件とする。
- 2) 公式車検終了後選手間でのマシンの交換はできない。
- 3) 何らかの理由で、レースが停止されることになった場合、レースの再スタート前にマシンを交換する事が出来るが、そのライダーの名前でTカーとして登録され車検に合格していることを条件とする。
- 4) レース停止の場合を除き、通常、Tカーとのマシン交換はサイティングラップのためにコースインするまでとする。

13 タイヤの使用本数の制限

- 1) 予選において使用出来るタイヤは2セットに制限する。
 - ① 雨天時のレンタイヤの使用本数の制限はない。
 - ② 「雨天時」とは路面が一部でも濡れている状況をいう。
 - ③ 「レインタイヤ」とはスリックタイヤ以外のすべてのタイヤをいう。
カットスリックもレインタイヤとみなすが、カットスリックのレインタイヤ判定は競技監督が行なう。
- 2) 予選のスタート前チェック時にペイントを行う。
- 3) 予選終了後は制限しない。
※上記制限は1エントリーに対するものとし、Tカーも含み以上の本数とする。

14 公式予選と予備予選

- 1) 公式予選
 - (1) 公式予選は各クラス・予選組ごとに最低20分間を2回行う。但し、天候等やむを得ない理由にて短縮される場合がある。
 - (2) 公式予選の各クラスの予選組数
 - ① 公式予選の予選組数は2組を原則とする。
 - ② 公式予選の同時出走最多台数は決勝レースグリッド数の120%である。
 - ③ 公式予選各組のエントリー数の中で年間資格者の割合が著しく多い場合は3組を上限として予選組数を増やすことが出来る。
- 2) 予備予選
 - (1) 上記制限にて各クラスのエントリー数が公式予選受け入れ最多台数を越えた場合は原則的に予備予選を行う。

- (2) 年間資格者は公式予選に参加出来る。
- (3) 限定資格の優先順位のなかで公式予選から参加する者と予備予選に参加しなければならない者を振り分ける。この場合の選択は主催者決定による。

15 タイムキーピングシステム

主催者の定める大会特別規則にて自動計測装置の取り付けを義務づけられた場合、これに従わなければならない。

16 スタートイングリッド

スタートイングリッドの数、配置は各大会の特別規則に示される。

17 レース距離

- 1) 各クラスの決勝レースの距離を下記のように定める。

GP125	50km～130km
GP250	60km～130km
スーパーバイク	70km～250km
- 2) 天候等やむを得ない理由によって上記の距離から短縮される場合がある。

18 賞および得点

- 1) 賞の詳細については公式通知に示される。
- 2) 得点は国内競技規則・第3章「公式得点」によって与えられる。
- 3) 2ヒート制で行なわれる場合は次項参照。
- 4) MFJのスポーツ国籍以外の選手については賞典は与えられるが、全日本選手権の得点が与えられない。(但し下位は繰上げない)
- 5) MFJグランプリ大会については上記の得点に3点が追加される。
- 6) 全日本選手権のランキングは上記得点の総合計によって決定される。その他の詳細は全日本選手権ランキング決定方法(208頁)に示される。

19 2ヒート制の規定

- (1) 第1レース、第2レースとも独立したレースとして行われる。
- (2) 走行距離：2つのレースは同周回数とし、トータルの走行距離は開催規定内にあること。
- (3) 第1レース、第2レースともにグリッドは予選結果に基づき決定される。
- (4) 第1レース、第2レースの間は原則として最低3時間のインターバルを設けること。
- (5) 2ヒート制の場合の賞金の配分については規定の半分づつそれぞれのヒートの結果に基づき与えられる。
- (6) 2ヒート制の場合のポイントは、各ヒートごとに通常のポイントが与えられる。
- (7) 第1レースにて完走しなかったライダーも第2レースに出場できる。
- (8) 両レースの間にマシンを交換することが許可される。ただしこの場合両方のマシンがTカーとして登録され車検を通過していること、そして両方が同じ型式であることを条件とする。

20 主催者の権限

- 1) 参加申し込みの受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは参加を拒否することができる。

- 2) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し、競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することができる。
- 3) 競技番号の指定、あるいはピット・ガレージの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することができる。
- 4) やむを得ざる理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの氏名登録または変更について許可することができる。
- 5) すべての参加者、ライダー、ピットクルーおよびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、放映、出版、ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第3者が使用することを許可できる。

21 本規則の施行

本規則は、各競技会の参加申し込み受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

本規則は1996年1月1日より適用される。

1996年1月1日
全日本ロードレース選手権
大会事務局長

'96全日本ロードレース選手権大会特別規則

'96全日本ロードレース選手権開催日程

※併催地方大会がある場合は特別規則に示す。

開催月日	大会名/開催クラス	出場申し込み先	出場申込期間
3月15日(金) 3月17日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦 鈴鹿スーパーバイク100miles 会場:鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	㈱鈴鹿サーキットランド SMSC 事務局 〒510-88 ☎0593(78)3405	2月6日(火) 2月15日(休)
4月26日(金) 4月28日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦 SUGO スーパーバイクレース 会場:スポーツランド SUGO ☎0224(83)3111	SUGO スポーツクラブ RR 係 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 スポーツランド SUGO 内 ☎0224(83)3127	3月19日(火) 3月28日(休)
5月17日(金) 5月19日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦 筑波スーパーバイクレース 会場:筑波サーキット ☎0296(44)3146	(財)日本オートスポーツセンター 〒105 東京都港区虎ノ門1-5-8 オフィス虎ノ門1ビル ☎03(3591)6056	4月9日(火) 4月18日(休)
6月7日(金) 6月9日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第4戦 鈴鹿スーパーバイク200km 会場:鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	㈱鈴鹿サーキットランド SMSC 事務局 〒510-88 ☎0593(78)3405	4月30日(火) 5月9日(休)
6月21日(金) 6月23日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第5戦 富士スーパーバイクレース 会場:富士スピードウェイ ☎0550(78)1234	MFJ 関東内 全日本 RR 事務局 〒170 東京都豊島区南大塚2-31-11 共栄大塚ビル5F ☎03(3943)6105	5月14日(火) 5月23日(休)
7月5日(金) 7月7日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦 SUGO スーパーバイク2ヒートレース 会場:スポーツランド SUGO ☎0224(83)3111	SUGO スポーツクラブ RR 係 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 スポーツランド SUGO 内 ☎0224(83)3127	5月28日(火) 6月6日(休)
8月9日(金) 8月11日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第7戦 MINE スーパーバイクレース 会場:MINE サーキット ☎08375(8)0321	MINE サーキット 〒759-21 山口県美祿市西厚保町 ☎08375(8)0321	7月2日(火) 7月11日(休)
9月6日(金) 9月8日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第8戦 鈴鹿スーパーバイク2ヒートレース 会場:鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	㈱鈴鹿サーキットランド SMSC 事務局 〒510-88 ☎0593(78)3405	7月30日(火) 8月8日(休)
9月20日(金) 9月22日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第9戦 筑波スーパーバイクレース 会場:筑波サーキット ☎0296(44)3146	(財)日本オートスポーツセンター 〒105 東京都港区虎ノ門1-5-8 オフィス虎ノ門1ビル ☎03(3591)6056	8月13日(火) 8月22日(休)
10月4日(金) 10月6日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第10戦 TI スーパーバイクレース 会場:TI サーキット英田 ☎08687(4)3311	TI サーキット㈱全日本 RR 事務局 〒701-26 岡山市英田郡英田町滝宮1210 ☎08687(4)3311	8月27日(火) 9月5日(休)
11月1日(金) 11月3日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第11戦 MFJ グランプリスーパーバイクレース in SUGO 会場:スポーツランド SUGO ☎0224(83)3111	SUGO スポーツクラブ RR 係 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 スポーツランド SUGO 内 ☎0224(83)3127	9月24日(火) 10月3日(休)

全大会:国際格式

'96世界選手権競技会の開催日程

開催月日	大会名/会場	開催クラス	出場申し込み先
4月19日(金) 4月21日(日)	FIM ロードレース世界選手権第3戦 マルボロ・グランプリ・ジャパン 会場:鈴鹿サーキット	GP-1 GP-2 GP-3	㈱鈴鹿サーキットランド SMSC 事務局 〒510-88 ☎0593(78)3405
7月26日(金) 7月28日(日)	FIM 世界耐久選手権第4戦 "コカ・コーラ"鈴鹿8時間耐久ロードレース大会 会場:鈴鹿サーキット	スーパーバイク	㈱鈴鹿サーキットランド SMSC 事務局 〒510-88 ☎0593(78)3405
8月23日(金) 8月25日(日)	FIM スーパーバイク世界選手権第10戦 SUGO スーパーバイク日本大会 会場:スポーツランド SUGO	スーパーバイク	SUGO スポーツクラブ 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎022(483)3127

※鈴鹿サーキットランドは、郵便番号と宛名のみで郵便物が届きます。

'96エリア選手権大会 特別規則

1 公 示

エリア選手権ロードレースはFIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則とエリア選手権レースの共通した項目をまとめた本大会特別規則と各大会の特別規則に基づきMFJ公認の国内格式競技会として開催される。

2 開催種目

参加資格：国際／国内ライセンス所持者（全日本年間資格所持者も可）

ク ラ ス：GP125 SP250

GP250 SP400

スーパーバイク

3 追加のクラス

エリア選手権には併催クラスが追加されてもよい。

4 選手権

- 1) エリア選手権はサーキットごと、もしくは複数のサーキットにまたがって開催される。
- 2) 選手権のランキング設定は主催者によって任意に設定されるので各主催者より発行される特別規則による。

5 コース

コースはMFJが国内公認したコースとする。開催上限クラスはその施設の公認された上限クラスに限定される。

6 大会審査委員会

- 1) 大会審査委員長は主催者が任命する。
- 2) 任命された審査委員長が定時までには会場に到着しない場合は次席のものがこれにあたる。

7 参加定員

参加定員は定めない。

8 出場料およびMFJ共済会掛金

エントリー料金は主催者によって定められる。

MFJ共済会掛金は4,000円

9 ピット要員

- 1) 1ライダーに対して最大4名のピットクルーが認められる。いずれもピットクルーライセンスが必要であり、エントリー時に申請が必要であり、当日の変更は可能であるが追加は認められない。
- 2) ピットエリアではライダー1名について2人のピットクルーが作業出来る。

10 ゼッケンナンバー

ライダーには大会ごとに主催者からゼッケンナンバーが指定される。
プレートカラーはクラスごとに下記に定められる。(国内、国際も同様)

GP125	黒地に白文字	SP	黒地に黄文字
GP250	緑地に白文字		
スーパーバイク	白地に黒文字		

11 車両の変更

- 1) 公式予選ではライダーは複数の車両を使用してもよいが、これはそのライダーの名前でTカーとして登録され、車検に合格していることを条件とする。
- 2) 車検終了後の選手間でのマシンの交換は出来ない。
- 3) 何らかの理由で、レースが停止されることになった場合、レースの再スタート前にマシンを交換することが出来るが、そのライダーの名前でTカーとして登録され、車検に合格していることを条件とする。
- 4) レース停止の場合を除き、マシン交換はレーススタート後トップのライダーが1周するまでとする。

12 タイヤの使用本数制限

- 1) 予選・決勝を通じ使用出来るタイヤは2セットとする。
 - ① 雨天時のレインタイヤの使用本数の制限はない。
 - ② 「雨天時」とは路面が一部でも濡れている状況をいう。
 - ③ 「レインタイヤ」とはスリックタイヤ以外のすべてのタイヤをいう。カットスリックもレインタイヤとみなすが、カットスリックのレインタイヤ判定は競技監督が行う。
- 2) 予選または決勝のスタート前チェック時にペイントを行う。
- 3) 上記チェックの実施については主催者が定め、公式通知に公示する。

13 公式予選

公式予選は主催者により設定される。(最低時間は設けない)

14 タイムキーピングシステム

主催者の定める大会特別規則にて自動計測装置の取り付けを義務づけられた場合、これに従わなくてはならない。

15 スタートイングリッド

スタートイングリッドの数、配列は各大会の特別規則に示される。

16 賞および得点

- 1) 賞の詳細については公式通知に示される。
- 2) 得点は国内競技規則第3章「公式得点」によって与えられる。
- 3) 耐久レースの場合は2倍のポイントがそれぞれのライダーに与えられる。ただしチームが3人からなる場合、レースの総距離あるいは総走行時間の20%以上を走ったライダーに得点が与えられる。
- 4) 国内ライセンスで獲得する昇格ポイントは総合順位によって与えられる。

17 主催者の権限

- 1) 参加者申し込みの受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは参加を拒否することができる。
- 2) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し、競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することができる。
- 3) 競技番号の指定、あるいはピット・ガレージの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することができる。
- 4) やむを得ざる理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの氏名登録または変更について許可することができる。
- 5) すべての参加者、ライダー、ピットクルーおよびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、放映、出版、ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第三者が使用することを許可できる。

18 本規則の施行

本規則は、各競技会の参加申し込み受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

本規則は1996年1月1日より適用される。

1996年1月1日
エリア選手権
大会事務局長

ロードレースにおける 2次災害防止について

最近転倒後に後続車にひかれる2次的な事故が多発しております。

転倒、もしくは故障で停止したときに2次事故防止に十分に気を配って行動して下さい。

転倒、又は故障停止したら

2次災害防止を基本的に

転倒したら2次災害の防止。つまり、後続車にひかれる、あるいは後続車を転倒させる等、事故の増大を防止するよう心がけて下さい。

まず逃げる

転倒したら、まず安全な所にできるだけ早く逃げて下さい。

特に、オイルによる転倒は、後続車も同じ所に次々と転倒してきます。

後続車への合図

ポストから黄旗が振られますが、できるかぎり後続車に知らせる努力をして下さい。タイミングを見て、電源と燃料コックをOFFにして火災やガス漏れの防止をして下さい。

障害物のかたづけ

オフィシャルと協力して散乱部品のかたづけを素早く行って下さい。オイルやガソリンがこぼれていたなら処理作業も素早く行って下さい。安全上、走ってくるレーサーに背中を向けないよう心がけて下さい。

コース内はヘルメットを

自分が転倒した所は他のライダーも転倒しやすい場所です。いつ飛び込んで来るかわかりません。

ガードレールの外に出るまではヘルメットを被ったままで行動して下さい。コース内（グリーンも含む）にライダーがいる間は黄旗が振られ、追い越し禁止です。他のライダーを拘束しますので、出来るだけ早くコース外に退場して下さい。

転倒車両を見たら

転倒したマシンは、オイル、ガソリン等をこぼす可能性があります。

走行中に転倒車を目撃したら次の周には充分注意をして通過して下さい。

再スタート

マシンが再スタートが可能かどうかの確認をする。

マシンの点検はコース内の危険な場所で行わないで下さい。オフィシャルの指示に従い安全な場所へ移動して下さい。

- 1) オイル、ガソリン、冷却水、ブレーキオイル等の漏れがないか確認をして下さい。オイル漏れなどがあった場合は無理にピット帰還はしないで下さい。
- 2) 走行に危険のある部分の破損、重要保安部品の破損がないか、また破損部分が鋭利になり2次被害を与えないか確認して下さい。
- 3) カウリング内に泥、砂利、草等が入っていないかを確認し、またタイヤに泥が付着したままライン上に復帰してはいけません。後方の安全を十分に確認し余裕をもってコースに復帰して下さい。

夢応援



TOKACHI RIDING CLUB ご案内

■入会資格

●モータースポーツ参加を希望するライダーの方に、TISにおいてスポーツ走行をしていただくためのクラブ・ライセンスです。

●普通運転免許証の免許所持者の方であれば取得できます。

※取得を希望する方が未成年者(満20歳未満)の場合、親権者の承諾が必要となります。

■新規・更新費用

- ①発給料.....24,000円
- ②共済金.....6,000円

※取得年度の12月末日迄有効 30,000円

■各種利用料金

●グランプリ・クラブマンコース・スポーツ走行料

- ①2輪.....3,000円/1単位:25分

●ジュニアコース・スポーツ走行料

- ①2輪.....2,000円/1単位:20分
- ②カート.....1,000円/1単位:20分
- ③ミニバイク...1,000円/1単位:20分

●タイム計測料

- ①2輪.....1,000円/1単位

●ガレージ使用料(レースウィーク)

- ①2輪.....1,000円/1台:1日

■割引・特典

●入場料

平常時:無料(本人及び同伴者1名)
イベント時:1名様無料(クラブマン&ロードレース入場)
2割引優待券3枚発行 (JTCC&JIS持参時)
(各P3000入場券)

●無料走行券

初回1単位無料走行券進呈
10回単位走行毎に1単位無料走行券進呈

●レースウィーク無料走行券

1単位無料券発行(名大会エントリーの方)

●スクール・走行会優待

2,000円割引(TIS主催)

●クラブ定例走行会開催:年2回開催

1996 十勝ロードレース選手権シリーズ・スケジュール

※日程が変更になる場合があります。

		GP125		SP250		SP400		NK	ミニバイク	
		十勝選手権	エリア選手権	十勝選手権	エリア選手権	十勝選手権	エリア選手権	十勝選手権		
第1戦	5月12日	○		○		○		○	○	耐久
第2戦	7月7日	○	○	○	○	○	○		耐久	○
第3戦	8月4日	○			4時間耐久		4時間耐久	○		耐久
第4戦	9月8日	○	○	○	○	○	○		○	耐久
第5戦	10月13日	○		○		○		○	耐久	○

十勝インターナショナルスピードウェイ
1996ビッグ・レース

’96全日本選手権
フォーミュラーニッポン第4戦 十勝インターナショナルフォーミュラー 6/22~23
NI耐久ラウンドシリーズ’96第5戦 第3回 十勝24時間レース 7/26~28
全日本スーパーツーリングカー選手権レース 9/21~22
選手権 第11/12戦

十勝インターナショナルスピードウェイ

〒089-15 北海道河西郡更別村字弘和477番地



GO TO サーキット
Tel.0155-52-3910 Fax.0155-53-3333



緑の中のモーター ランドは みんなの心の開放区

西中国・九州エリア選手権
開催決定!

'96 HSR 九州ロードレースカレンダー (暫定)

ライセンス区分	承認		公認										承認		なし							
	国際	国際・国内	国内	国内・フレッシュ	国内・フレッシュ	国内・フレッシュ	国内・フレッシュ	国内・フレッシュ	国内・フレッシュ	国内・フレッシュ	国内・フレッシュ	国内・フレッシュ	国内・フレッシュ	国内・フレッシュ	国内・フレッシュ	国内・フレッシュ	国内・フレッシュ	国内・フレッシュ	なし	なし		
イベント名	格 式	九州選手権										HSR選手権										
	日 程	スーパー スプリント	GP 250	GP 125	GP 250	GP 125	SP 400	SP 250	SP 125	SP 80	NK -M	NK -N	S 80	SP 12	N 250	N 400	N 50	S 50	4st 300+4	リ ビ ン グ 40	ス ー パ ー バ イ カ ー ズ ON 100%	ス ー パ ー バ イ カ ー ズ OFF
ミニバイクフェスタ	2月4日																					
スプリングフェスタ	3月3日																					
九州RR 第1戦	3月24日																					
九州RR 第3戦	5月12日																					
ミニバイクフェスタ	5月26日																					
スーパーバイカーズ	6月9日																					
モトチャンプカップ	6月16日																					
エリア 第4戦	6月23日																					
オートムフェスタ	9月1日																					
エリア 第6戦	9月15日																					
九州RR 第5戦	10月27日																					
モトチャンプカップ	11月17日																					
九州RR 第6戦	11月24日																					
ミニバイクフェスタ	12月8日																					
スーパーバイカーズ	12月15日																					

※上記日程は予告なく変更することがありますので予めご了承下さい。
(1995.12.25 現在)

●九州スーパースプリント開催決定!
国際クラスの選ばれたライダーだけが参加できるクラス
上位入賞者には賞金授与。

エリア・九州選手権エントラントに限り、
有効なMFJ競技ライセンスでエントリー
時点より、大会前日迄スポーツ走行可能と
致します。この大会特別措置は96年度に限り
実施致します。

◆HSR九州サーキットライセンス
HSR九州には2つのサーキットライセンスがあります。
一般市販車、50ccレース仕様車で走行出来る「ファミリーライセンス」
レース仕様車で走行出来る「スポーツライセンス」
料金 ファミリーライセンス 10,000円
スポーツライセンス 23,000円
自分の目的にあったライセンスを選び

◆会員特典
・年末、年始、会員対象イベント開催、参加無料走行
・走行料割引
・2,100円/回 ⇨ 1日3回より1,500円/回
・HSR九州主催イベント参加者の方へ無料走行チケットプレゼント



'96 HSR 九州モトクロスカレンダー

選手権	日 付	Jr 80	NB 80	NB 125	NB 250	NA 125	NA 250	IB 125	IB 250	IA	ライセンス オープン	80オープン	主催者
HSR九州 モトクロス大会	1/29										○	○	HSR九州
九州モトクロス第3戦 熊本大会	4/7	○	○	○	○	○	○	○	○	●			MFJ熊本・HSR九州
全日本モトクロス第3戦 九州大会	4/27,28									○			MFJ九州ブロック協議会・ HSR九州
九州モトクロス第10戦 佐賀大会	9/8	○	○	○	○	○	○	○	○	●			MFJ佐賀
九州モトクロス第11戦 熊本大会	10/13	○	○	○	○	○	○	○	○	●			MFJ熊本・HSR九州

※●…IAクラスはオープン参加とし、賞典から除外とされる



シングル&ツイン



スーパーバイカーズ



ミニバイク



モトクロス



トライアル

HSR九州

熊本県菊池郡大津町平川 1500

☎ 096-293-1370

FAX 096-293-1371

1996年 筑波サーキットは 新春を迎え、さらに躍進します!

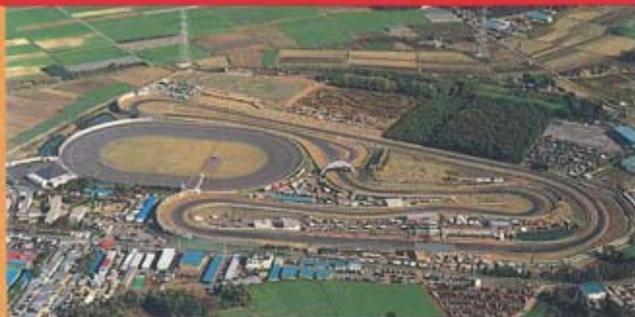
ライセンスを取得して、レースを楽しむ。

レース観戦で、手に汗握る。

筑波サーキットは

モータースポーツの楽しさを提供して25年。

そして、これからも……



筑波サーキットライセンスとは…

筑波サーキットを走るための走行許可証です。
ライセンスは、「一般会員」「スポーツ会員」があります。
「一般会員ライセンス」は、ノーマル車両のみの走行になります。
「スポーツ会員ライセンス」は、レース仕様車両が走行できます。
これからレースに出ようと思っている人趣味でサーキット走行を楽しみたい人はライセンスの取得をおすすめします。
*「スポーツ会員ライセンス」は、「一般会員ライセンス」を取得後、別途お申込みを承ります。

ライセンスの取得方法は…

サーキットで講習会(講義と体験走行)を受講していただきます。
予約の必要はありません。講習会の当日、午後1時から2時までにサーキットで受付してください。

講習会日程

'96. 1月14日(日)、21日(日)	7月7日(日)、28日(日)
2月12日(祭)、25日(日)	8月18日(日)、25日(日)
3月10日(日)、20日(祭)	9月8日(日)、29日(日)
4月14日(日)、29日(祭)	10月6日(日)、20日(日)
5月6日(祭)、	11月3日(日)、17日(日)
6月16日(日)、30日(日)	12月1日(日)、22日(日)

*日程は、都合により変更になる場合がございますので、予めお問い合わせの上、ご来場下さい。

当日の用意は…

1. 写真(運転免許証用タテ3cm×ヨコ2.5cm)を2輪は4枚、4輪は2枚。
2. 運転免許証(2輪は自動2輪)
3. 印鑑
4. 筆記用具
5. 20才未満の方は親権者の承諾書
6. ヘルメット(2輪はフルフェイス)
7. グローブ
8. 体験走行用の車両(吸排気系はノーマルに限ります)

受講料は…

料金は、16,000円です。一般会員ライセンス発行料、教材費です。
2輪は、MFJ発行のフレッシュマンライセンス(レース競技ライセンス)発行料も含まれていますのでとてもお得です。

ライセンス発行は…

講習会終了後、仮ライセンスを発行いたします。
約3週間後に本ライセンスがご郵送されます。
有効期間は、取得日より1年間です。

本部 〒105 東京都港区虎ノ門1丁目5番8号
オフィス虎ノ門1ビル2F ☎03-3591-6056

筑波サーキット 〒304 茨城県結城郡千代川村
村岡 ☎0296-44-3146~7

'96 TSUKUBA RACE CALENDAR (2輪)

開催日	全日本選手権			エリア選手権			関東・筑波選手権					筑波選手権						
	SB	GP 250	GP 125	SB	GP 250	GP 125	GP 250	GP 125	SP 400	SP 250	SP 125	GP 125B	SP 400B	SP 250B	S 80	GP 80	N-NK	NK-4
2月17~18日							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月16~17日					★	★	●	●	●	●		○	○	○				○
4月13~14日				★	★	★	○	○	○	○	○	○	○				○	○
5月18~19日	☆	☆	☆															
6月8~9日					★	★	●	○	●	●	●	○	○	○		○		
7月13~14日				★	★	★	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月7~8日							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月21~22日	☆	☆	☆															
10月26~27日							●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○
開催数	2	2	2	2	4	4	7	7	7	7	7	5	5	5	3	4	4	4

※☆印は全日本選手権シリーズの開催クラスです。★印はエリア選手権の開催クラスです。

※○印は筑波選手権シリーズの開催クラスです。●印は関東選手権シリーズの開催クラスです。

※MFJライセンスの昇格：筑波選手権のGP125、GP250、SP250、SP400クラスは、関東選手権筑波大会の同クラスで得たポイントを合算することができます。

KADOYA, FACTORY DIRECT ORDER SYSTEM.



公認

KADOYAでは高いクオリティーのオーダースーツを、よりリーズナブルにユーザーの皆様へお届けするために「本社工場直販」という形態を導入致しました。今後はよりお求めやすい価格で、「レーシングスピリット&クラフツマンシップ」の物造りの姿勢を変えることなく、ご満足頂ける商品をお届けしていきます。



ORDER SUIT

プロダクションクラスからGPクラスまで
プロユースの本格的レーシングスーツ

◀ RACING CUT ONE PIECE ORDER SAMPLE

・基本価格	¥145,000
・胸部パンチ	¥2,500
・スペシャルKADOYAロゴ	¥9,000
・ワッペン追加	¥2,000
TOTAL	¥158,500

クラブマンレースからツーリングまで
新開発の「クラキン」セパレートスーツ

CLASH KING OVERGUARD SUIT ▶ ORIGINAL DESIGN

・基本価格JAC	¥80,000
・基本価格PANTS	¥80,000
TOTAL	¥160,000



OVERGUARD SUIT

ORDER SUIT PRICE LIST 価格表

CUT AND STYLE	DESIGN WORK	デザインなし	デザインあり
レーシングカットワンピース		¥125,000	¥145,000
ツーリングカットワンピース		¥125,000	¥145,000
ツーリングカットツーピース		¥130,000	¥150,000

- 身長180cm以上、及び体重80kg以上の場合はUP料金が掛かります。
- 蛍光色、及び特色を使用される場合は¥10,000UPになります。
- 各カットとも切り替え部分ごとの配色はデザイン図いにはなりません。
- 本誌又は別冊のKADOYAクラウンワッペンはサービスです。

OVERGUARD SUIT PRICE LIST 価格表

アイテム・マーキングタイプ	価格	マーキング概要
CLASH KING OVERGUARD JACKET	¥80,000	各種ロゴマーク全て込み。
CLASH KING OVERGUARD PANTS	¥80,000	各種ロゴマーク全て込み。
NO MARK OVERGUARD JACKET	¥70,000	別入るもの、カスタムベース、オリジナルの文字やマークを記入出来ます。
NO MARK OVERGUARD PANTS	¥75,000	KADOYA型押し以外ののみ、カスタムベース、オリジナルの文字やマークを記入出来ます。

- 身長180cm以上、及び体重80kg以上の場合はUP料金が掛かります。
- カラーはお好みでオーダー出来ます。
- なお、蛍光色及び特色を使用される場合は¥10,000UPになります。
- 各カットとも切り替え部分ごとの配色はデザイン図いにはなりません。

MARKING PRICE LIST マーキング(文字) 価格表

書体タイプ	文字タイプ	シングル文字	ダブル文字(フチ付)
通常書体	一文字	¥400	一文字 ¥500
筆記体・指定書体	一文字	¥500	一文字 ¥600
漢字	一文字	¥2,000	一文字 ¥2,500

- KADOYA** 特製ロゴ：一箇所はサービス二箇所からは¥3,000
下掲KADOYAロゴ(転写プリント)はサービス
- 一文字は縦8cm×横8cmまでのサイズです。
 - それ以上の大型文字は別途見積りになります。
 - 線画に細かい文字は不可。
 - 指定書体の場合は必ず見本書体を送付して下さい。
 - 蛍光色、特色使用の場合は一文字 ¥2000UPになります。
 - プロダクション文字は一文字 ¥1,000です。
 - イラスト等は別途見積り致します。

KADOYA
RACING SPIRIT AND CRAFTSMANSHIP
SINCE 1935

(株)カドヤ本社 〒111 東京都台東区西浅草3-29-21 TEL.03(3843)2000
ザ・バトルショップ 〒111 東京都台東区浅草4-28-1 TEL.03(3876)7667
仙台店 〒980 宮城県仙台市青葉区北横2-6-15 TEL.022(233)8000
栃木店 〒326 栃木県足利市大前町688-2 TEL.0284(63)0769
●営業時間/AM10:00~PM7:00(ザ・バトルショップはPM12:00~PM8:00)
●定休日/毎週水曜日

通信販売でのオーダーも承ります。詳しい資料をご希望の方は、左の三角券と600円分の切手を同封の上カドヤ本社までご請求下さい。

MFJ'96

FUJI INTERNATIONAL SPEEDWAY

FISCOは
あなたのトライを
待っている。



'96年 FISCOロードレース開催スケジュール

開催日	タイトル ライセンス クラス	関東選手権				エリア選手権			FISCO NK選手権
		N				I・N			I・N・F
		GP125	GP250	SP250	SP400	GP125	GP250	SB	N・M・O・4
3月30日(土)	関東ロードレース選手権第2戦			○	○	○	○	○	○
5月11日(土)	関東ロードレース選手権第4戦	○	○			○	○	○	○(300km耐久)
6月22日(土) 23日(日)	関東ロードレース選手権第6戦 (全日本ロードレース選手権第5戦併催)				○				○
8月 3日(土)	関東ロードレース選手権第8戦		○	○	○	○	○	○	○
9月28日(土)	関東ロードレース選手権第11戦	○	○	○	☆(300km)				

体験走行のご案内

- ◇走行日 レース開催日・定休日を除く毎日昼12時より
- ◇料金 1回1台¥2,000(2輪・4輪共)
- ◇受付 当日、11時～12時まで。コントロールセンター1階
- ◇内容 ペースカー先導により、国際レーシングコース
(1周4.447km)を2周

※ご自分の乗用車・オートバイで気軽にご参加下さい。

スポーツ走行ライセンス講習会のご案内

- ◇受付時間：9:00～10:00(当日FISCO教室で受付)
- ◇講習時間：10:00～12:30
- ◇必要なもの：①受講料 18,000円
②運転免許証(公安委員会)
③印鑑
④証明写真1枚(3cm×3cm)
⑤筆記用具
⑥血液型(各自調べておく)

※20才未満の方は所定の誓約書に親権者の署名捺印
が必要となります。

※ライセンスの問合せ TEL.0550-78-1233



富士スピードウェイ株式会社

■本社
〒100 東京都千代田区丸の内2-4-1(丸ビル2F)
TEL.03-3216-5611 FAX.03-3216-5619

■レース場
〒410-13 静岡県駿東郡小山町大御神
TEL.0550-78-1234 FAX.0550-78-0205



SINCE 1982

SINCE 1982

NEWS PUBLISHING CO., INC.

SINCE 1982

RIDING
RIDING

SINCE 1982

SINCE 1982

SINCE 1982

SINCE 1982

SINCE 1982

RIDING SPORT

SINCE 1982

【ライディングスポーツ】毎月24日発売定価580円(税込み)

NEWS PUBLISHING CO., INC.

株式会社ニュース出版

〒154 東京都世田谷区三宿2-4-7 TEL. 03-5430-4440/FAX. 03-5430-4455

応援します

明日へのライダー

NOBLE SPORT SPIRITS
Mine circuit
by GARDON



96年もミニバイクからスーパーバイクまで
幅広くロードレースを応援します。



1996 MINE全日本・地方選手権および承認競技会カレンダー

95.12.1 暫定

8/9 11	全日本ロードレース選手権シリーズ第7戦 MINEスーパーバイクレース	開催クラス GP125・GP250・スーパーバイク	参加申込先 〒759-21 山口県美祢市西厚保町長尾 MINEサーキット TEL.08375-8-0321	出場申込期間 7/2~7/11
-----------	---------------------------------------	------------------------------	---	--------------------

開催日	格 式 ライセンス区分 レース名	承認競技						地方選手権				エリア選手権		
		L~	F~INT			F~NAT		NATライセンス				NAT・INT		
		S5	NK	ST	S80	GP125B	N250	SP250	SP400	GP125	GP250	GP125	GP250	SB
2/11	西日本ロードレース第1戦	○	○				○				○	○		
3/10	西日本ロードレース第2戦(エリア1)				○							○	○	○
4/7	西日本ロードレース第3戦		○									○	○	○
5/26	西日本ロードレース第4戦(エリア3)				○			○耐久				○	○	○
6/2	ロードレースYOU・遊・友		○	○										
6/30	西日本ロードレース第5戦	耐				○	○	○	○	○	○			
7/28	西日本ロードレース第6戦(エリア5)				○			○	○			○	○	○
9/29	西日本ロードレース第7戦	耐	○					○	○	○	○	○	○	○
11/10	西中国・九州ロードレース大会 西日本ロードレース				○							○	○	○
11/23	ロードレースYOU・遊・友		○	○			○							

西中国・九州ロードレースエリア選手権

開催日	大会名称	会場	GP125	GP250	SB	併催種目
3/10	西中国・九州ロードレースエリア選手権 第1戦 MINE大会	MINE	○	○	○	S80・SP250・SP400
4/14	西中国・九州ロードレースエリア選手権 第2戦 SPA大会	SPA直入	○	○		SP125・SP250・SP400・NK
5/26	西中国・九州ロードレースエリア選手権 第3戦 MINE大会	MINE	○	○	○	S80・耐久(SP250・SP400)
6/23	西中国・九州ロードレースエリア選手権 第4戦 HSR大会	HSR九州	○	○		SP400・NK・SP12・N250・N400
7/28	西中国・九州ロードレースエリア選手権 第5戦 MINE大会	MINE	○	○	○	S80・SP250・SP400
9/15	西中国・九州ロードレースエリア選手権 第6戦 HSR大会	HSR九州	○	○		SP250・SP400・NK・SP12
10/13	西中国・九州ロードレースエリア選手権 第7戦 SPA大会	SPA直入	○	○		GP80・SP125・NK
11/10	西中国・九州ロードレースエリア選手権 選抜大会	MINE	○	○	○	S80・GP125B

お問い合わせ・お申込先

MINEサーキット

〒759-21 山口県美祢市西厚保町長尾

☎08375-8-0321 FAX.08375-8-0323



雨の日のオーリンズ。

OHHLINS PRODUCTS

●雨の日のショックの役割編

世界GPとかスーパーバイクレースに関心の高い方なら、すでにお気づきでしょう。雨の日のオーリンズ装着車が群を抜いて速いタイムをマークしている事実を。もちろん、ドライのコンディションでもトップを争っておりますが、特にウェットコンディションでその優位性が証明されているのです。なぜでしょう。たしかにレインタイヤの性能向上もあるけれど、それ以前にすでにオーリンズショックが作動し始めたその瞬間から、ハンドルを切ったり、フルブレーキングをかけショックが働いている全ての領域でダンパーがよくきいているのです。具体的にいうならスプリングとのコンビネーションがいいからなのです。あるGPライダーが、「オーリンズ装着車と未装着車乗り換えてテストしてみればハッキリとその違いが分かるでしょう」と語ってくれた。●オーリンズで味わうことのできるショックの良さは、ただ単に1個の商品としての価値を超えたところにあると言っても過言ではないでしょう。

フルアジャスタブル・ツイインショック ¥118,000

●ガス室とオイルを隔離するフリーピストンにより、キャビテーション(空泡)を防止し、エアレーション(空気が入り込み)を防ぐと共に高い冷却性能を誇る。●圧縮減衰力調整機構(4段階) ●伸縮減衰力調整機構(20段階) ●全長無段階調整機構(+10mm) ●減圧スプリングアップロードアジャスター(10mm行程)
適合車種：ゼファー1100/21、ゼファー400/2400、Z9X400、CB1000SF(BIG1)、CB900/1100F、CB400SF、XJR1200、V-MAX、XJR400、GSX1100Sカタナ



※他のオーリンズ製品同様、オーバーホール/修理が可能。また、6ヶ月間の保証も設けています。(一部を除く)



オーリンズのお求めは、この看板のオーリンズプロショップで。
●販売価格は消費税および取り付け工賃を含まない1台分セットです。●価格および仕様は変更のため予告なく変更する場合があります。●カタログをこの表紙の右ページに貼った証書・年数・この表紙の裏面を明記し、500円の送料を同封して〒501-8517 愛知県津島市までお申し込みください。●オーリンズ販売元・株式会社オロックス・ジャパン

商品に関するお問い合わせは
お客様フリーダイヤル
0120-81-1113



オーリンズに関するお問い合わせは
株式会社オロックス・ジャパン
フロブ・カロッツェリア
〒516 堺市東区和泉15-8-21-13
TEL 049-863-1811 FAX 049-863-1802

RSS (レーシングサービスショップ) 最高ランク認定店!!

SPORTS RIDERでは、SP、NK、ミニバイク等カテゴリーを問わずチーム員を募集しています。経験なんて関係なく、一緒にレースをしてみませんか。



川田俊治

'96 TZR125 ¥998,000 (消費税別)



'96 TZR250 ¥1,820,000 (消費税別)

関口太郎
チーム員募集!!



及川誠人

'96ヤマハコンベモデル絶賛発売中

スポーツライダーは、ロードレーサーだけでなく、'96ヤマハモトクロスラー、エンデューロ及びトライアルマシンも販売しております。マシンでお悩みの方、'96シーズンレースの計画の方、その他レースのことなら何でもご相談下さい。

〈'96ヤマハモトクロスラー〉 ●YZ250 ¥569,000 ●YZ125 ¥479,000 ●YZ80 ¥299,000 ●YZ80LW ¥319,000

〈'96ヤマハトライアル〉 ●TY250Z ¥750,000

※価格は全て消費税別です。

中古レーサー販売・下取りのご相談お受け致します。

KISS



富士電工



DUNLOP

BRIDGESTONE



DID

…の各企業に応援頂いております。

SPORTS RIDER

スポーツライダー：〒241 横浜市旭区東希望ヶ丘188 ☎045-363-5112代 姉妹店：西武横浜店 (野口モータース)

Mf-BIKE
RACING TEAM

体験

モータースポーツ
●ロードコース
●ダートコース
チームレンタルOK!!



ATV



ダートトラック



モトクロス



WELCOME
TAJIMI COMMUNITY LAND

自動車部
安田大興産



シムカーナ



スポーツ走行

個人フリー走行大歓迎



△Photoオプション提供



4WD



ドリフト

多治見I.C.から5分アクセスの良さも最高!!

MAP TAJIMI COMMUNITY LAND



お気軽にお電話下さいませ。

お問い合わせ先



募集中
各種イベント

日本のお真中!!
北から南から



多治見コミュニティーランド事務局(ミスターバイク内)
〒486 愛知県春日井市瑞穂通9-15-1 TEL(0568)84-5251 FAX(0568)84-8243

M

モトクロス

OTO CROSS

▼細則 4 モトクロス競技細則

1. 適用の範囲	84
2. モトクロス	84
3. コースの仕様	84
4. レース中の公式シグナル (合図)	84
5. 出場車両	84
6. MFJ公認車両・公認部品	85
7. ライダーの装備	85
8. 参加資格	85
9. 出場申し込み	85
10. 参加受理	86
11. 公式通知・タイムスケジュール	86
12. 参加定員	86
13. ゼッケンナンバー	86
14. 燃料およびオイル	86
15. 出場受付	86
16. 車両検査	87
17. ライダーの変更	87
18. 車両の変更	87
19. 部品の変更	87
20. フリープラクティクスおよび公式練習	87
21. ピットおよびサインエリア	88
22. 公式予選	88
23. 決勝レース出場台数	88
24. スタート位置の決定方法	88
25. ウォーミングアップ	88
26. レース	88
27. レースの終了	89
28. 優勝者、入賞者、完走者及び得点	89
29. 入賞車両の検査	89
30. レースおよび大会の延期、中止等	90
31. 抗議	90
32. レース中の違反行為に対する罰則	90
33. 本規則の解釈	90
34. 本規則の施行	90

▼細則 5 '96全日本選手権大会特別規則

1. 公 示	91
2. 競技会開催日程	91
3. 運営・実行組織	91
4. 開催部門・クラス	91
5. 参加資格	92
6. 出場申し込み	92
7. 出場料および共済会掛金	92
8. 参加受理	92
9. 競技内容	93
10. 賞および得点	93
11. 出場車両	93
12. ゼッケンナンバー	93
13. ガソリンおよびオイル	94
14. 車両検査	94
15. 車両の変更	95
16. フリープラクティクスおよび公式練習	95
17. 決勝レース出場資格	95
18. スタート	95
19. レース	96
20. 入賞車両の検査	96
21. 総合順位の決定方法	96
22. 抗議	96
23. 本規則の解釈	96
24. 本規則の施行	96
'96全日本モトクロス選手権開催日程	97

細則 4

モトクロス 競技細則

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則に基づきすべての国内のモトクロス競技会に適用される。(世界選手権は除く)

2 モトクロス

モトクロスとは、走路面に凹凸、急勾配、走路方向が急変するような地形のところで行われるクロス・カントリーレースである。国内競技規則および本細則により管理される。

3 コースの仕様

コースの長さは1周1km以上、2km以下とし、その幅は少なくとも追い越し可能なゆとりを持たせなければならない。また、コース等は、別に定めるモトクロス会場に関する規則に準拠し、適切なレーシングコンディションと安全性とが確保されていなくてはならない。

4 レース中の公式シグナル(合図)

- 1) 公式シグナル(合図)は、約750mm×600mm寸法の旗を使用し、次のように与えるものとする。

シグナル	意味
赤旗	全員走行停止
黄旗とゼッケンを記したボード	当該ライダーは走行停止
黄旗(静止)	危険予告
黄旗(振動)	徐行、安全確認、追い越し禁止
青旗	警告、ラップされようとしている
緑旗	先に出した合図の解除、コースクリア
白黒チェッカー旗	レース終了

- 2) 競技内容が示されている規定の時間を経過した後、トップのライダーがゴールを通過した時点から、残りの周回数を示すボードが提示される。

5 出場車両

車両は、国内競技規則・第3章 [⑫出場車両] (33頁) の限度を充たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

尚、改造されて型式(モデル)が判別できないような車両は競技会に出場することはできない。

6 MFJ 公認車両・公認部品

MFJ 公認車両及び公認部品は、国内競技規則・第3章 [⑬MFJ 公認車両および公認部品・用品] (33頁) を参照。

7 ライダーの装備

1) ヘルメット

- (1) ヘルメットはジェット型かフルフェイス型のもので、MFJ が公認したものでなくてはならない。
- (2) MFJ の公認したヘルメットには、公認マークが貼付されている。
- (3) 競技会の車両検査時にヘルメットの検査が行われ、検査に合格しなかったヘルメットは、MFJ の公認したヘルメットであっても当該ライダーの安全上、その使用を禁止される。
- (4) MFJ 公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査を受け、公認ヘルメットと判明した時点で、公認シールが貼付される。その際、特別検査料 (1,000円) を支払わなければならない。



2) ゴーグル

ガラスを用いたゴーグルの使用は一切禁止される。枠は柔軟な素材を使用したもので転倒時等による衝撃を受けた場合でも危険でないものでなくてはならない。

3) ライダーの服装

- (1) 服装は、レース中ライダーの身体の安全を確保し、車両の操縦を防げるものであってはならない。
- (2) 耐火性で溶けない素材の丈夫な生地で作られた自由な動作を妨げない長袖のジャージを着用しなければならない。
- (3) 突出部分のない革、または革と同等以上の性能を持つ手袋及びブーツを着用しなければならない。
- (4) ライダーは競技会中、難燃性の素材を使用した肌着を着用しなければならない。

8 参加資格

参加者及びライダー

参加者及びライダーは、国内競技規則・第3章 [⑨競技参加者] (31頁参照) に合致していなければならない。

9 出場申し込み

- 1) 出場申し込み場所および期間は、大会特別規則の定めるところのものとする。
- 2) 出場申し込み手続き
 - (1) 各部門とも所定の申し込み書に必要事項をすべて記入し、出場料及び MFJ 共済会掛金を添えて大会事務局に提出しなければならない。
 - (2) 2クラス以上に出場を申し込み場合でも、申込書は1枚でよい。ただし、2クラス以上出場に必要な事項をすべて記入すること。もし記入漏れのあった場合、申し込みを拒否される場合がある。
 - (3) 郵送の場合は現金書留を使用し、締切日当日の消印のあるものまでが有効となる。
 - (4) 締切日以降の申し込み及び電話・FAX 等の申し込みは一切受けつけない。

10 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申し込み書、及び所定の金額を大会事務局が受理したもののみ、参加受理書が発送される。
- 2) 大会が中止された場合、また参加者が何らかの理由によって拒否された場合、(申込者が必要な手続きを怠った場合はこれに当てはまらない) にのみ出場料、共済会掛け金が返却される。
- 3) いったん受理された出場料・共済会掛け金は、上記2)及び細則4〔㊸レース及び大会の延期、中止〕(90頁)の場合を除き、いかなる理由があっても返却されない。公式予選を通過しなかった場合も同様である。

11 公式通知・タイムスケジュール

公式通知及びタイムスケジュールの詳細は、申し込み締切後に通知される。

12 参加定員

定員は定めない。

13 ゼッケンナンバー

- 1) ゼッケンナンバーは、車両検査までに規定の書体及び色で記入しなければならない。(22頁参照)
- 2) 年間指定ゼッケンナンバーを与えられているライダーは、ヘルメットの両側にゼッケンナンバーを記入しなければならない。
- 3) ゼッケンナンバーの状態は、車両検査時に車検員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
ゼッケンの修正を要求された場合、速やかに修正を行い、再度車両検査を受けなければならない。
- 4) レース中、ナンバープレートや配布されたゼッケン及びヘルメットナンバーシールを装着せずに走行した場合は、また、間違ったゼッケンナンバーを装着して走行した場合は、その周回数は記録されない。
- 5) 雨天の場合、すべてのライダーは、競技監督の指示によりヘルメットの両側面または後頭部部分にゼッケンナンバーを記さなければならない。

14 燃料およびオイル

- 1) ガソリンは無鉛ガソリンに制限されている (AV ガス、航空機用燃料等は使用できない)。ガソリン及びオイルに関する詳細は国内競技規則・第3章〔㊸燃料およびオイル〕(33頁)及びMFJ技術規則第7章、ガソリン、オイル・クーラント(139頁)による。
- 2) ガソリンの銘柄及びその詳細が主催者によって指定された場合は、当該指定ガソリンを使用しなければならない。
- 3) ガソリンの運搬については、消防法第16条の規定に従った方法で行わなければならない。

15 出場受付

- 1) 出場受付の時間及び場所は、公式通知によって示される。
- 2) 定められた時間内に、必ずライダー本人または当該ライダーのメカニックがMFJライセンス、参加受理書を提示して出場資格の確認を受けなければならない。

- 3) MFJライセンスを提示できない者は、出場が認められない。

16 車両検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されるタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 2) 車両検査のための車両は、ライダー本人又は当該ライダーのメカニックが車両仕様書とともに持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を受けなければならない。規定時間以外の車両検査は、競技監督が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行わない。
- 3) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判定された車両は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 4) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両の検査を行うことができる。

17 ライダーの変更

ライダーの変更は認められない。

18 車両の変更

車両の変更は、車検時に提出した車両仕様書の車両と変更が生じた場合、以下の手続きに従って行われる。

破損などやむを得ず出場登録済（車両検査合格済）の車両を変更する必要がある場合は、規定の書式に従って車両の変更申請を行い、競技監督がこれを認めた場合に限り、車両の変更が認められる。

- 1) 車両の紛争に際して、銘柄についての立証の責任は参加者側にあるものとする。
- 2) その他については、特別規則に示される。
- 3) 車両変更申請は、同部門、同クラスの車両に限定され、車両変更手数料5,000円を申請書に添付し、提出しなければならない。
- 4) 公式予選終了後の車両変更は、いかなる理由があっても認められない。

19 部品の変更

エンジンアッセンブリーの変更は認められない。

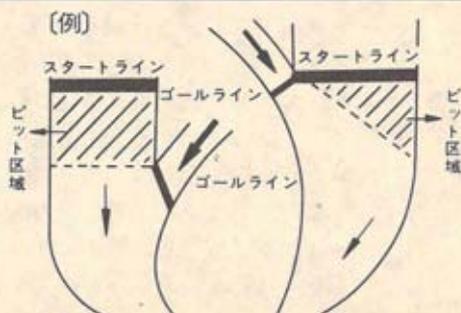
20 フリープラクティスおよび公式練習

ライダーは、安全確保のためにも主催者が設けた（フリープラクティス）公式練習に参加しなければならない。

21 ピットおよびサインエリア

ピット及びサインエリアは主催者により指定される。特に指定のない場合のピットエリアは、スタートラインからゴールラインまでの周回走行にさしかえないコースサイドまたはコース上である。

ピットクルーはサインエリアの区分を厳守しなければならない。



22 公式予選

各クラスの出場申し込み台数が、決勝レース出場台数を越えた場合、決勝進出者決定のために公式予選が行われる。

1) 公式予選の内容

- (1) 公式予選は、原則として各クラス別に行われる。
- (2) 公式予選の日程は、特別規則に示される。
- (3) 公式予選は原則として大会公示に示される周回数のレースによって行われる。

23 決勝レース出場台数

決勝レース出場台数は原則として30台とするが、各サーキットごとに定められ公式通知に示される。

24 スタート位置の決定方法

スタート位置の決定方法は、大会特別規則もしくは公式通知に示される。

一度スタート位置を選択し、グリッドに着いたものはそのスタート位置を変更することはできない。

25 ウォーミングアップ

- 1) エンジンのウォーミングアップは主催者により指定された場所及び時間帯に限られる。
- 2) ウォーミングアップ以降、スタート係によってスタートのためのエンジン始動の合図がなされた後は（キックスタートの場合は、エンジン停止の合図がなされた後）ライダーからタイムのサインがあっても競技は続行される。

26 レース

1) スタートまでの行動

- (1) ライダーは、特別規則に定められたタイムスケジュールを厳守しなければならない。
- (2) ライダーは、スタート前のチェックの後車両とともに指定区域内に待機していなければならない。

2) スタート

- (1) スタートの方法については、原則として各部門ともスターティングマシンを使用したエンジンランニングスタートとする。ただしスターティングマシンを使用しない場合は、必ずヘルメット上部に左手をあてて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。
- (2) スタート位置は、すべて正規のスタート・ラインからなされるものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップは、一切考慮されない。
- (3) スターティングマシンが使用される場合は、車両の位置はスターティングマシンの後方の区域内とする。
- (4) スタートの合図は、スタート係の合図（国旗等）によって行われる。ただし、スターティングマシンを使用する場合は、この限りでない。
- (5) スタート時にフライングが認められた場合は、スタートライン前方（第1コーナー付近）において赤旗が張られ、スタートをやり直す。ただし、同一ライダーが再びフライングをした場合、当該ライダーは失格となる。

3) コースアウト

ライダーは、走行中、やむを得ず定められたコースを外れ、再びコースに戻る場合には、

外れた地点よりコースに進入しなければならない。

- 4) ピットエリア内で車両整備などに従事するメカニックの数は、2名以内に限定される。
- 5) レース中、サイレンサーまたはエキスパンションチャンバーが外れた場合、または破損した場合は、競技役員より当該ライダーに対して黒旗及びゼッケンを記したボードが提示される。提示されたライダーは速やかにピットインし、修理の後、当該競技役員の許可を得て、再出走が認められる。

27 レース終了

レース終了は、優勝者の完走後、チェッカー旗が振られ、マーシャルが定位置を離れるか、またはマーシャルがコースを一巡することによって示される。

28 優勝者、入賞者、完走者および得点

- 1) 優勝者
優勝者は、定められた周回数またはレース時間プラス2周を最短時間で完走したライダーとする。
- 2) 入賞者及び順位の優先順位
入賞者及び入賞順位は、チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定され、同周回数の場合は、ゴールラインの通過順位による。
- 3) その他の順位の優先順序
周回数の多いものを優先する。同周回数の場合はゴールラインの通過順位による。
- 4) 完走者
 - (1) 優勝者の75%（少数点以下は切り捨てる）以上の周回数を完了したライダーを完走者とする。
 - (2) レース途中でリタイヤしたライダーも完走周回数を完了している場合は、完走者とみなされる。
- 5) 得点
 - (1) 得点は国内競技規則・第3章 [④公式得点(ポイント)] (35頁) によって得点が与えられる。
 - (2) オープンクラスに関しては、自動昇格得点対象外とする。

29 入賞車両の検査

- 1) レース終了後、入賞車両は直ちに車検員によって決められた区域内に管理され、暫定結果発表後30分間保管され、必要に応じて検査される。
- 2) 入賞車両は、必要に応じて車両重量及び音量が測定され、規定を満たしていない車両の当該ライダーは失格となる。

30 レースおよび大会の延期、中止等

- 1) 大会審査委員会が、特別な理由によってレースを中止しなければならないと判断した場合に限り、レースを中止することができる。
- 2) すべての大会関係者は、大会審査委員会の決定に従わなければならない。
- 3) 特にやむを得ぬ理由によって、トップ走者とそのレースに決められた周回数(または時間)の75%を完走しないうちにレースを打ち切った場合、そのレースは無効となる。
- 4) トップ走者が決められた周回数(または時間)の75%以上の完走した時点でレースを打ち切った場合、大会審査委員会はそのレースの判定結果に条件を付けて発表する。

- 5) レースまたは大会が中止された場合、参加者が支払った出場料は返却されるが、他のいかなる損害賠償を主催者に請求することはできない。公式予選終了後の中止については、決勝進出者のみ出場料が返却される。

31 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章 [㊟抗議] (37頁) による。
- 2) 抗議は、暫定結果発表後30分以内（全日本選手権では20分以内）に当該ライダーおよびエントラント代表者だけが行うことができる。
- 3) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合は、抗議対象者が支払わなければならない。この車両の分解等に用いた費用は車検長が算定する。
- 4) 車両の分解検査に立ち合う者は、車検長及び抗議を受けた当事者のみとする。

32 レース中の違反行為に対する罰則

レース中の違反行為については、競技監督並びに大会審査委員会がその権限において下記の罰則を課することができる。

- 1) 失格
 - (1) 故意に走路を妨害した場合。
 - (2) レース中に他の援助を受けた場合。
 - (3) コースを逆走した場合。
 - (4) コース判定により示された合図旗に従わなかった場合。
 - (5) 1度コース外に出て、明らかに自分に有利となる所より再びコースに復帰したと判断された場合、1周減算または失格とする。
 - (6) フライングを2度繰り返した場合。
- 2) 1周減算
 - (1) ウォーミングアップ中止後、競技役員の許可なくエンジンを始動させた場合。
 - (2) 上記1)失格(5)の場合。

その他、競技規則に対する罰則は、国内競技規則・第3章 [㊟違反行為に対する罰則] (38頁) による。

33 本規則の解釈

本規則及び競技に関する疑義は、大会事務局あて質疑申し立てできる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

34 本規則の施行

本規則は、1996年1月1日より有効とする。

'96全日本 モトクロス選手権大会 特別規則

1 公 示

全日本モトクロス選手権はFIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則、モトクロス競技細則と、全日本選手権シリーズを通じて共通した項目をまとめた本特別規則と、各大会の特別規則に基づき開催される。

2 競技会開催日程等

1) レースウィークの日程

月～木曜日：占有走行は禁止される。スポーツ走行は開催されてもよい。

金 曜 日：すべての練習走行は禁止される。

土～日曜日：競技会日

2) 競技会の日程は巻末に示す(97頁参照)。

3 運営・実行組織

大会運営・実行組織は、公式プログラムまたは公式通知に示される。

4 開催部門・クラス

1) 全日本選手権シリーズの開催部門、クラス区分は次のとおりとする。

部 門	国際B級	国際A級
クラス	125cc・250cc	125cc・250cc

2) 全日本選手権は原則として国際B級及び国際A級の2部門にて開催されるが、事前に選抜されたものによる2クラスまでのレースを併催することができる。ただし、そのレースは土曜日に開催しなければならない。エキジビションレースは日曜日に全日本選手権クラスに影響しない範囲にて開催することが認められる。

3) 国際A級部門は、125ccクラスと250ccクラスを開催し、各クラスの選手指定は下記のとおり行う。

(1) 125ccクラス

① 前年の全日本選手権国際A級125ccクラスにおいて、ランキング16位以下のもの。

② 前年の全日本選手権国際A級250ccクラスにおいて得点を獲得できなかったもので、250ccクラスへの残留を希望しなかったもの。

③ 国際B級からの昇格者。

ただし、前年の総合ランキング上位3位のものは、250ccクラスへの移籍申請をすることができる。

- ④ 当該年度31歳になる者及び身体的理由（身長165cm以下）により残留申請を提出し、認められたもの。
- (2) 250ccクラス
- ① 前年の全日本選手権国際A級250ccクラスにおける有得点者。
- ② 前年の全日本選手権国際A級250ccクラスにおいて得点を得られなかったが、残留申請を提出し、認められたもの。
- ③ 125ccクラスからのクラス移籍者。(前年の125ccクラスシリーズランキング15位以内の者。但し、残留申請を提出し、認められた者を除く)
- ④ その他、スポーツ委員会が特に認めた者。

5 参加資格

- 1) 参加者及びライダー
参加者及びライダーは、国内競技規則・第3章 [⑨競技参加者] (31頁) に合致していなければならない。
- 2) 日本グランプリ大会の参加資格
国際A級・国際B級の各クラスともフリーエントリーとする。

6 出場申し込み

- 1) 申し込み場所は、各主催者（申込先）住所とする。(97頁)
- 2) 出場申し込み
モトクロス競技細則 [⑨出場申し込み] (85頁)
- (1) ビットクルーの出場申込後の追加は一切できない。但し大会当日の受付時間内に、他のビットクルー所持者と変更することはできる（変更手数料が必要）
- (2) ひとりのビットクルーを、複数のライダーに登録することはできない。
- (3) 参加ライダー本人を自分のビットクルーとして登録することはできない。(但し作業はできる)

7 出場料およびMFJ共済会掛金

出場料およびMFJ共済会掛け金は、'96年より以下のように変更された。

	総額	内訳	
		出場料	共済会掛金
1 クラス	12,000円	10,500円	1,500円
2 クラス(Wエントリー)	20,000円	18,500円	1,500円

8 参加受理

モトクロス競技細則 [⑩参加受理] (86頁参照)。

9 競技内容

- 1) 公式予選
公式予選の有無、周回数、予選組分け、その他の詳細は公式通知、またはプログラムに示される。
- 2) ラストチャンスレース（国際A級・国際B級に適用）
下記規定に則り、ラストチャンスレースが開催される。
- ① 公式予選総出場台数が決勝出走台数を越えた場合に開催される。

- ② ラストチャンスレースの順位により決勝レース出場者、およびリザーブライダー(2名)の優先順位が決定される。
- ③ 決勝レースへ公式予選より出場できる人数、ラストチャンスより出場できる人数は、予選組数、グリッド数によって異なるため、公式通知に示される。
- ④ ラストチャンスレースのグリッドは公式予選レースストップタイムの早い組順とする。但し、予選順位のつかない場合、(1周もまわらずにリタイヤした場合等)、予選出走のグリッド順を優先する。
- ⑤ その他、当該大会審査委員会は天候等の理由により、ラストチャンスレースの有無について決定することができる。

3) レース距離(レース時間)

- ① 公式予選 国際A級：15分+2周、国際B級：公式通知に示す。
- ② ラストチャンス 国際A級：5分+2周、国際B級：公式通知に示す。
- ③ 決勝レース 国際A級：30分+2周、国際B級：25分+2周

10 賞および得点

- 1) 賞の詳細は、公式通知に示される。
- 2) 全日本選手権ランキングの得点
 - (1) 得点は国内競技規則・第3章 [④公式得点] (35頁) によって与えられる。
 - (2) 日本グランプリ大会については、規定の得点に3点が加算される。
 - (3) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その得点合計によって決定される。
その詳細は、全日本選手権ランキング決定基準(208頁)に示される。
- 3) 賞及び得点の制限
国内競技規則・第3章 [④公式得点] (35頁) による。

11 出場車両

車両は、細則3 [⑤出場車両] (84頁) を遵守しなければならない。

12 ゼッケンナンバー

- 1) 国際A級及び国際B級の一部(30番まで)のライダーには、年間指定ゼッケンナンバーが割り当てられる。
指定ゼッケンを与えられた選手については、ジャージ背中側に指定ゼッケンの印刷を義務付けられる。
国際B級から国際A級への昇格者上位9名及び国際A級125ccより250ccへのクラス移籍者上位9名については、ルーキーゼッケンとし、01番より09番を与えることとする。
- (1) 国際A級の年間指定ゼッケンナンバー決定基準は以下のとおりとする。
 - ① 125ccクラス
 - a. 前年度国際A級125ccクラス年間シリーズランキング15位以内で、残留申請が認められたものをランキング順に指定する。
 - b. 16位以下のものをランキング順に指定する。(有得点者のみ)
 - c. 250ccクラスからの移籍者を前年の年間指定ゼッケン順に指定する。
 - d. 国際B級からの昇格者を、前年の総合ランキング順に指定する。
 - e. 上記以外のライダーは、大会ごとに主催者によって定められる。
 - ② 250ccクラス

- a. 前年の全日本選手権シリーズランキング順
- b. 前年の250ccクラスで得点を得られず250ccへの残留を希望し、認められたもの。
- c. 125ccクラスからの移籍者を125ccでのシリーズランキング順に追加する。
- d. その他、特に250ccクラスに指定されたものを追加する。

(2) チャンピオンゼッケン

前年度国際A級シリーズチャンピオンおよび前年度MFJスーパークロスシリーズチャンピオンは、チャンピオンゼッケンとして赤地に白文字とする。

(3) 国際B級(30番まで)の年間指定ゼッケンナンバー決定基準は以下のとおりとする。

- ① 各クラスの成績により各ライダーの代表クラスを決定する。
 - ② 各クラスのランキング順位を比較し、ランキング上位のものを優先する。
 - ③ ランキング順位が同位の場合、そのライダーの代表クラスの上位入賞回数が多いものを優先する。
 - ④ ③で決定できない場合は、代表クラスの排気量の大きい方を優先する。
 - ⑤ ④で決定できない場合は、スポーツ委員会にて最終決定する。
- 2) 上記(1)、(2)に記載されている他のライダーには、大会毎に主催者によってゼッケンナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 3) ゼッケンナンバーは、車両検査までに規定の書体及び色で記入しなければならない。(22頁参照)
- 4) ゼッケンナンバーの状態は、車両検査時に車検員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
- 5) レース中、ナンバープレートや配布されたゼッケン及びヘルメットナンバーシールを装着せずに走行した場合、間違ったゼッケンナンバーを装着して走行した場合は、その周回数は記録されない。
- 6) 雨天の場合、すべてのライダーは、競技監督の指示によりヘルメットの両側面にまたは後頭部部分にゼッケンナンバーを記さなければならない。

13 ガソリンおよびオイル

ガソリンは無鉛ガソリンに制限されている。(AVガス、航空機用燃料等は使用できない)
MFJ技術規則第7章ガソリン・オイル・クーラント(139頁)参照。

14 車両検査

- 1) モトクロス競技細則 [⑩車両検査] (87頁) 参照。
- 2) 車両検査持ち込み台数は、1クラスにつき国際B級部門は1台に限定し、国際A級部門については制限を設けない。ただし、車両検査を受けていない車両の使用は一切認められない。

15 車両の変更

- 1) モトクロス競技細則 [⑪車両の変更] (87頁) 参照。
- 2) 公式予選終了後の車両変更は、いかなる理由があっても認められない。

16 フリープラクティスおよび公式練習

- 1) 競技会前日の練習走行は禁止される。
- 2) ライダーは、主催者が設けた公式練習に参加する義務がある。

17 決勝レース出場資格

- 1) 公式予選通過者（予選通過人数は各大会による）
- 2) ラストチャンスでの上位者（人数は各大会による）
- 3) リザーブライダー
ラストチャンスにて決勝レース出場資格を得られなかったライダーのうち、上位2名は、リザーブライダーの権利を得る。
リザーブライダーは、各決勝レース前のウェイティングエリアで待機し、ウェイティングエリア閉鎖までに不出場があった場合に限り、優先順位上位者より決勝レースへ出場できる。

18 スタート

- 1) スタートの方法
 - (1) 原則として、各部門ともスターティングマシンを使ったエンジンランニングスタートとする。
 - (2) スターティングマシンを使用しないエンジンランニングスタートの際は、必ずヘルメット上部に左手を当てて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。
- 2) スタートの手順
 - (1) ライダーはスタートの10分前までにウェイティングエリアに待機していなければならない。ウェイティングエリアは、ウェイティングエリアから最初のライダーがスターティンググリッドに着くために移動した時点で閉鎖される。
 - (2) 出場ライダー全員がスターティンググリッドに着くまでグリーンフラッグが、提示される。
 - (3) ライダー全員がスターティンググリッドに着いたことが確認された後、15秒ボードが15秒間提示される。
 - (4) 15秒ボードに引き続き5秒ボードが提示される。
 - (5) 5秒ボードが提示されて5～10秒以内にスタートとなる。
- 3) 予選におけるスタート位置の決定方法
スタートの位置は、抽選結果の順位により、自由選択することができる。
- 4) 決勝レースのスタート位置の決定方法
国際B級
スタート位置は、予選順位に基づき決定される。
国際A級
両ヒート（第1、第2ヒートとも）予選時のそれぞれの組のトップ走者のタイムの早い組から交互に上位より順番に選択できる。
- 5) ウォーミングアップ
エンジンのウォーミングアップは主催者により指定された時間帯及び場所に限られる。
- 6) ウォーミングアップ以降、スタート係によってスタートのためのエンジン始動の合図がなされた後は（キックスタートの場合は、エンジン停止の合図がなされた後）ライダーからタイムのサインがあっても競技は続行される。
- 7) 予選・決勝におけるスタート位置の変更について
一度スタート位置を選択し、グリッドに着いたものはそのスタート位置を変更することはできない。

19 レース

- 1) レース中の遵守事項は、国内競技規則・第3章 [⑩競技参加者の遵守事項] (31頁) による。
- 2) ピットエリア内で車両整備などに従事するメカニックの数は、2名以内とする。
- 3) レース中、サイレンサーまたはエキスパンションチャンバーが外れた場合、また破損した場合は、競技役員より当該ライダーに対して黒旗及びゼッケンを記したボードが提示される。提示されたライダーは速やかにピットインし、修理の後、当該競技役員の許可を得て、再出走が認められる。

20 入賞車両の検査

モトクロス競技細則 [⑭入賞車両の検査] (89頁) 参照。

- 1) レース終了後、入賞車両は直ちに車検員によって決められた区域内に管理され、暫定結果発表後20分間保管され、必要に応じて検査される。
- 2) 入賞車両は、必要に応じて車両重量及び音量が測定され、規定を満たしていない車両の当該ライダーは失格となる。

21 総合順位の決定方法

レースが2ヒートに分かれて行われる場合の総合順位の決定は、以下に記すとおりとする。

- 1) 1ヒート、2ヒートの合計得点が多い者。
- 2) 1ヒート、2ヒートの合計得点が高点の場合は、上位入賞者を優先する。
- 3) 上記1)、2)で決定できない場合は、2ヒート目の成績を優先する。

22 抗議

モトクロス競技細則 [⑮抗議] (90頁) および国内競技規則第3章 [⑯抗議] (37頁) による。

- 1) 抗議は、暫定結果発表後20分以内（全日本選手権以外では30分以内）に当該ライダー及びエントラント代表者だけが行うことができる。

23 本規則の解釈

本規則及び競技に関する疑義は、大会事務局あて質疑申し立てできる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

24 本規則の施行

本規則は、出場申し込み受付日より有効とする。なお、本規則に示されていない事項は、国内競技規則・細則4・モトクロス競技細則による。

1996年1月1日
全日本モトクロス選手権
大会事務局長

'96全日本モトクロス選手権シリーズ開催日程

開催日	大会名	出場申し込み先	開催場所	出場申し込み期
3月30日(出) 3月31日(回)	MFJ全日本モトクロス選手権シリーズ第1戦 中部大会	多治見コミュニティランド 〒486 愛知県春日井市瑞穂通8-15-1 榊中部ミスターバイク内 ☎0568(84)5251	岐阜県 多治見コミュニティランド	2月20日(火) 2月29日(木)
4月13日(出) 4月14日(回)	MFJ全日本モトクロス選手権シリーズ第2戦 近畿大会	MFJ近畿 〒550 大阪府大阪市西区立売堀1-7-14 ☎06(534)6422	奈良県 名阪スポーツランド	3月5日(火) 3月14日(木)
4月27日(出) 4月28日(回)	MFJ全日本モトクロス選手権シリーズ第3戦 九州大会	MFJ九州 〒811-01 福岡県粕屋郡新宮町大字下府631-1 榊ホンダ二輪九州内 ☎092(962)4272	熊本県 HSR九州	3月19日(火) 3月28日(木)
5月25日(出) 5月26日(回)	MFJ全日本モトクロス選手権シリーズ第4戦 中国大会	MFJ広島 〒733 広島県広島市西区観音新町1-18-9 広島県二輪車安全普及協会内 ☎082(295)6994	広島県 グリーンパーク弘楽園	4月16日(火) 4月25日(木)
6月8日(出) 6月9日(回)	MFJ全日本モトクロス選手権シリーズ第5戦 SUGO大会	SUGOスポーツクラブMX係 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 スポーツランドSUGO内 ☎0224(83)3127	宮城県 スポーツランドSUGO モトクロスコース	4月30日(火) 5月9日(木)
7月6日(出) 7月7日(回)	MFJ全日本モトクロス選手権シリーズ第6戦 北海道大会	MFJ北海道 〒065 北海道札幌市東区東福米3条1丁目4-3 札幌地区軽自動車会館2F ☎011(782)1492	北海道 わっさむサーキット	5月28日(火) 6月6日(木)
7月20日(出) 7月21日(回)	MFJ全日本モトクロス選手権シリーズ第7戦 東北大会	MFJ東北 〒983 宮城県仙台市宮城野区扇町3-3-10 宮城県交通会館内 ☎022(284)9484	岩手県 藤沢スポーツランド	6月11日(火) 6月20日(木)
8月3日(出) 8月4日(回)	MFJ全日本モトクロス選手権シリーズ第8戦 関東大会	MFJ関東 〒170 東京都豊島区南大塚2-31-11 共栄大塚ビル5F ☎03(3943)6105	長野県 コングランド	6月25日(火) 7月4日(木)
8月31日(出) 9月1日(回)	MFJ全日本モトクロス選手権シリーズ第9戦 四国大会	MFJ四国 〒761 香川県高松市香西東町536 榊ホンダ二輪四国香川支店内 ☎0878(81)9212	未定	7月23日(火) 8月1日(木)
9月14日(出) 9月15日(回)	MFJ全日本モトクロス選手権シリーズ第10戦 SUGO大会	SUGOスポーツクラブMX係 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 スポーツランドSUGO内 ☎0224(83)3127	宮城県 スポーツランドSUGO モトクロスコース	8月6日(火) 8月15日(木)
10月5日(出) 10月6日(回)	MFJ全日本モトクロス選手権シリーズ第11戦 第34回日本グランプリ大会	MFJ広島 〒733 広島県広島市西区観音新町1-18-9 広島県二輪車安全普及協会内 ☎082(295)6994	広島県 グリーンパーク弘楽園	8月27日(火) 9月5日(木)

'96スーパークロス選手権シリーズ開催日程

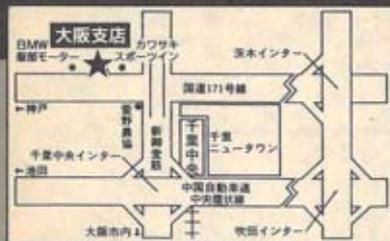
開催日	大会名	出場申し込み先	開催場所
11月17日(回)	'96ジャパンスーパークロス 大阪大会	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F ☎03(3865)8441	兵庫県 阪急西宮スタジアム
11月23日(出) 11月24日(回)	'96ジャパンスーパークロス 東京大会	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F ☎03(3865)8441	東京都 神宮球場

'96主要競技会開催日程

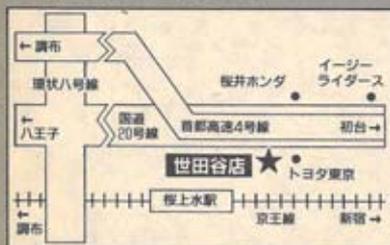
開催日	大会名	出場申し込み先	開催場所
1月14日(回) 1月15日(回)	新春オールスター モトクロス大会	多治見コミュニティランド 〒486 愛知県春日井市瑞穂通8-15-1 榊中部ミスターバイク内 ☎0568(84)5251	岐阜県 多治見コミュニティランド

あなたのさがしもの、ここに 있습니다。

ウエア・パーツからアクセサリ・オイルまで
国内外の一流ブランドを取り揃え
みなさまのご来店をお待ちしております。



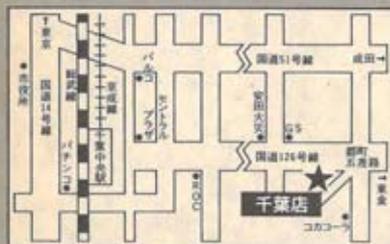
大阪支店 ☎0727(24)1555
大阪府箕面市萱野2-4-8



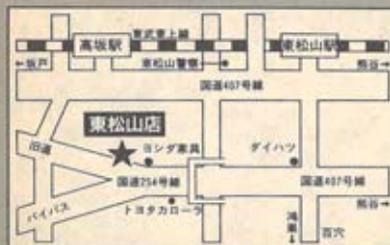
世田谷店 ☎03(3327)7732
東京都杉並区下高井戸1-18-19



相模原店 ☎0427(52)3686
神奈川県相模原市横山2-15-8



千葉店 ☎043(232)1884
千葉県千葉市中央区都町3-22-5



東松山店 ☎0493(23)0335
埼玉県東松山市今泉277

SHOP LIST

TRY! MOTOR SPORTS KOMINE

株式会社コミネオートセンター
本社：〒111 東京都台東区小島2-20-11
Tel.03(3862)9811(代) Fax.03(3866)5134(代)



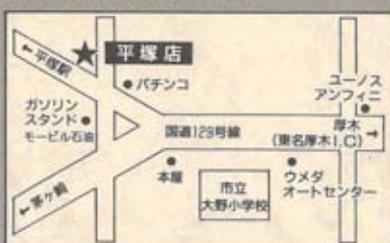
練馬店 ☎03(3904)3147
東京都練馬区高野台4-19-5



多摩店 ☎0425(51)9623
東京都福生市熊川1115-7



藤沢店 ☎0466(81)2757
神奈川県藤沢市亀井野3263-4



平塚店 ☎0463(24)2888
神奈川県平塚市四之宮427-1



鳩ヶ谷店 ☎048(284)2961
埼玉県鳩ヶ谷市桜町1-6-11



大宮店 ☎048(652)1431
埼玉県大宮市日進町3-681



高崎店 ☎0274(42)3215
群馬県藤岡市立石1221



太田店 ☎0276(32)0438
群馬県太田市新道町59-1

宙を舞う大迫力、 スーパークロス



オフロード界のスーパー
スターの講演



オフロードバイク体感マガジン月刊ガルル

GARRR

New Excellent Off-Road Bike Magazine

バイクを友として
良かったと思う
ひと時...

毎月6日発売

●A4変型判 / 定価480円(税込)

実業之日本社

プラス・アドバンテージ

WAKO'S

For Works Quality

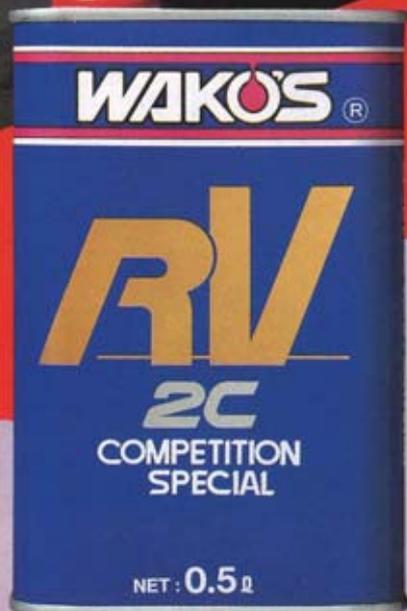
極限チューニングと極限ライディング。勝利を宿命づけられたレーシングマシンに妥協という言葉はない。ありとあらゆる可能性を追求し、プラスαの潜在性能が熾烈なバトルを制す——プラスアドバンテージ。——これが、WAKO'Sの基本コンセプト。限界性能に余裕を持って応えるポテンシャルは、確かな安心と信頼とともに、高い実績を得ている。

だからこそ、ライダーは走りに集中できるのだ。動力性能を十二分に引き出す2st/4stオイル、絶妙の制動フィールに貢献するブレーキフルード、運動性能を向上させるフォークオイル…。コンペティションフィールドで鍛え抜いた、WAKO'S製品。

'95年 全日本RR,
GP250ランキング9位
コンパイルレーシングヤマハ
喜久川 光選手



'95年 全日本MX,
IA125ランキング4位
チームトラオ
村野 秀弥選手



2CRV-R
混合専用2サイクル
エンジンオイル
2,200円/500ml

2stエンジンの耐久性向上を開発
コンセプトに、各パーツの潜在性能
を引き出し、パーツ自体の耐久性
UP=ローコスト化を実現している。
混合比 ロード/30:1-35:1
モトクロス/40:1-50:1

(株)和光ケミカル

東北支店 福岡支店 群馬支店 栃木支店 茨城支店 埼玉支店 東京支店 千葉支店 神奈川支店 愛知支店 大阪支店
北海道支店 西宮支店 山形支店 長野支店 新潟支店 富山支店 石川支店 福井支店 岐阜支店 三重支店 大分支店

神奈川県中田原市前川116-2 TEL.0465-48-2211代

95年度人材募集

職種:ルートセールス 勤務地:各営業所
年齢:20-35歳まで(新卒も可)

詳しくは本社・人事担当の横原 彦 Tel.0465-48-8111

TIサーキット英田はモータースポーツを愛するすべてのひとを、応援します。



走るために生まれてきた人がある。
勝利するために生まれてきた人がある。
TIサーキットは、モータースポーツを愛する人々に、
最高のエンターテインメントのコースと、最大級の声援を運び続けます。

RRR!!!

もっと、もっと速く、そして力強く。

'96 TIロードレース選手権シリーズカレンダー

大会名称	開催日	地方選手権								エリア選手権	
		I, N, F	N, F	N, F, J	国内		国内、国際		国内	国際	
第1戦	1月28日 (7周)	○ (7周)	○ (7周)	○ (7周)	○ (10周)				○ (12周)	○ (12周)	
第2戦	2月18日 (7周)	○ (7周)	○ (7周)	○ (7周)	○ (7周)			○ (10周)			
第3戦	3月24日				○ (7周)	○ (10周)	○ (10周)	○ (10周)	○ (12周)	○ (10周)	
第4戦	5月19日				○ (7周)		○ (10周)	○ (10周)	○ (12周)	○ (10周)	
第5戦	6月30日 (7周)	○ (7周)	○ (7周)	○ (7周)	○ (10周)	○ (10周)	○ (10周)	○ (12周)	○ (10周)	○ (12周)	
第6戦	8月11日				○ (7周)	○ (10周)	○ (10周)		○ (12周)	○ (10周)	
第7戦	9月8日 (7周)	○ (7周)	○ (7周)	○ (7周)	○ (10周)	○ (10周)	○ (10周)	○ (12周)	○ (10周)	○ (12周)	
第8戦	11月10日				○ (10周)	○ (10周)		○ (12周)	○ (10周)	○ (12周)	
第9戦	12月15日 (7周)	○ (7周)	○ (7周)	○ (7周)	○ (7周)			○ (10周)			

※第3戦以降の日程は変更される場合がありますので、エントリーの際にはご確認ください。(日程は暫定です)
M=国際 N=国内 F=フレッシュマン J=ジュニア

'96 レーシングスクール & MFJ国内ライセンス講習会

ロードレースに必要なノウハウ及びライセンスを取得していただくため、右表の通り講習会を実施。毎回ゲスト講師を迎え、ライディング・テクニック、マシン・メンテナンスなどにより実践に近いカリキュラムです。実技走行時には、スターティング・グリッドからのスタート練習も行います。初心者にもわかりやすい内容です。

第1回	2月3日(出)
第2回	4月27日(出)
第3回	7月6日(出)
第4回	8月17日(出)
第5回	10月26日(出)
第6回	12月23日(出)

日程は暫定です。事前にご確認ください。

ARC入会のご案内

アイブレーシングクラブでは、モータースポーツへの参加を希望するすべての方を対象とし、楽しくTIサーキット英田でのスポーツ走行をしていただくためのクラブです。

入会資格	ライセンス講習
自動2輪小型運転免許取得者以上、もしくは、MFJロードレース競技ライセンス取得者。 ※未成年の方は、親権者の承諾が、必要です。	基本的には、毎日開講しておりますが、スケジュール等は、あらかじめ電話でご確認ください。 [講習に必要なもの] ●入会申込書 ●実技走行に必要な車両 ●練習用ヘルメット ●ヘルメット・グローブ ●運転免許証及び競技ライセンス

TI Circuit AIDA

岡山県英田郡英田町滝宮1210 TEL 08687-4-3311

モーターマガジン社
東京都港区新橋5-33-10 Tel.03-3434-3151(FX)

オートバイ

毎月1日発売/定価550円

Mr. Bike ESPANOL

毎月6日発売/定価280円

Mr. Bike ESPANOL BG

毎月14日発売/定価320円

GOOGLE

毎月24日発売/定価500円

もう、ふりふりキレちゃってるとです。

いいな、欲しいな、がある。

スゲエー、がある。ヤルじゃん、がある。

なに考えてんだ、バカヤロー、もある。

バイクファンの気持ちを、

ギョギョとつかむモーターマガジンの雑誌たち。

なかみ、ギツチリ。

もう、ふりキレちゃってる読みこたえです。

あなたの好きな一冊が、きっとこのなかにある。

モーターマガジン社から。



もう、好きで、好きで。
モーターマガジン社の雑誌

那須で確認、自分の走り!!



スポーツライディングを楽しみたい、テクニックを極めたい。初心者から上級者まで、誰でも利用できる「那須モータースポーツランド」。昨年、コースの全面改修やセーフティゾーンの拡大により、より高い安全性を確保。そしてリアルタイム表示の自動計測装置を設置し、さらに自分の走りに磨きをかける。那須で自分の走りを確認する時が来た。皆さんの心意気を那須でチャレンジして下さい。

那須モータースポーツランド



『モスラ倶楽部』

ただ今、会員募集中!!

那須モータースポーツランドでは、モーターサイクルスポーツ愛好者を対象に、よりお気軽に当施設をご利用頂くための様々な特典をご用意致しました。「モスラ倶楽部(那須モータースポーツランド倶楽部)」です。会員になってモーターサイクルスポーツをさらに謳歌して下さい。

●二輪のサーキット走行を手軽に楽しみたい方

自動二輪運転免許証の取得者

サーキットライセンス講習

FRIENDLY CLASS

フレンドリークラス

手軽に楽しくサーキットランを楽しみたい方のためのクラス。サーキット走行そのものを楽しみたい方のライセンスです。MFJの競技ライセンスは不要。マシン規定は、50cc以上のナンバー付きノーマル車両。ただし、50ccは一部改造可。

●MFJ公認・承認レースを前提に走行したい方

自動二輪運転免許証の取得者

サーキットライセンス講習

OPEN CLASS

オープンクラス

MFJ公認・承認レースの参加を前提とした方のためのライセンス。MFJのフレッシュマン/国内ライセンス取得資格が得られます。マシン規定は、50cc以上のサーキット仕様車、レーサー、SP等。100cc以下はフルチューニングのレーサーに限りません。

那須モータースポーツランド

〒325 栃木県黒磯市寺子字坂の上677
TEL.0287-63-7300 FAX.0287-63-7301



モスラ倶楽部

ご入会の方法

入会にはライセンス講習が必要です。講習は不定期に開催しています。日程をお問い合わせの上、ご予約下さい。

■講習会(講習には下記のものが必要です)

- 入会申込書/ライセンス講習申込書
- モスラ倶楽部年会費/ライセンス講習料
- 本人写真(2.5×3cm 2枚)
- 自動二輪運転免許証(免許停止中は不可)
- 筆記用具/印鑑/健康保険証
- ※20歳未満の方は
 - ①親権者の承諾書(実印及び署名)
 - ②承諾者の印鑑証明

■実技講習(実技の講習には以下のものが必須です)

完全に整備されたマシン(スクーター、ファミリーバイクは除く)フルフェイスヘルメット、皮革製のライディングスーツ、グローブ、ブーツ(安全規格に適合したもの)

※オープンクラスで、MFJの競技ライセンスを取得することができます。詳しくは「モスラ倶楽部」まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

■コース概要

- 全長: 1,120m
- 幅員: 最小7.5m/最大12m
- 最大直線長: 281m/スタンド前直線174m
- 曲線半径: 最小15R/最大125R
- 走路面: 特殊アスファルト舗装
- セーフティゾーン: 最小3m/最大30m
- ピット: 12区画
- 監視ポスト: ポスト9ヵ所
- コース監視モニター: 5台
- 施設面積: 約24,000坪
- 付属設備: コントロールタワー(3F)
- 自動タイム計測システム(60台対応)



■1996年度那須モータースポーツランド レースカレンダー

開催日	開催種別	那須選手権シリーズ					那須スーパーミニスプリントレース				
		開業ロードレース選手権	サイクルサウンズカップ		GP80	MP12	SP50				
		GP125	SPI25	S80	NSR	TZR	RGV-I	CS250			
4月7日	第3戦		●	●					○	○	○
4月28日		○			第1戦	△	△	△	○	○	○
7月7日					第2戦	△	△	△	○	○	○
9月15日	第10戦	●		●				▲	○	○	○
10月13日	第12戦	●	●	●					○	○	○
11月10日	第14戦	○	●	●					○	○	○
11月17日					第3戦	△	△	△			
12月1日									キヨロP	○	○
2019-10		大会1ヶ月前					大会20日前				

※那須シリーズ全てのクラスに那須シリーズポイントが付きます。

●開業ロードレース選手権のポイントが付きます。

●詳しい内容については、当サーキットまでお問合せ下さい。

MFJ ORIGINAL COLLECTION



★Tシャツ
 商品No:GTS-94-A
 カラー:ホワイト(WH)、ブラック(BK)、
 ルージュビシク(RP)、
 アッシュグレー(AG)
 サイズ:M-L
 メンバー価格:¥2,500
 一般小売価格:¥2,800



特典 サービス
★ポロシャツ半袖(刺繍タイプ)
 商品No:GSS-94-B
 カラー:ホワイト(WH)、ブラック(BK)、
 レッド(RD)、
 ネイビー(NY)、
 グリーン(GN)
 サイズ:M-L
 メンバー価格:¥4,300
 一般小売価格:¥4,900

特典 サービス
★ポロシャツ半袖(ワッペンタイプ)
 商品No:GSS-94-A
 カラー:ホワイト(WH)、ブラック(BK)、
 レッド(RD)、ネイビー(NY)、
 グリーン(GN)
 サイズ:M-L
 メンバー価格:¥4,200
 一般小売価格:¥4,800



ニューデザインのMFJワッペン お付けします!

ポロシャツ(ワッペンタイプ)をお買い求めの方に、下記ワッペンの中から一つを左胸または左袖のどちらかにお付けします。



商品No:GWP-94-A 商品No:GWP-94-B 商品No:GWP-94-C
 ※ご注文の際にご希望のワッペン商品No、取付位置(左胸または左袖のいずれか)を忘れずにご記入下さい。

ライフスタイル一新 by MFJコレクション!



★トレーナー 特典 サービス
 商品No:GTR-94-A
 カラー:ホワイト(WH)、
 アッシュグレー(AG)
 サイズ:M-L
 メンバー価格:¥4,800
 一般小売価格:¥5,800



★サテンジャンパー
 商品No:GSJ-94-A
 カラー:ホワイト(WH)
 サイズ:フリー
 メンバー価格:¥3,800
 一般小売価格:¥4,800
 ※背中にトレーナーと同柄のプリントが入ります。



特典 サービス
★フードジャケット(フード裏地付き)
 商品No:GFJ-94-A
 カラー:グリーン(GN)、イエロー(YL)
 サイズ:フリー
 メンバー価格:¥4,800
 一般小売価格:¥5,800
 ※背中にもプリントが入っています。



特典 サービス

★フードジャケット(完全防水タイプ)
 商品No:GFJ-94-B
 カラー:ホワイト(WH)
 サイズ:フリー
 メンバー価格:¥4,800
 一般小売価格:¥5,800
 ※背中にもプリントが入っています。



特典 サービス マークについて

特典サービスマークが表示されている商品については、下記のサービスが受けられます。
 ①2層以上同時購入の方イニシャルを左袖に刺繍入れ致します。
 ②18層以上一括購入の方イニシャルサービスに加えて、チーム名などを左袖に刺繍入れ致します。
 ※ただし、チーム名などは10文字以内(日本語・英字)とさせていただきます。
 ■ご注文の際にイニシャル、チーム名を必ずご記入下さい。ご記入無き場合は、特典サービスを受けることはできません。

メンバーサポートのご案内

MFJでは、メンバーの皆さんのモーターサイクルスポーツ活動をさらに応援するために、各地区大会、競技会、イベント等の記念品や賞品のご注文を承っております。
 一般商品への大会名の名入れから、オリジナル商品の製作、Tシャツ・トレーナーなどリアルワールドのオリジナルデザインでの製作まで、特別価格にてご提供させていただきます。どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。
 ●問い合わせ先:MFJオリジナルグッズ係
 ☎03-3865-8441

MFJ
MOTORCYCLE FEDERATION OF JAPAN**★クールバンド**

商品No:RP-1(ブルー/柄模様)、
RP-2(レッド/柄模様)、
RP-3(グリーン/柄模様)、
RC-1(ネイビー/無地)、
RC-2(パープル/無地)

サイズ:フリー
メンバー価格:¥1,700

一般小売価格:¥2,000
発売元:MFJ 03-3266-1199

・クールバンドは顔部等に装着することにより、
バンド内に入っている樹脂が汗を吸い取る。
水に浸して使用すると、その温度が長時間持
続し、顔部が涼しく快適になる。(特許出願中)

**★スポーツタオル**

商品No:GST-94-A
カラー:フワイト(WH)、ブラック(GK)、エシジ(WR)
サイズ:38CM×110CM
メンバー価格:¥1,700
一般小売価格:¥2,400

**★ステッカーセット**

商品No:STS1
カラー:シルバー
サイズ:小+中(3枚1組)
メンバー価格:¥250
一般小売価格:¥300

**★オリジナルワッペン**

商品No:GWP-94-D/ブラック(BK)
GWP-94-E/ホワイト(WH)
GWP-94-F/シルバー(SL)
サイズ:左右15.5cm/天地8cm
メンバー価格:¥600
一般小売価格:¥1,000

**★キーホルダー**

商品No:KH-001
メンバー価格:¥500
一般小売価格:¥600

レーシング・ギアを脱いだ後は、
少しはオシャレをしたいもの。
いいモノを身に着けることは、
何もレーシングスーツやジャージとは限らない。
レースの後やオフの日は
いつもと違ったスタイルで過ごしたい。
そんな時は、MFJオリジナル・コレクションがお勧め。
きっといつもと違った自分が発見できるだろう。

●お申し込みは簡単、右下の要領でどうぞ。

MFJ オフィシャルウエア

MFJオフィシャルウエアは競技役員の方しか購入
できません。県協会を通じてお申し込み下さい。

★ジャンパー

商品No:OF-JN-93
サイズ:M-L
価格:¥7,000

**★ポロシャツ半袖**

商品No:OF-PL-93
サイズ:M-L
価格:¥4,000

**★帽子**

商品No:OF-CA-93-002(ロゴエンブレム)
価格:¥1,500

**★開襟シャツ半袖**

商品No:OF-ST-93
サイズ:M-L
価格:¥5,200

**■お申し込み方法**

ご希望の商品名、商品No.、サイズ、カ
ラー、数量、そしてあなたのメンバー
No.、名前、住所、電話番号を用紙に
記入して、現金書留でお申し込み下
さい。

■送料

購入商品が合計5,000円以上お買
い上げの方は無料、5,000円未満の
方は、300円の送料をプラスしてお申
し込みください。

■お申し込み先

〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7
第2オカノビル7F
☎03-3865-8441
朝日本モーターサイクルスポーツ協会
MFJオリジナルグッズ係

※表示のメンバー価格は、通信販売の
料金設定です。

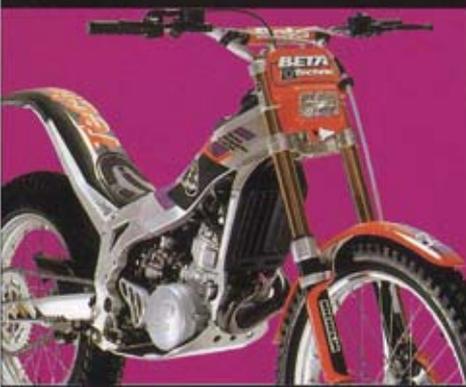
※料金はすべて消費税込みの価格で
す。

※写真と実際の商品が若干異なる場
合がありますのでご了承下さい。

※商品によっては発送が少し遅れる場
合がありますので、ご了承下さい。



匠絶賛!
ツートラからチャンピオンまで使える
ニューエンジン



TECHNO

96モデル、ただいま予約受付中!!

¥798,000

希望小売価格

写真はプロトタイプですので仕様は予告なく変更する場合があります。

■くわしくは、下記BETA取り扱い店へお問い合わせ下さい。

- | | | | |
|-----------------|---------|-----------------------|------------------|
| 山口輪店 | 〒020 | 岩手県盛岡市材木町3-8 | TEL 0196-22-5581 |
| 田中ホンダ | 〒020 | 岩手県盛岡市長田町4-4 | TEL 0196-22-7448 |
| モトワークス | 〒024 | 岩手県北上市村崎野19-296-5 | TEL 0197-68-2430 |
| アイアンロード | 〒960-01 | 福島県福島市宮代字田尻12-10 | TEL 0245-53-3766 |
| オートショップ矢吹 | 〒944 | 新潟県新潟市美守2-9-20 | TEL 0255-72-3185 |
| バイクショップ 古川商会 | 〒990 | 山形県山形市錦町1-15 | TEL 0236-33-0361 |
| Garage 三嶋 | 〒371 | 群馬県前橋市元総社町733-5 | TEL 0272-53-5364 |
| 株式会社 スーパーバイク 渡夢 | 〒362 | 埼玉県上尾市登岩2-23-15 | TEL 0487-75-8140 |
| ライダーズショップ キャリバー | 〒120 | 東京都足立区千住東2-11-3 | TEL 03-3882-7321 |
| 有限会社 若林製作所 | 〒166 | 東京都杉並区阿佐谷北6-1-8 | TEL 0425-28-0455 |
| シャイロ 阿佐谷店 | 〒190 | 東京都立川市羽衣町2-27-9 | TEL 0473-64-9757 |
| ライディングハウス | 〒271 | 千葉県松戸市古ヶ崎2-3112 | TEL 0471-92-2578 |
| トライアルワークス 小坂 | 〒277 | 千葉県東葛飾郡沼南町大島田397-4 | TEL 044-954-5512 |
| カントリーハウス | 〒215 | 神奈川県川崎市麻生区高石3-13-1 | TEL 044-411-4171 |
| エアースポーツ トレーディング | 〒211 | 神奈川県川崎市中原区中丸子439 | TEL 0463-34-0651 |
| ホンダショップ 成田 | 〒255 | 神奈川県中郡大磯町高瀬3-2-39 | TEL 0552-73-0234 |
| スーパーウィング まるやま | 〒409-38 | 山梨県中巨摩郡田代町山之神2183-132 | TEL 0268-25-2750 |
| モトショップ ヒロモータース | 〒386 | 長野県上田市国分1-3-72 | TEL 0559-94-0180 |
| YSP 上田 | 〒410-11 | 静岡県裾野市千福82-1 | TEL 02676-8-1401 |
| ヤマハ B・G・M | 〒385 | 長野県佐久市大字遠久保335-12 | TEL 0534-64-5048 |
| バイクショップ スエ | 〒435 | 静岡県浜松市市野町2728 | TEL 05378-6-8011 |
| スピードアンリミテッド | 〒437-16 | 静岡県小笠郡浜岡町池新田3802-1 | TEL 052-795-2262 |
| モトランド | 〒513 | 名古屋守山区小幡菱池14 | TEL 0593-70-2689 |
| スポーツプラザ イトウ | 〒603 | 三重県鈴鹿市道伯町2147-71 | TEL 075-415-1700 |
| 三谷モーターススポーツ館 | 〒571 | 京都市北区小山西大野町3-5 | TEL 0720-84-6001 |
| TOM'S | 〒675 | 門真市下馬伏175 | TEL 0794-26-5060 |
| バイクショップ 春木 | 〒654 | 加古川市神野町石守1440 | TEL 078-743-5440 |
| オートスポーツ 加古川 | 〒765 | 神戸市須磨区妙法寺字地子田1038-8 | TEL 0877-62-2229 |
| ミネ モーターサイクル | 〒761 | 香川県善通寺市弘田町922-1 | TEL 0849-27-5050 |
| バイクショップ ホリケ | 〒725 | 広島県福山市東深津町4-19-4 | TEL 082-293-6234 |
| ケニス クラブ | 〒733 | 広島県広島市西区中広町2丁目20-14 | TEL 092-585-1121 |
| モトハウス リー | 〒816 | 福岡県春日市宝町4-1 ラインビル西村1F | TEL 0977-21-0432 |
| アウト オフ ファクトリー | 〒874 | 大分県別府市石垣3-4-28 | TEL 0963-65-5105 |
| 首藤モータース | 〒862 | 熊本県熊本市3丁目1-51 | TEL 0985-54-6394 |
| モトショップ モリカミ | 〒880 | 宮崎県宮崎市京塚町2丁目4-11 | TEL 0996-74-0900 |
| バイクショップ やまぐち | 〒899-17 | 鹿児島県阿久根市大川3998 | |
| KO レーシング | | | |

BETA

TRIUMPH

JAPAN DISTRIBUTOR RAYS

株式会社レイス 二輪事業部 〒158 東京都目黒区三軒が通4-1 TEL 03-3107-0071(代) 〒517 大阪府東大阪市南田町5-8 TEL 06-746-1010(代)

トライアル

TRIAL

▼細則6 トライアル競技細則

1. 適用の範囲	108
2. トライアル	108
3. 出場車両	108
4. 参加資格	108
5. 出場申し込み	108
6. ゼッケンナンバー	108
7. ライダーの装備	109
8. 出場受付	109
9. ライダーおよび車両の変更	109
10. 車両および装備の検査	109
11. 練習	109
12. コース	109
13. セクション	110
14. 競技の進行	110
15. タイムキーピング	110
16. ペナルティ	111
17. ペナルティの定義	111
18. 燃料補給	114
19. 競技の終了	114
20. 車両保管	114
21. 競技結果	114
22. 抗議	115
23. 賞および得点	115

24. 審判員の権限	115
25. 違反に対する罰則	115
26. 本規則の解釈	115
27. 本規則の施行	115

▼細則7 '96全日本トライアル選手権大会特別規則

1. 公 示	116
2. 開催クラス	116
3. 運営実行組織	116
4. 大会審査委員会	116
5. 参加資格	116
6. 出場料およびMFJ共済会掛金	116
7. ゼッケンナンバー	117
8. ヘルパー	117
9. 車両検査	117
10. スタート	118
11. 採点カード	118
12. タイムキーピング (タイムコントロール)	118
13. ペナルティ	118
14. マシンコントロール	118
15. 賞および得点	119
16. 本規則の施行	119
'96全日本トライアル選手権開催日程	119

細則 6

トライアル 競技細則

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則とともにすべての国内トライアル競技会に適用される。

2 トライアル

トライアルとは、自然の地形を利用してさまざまな走行条件を設定し、これを採点区間とし、定められた時間内に走破することで操縦技術の信頼性を試す競技である。大会は1日または2日以上にわたって行われ、採点区間の成績とタイムキーピングによりその結果が表される。

3 出場車両

出場車両（以下車両という）は、国内競技規則・第3章〔⑫出場車両〕（33頁）の限度を満たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

なお、改造されて型式（モデル）が判明できないような車両は出場を認められない。

4 参加資格

1) ライダー

ライダーは、1996年度版 MFJ 国内競技規則・第3章〔⑨競技参加者〕（31頁）に合致していなければならない。

5 出場申し込み

1) 出場申し込みは、大会特別規則の定めるところとする。

2) 出場申し込み手続き

(1) 各部門とも所定の申し込み用紙に必要事項をすべて記入し、出場料および MFJ 共済会掛金を添えて大会事務局へ提出しなければならない。

(2) 郵送の場合は、現金書留または主催者の定める方法とし、締切日当日の消印のあるもので有効となる。

(3) 電話による申し込み、および締切日以降の申し込みは一切受けつけない。

6 ゼッケンナンバー

1) 主催者によってナンバーが割り当てられる。

2) ゼッケンナンバーは、車両検査までに規定の書体および色分けて記入しておかなければならない。

3) ゼッケンナンバーは車両検査時に検査され、判読しにくいと判断された場合には修正が要

求される。

7 ライダーの装備

1) ヘルメット

- (1) ヘルメットは、MFJ が公認したものでなければならない。
- (2) MFJ 公認ヘルメットには、公認マークが貼付されている。
- (3) 競技会の車両検査受け時に、ヘルメット検査が行われる。MFJ の公認したヘルメットでも、検査に合格しなかったヘルメットは、当該ライダーの安全上その使用を禁止する。
- (4) MFJ 公認ヘルメットであっても、MFJ の公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料 (1,000円) を支払い、特別に検査を受け合格しなければならない。

2) ライダーの服装

- (1) 服装は、下半身は長ズボン、上半身は長袖でなければならない。
- (2) 手袋、および足首以上を保護する突出部分のないブーツなど革靴、またはゴム長靴を着用しなければならない。

8 出場受付

- 1) 出場受付の時間及び場所は公式通知に示される。
- 2) 出場受付は、定められた時間内に必ずライダー本人が MFJ ライセンス、参加受理書を提示して当日の出場資格を確認しなければならない。
- 3) MFJ ライセンスを提示できない者は、出場が認められない。

9 ライダーおよび車両の変更

ライダーの変更は認められない。車両の変更は国内競技規則・第3章〔⑩ライダーおよび車両の変更〕(34頁)に該当する場合で、出場受付時に手数料5,000円を添えて大会事務局へ申請し、競技監督の許可を受けた場合のみ認められる。

10 車両および装備の検査

- 1) 装備および車両の検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、競技開始前にパドック内の車両検査場にて行われる。
- 2) ライダーは、タイムスケジュールに示された時間内に、必ず本人が車両を持参して検査を受けなくてはならない。規定時間以後の検査は、大会審査委員会が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた以外は行われない。
- 3) 車両検査への持ち込み車両は、1台に制限される。
- 4) 主催者は、大会期間中に必要に応じて随時車両の検査を行うことがある。

11 練習

大会当日は、コースおよびセクションのいかなる場所においても練習が禁止される。これに違反したライダーは失格とする。ただし主催者が特別に認めた区域内でのウォーミングアップは認められる。

12 コース

コースは、コーステープまたはコースマークにより明確に表示される。コースから外れた場合、ライダーは速やかにコースに戻らなければならない。

13 セクション

1) セクションの表示

セクションは、次のセクションマーカーおよびテープで表示される。

- | | | |
|--------|----|---------------|
| (1) 入口 | 右側 | 赤地にセクションナンバー |
| | 左側 | 青地に“IN”などの表示 |
| (2) 途中 | 右側 | 赤いマーカーまたはテープ |
| | 左側 | 青いマーカーまたはテープ |
| (3) 出口 | 右側 | 赤地にセクションナンバー |
| | 左側 | 青地に“OUT”などの表示 |
- (4) テープを使用する場合は、入口および出口に赤と青のマーカーを置く。

2) セクションの幅

- (1) セクションの横幅はできる限り自然の障害物で制限されるが、マーカーによって制限する場合は1.2m以上とし、テープによって制限する場合は2m以上とする。
- (2) 同じ側のマーカーとマーカーの間を迂回することはできない。
- (3) 採点区間
セクションにおける採点は、前輪の接地面の先端または外側（スピンドル）がセクション入口のマーカーを過ぎた時点から開始され、前輪の接地面の先端または外側（スピンドル）がセクション出口のマーカーを過ぎた時点で終了する。

14 競技の進行

- 1) ライダーは、スタートの合図を受けて初めてエンジンを始動させることができる。
- 2) タイムキーピングを採用した場合、各セクションへのライダーの進入順序は自由であるが、審判員によって指示された場合、これに従わなくてはならない。
- 3) セクション間の移動はコースマークまたはテープに従い行わなくてはならない。
- 4) ライダーはセクションに入る準備ができ次第、手を上げて審判員に合図しなければならない。
- 5) ライダーは審判員の指示により速やかにセクションに入らなければならない。
- 6) セクション内でフルペナルティ（減点5点）を受けたライダーは、速やかにセクション外へ車両を移動させなければならない。
- 7) ライダーは、セクション内で一切の援助を受けてはならない。ただしフルペナルティを受けた場合はこの限りではない。
- 8) (1) 車両の部品交換は、マーキングされていない物のみ認められる。
(2) ライダーは、主催者の定める区域内（パドック）であれば他の援助を受けることができる。
(3) ライダーは、移動コース上において工具、およびスペアパーツを受け取ることができる。ただし定められた区域（パドック）以外ではその他の援助を受けることはできない。（全日本選手権は規則が異なる。117頁・ヘルパーの項参照）
(4) 競技中事故を起こした場合や、車両の故障等の理由で競技続行が不可能な場合は、速やかに大会本部に申し出なければならない。
- 9) 不適当な行為について審判員の指示があった場合、ライダーは審判員の指示に従わなくてはならない。

15 タイムキーピング

- 1) ライダーは、原則としてあらかじめ決められた順序により1分間隔でスタートする。ただし同時にスタートの場合はこの限りではない。

- 2) 決められたスタート時刻に遅れたライダーは、1分につき1点の減点が課せられ、20分以上の遅れは失格となる。
- 3) コース走行時の平均速度は原則として20km/hとする。
- 4) ライダーには全コースを走破するための「持ち時間」が与えられ、これに遅れてゴールしたライダーは失格となる。
- 5) 全コースを走り終えたライダーは、定められた場所でタイムチェックを受けなければならない。

16 ペナルティ

- 1) セクションにおける減点は0-1-2-3-5-10点とする。
 - (1) クリーン……………0点
 - (2) 足つき……………1点～3点減点
 - (3) 失敗……………5点減点
 - (4) 放棄……………10点減点
- 2) タイムキーピングによるペナルティは、次のとおり課される。
 - (1) 予定されたスタート時間に遅れた場合……1分につき1点減点、20分以上の遅れは失格
 - (2) ゴールタイムチェックへの遅れ……失格
- 3) ライダーの不適切な行為に対するペナルティは、次のとおり課される。
 - (1) 競技役員および審判員に対する不適切な行為……失格・退場
 - (2) セクションにおいて審判員の指示に従わなかった場合……10点減点
 - (3) トライを有利にする目的で、故意に地形を変形させた場合……10点減点
 - (4) 定められたコースを不適当にカットした場合……50点減点
 - (5) 定められたコースを逆走した場合……失格
 - (6) 車検で施されたマーキングが失われた場合……失格

(次の部品は車検後交換が認められない。フレームボディ、クランクケース、サイレンサー)

 - (7) 許可された場所以外で、外部から整備の援助(部品の交換を含む)を受けた場合……失格

注) 上記(4)に関しては、さらにセクション放棄の減点が加算される。

トライアルの減点は0-1-2-3-5-10				
減点ゼロ おみごと/ クリーンです	減点1 残念、 足つき1回	減点2 残念なり 足つき2回	減点3 足バタバタ 3回以上	減点5 ミスりました 失格です
				
トライを放棄すれば減点10				

17 ペナルティの定義

セクションにおけるペナルティの定義は、次のとおりとする。

1) 足つきの定義

車両が前進しながら身体のどこかの部分、または車両のどこかの部分(フットレスト、エンジンカード(底部)、タイヤ、ホイールを除く)が地面に接地した場合、これを足つきという。

また車両の進行を停止することなくライダーのどこかの部分が障害物(立木、壁など)にもたれた場合、足つきが生じたものとみなされる。

また身体の部分で手、足についてはその付け根から先を同一とみなす。従って足つきと同時に膝を接地しても、1回の足つきとみなす。

なお、足つきによるマーカー移動、破損は足つきのみの減点となる。

- (1) 1点減点 (車両が前進しながら)
 - ① 足つき1回
 - ② 足つき状態でつま先とかかどが交互についている場合
 - ③ 片足を軸にして車両を回転させた場合
 - ④ 手を立木・壁等についた場合
 - ⑤ 身体または車両が障害物等にもたれかかり、バランスを修正した場合
 - ⑥ コーステープの内側または外側への足つき1回
- (2) 2点減点 (車両が前進しながら)
 - ① 足つき2回
 - ② 前記1)の1点減点となる行為が2回行われた場合
 - ③ 両足同時の足つき
- (3) 3点減点 (車両が前進しながら)
 - ① 足つき3回以上
 - ② 前記1)の1点減点となる行為が3回以上行われた場合
- 2) 失敗 (減点5点)
 - (1) ライダーが足つきをし、車両が完全に進行方向に進むのをやめてしまった場合
 - (2) 車両が停止した状態で身体または車両が障害物等にもたれかかり、バランスを修正した場合
 - (3) 車両が停止した状態での足つき及びバック中の足つき
 - (4) 登り坂等での足つきの状態で、フロントタイヤが浮いてタイヤがバックした時
 - (5) マーカーの迂回 (下図Aのようなふくらみ、またはターン)

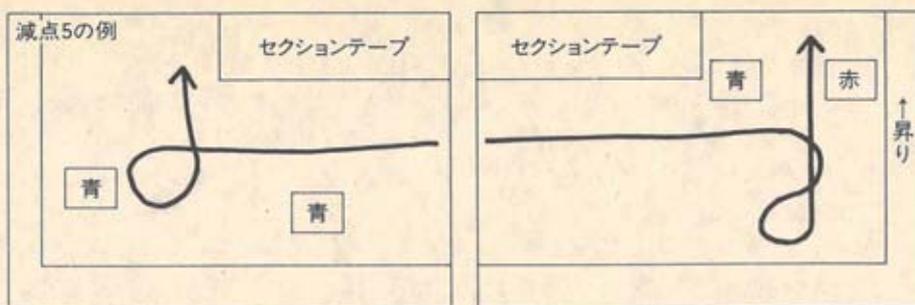
*ただしセクションテープ併用の場合はこの限りではない (図E参照)

図A



- (6) 車両・ライダーによるテープ切断、たるませ、テープを止めているクイなどを破損、または移動 (修正が必要な移動) させた場合
- (7) 車体の右側、または左側に両足が同時に足つきをした場合
- (8) フロントタイヤまたはリアタイヤがテープの上からテープ外に出て立木、壁、石等に接触した場合
- (9) セクション内でライダー自身の車両がつけたわだちちに再び触れたり、踏みつけたり、または飛び越えた場合。ただしリバースおよびホップアップの場合は減点の対象にならない (図B参照)

図B



(10) 車両によるマーカー移動、マーカー破損

(11) 申告エスケープについては、特に審判員の判断により失敗申告とみなされたもののみとする

3) 減点の対象とならない行為

(1) 接触

接触とは、ライダーの身体の各部分または車両の各部分が立木、壁、石等その他の障害物に触れることをいい、これによって明らかにバランスの修正が行われない限り減点の対象とはならない。

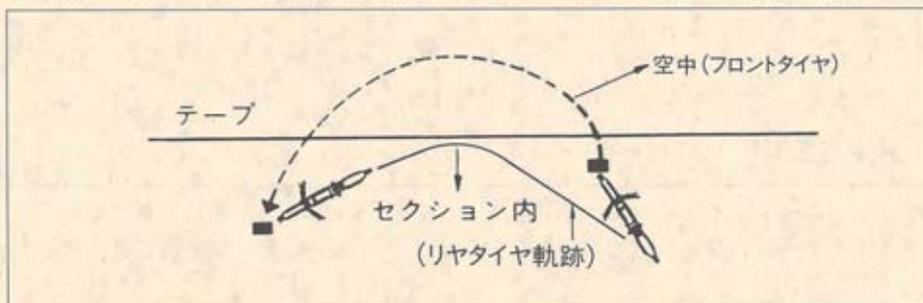
なおマーカー、テープには車両、身体どちらで接触しても接触のみであればペナルティーは課せられない。

(2) その他減点の対象とならない例

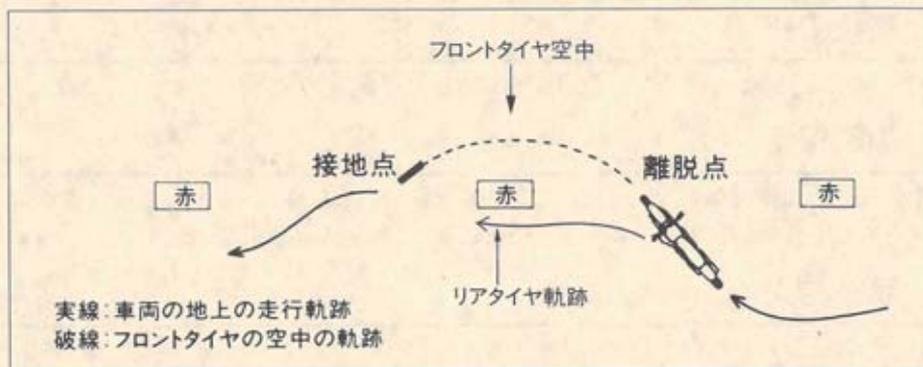
① テープの上からフローティングターン等によるフロントタイヤ、またはリアタイヤがテープ外に出た場合で、テープ外の立木、壁、石、地面等に触れずにテープ内に戻った場合。(図C参照)

② マーカー付近でのフローティングターン等によるマーカー迂回については、リアタイヤの接地面がマーカーの内側を通れば減点5の対象とはならない(図D参照)

図C



図D

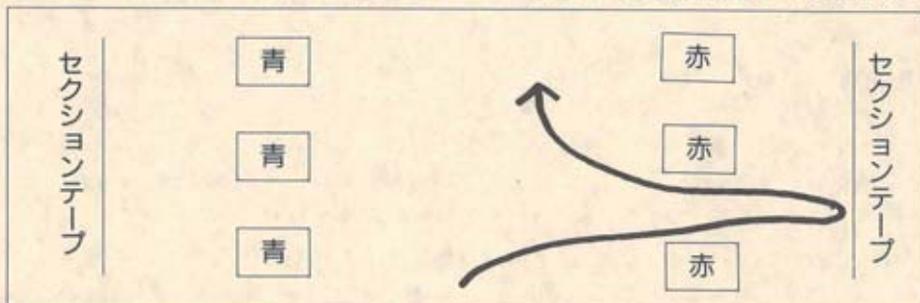


③ セクションテープがある場合、マーカーとマーカーを結ぶ直線をはみ出しても、テ

ブより出ない限り減点とはならない（図E参照）。

- ④ V字型の地形でステップがかみ込んで停止をした場合、ステップに足が乗っていれば減点5の対象とはならない。そのステップ上のつま先、足の裏部分が接地しても、意識的なバランス修正がない場合、減点の対象とはならない。
- ⑤ アンダーガードが引っかかりシーソー状態になり、エンジンが停止しても減点5の対象とはならない。なおこの状態から足をつかないでエンジンを始動させて競技の続行もできる。
- ⑥ エンジンが停止して足つきを行った場合でも、車両が前進していれば減点5の対象とはならず、ただの足つきの減点となる。
- ⑦ 足つきの状態で前輪を真横に移動することは前進とみなし、減点5の対象とはならない。

図E



(3) 減点の対象とならない車両の部分

車両が停止している状態で、下記の部分が立木、壁、石、地面に触れて重心を支えても減点の対象とはならない。

- ① フットレスト
- ② エンジンガード（底部）
- ③ タイヤ
- ④ ホイール

4) 放棄

放棄とはセクションを走行しなかった場合を言う。

18 燃料補給

- 1) ライダーは、主催者の定める区域内（パドック等）で燃料補給ができる。
- 2) ライダーは、競技役員の許可を受ければ、コース上の安全な場所で燃料補給をすることができる。

19 競技の終了

バックマーカーがセクションを閉鎖する場合がある。

20 車両保管

公式通知等に車両保管方法について記載のない場合、最終ゴール時に上位入賞車両の検査を行う場合を除き、マシンコントロールでのチェック終了後は車両保管は行わない。

21 競技結果

- 1) 総減点数の少ない者から順位を定める。
- 2) 同点者の判定は次の判定基準に従って行う。

- (1) クリーン数の多い者を上位とする
- (2) 1点減点の多い者を上位とする
- (3) 2点減点の多い者を上位とする
- (4) 3点減点の多い者を上位とする
- (5) 以上によって決定できない場合は、当該審査委員会により決定される。

22 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔㉗抗議〕(37頁)による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わなければならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定する。
- 3) セクション審判員の下したジャッジに対しては、抗議することは一切できない。

23 賞および得点

- 1) 入賞は1位～6位とする。
- 2) 得点
得点は、国内競技規則・第3章〔㉘公式得点〕(35頁)によって与えられる。

24 審判員の権限

審判員は、競技規則に則り担当するセクション内における競技の進行、指揮の権限をもつほかセクション内における選手の行為を減点の対象とするか否かを審判する、最終的権限を持つものである。

25 違反に対する罰則

競技規則による違反行為に対する罰則は、国内競技規則・第3章〔㉙違反行為に対する罰則〕(38頁)による。

26 本規則の解釈

本競技細則および競技に関する疑義は、事務局あてに質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定の最終的なものとして示される。

27 本規則の施行

本規則は、1996年1月1日より有効とする。

細則 7

'96全日本 トライアル選手権大会 特別規則

1 公 示

全日本トライアル選手権は、FIM 国際スポーツ憲章に基づいた MFJ 国内競技規則と各大会の特別規則に基づき、開催される。

2 開催クラス

- 1) 全日本選手権の開催クラスは、国際A級部門および国際B級部門とする。
- 2) 競技方法は国際A級部門・国際B級部門ともに個人に与えられた持ち時間とコース上に設定されたセクションの採点によるものとする。なお、各大会のセクション数及び持ち時間は、各主催者からの公式通知により発表される。

3 運営実行組織

大会運営・実行組織は公式プログラム、または公式通知に示される。

4 大会審査委員会

- 1) 大会審査委員長は MFJ トライアル委員会の委員、もしくは主催者が指名する 1 級競技役員で、MFJ が任命する。
- 2) 任命された審査委員長が定時までには到着しない場合は、次席の者がこれにあたる。
- 3) 大会審査委員会は違反行為への罰則、競技会の中止・中断、競技運営内容およびセクション設定（難度）等における最終決定を下す権限を持つ。

5 参加資格

- 1) 国際A級部門 当該年度に有効な国際A級ライセンスを所持する者
- 2) 国際B級部門 当該年度に有効な国際B級ライセンスを所持する者
- 3) ヘルパーライダー 当該年度に有効な国内B級以上のライセンスを所持する者

6 出場料および MFJ 共済会掛金

	総 額	内 訳	
		出場料	共済会掛金
国際A級部門	12,000円	11,700円	300円
国際B級部門	12,000円	11,700円	300円
ヘルパーライダー	6,000円	5,700円	300円

参加受理：

- 1) 必要事項を記入した出場申込書、出場料を大会事務局が受理した時点で参加受理書、公式通知等が発送される。
- 2) いったん受理された出場料、MFJ 共済会掛金はいかなる理由があっても返還されない。
- 3) 大会が取り止めになった場合、また参加が拒否された場合にのみ出場料、MFJ 共済会掛金が返還される。(申し込み者が必要な手続きを怠った場合は、これにあてはまらない。)

7 ゼッケンナンバー

- 1) 主催者がゼッケンナンバープレート、胸ゼッケン等を配布した場合、競技期間中これを取りつけなくてはならない。
- 2) 全日本選手権ゼッケンナンバー決定基準

国際A級

- (1) 前年度全日本選手権シリーズランキング順により決定する。
- (2) 国際B級部門より昇格した者を、前年度全日本選手権ランキング順により追加する。
- (3) 上記以外の選手については大会毎に与えられる。

国際B級

- (1) 国際A級への昇格者を除く前年度の全日本選手権シリーズランキング順により決定する。
- (2) 上記以外の選手については大会毎に与えられる。

8 ヘルパー

ライダー1名に対し、1名のヘルパーが認められる。ヘルパーの資格、および遵守事項は次のとおりとする。

- 1) ヘルパーは、トリアル国内B級以上のライセンス所持者で、ライダーのエントリー時にヘルパーの申請料を添付し、申し込まなければならない。エントリー締切後の追加、変更は一切認められない。

また大会により、ヘルパーの受付を認めない場合がある。

ヘルパーミーティングが開催される場合、これに出席しなくてはならない。

- 2) ヘルパーの車両はMFJ公認車両でなくてはならず、選手と同様に車検を受けなければならない。
- 3) 車両のフロントナンバープレートに、選手と同じゼッケンナンバーを表示しなくてはならない。ナンバープレートの地色および数字の色は下記のとおりとする。

国際A級のヘルパー……白地赤文字

国際B級のヘルパー……白地緑文字

- 4) 移動コースは特に指示のない場合ライダーと同一とし、逆走は一切認められない。
- 5) ヘルパーの不正は、そのヘルパーを登録したライダーに罰則が課される。
- 6) ヘルパーの行ってよい行為(下記以外の行為は認められない)
 - (1) 移動コース上でライダーに工具、スペアパーツ、飲料等の受け渡しができる。
 - (2) パドック以外での車両整備(部品の交換を含む)は、選手本人及びその選手に登録されたヘルパーのみが行うことができる。
 - (3) ヘルパーは原則としてセクション内に立ち入ることはできない。

ただしトライ失敗の際の補助として、その選手に登録されたヘルパーがセクション審判の許可を受けた場合に限りセクション内への立ち入りが認められる。

9 車両検査

- 1) 車両検査においてフレームボディ、クランクケース、サイレンサーにマーキングを行う。

以上の部品は競技の期間中使用され、競技が終了するまで交換をすることができない。これらの部品を車両検査後、あるいは競技中無断で交換した場合、および車検で施されたマーキングを失った場合には失格とされる。

サイレンサーを破損した場合は車検長の許可を得て交換しても良い。

ただし、競技終了後ただちに音量測定を受けなくてはならない（規定値を越えた場合は失格とされる）。

- 2) 車両検査時には全車に対し、音量測定を行う。

10 スタート

- 1) 第1戦のスタート順序はゼッケン下位の者からとする。
- 2) 第2戦以降は、前戦までのランキングの下位の者から先にスタートするが、ポイント獲得者以外のゼッケン下位の者から先にスタートする。

11 採点カード

- 1) ライダーはスタート時に採点カードを受け取り、各ラップ毎に交換すること。
- 2) セクションでのパンチの点数は、その場でライダーが確認すること。
- 3) セクションをトライしてもパンチを受けないで次のセクションへ入った場合、前セクションはエスケープとみなされる。
- 4) 採点カードの破損等によって採点が確認できない場合、当該セクションはエスケープとみなされる。
- 5) 採点カードは選手自身がパンチを受け、管理しなくてはならない。
- 6) 採点カードを紛失した場合、失格とされる。
- 7) 採点カードはコンピューター処理されるので、折り曲げたりしてはならない。
- 8) 採点カードの交換場所は、大会特別規則または公式通知へ示される。

12 タイムキーピング（タイムコントロール）

- 1) ライダーはスタート、ゴールのタイムチェックを受けなくてはならない。
- 2) 公式通知に特に記載のない場合、スタート時のタイムチェックはスタート時に行われ、ゴール時のタイムチェックは最終セクション出口付近にて行われる。
- 3) ゴールに遅れたライダーは、1分につき1点の減点が課せられ、20分以上の遅れは失格とする。
- 4) ゴールタイムチェックを受けたライダーは、定められたコースに従い10分以内にカード交換場所に戻り、採点カードを係員に提出すること。この時点でゴール完了となる。ゴール完了前に指定されたコース外に出たり、パドックに入ったりしてはならない。

13 ペナルティ

トライアル競技細則に定める減点に加え、下記減点を課す。

- 1) セクションでの持ち時間
各セクション毎に2分の持ち時間が与えられ、セクションから2分以内にセクションアウトできなかった場合、減点5が課される。

14 マシンコントロール

- 1) マシンコントロールでは車両、車両へ施されたマーキング、ゼッケン、服装等の検査が行われる。

- ライダーは各ラップ毎にマシンコントロールでの検査を受けなくてはならない。
- 公式通知に特に記載のない場合、マシンコントロールは、大会本部付近にて行われる。

15 賞および得点

- 各大会ごとに国際A級、国際B級の各クラスへベストクリーン賞が与えられる。(クリーン数が同数の場合は、成績が上位のものとする)
- 国際A級、国際B級部門全日本選手権ランキングの得点
 - 得点はMFJ国内競技規則によって与えられる。
 - 日本グランプリトライアル大会については規定の得点にさらに3点が加算される。
 - 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その合計得点によって決定される。
 - 詳細は全日本選手権ランキング決定方法(208頁)に示される。

16 本規則の施行

- 本規則は、出場申し込み受付日より有効となる。なお、本規則に示されていない事項は、国内競技規則、トライアル競技細則による。

1996年1月1日
全日本トライアル選手権
大会事務局長

'96全日本トライアル選手権シリーズ

開催日	大会名	出場申し込み先	開催場所	出場申し込み期間
4月13日(出) ↓ 4月14日(回)	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第1戦 近畿大会	MFJ近畿トライアル委員会 〒675 兵庫県加古川市野口良野261-3 山本レーシング内 ☎0794(23)2335	和歌山県 加太自然の郷特設会場	3月5日(火) ↓ 3月14日(休)
5月11日(出) ↓ 5月12日(回)	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第2戦 関東大会	MFJ関東 〒170 東京都豊島区南大塚2-31-11 共栄大塚ビル5F ☎03(3943)6105	茨城県 真壁トライアルランド	4月2日(火) ↓ 4月11日(休)
8月3日(出) ↓ 8月4日(回)	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第3戦 北海道大会	MFJ札幌 〒065 北海道札幌市東区東通条3条1丁目4-3 札幌地区軽自動車会館2F ☎011(782)1492	北海道 夕張マウントレースイ リゾート	6月25日(火) ↓ 7月4日(休)
9月7日(出) ↓ 9月8日(回)	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第4戦 中国大会	MFJ中国 〒733 広島県広島市西区観音新町1-18-9 広島県二輪車安全普及協会内 ☎082(295)6994	岡山県 原山山トライアルパーク	7月30日(火) ↓ 8月8日(休)
9月21日(出) ↓ 9月22日(回)	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第5戦 九州大会	MFJ九州 〒811-01 福岡県粕屋郡新宮町大字下府631-1 新ホンダ二輪九州内 ☎092(962)4272	福岡県 八女郡矢部村 奥の院特設会場	8月13日(火) ↓ 8月22日(休)
10月12日(出) ↓ 10月13日(回)	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第6戦 中部大会	MFJ中部 〒466 愛知県名古屋市中区八事富士見1603 ☎052(833)9676	岐阜県 坂内バイクランド	9月3日(火) ↓ 9月12日(休)
10月26日(出) ↓ 10月27日(回)	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第7戦 日本グランプリ大会	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F ☎03(3865)8441	宮城県 スポーツランド SUGO	9月17日(火) ↓ 9月26日(休)

'96トライアル主要競技会カレンダー

開催日	大会名	出場申し込み先	開催場所
3月22日(出) ↓ 3月24日(回)	'96インターナショナルスーパースタジアムトライアル	〒812 福岡市博多区大博町11-13 大博ビル1F スーパースタジアム・トライアル運営事務局 ☎092(282)0070	福岡県 福岡国際センター
11月10日(回)	トライアルグランドチャンピオン大会	〒470-01 愛知県愛知郡東郷町大字藤輪字東脇59-99 鈴木唯一方 MFJ中部トライアル委員会 ☎05613(8)0736	岐阜県 坂内バイクランド



96年を迎えて表紙も内容も一新!

毎月盛りだくさんの内容でお送りする日本唯一のトライアル専門誌

世界選手権・MFJ全日本選手権情報はどこよりも詳しく徹底的に

Newモデルインプレッションは初心者から上級者にも満足

全国のツートラ追いかけます/伊藤敦志のテクニク完全ガイド

長尾藤三の「こわがり倶楽部」連載中/時の人をインタビュー

お求めは全国の書店にて、また定期購読もできます。

毎月24日発売
定価700円

●定期購読の方法

「トライアルジャーナル〇月号より定期購読申し込み」と明記の上、下記の(株)フラヌエールまで料金と送料を添えて現金書留にてお申し込み下さい。また、郵便振替でもOK。口座番号は京都5 51465 加入者名(株)フラヌエールです。

●12ヶ月8,400円、送料1,560円 申込先 〒603 京都市北区上賀茂榊田町78番地 tel 075-724-1230 (株)フラヌエール

トライアルジャーナル通販グッズ

■TJ スタジアムトライアルビデオ

'93年全日本選手権シリーズR1~R4ダイジェスト編集。白熱したシリーズの模様と、エキサイティングな走りを満載。

定価 2,880円



'92年全日本選手権シリーズR1~R5総集編。幾多の興奮のシーンをこの1本に凝縮。定価 2,880円

'94 スーパースタジアムトライアル in 尼崎。スタトラのあり方を根底から覆したエキサイティングな大会。日本初登場のダブルラインによる同時スタートのスクラッチファイトは必見!



■極楽ツートラ



ツーリングトライアルの楽しさを1冊の本にまとめてみました。内容●ツートラカタログ ●A級ライダー達のツートラ ●ツートラの傾向と対策 ●各主催者のPR・他

現金書留または本誌組込みの振替用紙にて送料を添えてお申し込み下さい。定価 1,850円(税込) 送料350円 B5判 124ページ 平綴 1989年4月発行

●TJビデオ・極楽ツートラ購入方法(3部まで送料が同じになっております)現金書留もしくは本誌組込みの振替用紙をご利用の上、送料をプラスして下さい。

送料	510円	610円	820円	1020円
地域	京都市内	山梨・神奈川県・長野・静岡・富山・岐阜・愛知・石川・福井・三重・鳥取・岡山・島根・広島・山口・香川・徳島・愛媛・高知・近畿全地区(京都市内は除く)	秋田・山形・宮城・福島・茨城・栃木・群馬・埼玉・新潟・千葉・東京・大分・宮崎・福岡・熊本・鹿児島・佐賀・長崎	北海道・青森・岩手・沖縄

ドラッグレース

D RAG RACE

▼細則 8 ドラッグレース競技細則

1. 適用の範囲	122
2. ドラッグレース	122
3. レース出場車両	122
4. 参加資格	122
5. 出場申し込み	122
6. 参加受理	123
7. ゼッケン・ナンバー	123
8. ライダーの装備	123
9. 出場受付	123
10. 出場車両の変更	124
11. 車両および装備の検査	124
12. 公式予選	124
13. 決勝レース出場台数	125
14. スタート方法およびレース	125
15. コース選択	126
16. 勝者の判定	126
17. 計時	126
18. 失格	126
19. リタイア(棄権)と停止	126
20. 優勝者、入賞者順位、賞典の制限	127
21. レース終了後の車両保管と再車検	127
22. レースの成立	127
23. レースおよび大会の延期・中止等	127
24. 抗議	127
25. 違反に対する罰則	127
26. 本規則の解釈	128
27. 本規則の施行	128

▼細則 9 '96全日本選手権大会特別規則

1. 公示	129
2. 開催種目と競技会の日程	129
3. 追加のクラス	129
4. コース	129
5. 大会審査委員会	129
6. 参加定員	129
7. 出場料およびMFJ共済会掛金	129
8. ピット要員	130
9. ゼッケンナンバー	130
10. 公式予選	130
11. 決勝レース	130
12. コース選択	130
13. 賞および得点	130
14. 主催者の権限	131
15. 本規則の施行	131
'96全日本ドラッグレース選手権開催日程	131

ドラッグレース 競技細則

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技に基づき、すべての国内のドラッグレース競技会に適用される。

2 ドラッグレース

- 1) 完全にクローズドされたサーキットで行われる。2台の車両がE.T.(直線の区間タイム)を競う。シグナルによるスタートとし、先にゴールラインを通過した者が勝者となる。また、単にE.T.(直線の区間タイム)だけを競う競技もある。国内競技規則および細則により運営、管理される。
- 2) 区間タイムについては下記2種類がある。
 - ① SS1/4マイル (402.33m)
 - ② SS1/8マイル (201.165m)

3 レース出場車両

- 1) 一大会において同一車両を複数の種目のレースに使用することはできない。
- 2) 一大会において同一車両を複数のライダーが使用することはできない。

4 参加資格

- 1) エントラント及びライダー
エントラント及びライダーは、1996年度版 MFJ 国内競技規則第3章〔⑨競技参加者〕(31頁)に合致していなければならない。

5 出場申し込み

- 1) 出場申込場所は、大会特別規則の定めるところとする。
- 2) 出場申込手続き
 - (1) 各部門とも所定の申込書に必要事項をすべて記入し、出場料およびMFJ 共済会掛金を添えて大会事務局に提出しなければならない。
 - (2) 2クラス以上に出場を申し込み場合は、別々に、申し込み書を提出しなければならない。
 - (3) 郵送の場合は、現金書留又は主催者の定める方法とし、締め切り当日の消印のあるものが有効となる。
 - (4) 電話による申込及び締め切り日以降の申込は一切受けない。

6 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申込書、金額を大会事務局が受理した時点で、参加受理書が発送される。
- 2) いったん受理された出場料、MFJ 共済会掛金はいかなる理由があっても返還されない。公式予選を通過しなかった場合も同様である。
- 3) 大会が取り止めになった場合、また参加が拒否された場合のみ出場料、MFJ 共済会掛金が返還される（申込者が必要な手続きを怠った場合は、これにあてはまらない）。

7 ゼッケン・ナンバー

- 1) 主催者によってナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 2) ゼッケン・ナンバーは、車両検査までに規定の書体および色分けて記入しておかなければならない。
- 3) ゼッケン・ナンバーについては、車両検査時に検査され、判断しにくいと判断された場合には修正が要求される。
- 4) 最初決められたゼッケン・ナンバーは、年度末まで変更できない。

8 ライダーの装備

- 1) ヘルメット
 - (1) ヘルメットはフルフェイス型のもので、MFJ が公認したものでなければならない。
 - (2) MFJ の公認したヘルメットには、下記の認証マークが貼付される。
 - (3) 競技会の車両検査受付時に、ヘルメットの検査が行われる。MFJ の公認したヘルメットでも、検査に合格しなかったヘルメットは、当該ライダーの安全上その使用を禁止する
 - (4) MFJ 公認ヘルメットであっても、MFJ の公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料（1,000円）を支払い、特別に検査を受けなければならない。
- 2) ライダーの服装
 - (1) レーシングスーツ
 - ① 皮もしくは、同等の素材であること。MFJ 公認スーツが望ましい。スーツはワンピースデザインもしくはウエストでつながるジッパータイプ。



MFJ が公認したレーシングスーツには、シルバー地の公認マークが付いている。

- (2) ブーツ・グローブ
ブーツはくるぶしが完全に覆われるもので、皮製、サイドボタンタイプ。
グローブは、手を覆うサイドボタンタイプ。
- 3) 競技中のライダーは、難燃性の素材を使用した肌着を着用しなければならない。

9 出場受付

- 1) 出場受けの時間および場所は、公式通知に示される。
- 2) 定められた時間内に、必ず本人または参加者が MFJ ライセンス、参加受理書を提出して出場資格の確認を受けなければならない。

- MFJライセンスまたは参加受理書の提示ができない者は、出場が認められない。

10 出場車両の変更

- 車両の変更は国内競技規則・第3章〔⑩ライダーおよび車両の変更〕(34頁)による。
- 車両変更の申請は、同部門・同クラスの車両に限られ、手数料5,000円を添付して大会事務局に申請しなければならない。

11 車両および装備の検査

- 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 車両検査の車両は、ライダー本人が持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を済ませなければならない。これ以後の検査は大会審査委員会が、不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行われない。
- ライダーは、車両仕様書を提出し、装備品一式の検査を受けなければならない。
- 車両検査持ち込み台数は、地方選手権および地方大会は出場1レースにつき1台に限られる。
- 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判断された車両は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両検査を行うことがある。

12 公式予選

- 公式予選
 - 公式予選は、原則として各クラス別に行われる。
 - 公式予選日の日程および時間は、特別規則書に示される。
 - 公式予選はタイムトライアル方式とする。
 - 全ての競技車は、セルフスタートし、セルフステージしなければならない。
 - 公式予選で同タイムが出た場合は、トップスピードの記録が良い方が予選順位が上位となる。
- 公式予選の内容
 - レースに出場する全てのライダーは、必ず公式予選に参加し、最終的に出場資格を取得しなければならない。
 - 2種目以上に出場するライダーは、出場全種目の公式予選に出場しなければならない。
 - 最終的な予選選出方法は、大会審査委員会の決定による。
 - 予選通過者で出場不可能となった者は、すみやかにその旨を届けなければならない。
 - レース出場が不可能となったことを届け出たライダーがあった場合、予選タイムを基準として繰り上げる場合がある。(スタート前チェック時間内に連絡のないライダーはリタイヤとみなす)。
- ライダー(トーナメント方式)
 - トーナメント
予選タイムでライダーポジションが決められる。1度ライダーペアリングが決まった場合は、主催者が必要としない限り変更はできない。16台分のライダー時に14台しか参加していない場合は、14台分のライダーを使用する。
 - タイムトライアル
タイムトライアルによるクラスの場合は最大で、3ヒートまでとする。

13 決勝レース出場台数

- 1) 決勝レース出場台数は、特別規則に示される。

14 スタート方法およびレース

1) スタート方法

- (1) スタンディングスタートとしスタンディングシステムは、プロスタートとストックスタートがある。スタート方法は特別規則および公式通知によって発表する。

2) スターティングシステム

(1) プロスタート

クリスマスツリーの3黄色、全ての黄色ライトは同時に作動（点灯）し、グリーンライトまでのディレイ（間隔）は、0.4秒。

(2) スtockスタート

クリスマスツリー、3黄色のカウントダウンを利用し黄色ライトとライトのディレイは、0.5秒。

3) レース

- (1) 予選によりラダーポジションを決定し、先にゴールラインを通過した者が次のラダーへ進む。最大で4ヒートを行う。タイムトライアルによるレースの場合は、E.T.の速い者を上位とする。同タイムの場合は、トップスピードによって決定される。更にトップスピードが同一の場合は前のヒートE.T.によって決定される。

(2) パーンアウト

レースのパーンアウトは指定された場所により制限する。競技車がパーンアウト時に壊れて後ろにさがれない、もしくは後ろに押せない場合、コース上でUターンをしスタートラインに戻ることは禁止。パーンアウト時にセンターラインを越えることは失格ではない。パーンアウト規制は、スタート審判員の判断による。

(3) ステージング（スタート準備、および方法）

- ① コースインした時点でレーススタートの準備ができていなければならない。
- ② 競技車は、セルフスタートし、セルフステージしなければならない。
この規則は1台で走行する場合も同じでプッシュスタートや、プッシュステージは禁止。車両のエンジン動力で行うこと。
- ③ ライダーがステージングライン（スタートライン）と競技車の位置を確かめるために機械や電子装置を使用してはいけない。競技車の位置を確かめるためには肉眼のみ認める。
- ④ スタートするためにはステージライト、プレステージライトの両方が点灯していなければならない。スタート前にステージラインを越えた場合は失格となる。但し競技の最終ヒートの場合、両者がステージラインを越えた場合のみ再スタートとなる。
- ⑤ ステージングする場合、両者ともステージビームに前進するまえにプレステージライトを作動させなくてはならない。ステージするために適度な時間が与えられる。タイムリミットは、スタート審判員の判断とする。
- ⑥ スタート審判員の指示通りステージしない場合は失格となる場合がある。
- ⑦ ステージを完了し、スタート審判員のゴーサインがでた後にステージし直すのは禁止する。
- ⑧ スタートシステムが作動する前に、スタートラインを越えた場合と、スタート審判員に指示された者はそのヒートのタイムは無効となる。

ドラッグレース競技細則

(4) シングルライン

ライダーが1台で走る場合、ステージしスタートシグナルを受けた時点で勝者とみなされる。シングルランで競技者がレーン判断のため、センターラインを越えた場合のタイムは無効となる。

15 コース選択

- 1) コースの選択は、コースイン順に競技役員の指示に従って行われる。
- 2) トーナメントの場合は、前のヒートのタイムの良い方（予選含む）に選択権がある。

16 勝者の判定

- 1) タイムトライアル
2台ずつ同時にスタートし2回～3回のE.T. (区間タイム) のベストタイムによって順位付けされる。
- 2) トーナメント
2台同時にスタートし先にゴールラインを越えた者が勝者となる。タイムの発表は、E.T. のみとする。
- 3) E.T. (区間タイム) は、SS1/4マイル (402.33m) もしくはSS1/8マイル (201.175m) によって競われる。
- 4) グリーンランプ点灯後5秒以内にスタートしない者は当該ヒート無効とする。
- 5) スタート後1分を経過してゴールラインを通過できない車両は当該ヒート無効とする。

17 計時

- 1) 計時はスタートからフィニッシュまでの所要時間を1/1000秒単位まで計測を行う。
- 2) 競技会の計測は、原則として光電管装置を使用してその計測値を記録する。計測装置の故障、事故等の場合は、ストップウォッチにて1/10秒まで計測する。

18 失格

- 1) 競技車両はバーンアウト上で故障した場合、車両を後退させることができない場合、コース上を旋回してスタートラインまで戻るとは許されない。
- 2) スタート前にエンジンが停止した場合、エンジンの再始動は1回のみ認められる。
- 3) コース上に記されたラインを越えた場合は失格。ラインを越えるとは、タイヤの1部でもラインの塗装上を越えた場合、ガードレール、バリヤ、あるいはその他の設備、(スタートシグナル、タイム計測設備、パイロン等)
- 4) 対戦相手との接触を避けるため、意図してラインを越えた場合は、失格にはならない。
- 5) 競技役員の許可なしにコースを逆走することは認められない。
- 6) パドック内、ゴール後のリターンロードでは、最低速度を維持しなければならない。これに違反した者は失格となる。

19 リタイヤ(棄権)と停止

- 1) リタイヤと停止は、国内競技規則・第3章〔⑩競技〕(34頁)による。
- 2) ライダー本人が負傷その他の理由でリタイヤ届を提出できないときには、競技役員の判定によりリタイヤと認めることができる。

20 優勝者、入賞者順位、賞典の制限

1) トーナメントの場合

16台の場合最大4ヒート行い、決勝ヒート(第4ヒート)で勝者となったものが優勝者となり、第4ヒートの敗者が2位、3位は、第3ヒートの敗者でE.T.の良い者。以下これに準ずる。

出走台数が16台以下であってもこれに準じ、32台の場合は最大5ヒートとなる。

トーナメントの途中で競技の続行が不可能となった場合は、その時点で完全に終了しているヒートの勝者からタイム順で順位をつけ、次にヒートの敗者からタイム順で順位をつけ、順位を決定する。

2) タイムトライアルの場合

2回～3回のタイムトライアルの1番良いタイムをマークした者が優勝者となり、以下これに準ずる。同タイムの場合は、トップスピードの速い者を上位とする。

3) 全日本選手権、地方選手権のポイント

は細則9・13項(130頁参照)による。

4) 賞典および制限は、各大会の特別規則に記載される。

21 レース終了後の車両保管と再車検

1) 上位入賞車両は、所定の位置により競技役員の誘導に従って車両保管区域へ入らなくてはならない場合がある。

2) エンジンを分解して排気量を測定するほか、規定を越える改造などについて再車検を行うことがある。

3) 出場者は、必要に応じて車両保管を行うことがある。

22 レースの成立

各クラスの参加者が全員1回のランを終了していれば(予選を含む)その時点で競技は成立する。その場合の順位決定は、E.T.(区間タイム)によって速いものから順位づけされる。

クラスの全車とはタイムテーブルに記載されている時間内に走行した者、また競技役員の指示によりコースラインを完了した者を言う。この場合抗議は一切受けられない。

23 レースおよび大会の延期・中止等

1) 大会は原則として本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。

2) レースまたは大会が参加申込後に中止された場合、参加者が支払った出場料、MFJ共済金掛金は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

24 抗議

1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔②抗議〕(37頁)による。

2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わなければならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定する。

25 違反に対する罰則

競技規則による違反行為に対する罰則は、国内競技規則・第3章〔②違反行為に対する罰則〕(38頁)による。

26 本規則の解釈

本特別規則および競技に関する疑義は事務局宛に質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定が最終的なものとして示される。

27 本規則の施行

本規則は、各競技大会の参加申込受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

附 則

1. 本規則は、1996年1月1日から施行する。

'96全日本 ドラッグレース選手権 特別規則

1 公 示

全日本ドラッグレース選手権は、FIM 国際スポーツ憲章に基づいた MFJ 国内競技規則と各大会の特別規則に基づき MFJ 公認の国内格式として開催される。

2 開催種目と競技会の日程

- 1) 開催種目は下記とする。
ドラッグレースライセンスA級 プロストックバイク (PB)
- 2) 競技会の日程は巻末に示す。
- 3) ドラッグレースA級所持者であっても全日本選手権に出場するためには、一定の制限が設けられる場合がある。

3 追加のクラス

全日本選手権には併催クラスが追加されてもよい。但し下記の条件が満たされなければならない。パドックが充分広く、主催者が全日本選手権のレースを優先させ規定の予選・決勝レースを設定できること。

4 コース

コースは MFJ が国内公認したコースとする。

5 大会審査委員会

- 1) 大会審査委員長は、MFJ が任命する。
- 2) 任命された審査委員長が定時までには会場に到着しない場合は次席の者がこれにあたる。

6 参加定員

制限が設けられる場合がある。

7 出場料および MFJ 共済会掛金

出場料：1 クラス	35,000円
MFJ 共済会掛金	2,000円
JDRA 共済掛金	3,000円
合計	40,000円

8 ピット要員

- 1) 1ライダーに対して3名のピットクルーが認められる。いずれもピットクルーライセンスが必要である。エントリー時に申請が必要であり、当日の変更は可能であるが追加は認められない。

9 ゼッケンナンバー

- 1) 前年度全日本選手権の有得点者には当該クラスのランキング順位に従って年間指定ゼッケンナンバーが与えられる。
- 2) その他のライダーには大会ごとに主催者からゼッケンナンバーが指定される。

10 公式予選

- 1) 公式予選は、タイムトライアル方式により最低1回行う。

11 決勝レース

- 1) 16台によるトーナメント（勝ち抜き方式）によって行われる。また参加台数によって32台のトーナメントを行う場合がある。

12 コース選択

- 1) コース選択は、経過タイムにより決定する。予選のE.T.（直線の区間タイム）の速い方が第1ヒートのレーン選択ができる。続くヒートでは、前回のヒートの速い方がレーン選択ができる。同タイムの場合は、トップスピードの速い者が優先される。

13 賞および得点

- 1) 賞の詳細については公式通知に示される。
- 2) 得点はトーナメント競技では、下記のポイント表の通りとする。

Winner	Runner-up	Semifinalists	Quarterfinalists	1st-round loser
100	80	60	40	20

- a) 予選に参加し予選を通過して決勝ヒートに残ったライダーには、10ポイント追加される。
- b) 予選の順位により下記のポイントが各ライダーに与えられる。

予選	1位…………… 8	5、6位…………… 4
	2位…………… 7	7、8位…………… 3
	3位…………… 6	9～12位…………… 2
	4位…………… 5	13～16位…………… 1

- c) 大会を通じてベストタイム（予選を含む）をマークしたライダーに2ポイント追加される。
- d) 国内最高記録（E.T.）を樹立したライダーに対しては、20ポイント追加される。
- e) 最終戦は、〈ポイント表〉に2ポイント追加される。
- f) 競技が当初よりタイムトライアルで行われた場合、a)、b)項は削除し、下記のタイムトライアル競技の〈ポイント表〉に従いポイントが与えられる。

また、トーナメント競技において不可抗力により競技の途中で続行が不可能になった場合は、その時点で決定された順位により、下記のタイムトライアル競技の〈ポイント表〉に従いポイントが与えられる。この場合、a)、b)項のポイントは有効となる。

- g) 出走台数が2台に満たない場合はポイントは与えられない。

タイムトライアル競技では、得点は、下記の〈ポイント表〉の通りとする。

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位	13位	14位	15位	16位
100	80	60	50	40	35	30	25	20	17	15	13	11	10	9	8

※ドラッグレースの全日本選手権・地方選手権は上記の得点を公式得点とする。

14 主催者の権限

- 1) 参加申込みの受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは参加を拒否することができる。
- 2) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することができる。
- 3) 競技番号の指定、あるいはピットの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することができる。
- 4) やむを得ざる理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの指名登録又は変更について許可することができる。
- 5) すべての参加者、ライダーピット要員およびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、出版、ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第三者が使用することを許可できる。

15 本規則の施行

本規則は、各競技会の参加申込受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

1996年1月1日
全日本ドラッグレース選手権
大会事務局長

'96 MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズカレンダー

開催日	大会名	出場申込先	出場申し込み期間
3月17日(日)	MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ 第1戦 FISCO大会 富士スピードウェイ	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒160 東京都新宿区新宿1-12-12 オスカカテリーナビル5F ☎03-3355-2051	2月10日(土)) 2月17日(土)
5月5日(日)	MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ 第2戦 FISCO大会 富士スピードウェイ	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒160 東京都新宿区新宿1-12-12 オスカカテリーナビル5F ☎03-3355-2051	3月29日(金)) 4月5日(金)
8月24日(土)) 8月25日(日)	MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ 第3戦 FISCO大会 富士スピードウェイ	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒160 東京都新宿区新宿1-12-12 オスカカテリーナビル5F ☎03-3355-2051	7月20日(土)) 7月27日(土)
8月31日(土)) 9月1日(日)	MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ 第4戦 南紀白浜大会 和歌山県内特設コース	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒160 東京都新宿区新宿1-12-12 オスカカテリーナビル5F ☎03-3355-2051	7月24日(木)) 7月31日(木)
9月29日(日)	MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ 第5戦 FISCO大会 富士スピードウェイ	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒160 東京都新宿区新宿1-12-12 オスカカテリーナビル5F ☎03-3355-2051	8月22日(木)) 8月29日(木)
11月3日(日)	MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ 第6戦 FISCO大会 富士スピードウェイ	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒160 東京都新宿区新宿1-12-12 オスカカテリーナビル5F ☎03-3355-2051	9月26日(木)) 10月3日(木)
11月9日(土)) 11月10日(日)	MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ 第7戦 南紀白浜大会 和歌山県内特設コース	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒160 東京都新宿区新宿1-12-12 オスカカテリーナビル5F ☎03-3355-2051	10月2日(木)) 10月9日(木)

HSP automobile racing course 北海道スピードパーク



'96 HSPロードレースシリーズ大会

参加可能 競技ライセンス	開催日	エリア選手権★ HSPシリーズ エントリー期間	GP80	SP125	NK	SP250	SP400	GP125	GP250
			フレッシュマン国内			フレッシュマン・国内・国際			国内・国際
1戦	5/26	4/16~26	▼	▼	▼	●	●	●	●
2戦	6/30	5/20~30	▼	▼	▼	★	★	★	★
3戦	7/28	6/18~28	▼	▼	▼	●	●	●	●
4戦	8/25	7/15~25	▼	▼	▼	●	●	●	●
5戦	9/22 9/23	8/12~8/23	▼	▼	▼	★	★	★	★
6戦	10/13	9/3~13	▼	▼	▼	●	●	●	●

- 印 MFJ昇格ポイント有
- ★印 エリア選手権・昇格ポイント有(フレッシュマンライセンスの参加不可)
- ◆印 2時間耐久レース・SPI NK & SPI25(国際ライセンス参加可能)
SPII SP250 & 400
- HSPシリーズポイント(年間ランキング)には、エリア選手権のポイントも加算されます。
- スポットライセンスでの参加は、参加大会のポイントと賞典は与えられるが、シリーズランキングの対象外とする。

HSPライセンス講習会

1. 開催日程と場所【注意】開始時間の30分~20分前迄に会場にお越し下さい。

開催場所	札幌市内	倶知安町内
	旭山公園記念会館(2F) 札幌市中央区南9条西18丁目	HSP北海道スピードパーク 虻田郡倶知安町字峠下155
開始時間	PM6:00~PM8:30	AM9:30~PM12:00
3月	24日(日)	
4月	6日(土) 21日(日)	14日(日) 29日(祭日)
5月	11日(土) 19日(日)	5日(日)
6月	23日(日)	2日(日) 9日(日) 16日(日)
7月	24日(休)	7日(日) 13日(土)
8月	21日(休)	3日(土) 11日(日) 31日(土)
9月		8日(日) 28日(土)
10月	6日(日)	20日(日) 27日(日)

〈お問い合わせ〉 HSP北海道スピードパーク ☎0136-23-3880

2. 取得資格

公安委員会発行の運転免許証を所持してる事。(原付きでも可)

3. 持ち物

- 運転免許証
- 認印
- 筆記用具(ボールペン)
- ライセンス料金¥15,000(フレッシュマンライセンス希望者→¥20,500)
- 写真(3cm×3cm)2枚(フレッシュマンライセンス希望者→4枚)
- 20才未満の方は、HSPより承諾書を取りよせ、その承諾書に親権者の署名及び実印を捺印の上、印鑑証明書(承諾書に捺印の印鑑)を添付し、講習会に持参下さい。

4. 該当車両

※GP80cc又は125cc以上の市販バイクカレース用バイク

5. 走行料金

※1単位30分 ¥2,500

6. 事故・怪我・等

事故等による車輛の破損、怪我、死亡は、走行される本人の責任とし、HSP管理責任者、従業員、運営者等、HSPは一切の責任及び補償は負いません。

技術規則

TECHNICAL RULES

■ MFJ 技術規則	136
■ 基本仕様〈ロードレース〉	141
■ 基本仕様〈モトクロス〉	150
■ 基本仕様〈トライアル〉	155
■ SP クラスの仕様	160
■ 耐久レースの追加仕様	165
■ 国内ロードレース GP クラスの仕様	167
■ 国内モトクロスの仕様	171
■ 国内トライアルの仕様	175
■ 全日本・エリア選手権ロードレースの仕様	177
■ FIM 技術仕様〈モトクロス・トライアル〉	187
■ ドラッグレースの仕様	189
■ ロードレースジュニアクラスの仕様	196
■ ミニバイクの仕様	200

3 小分類ナンバー

国内の各種目別の規則においては、各「条」に出てくる対象部分には共通の小分類ナンバーが与えられ、許可または制限されていない場合はその項目番は削除されています。

小分類ナンバー	項目	小分類ナンバー	項目
1	エンジンの型式	31	発電機、スパークプラグ、バッテリー
2	シリンダーの数	32	ワイヤーハーネス
3	ピストンストローク	33	予備
4	ケース、シリンダー、シリンダーヘッド、ギヤボックスの材質と形状	34	コントロールワイヤー関係
5	クラッチの型式	35	灯火類
6	エンジン、ミッションの内部の動く部品の材質	36	メーター関係
7	4サイクルの圧縮比、バルブの種とリフト量	37	予備
8	2サイクルのポートタイミング、ポートサイズ、圧縮比	38	不安部品関係
9	ケースに対するシリンダー・シリンダーヘッドの位置	39	予備
10	吸排気バルブ、ポート、キャブの数	40	ドライブチェーン
11	クランクケースカバー裏の材質、形状	41	ファイナルスプロケット
12	シリンダー、シリンダーヘッド関係	42	リヤホイール
13	クランクシャフト、ピストン、リング関係	43	リヤブレーキ、キャリパー、ディスク、マスターシリンダー
14	カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブ	44	フロントホイール
15	予備	45	フロントブレーキ、キャリパー、ディスク、マスターシリンダー
16	キャブレター	46	ブレーキペダル
17	フュエルタンク、フュエルコック、フュエルライン	47	予備
18	エキゾーストパイプ、チャンバー、マフラー	48	タイヤ
19	ラジエター、水ポンプ、キャッチタンク（冷却系）	49	予備
20	予備	50	フレームボディ、ステップ関係含む、カウルステア類
21	予備	51	フロントフォーク
22	クラッチ関係（プライマリーを含む）	52	リヤクッション、リヤフォーク、サスリンクージ
23	ミッションギヤ関係（ドライブスプロケット含む）	53	ハンドル、トップ・ボトムブリッジ、ステアリングダンパー
24	シフト関係、チェンジベダル	54	カウリングとステア
25	スタート装置	55	シートカウル、フェンダー
26	分離給油オイルポンプ関係	56	ワイヤーロック（安全）
27	ブリーザーシステム、エアクリナーボックス	57	オイルクーラント
28	予備	58	ガソリン
29	材質	59	調整、仕上げ
30	イグニッションコイル、点火ユニット	60	軽量化
		61	ウイリーバー

MFJ 技術規則

モーターサイクルとは、ホイールが4つまでで、エンジンによって推進され、ひとり、あるいはそれ以上の人間（そのうちのひとは車両のドライバーとなる）の輸送のためにデザインされたすべての車両を意味している。ホイールは、瞬間的またはある種の例外的な場合を除いて、通常路面に設置していなければならない。

第1章 目的

- 1 安全の確保
- 2 平等性を最大限に維持する。
- 3 車両のコスト上昇を極力抑える。

第2章 クラス

1. ロードレース

GP フォーミュラ

50cc	50cc以下
80cc 50ccを越え	80cc以下
125cc 100ccを越え	125cc以下
250cc 175ccを越え	250cc以下
500cc 250ccを越え	500cc以下

スポーツプロダクションフォーミュラ

			2st	4st
50cc	50cc以下		○	○
80cc 50ccを越え	80cc以下		○	○
125cc 100ccを越え	125cc以下		○	○
250cc 175ccを越え	250cc以下		○	○
400cc 250ccを越え	400cc以下		—	○

※スーパーバイクは全日本・エリア選手権技術仕様参照

2. モトクロス

80cc 50ccを越え	80cc以下
125cc 100ccを越え	125cc以下
250cc 175ccを越え	250cc以下

3. トライアル 排気量区分は定めない

4. エンデューロ 別に定める

5. スノーモビル 別に定める

6. ドラッグレース 別に定める

(参考) ライセンス区分と規則の適用範囲

	ライセンス区分				
	(全日本・エリア選手権)		(地方選手権)		
ロードレース			J		
モトクロス	IA	IB	NA	NB	J
トライアル	IA	IB	NA	NB	
	FIM 規則をもとに定める		MFJ 規則による		MFJ・J 規則

第3章 排気量

総排気量はシリンダー容積を測定するのに用いられる幾何学公式に依って計算される。すなわち直径はボアによって表され、高さはピストンがその最上部から最下部まで移動するのに占めるスペースで表される。

公式
$$\text{排気量} = \frac{D^2 \times 3.1416 \times C}{4} \times \text{気筒数}$$

D=ボア C=ストローク 単位=cm 小数点以下4ケタで切り捨て

測定の際にはボアに1/10mmまでの許容誤差が認められる。この許容誤差を考慮しても排気量が当該クラスのリミットを越える場合、エンジンが冷えた状態で再測定が1/100mmのリミットまで行われる。

シリンダーのボアが真円でない場合断面積を測定し、計算することとする。

全てのカテゴリーにおいて、スーパーチャージは禁止される。

第4章 テレメトリー

走行中のモーターサイクルから、またはモーターサイクルへの無線等による情報交換は行っていない。

車両には公式計測装置が義務付けられる場合がある。

第5章 重量

参加車両は以下に定める最小限重量値を半乾燥重量で満たしていること。バラストによる調整は認められない。ただし重量規制が変更され、新たな規則が実施される初年度に限り、5.0kgを限度として完全に固定されたバラストの使用を認める。

レース終了後は1%の誤差が認められる。

1.1) ロードレース

GP フォーミュラ		スポーツプロダクション	
50cc	70kg	50	70kg
80cc	70kg	80	70kg
125cc	70kg	125	95kg
250cc	100kg	250	115kg
500cc	4 気筒 130kg	250F	130kg
	3 気筒 115kg	400	145kg
	2 気筒以下 100kg	750	165kg

※スーパーバイクの重量は全日本・エリア選手権技術仕様参照

重量測定の際、燃料タンクを外した場合には、下記が規定重量より差し引かれる。

GP フォーミュラ：2kg (スーパーバイク：4kg)

※いずれも排気量による違いはない

ただし、世界選手権を除く国内競技会において、上記の方法で規定重量を下まわった場合燃料を抜いたタンクを装着し通常の規定重量にて再度計測を受けることができる。

2) モトクロス

80cc	61kg
125cc	88kg
250cc	98kg

- 3) トライアル 特に定めない
- 4) エンデューロ 特に定めない
- 5) スノーモビル 特に定めない
- 6) ドラッグレース PBは249.47kg (ライダーが乗車した状態)、他は特に定めない

第6章 公認制度

公認制度の必要性

公認車両を種目別規定の範囲内で改造を実施する際に、平等性と低コストと安全性を最低限確保するために設定する。

従って平等性を確保するために最低数を設定する。制度設定の主旨に合わないとは判断された場合は、公認されない場合もあり得る。

1. 参加車両は市販レーサーまたは一般生産型車両で、MFJの公認を受けた車両に限定される。
2. 完成車公認

公認申請を行うには、下記の条件を満たしていること。

- 1) 台数

最低台数が出荷されていること。

	国産車				輸入車	
	レーサー	市販車		レーサー	市販車	
ロードレース	25台	250cc以下 250ccを超える	500台 250台	10台	25台	
モトクロス	100台	250cc以下 250ccを超える	500台 250台	10台	25台	
トライアル	5台	250cc以下 250ccを超える	500台 250台	5台	25台	
スノーモビル	5台	—		5台	25台	

- 2) 種目別付帯条件

スポーツプロダクションの各クラス (SP) については各々の種目別公認条件を満たしていること。

第10章 8条……SP

3. 部品公認

- 1) 公認範囲

部品名	ロードレース			モトクロス	トライアル
	SP	SS	GP	80, 125, 250	
シリンダー		○	○	○	
シリンダーヘッド		○	○	○	
カムシャフト		○			
ミッションギヤー	○			○	
キャブレター	○		○	○	
クラッチ	○				
フロントフォーク		○	○	○	
リヤクッション		○	○	○	
リヤフォーク		○	○	○	
タイヤ	○				○
エアクリナーボックス	○				

注) 1. ○印は公認時に組み込まれていた部品の追加加工に限定される。またリヤフォーク以外は材料の削除による改造に限る。
2. タイヤは一般公道用として製作されたもの、またはレーシングレインタイヤに限る。

- 2) 数量

最低数量が出荷されていること。

カテゴリー	数量
ロードレース GP	25個以上
ロードレース SP・SS	50個以上
モトクロス	50個以上
トライアル	50個以上

3) 制限

公認申請に際しては各々の部品の仕様は各々のカテゴリー、クラスの種目別仕様に合致していること。

4. 公認申請資格

- 1) 車両及び部品の公認申請を行うことのできる資格者は、MFJの特別会員であるモーターサイクル製造会社または賛助会員であり、かつ当該製品の製造会社、または輸入総代理店でなければならない。申請会社代表者は毎年、車両及び部品の公認申請に関する担当責任者を登録し、その者のみが公認申請を行うことができる。
- 2) 公認申請書は必要書類を添付し、定例技術委員会の開催される月の20日までに事務局に送付されていなければならない。

5. 公認発効と有効期限

- 1) 公認審査は技術委員会が行う。
- 2) 定例技術委員会は原則として毎月第4火曜日に開催される。
- 3) 審査に合格した車両で、すでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付きて公認発効する。
発売日が会議日以降の場合は、発売日の2ヶ月後の同日付きて公認発効する。
- 4) 審査に合格した部品で、すでに発売されている部品の場合は会議日から1ヶ月後の同日付きて公認発効する。
発売日が会議日以降の場合は、発売日の1ヶ月後の同日付きて公認発効する。
- 5) 競技専用車両（市販レーサー）の場合は上記車両の公認発効までの期間を、各々1ヶ月後とする。
- 6) 有効期限は発効年を含み5年間とし、5年目の12月末日で失効する。
- 7) 失効した車両または部品は、再申請することができる。

第7章 ガソリン・オイル・クーラント

- (1) 競技に使用できるガソリン（ドラッグレース・スノーモビルは特別規則による）
競技に使用できるガソリンは下記の項目のすべてに合致してはならない。
 - ① 競技用ガソリンとは一般公道用の市販車に供するために通常のガソリンスタンドにて購入できるもの、あるいはMFJ公認サーキットのガソリンスタンドにて購入できるガソリンとする。（ロードレースに関しては大会時にサーキットにて購入できるガソリンに限る）
 - ② 競技用ガソリンは下記の仕様以内（無鉛ガソリン）に制限される。
（AVガス、航空機用ガソリン等は使用できない）
 - Ⓐ 鉛の含有量は0.013g/ℓ以下であること。
 - Ⓑ リサーチオクタン価が100.0（RON）、モーターオクタン価が89.0（MON）以下であること。
 - Ⓒ 密度は15℃において0.725g/ml～0.780g/mlであること。
 - ③ ロードレース2ストロークエンジンに限り、ガソリンは下記の仕様以内に制限される。
 - Ⓐ 市場で入手可能な日本工業規格（JIS）に規定されたアブガス3号の仕様を満たし、市販されていること。
 - Ⓑ 鉛の含有量は0.56g/ℓ以下であること。
 - Ⓒ モーターオクタン価が102（MON）以下であること。
 - Ⓓ 密度は15℃において0.700g/ml～0.785g/mlであること。
- * FIM規則のアブガス100LLに相当するものが国内のJIS規格のアブガス3号である。
- 予告：'97年1月1日より、ロードレース2ストロークエンジンに対しても、上記無鉛ガソリ

ンに制限される。

- ④ 大会特別規則（全日本選手権特別規則等）によって、ガソリンの銘柄、および供給方法等を指定した場合、それに従わなくてはならない。
- (2) 競技用ガソリンには販売時に混入されている以外のいかなるものも添加されてはならない。ただし一般に販売されているスタンダードの潤滑油および1.5%以下のアルコール(燃料精製中に混入されているものに限る)については認められる。
- (3) 水冷エンジンの冷却水は、水あるいは水とアルコールの混合物に限られる。

第 7 章

ロードレース 基本仕様

*ロードレース基本仕様は'95年版 FIM ロードレース技術規則をもとに、'96年からの FIM のおもしろな変更点をもり込んで MFJ ロードレース基本仕様として編集しています。原文との比較がしやすいように、文頭にはもととなった FIM 規則の項目番号が表示してあります。

01.25 基本仕様

下記仕様はロードレースのすべての車両、およびすべての競技会に適用されるが、主催者が特別の指示を与えた場合は例外とする。ある種の競技へはさらに細かい仕様が必要になるが、これらはその競技会の特別規則 (SR) に明記される。

25.01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、およびホイール・スピンドルの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。チタニウム合金ナットとボルトは使用してもよい。

01.27 スタート装置

スタート装置は耐久レースに関してのみ義務づけられる。

01.31 エキゾースト・パイプ

エキゾースト・パイプとサイレンサーは、音量規制に関する必要条件をすべて満たさなくてはならない。

31.01 エキゾースト・パイプの先端は、最低30mmにわたってモーターサイクルの中心軸と水平かつ平行でなくてはならない。(許容誤差 $\pm 10^\circ$)

31.02 排気ガスは後方に排出しなければならないが、ほこりを立てたり、タイヤやブレーキを汚したり、またパッセンジャーや他のライダーに迷惑をかけるような放出方法であってはならない。後続ライダーに迷惑をかけないようにするために、オイルの飛散を防ぐ措置を施さなくてはならない。

31.03 エキゾースト・パイプの後端は、リヤ・タイヤの垂直接線より後ろにあってはならない。

01.33 ハンドルバー

33.01.02 ハンドルバーの最低幅は、80ccまでのマシンは最低400mm。80ccを越えるマシンは最低450mmとする。

33.04 ハンドルバーの最低幅はグリップの外側の先端から、反対側のグリップの外側先端までの距離で測定される。……148~149頁の図参照

- 33.05 ハンドルバーの先端が露出される場合は、固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされていなければならない。
- 33.06 ハンドルバーの中心線、または中央位置から両側への回転角度は、最低各15°以上なくてはならない。……148～149頁の図参照
- 33.07 ストリームライニングがある場合、ハンドルバーがどの位置にあってもフロントホイールがストリームライニングに接触してはならない。
- 33.08 ライダーの指が挟まれないようにするために、ハンドルを左右いっぱいにも切ってもハンドルバー（レバーを含む）と燃料タンクの間には最低30mmの間隔があるように、ストッパー（ステアリングダンパー以外のもの）を取りつけなくてはならない。
- 33.09 ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分ができないように、丸みをつけて製作しなくてはならない。
- 33.11 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

01.35 コントロールレバー

- 35.01 すべてのハンドルバー・レバー類（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部がボール状（このボールの直径は最低19mm）でなくてはならない。このボールを平たくすることも認められるが、どのような場合も端部は丸くなっていてはならない（この平たくした部分の厚みは最低14mmとする）。レバー端部は、レバーと一体構造に固定されていなくてはならない。
- 35.03 各コントロールレバー（ハンドおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 35.04 もしブレーキ・レバーが、フットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がり、又は変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

01.37 スロットルコントロール

- 37.01 スロットルコントロールは、手を離れた時に自動的に閉じるものでなくてはならない。

01.38 フュエルポンプ

- 38.01 電動フュエル・ポンプは、事故の際に自動的に作動するサーキット・カットアウト（回路開閉器）を介して配線されなくてはならない。
この機能が車両検査時に確認できるよう、電動フュエルポンプにはテスト機能がなくてはならない。

01.39 フットレスト

- 39.01 フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならず、さらにフットレストの先端には最低半径8mmの、中空でない球状の一体構造のプロテクションが設けられていなくてはならない。
- 39.02 フットレストが折りたたみ式でない場合、及びゴムのカバーを装着していない場合は、その先端を最低半径8mm以上の中空でない球状に丸められていなくてはならない。

01.41 ブレーキ

- 41.01 すべてのモーターサイクルは最低2つの効果的なブレーキ（各ホイールにひとつ）がなくてはならず、これは独立してホイールと同心的に作動しなくてはならない。

01.43 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 43.01 マッドガードはタイヤの両側方に張り出していなくてはならない。
- 43.02 フロント・マッドガードは、ホイールの周囲を最低100°に渡ってカバーしていなくてはならない。また、下記角度の範囲内でなければならず、その部分はホイール自体がカバーされてもよい。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。マッドガードの後端とホイール中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は20°を越えてはならない。
- 43.03 リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°に渡ってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガード後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は20°を越えてはならない。(図C参照)
- 43.04 ストリームライニングがある場合、マッドガードは必要とされない。ストリームライニングが無い場合にはマッドガードが必要とされる。シートのフェアリングがリヤ・タイヤの後側の垂直接線にまで達している場合には(許容誤差-50mm)、リヤ・マッドガードを装着する必要は無い。

01.45 ストリームライニング

- 45.01 フロントホイールは(タイヤを除く)、フロントマッドガードに隠れる部分を除き、各サイドからはっきりと見えなくてはならない。
- 45.02 ストリームライニングのいかなる部分も、フロント・ホイール・アクセルから前方100mmを通る垂直線より前にあってはならない。ノーマルのマッドガードはストリームライニングとはみなされない。
- 45.03 ストリームライニングのいかなる部分も、リヤ・ホイール・アクスルを通る垂直線の後部にあってはならない。リヤ・ホイールのリムは、この線の後部円周180°に渡ってはっきり見えなくてはならない。モーターサイクルのいかなる部分も、リヤ・ホイール外側の後端の垂直接線より後方にあってはならない。
- 45.04 エアfoil、またはスポイラーは、それがフェアリングまたはシートと一体構造になっている場合に限り取りつけることができる。これは、フェアリングの幅を越えてはならない。ハンドルバーの高さを越えてはならない。尖っているエッジは、少なくとも半径8mmの丸みを持たせなくてはならない。
- 45.05 ウィンドウスクリーンの先端と、全てのストリームライニングの露出部分の先端は丸められていなくてはならない。
- 45.06 通常のライディング・ポジションにおいてライダーは後方の両側及び上から全体(腕の前部を除く)が視認されなくてはならない。ライダーの顔またはヘルメットとストリームライニング(ウィンドウスクリーン含む)との間の最低スペースは100mmとする。この規則の適用を免れるために透明な材質を使用することは禁止される。
- 45.07 ライダーシートの後部の高さは最高150mmとする。この高さは、シートの固いベースの最下部から、ライダー後方のフェアリングの最上部までを測った場合のものである。
- 45.08 ハンドルバーの位置がどこにあっても、ストリームライニングとハンドルバー先端あるいはステアリング・システム、およびそれに装着されている装備類との間隔は最低20mmなくてはならない。
- 45.09 ナンバープレートが固定されている前部の傾斜角度は垂直面から後部へ30°以上あってはならない。(図C参照)

- 45.11 シートまたはその後方にある、いかなる部分（排気系を除く）の幅も450mm以上あってはならない。
- 45.12 燃料タンクのキャップは、フェアリングからはみ出さないように、また転倒の際に外れることがないように取り付けられなくてはならない。
- 45.13 プロダクション・モーターサイクル（スーパーバイク・スポーツプロダクション等）のストリームライニングには、いかなるものも追加されてはならない。（図B参照）

01.46 モーターサイクルの傾斜角とサスペンション

ロードレース（GPクラス）およびプロダクションレースにおけるモーターサイクルは、荷重がかからない状態において、タイヤ以外のいかなる部分も地面に触れることなく、垂直線から50°の角度に傾斜することができなくてはならない。（図BおよびCを参照）

01.47 ホイールリムとタイヤ

- 47.01 メーカーが出荷した一体構造ホイール（キャスト、モールド、リベット）または従来の着脱式リムに対して、スポーク、バルブまたは安全ボルト以外へはいかなる改造も禁止される。
- ただし、タイヤがリムから外れることを防ぐために使用される、テンションスクリューは例外とする。
- 47.02 リムの最大幅は下記の通りとする。（スポーツプロダクションは限く）
ホイールリムの幅は、ETRTO（ヨーロッパタイヤリム技術機構）の定める方法によりフランジウォールの内側にて測定される。
- 47.03 リムの最低直径は400mmとする。

クラス	最大幅
125	3.5インチ
250	5.5インチ
500	6.25インチ

01.55 ナンバープレート

- 55.03 ナンバープレートは長方形で頑丈な材質で出来ていなくてはならない。最低寸法は285mm×235mmとする。
- 55.04 プレートは平面から50mm以上カーブ（突出）してはならない。また、カバーされたり曲げたりされてはならない。
- 55.05 1枚のプレートがフロントに、垂直面から後方に向かって30°以内の角度で傾斜して固定されなければならない。他の2枚はモーターサイクルの両側に、外に向かって垂直に固定されなくてはならない。ナンバープレートははっきりと見えるように装着され、モーターサイクルのいかなる部分、またはライダーが自分のシートに座った時に身体で隠れてしまわないようにしなくてはならない。
- ナンバープレートの数字の間に穴を開けることができる。しかしどのような状況においても数字自体に穴を開けてはならない。
- 55.06 別個のナンバープレートを装着する代わりに、ボディまたはストリームライニングに同寸法のスペースをつや消し色でペイントするか、あるいは固定してもよい。
- 55.07 数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に、地の色同様につや消して書かれなければならない。
- 数字の最低寸法は下記のとおりとする。

数字の高さ	140mm
数字の幅	80mm
ストローク幅	25mm
数字間のスペース	15mm

- 55.08 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線。
- 55.09 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレート、またはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外されなくてはならない。
- 55.10 すべてのナンバープレートの周囲には最低50mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されてはならない。この規則に適合していないナンバー・プレートを装着しているモーターサイクルは、車検長に依りレース参加の許可を得ることができない。
- 55.12 ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。
- | | | | |
|-------|--------|----|--------|
| GP125 | 黒地に白文字 | SP | 黒地に黄文字 |
| GP250 | 緑地に白文字 | SB | 白地に黒文字 |
| GP500 | 黄地に黒文字 | 耐久 | 黒地に白文字 |

01.56 フュエルタンク及びオイルタンク

- 56.01.1 フュエルタンクの最大容量は下記の通りとする。
- ・ロードレース 32ℓ
 - ・耐久 24ℓ
 - ・スーパーバイク 24ℓ
 - ・その他スポーツプロダクションは各カテゴリーごとに設定する。
- 56.01.2 燃料はマシンにしっかりと固定された1つのタンク内に入れるものとする。シートタンクおよび補助タンクは禁止される。すべての競技において、給油の為に容易に脱着出来る取り換えタンクを使用することは厳禁される。
- 56.01.3 タンクの容量を減少させる一時的充填物の使用は禁止される。
- 56.01.4 タンクに防爆材を完全に充填することが義務づけられる。非金属性のタンクにはフェルブラダーを内側に設けることが勧められる。
- 56.01.5 車両公認時の燃料タンクを持つスポーツ・プロダクション・マシンは、14-4) の条件を免除される。
- 56.02 オイルキャッチタンクとブリーザーシステム
 オイルブリーザーパイプが装着される場合、オイル放出は容易に手が届く場所に設けられたキャッチタンクに行く。このタンクは競技の前に空にしなくてはならない。
 オイル・キャッチタンクの最低サイズは、ギヤーボックス・ブリーザーの場合250ccとし、エンジン・ブリーザーの場合には500ccが勧められる。
 すべての4ストローク車両は、クローズド・ブリーザーシステムを備えていなければならない。大気への直接開放は許可されない。(図C参照)
- 56.03 オイル・ドレーンプラグおよび供給パイプ
 すべてのオイルドレーンボルトは確実に固定され、ドリルで穴を開け、ワイヤーで所定の箇所に固定されなければならない。オイル供給パイプは所定の位置に適切にワイヤー止めされなくてはならない。
 オイルキャビティに進入する外部オイル・フィルターのスクリューやボルトは、安全にワイヤーロックされなければならない。
- 56.04 燃料タンク・ブリーザー・パイプ

ノン・リターン・バルブを燃料タンク・ブリーザー・パイプに取り付けなくてはならない。これは、適切な材質でできた、最低容量250ccのキャッチ・タンクに放出されるようになっていなくてはならない。

- 56.05 燃料タンク・フィルター・キャップおよびオイル・フィルター・キャップ
燃料タンク・フィルター・キャップおよびオイル・フィルター・キャップは、閉じた状態で漏れないようになっていなくてはならない。さらにこれらはいかなる場合においても誤って開くことのないように完全にロックされていなくてはならない。

01.63 燃料、燃料/オイルの混合液

ロードレース2ストロークエンジンには、AVガス(1996年12月31日まで)または無鉛ガソリンを使用することができる。

その他すべての車両には、無鉛ガソリンが使用されなくてはならない。(AVガス、航空機用燃料の使用は禁止される)

仕様の詳細はMFJ技術規則第7章ガソリン・オイル・クーラントの項(139頁参照)。

*大会特別規則(全日本ロードレース特別規則等)によりガソリンの名柄および供給方法が指定される場合、それに従わなくてはならない。

01.79 音量規制

- 79.01 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後端から500mmで、かつ中心線から後方45°で排気管と同じ高さとする。
ただし高さが200mm以下である場合は45°上方の点で行う。
- 79.02 ノイズ・テストの際、ギヤ・ボックスにニュートラルがないマシンは、スタンドに載せた状態で測定を受けなくてはならない。
- 79.03 規制に適合しているサイレンサーには車検にてマークが付けられ、車検後にサイレンサーを変更することが禁止される。ただし同様に車検合格し、マークを受けたスペア・サイレンサーに関しては例外とする。
- 79.04 ギヤはニュートラルとしてエンジンを回転させ、所定のrpm域に達するまでエンジンの回転を増していなくてはならない。測定は、所定のrpmに達した時に行うものとする。
- 79.05 rpmは、エンジンのストロークに相応するピストンの平均速度に基づく次の式にて求められる。

$$\text{所定のエンジン回転数(rpm)} = \frac{30,000 \times \text{ピストンスピード(m/s)}}{\text{ピストンストローク(mm)}}$$

- 79.06 ロードレースに関して、音量測定を実施する平均ピストンスピードは13m/秒(2ストロークエンジン)、および11m/秒(4ストロークエンジン)とする。(149頁・図D参照)
全日本・エリア選手権ロードレースにおいては下記規則が適用される。
エンジン型式ごとに排気量クラス内のエンジンストロークの類似性にもとづき、便宜上測定は下記固定回転数にて実施する。

スポーツプロダクション、スポーツプロダクションをベースとしたエンジン

	1 気筒	2 気筒	3 気筒	4 気筒
250cc(4-stroke)	5,500RPM	7,000RPM		
400cc(4-stroke)	5,000RPM	6,300RPM	7,200RPM	8,000RPM
600cc(4-stroke)	4,400RPM	5,500RPM	6,300RPM	7,000RPM
750cc(4-stroke)	4,000RPM	5,100RPM	5,900RPM	6,500RPM
over 750cc(4-stroke)	3,900RPM	5,000RPM	5,200RPM	5,500RPM

その他レース用エンジン、GP フォーミュラ

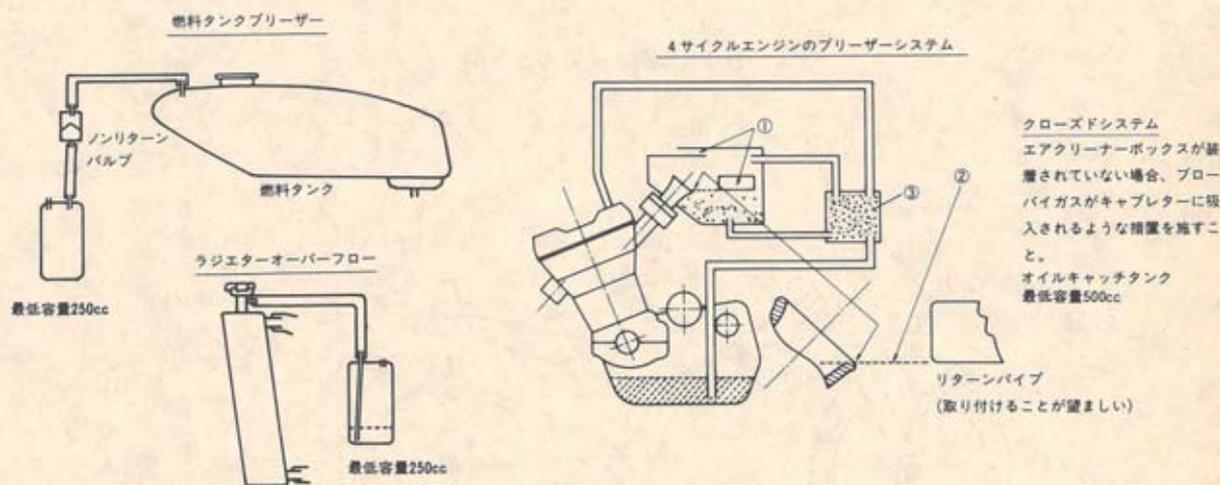
	1 気筒	2 気筒	3 気筒	4 気筒
125cc(2-stroke)	7,000RPM			
250cc(2-stroke)		7,000RPM		
500cc(2-stroke)		5,500RPM		7,000RPM

- 79.07 2気筒を越えるエンジンの音量計測は、各エキゾースト・パイプの先端で測定される。
- 79.08 規制値をオーバーしているマシンは、レース前車検において再度測定を受けることができる。
- 79.10 バンケルエンジンの場合の測定回転数は、6,000rpm とする。
- 79.11 現行の音量規制値
2ストローク・エンジンについてはピストンスピード13m/secで測って105dB/A まで。4ストローク・エンジンについては11m/secで測って105dB/A までとする。レース終了後は3dB/A の許容誤差が認められる。全日本・エアリア選手権においては16-5)の固定回転数を使用することもできる。
予告：スーパーバイクの規制値は、1997年1月1日より102dB/A となる。
国内のSPクラスの規制値は異なる(99dB/A、SPクラスの仕様参照)
- 79.12 周辺への音量は、モーターサイクルから半径5m以内において90dB/A までとする。
- 79.13 音量測定は気温20°を基準とする。気温10°以下の場合許容誤差+1dB/A が認められる。気温0°以下の場合許容誤差+2dB/A が認められる。

17 冷却系のオーバーフロー

- 1) 水冷式のすべての車両は冷却液オーバーフローパイプを取りつけた場合最低容量250cc以上のキャッチタンクを取りつけること。

図A

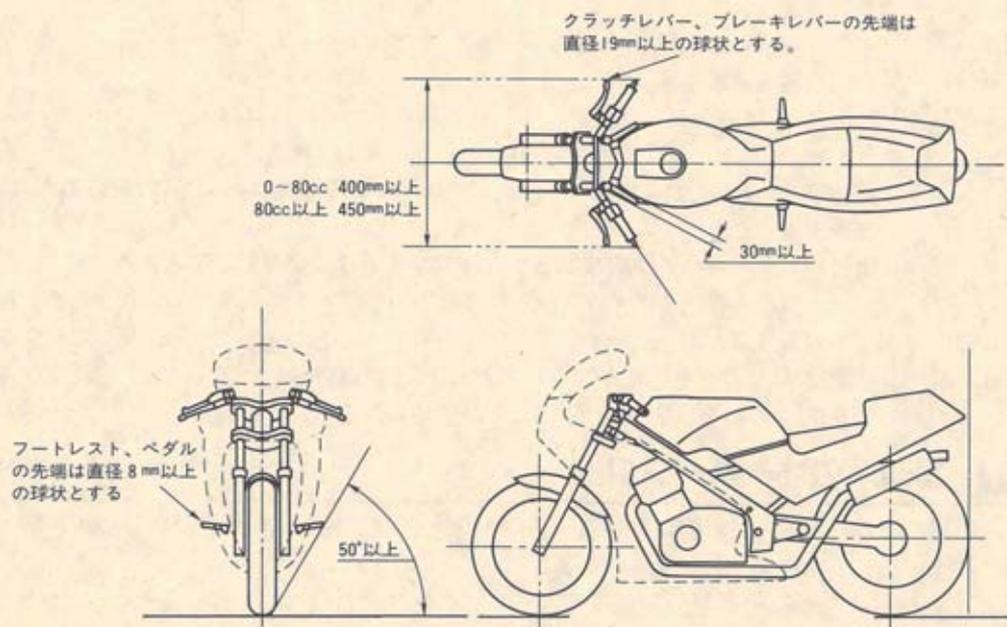


① エア吸入口の面積は、面積の合計で最大8,000 cm^2 + 許容誤差10%までとされる。
※エア吸入口の面積測定条件
エア吸入口の面積の測定は、ボックスに開けられたすべての吸入口および接続されたエアダクトの最小断面部分の合計値である。

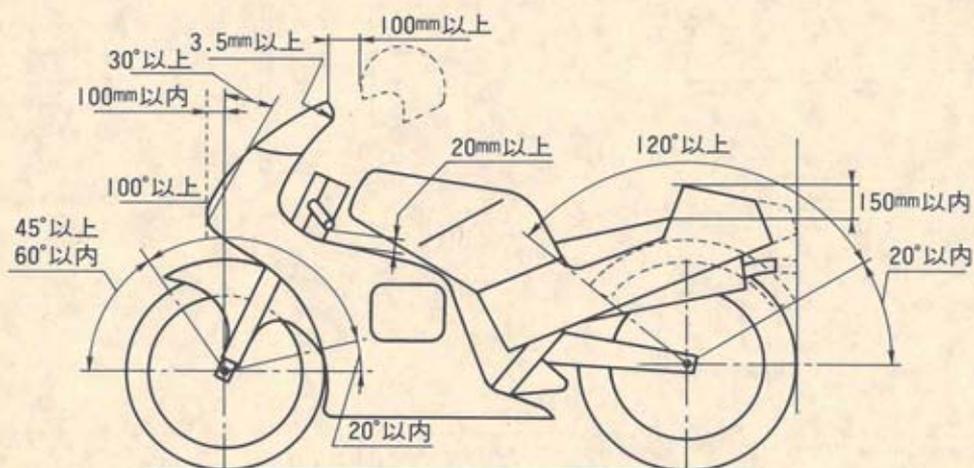
② エア吸入口は、エアファンネルの一番低い箇所
の水平線よりも上に位置すること。
吸入口がこれよりも下にある場合は吸入口に
至る吸入通路の底部の少なくとも一部分が、
水平線の上に位置すること。

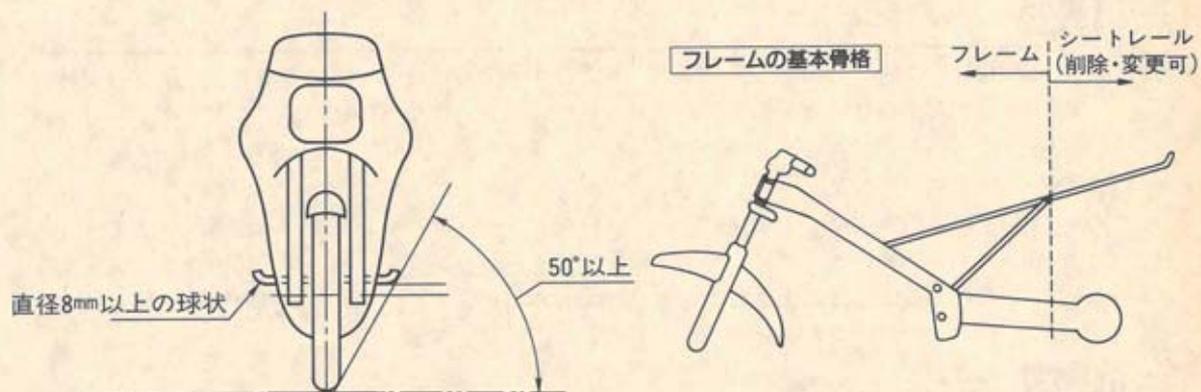
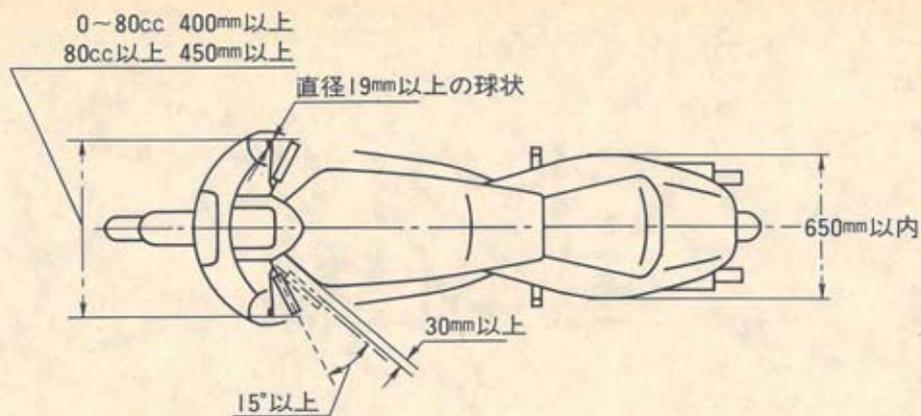
③ ブリーザーシステム (エアクリーナーボックス
およびその他のオイルタンク) は、ドレーン
パイプが詰まった場合に、合計で最低1,000
ccの排出液を確保できる容量を持つこと。

図B [スポーツプロダクション]



図C [GPフォーミュラ]





図D ピストンストロークに相応するエンジン回転数

ピストン ストローク	2ストローク	4ストローク	ピストン ストローク	2ストローク	4ストローク
30	13,000	11,000	48	8,125	6,875
31	12,580	10,645	49	7,959	6,735
32	12,187	10,313	50	7,800	6,600
33	11,818	10,000	51	7,647	6,471
34	11,470	9,706	52	7,500	6,346
35	11,142	9,429	53	7,358	6,226
36	10,833	9,167	54	7,222	6,111
37	10,540	8,919	55	7,090	6,000
38	10,263	8,684	56	6,964	5,893
39	10,000	8,462	57	6,842	5,789
40	9,750	8,250	58	6,724	5,690
41	9,512	8,049	59	6,610	5,593
42	9,285	7,857	60	6,500	5,500
43	9,069	7,674	61	6,393	5,410
44	8,863	7,500	62	6,290	5,323
45	8,666	7,333	63	6,190	5,238
46	8,478	7,174	64	6,093	5,156
47	8,297	7,021	65	6,000	5,077

モトクロス 基本仕様

*モトクロス基本仕様は'95年版 FIM モトクロス技術規則をもとに、'96年からの FIM のおもな変更点をもり込んで MFJ モトクロス基本仕様として編集しています。原文との比較がしやすいように、文頭にはもととなった FIM 規則の項目番号が表示してあります。

01.25 基本仕様

下記仕様はモトクロスのすべての車両、およびすべての競技会に適用されるが、主催者が特別の指示を与えた場合は例外とする。ある種の競技はさらに細かい仕様が必要になるが、これらはその競技会の特別規則 (SR) に明記される。

25.01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、およびホイール・スピンドルの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。チタニウム合金ナットとボルトは使用してもよい。

01.27 スタート装置

- 1) スタート装置は義務づけられる。

01.31 エキゾースト・パイプ

エキゾースト・パイプとサイレンサーは、音量規制に関する必要条件をすべて満たさなくてはならない。

- 31.01 エキゾースト・パイプの先端は、最低30mmにわたってモーターサイクルの中心軸と水平かつ平行でなくてはならない。(許容誤差 $\pm 10^\circ$)
- 31.02 排気ガスは後方に排出しなければならないが、ほこりを立てたり、タイヤやブレーキを汚したり、またパッセンジャーや他のライダーに迷惑をかけるような放出の仕方をしてはならない。後続ライダーに迷惑をかけないようにするために、オイルの飛散を防ぐ措置を施さなくてはならない。
- 31.03 エキゾースト・パイプの後端は、リヤ・タイヤの垂直接線より後ろにあってはならない。

01.33 ハンドルバー

- 33.01 ハンドルバーの幅は、660mm未満でも850mmを越えてもならない。
- 33.05 ハンドルバーの先端が露出される場合は、固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされていなければならない。
- 33.09 ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分ができないように、慎重に

丸みをつけて製作しなくてはならない。

- 33.10 ハンド・プロテクターが使用される場合には、非粉碎材質でなくてはならない。
- 33.11 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

01.35 コントロールレバー

- 35.01 すべてのハンドルバー・レバー類（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部がボール状（このボールの直径は最低19mm）でなくてはならない。このボールを平たくすることも認められるが、どのような場合も端部は丸くなっていてはならない（この平たくした部分の厚みは最低14mmとする）。レバー端部はレバーと一体構造に固定されなくてはならない。
- 35.03 各コントロール・レバー（ハンドおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 35.04 もしブレーキ・レバーが、フットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がり、または変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

01.37 スロットルコントロール

- 37.01 スロットルコントロールは、手を離れた時に自動的に閉じるものでなくてはならない。
- 37.03 モーターサイクルには有効なイグニッション・キルスイッチ、又はボタンがハンドルバーの右が左（ハンドグリップを握って届く位置）に設けられなくてはならない。このスイッチは始動しているエンジンを停止できなくてはならない。

01.39 フットレスト

- 39.01 フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならず、さらにフットレストの先端には最低半径8mmの、一体構造のプロテクションが設けられていなくてはならない。（図E参照）
- 39.02 フットレストが折りたたみ式でない場合、及びゴムのカバーを装着していない場合は、その先端を最低半径8mm以上の球状に丸められていなくてはならない。

01.41 ブレーキ

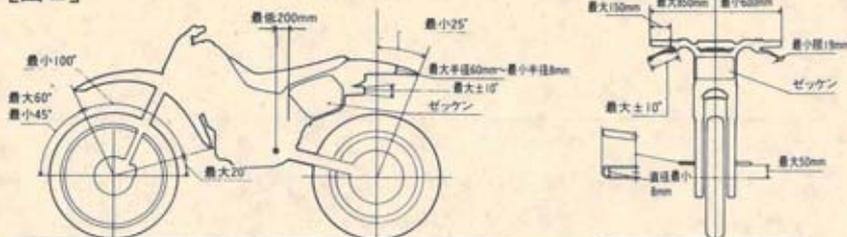
- 41.01 すべてのモーターサイクルは、最低2つの効果的なブレーキ（各ホイールにひとつ）がなくてはならず、これは独立してホイールと同心的に作動しなくてはならない。

01.43 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 43.01 マッドガードはタイヤの両側方に張り出していなくてはならない。
- 43.02 フロント・マッドガードは、ホイールの周囲を最低100°にわたってカバーしていなくてはならない。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。マッドガードの后端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線が作り出す角度は20°を越えてはならない。（図E参照）
- 43.04 リヤ・マッドガードは、リヤホイール・スピンドルを通る垂直線から25°の角度で後方に引かれる線よりも後方まで及んでいなくてはならない。
- 43.05 マッドガードの后端は丸められていなくてはならず、この丸め方は最低半径8mmで、かつ半径60mmを越えてはならない。
- 43.07 キャストホイール、または溶接されたホイールが使用される場合には、頑丈なディスク

でスポークを覆う形でプロテクションが施されなくてはならない。

[図E]



01.45 ストリームライニング

ストリームライニングの装着は禁止される。

01.47 ホイールリム、タイヤ

- 47.01 メーカーが出荷した一体構造ホイール(キャスト、モールド、リベット)、又は従来の着脱式リムに対してスポーク・バルブ又は安全ボルト以外へはいかなる改造も禁止される。ただし、タイヤがリムから外れることを防ぐために使用されるテンションスクリューは例外とする。

01.49 モトクロスタイヤ

- 49.01 使用されるタイヤの種類に制限はない。
 49.02 スクープまたはパドル(横断面に連続したリップを持つ)タイヤ、あるいは高さが19.5mm以上のラグを持つタイヤの使用は禁止される。
 49.03 輪郭および外面的な寸法は制限されない。
 49.04 タイヤ表面に後から滑り止めスパイク、特殊チェーン等の装置を取りつけることは禁止される。

01.55 ナンバープレート

- 55.03 ナンバープレートは長方形で頑丈な材質で出来ていなくてはならない。最低寸法は285mm×235mmとする。
 55.04 プレートは平面から50mm以上カーブ(突出)してはならない。またカバーされたり曲げたりされてはならない。
 55.05 フロントナンバープレート
 一枚のプレートがフロントに、垂直面から後方に向かって30°以内の角度で傾斜して固定されなくてはならない。ナンバープレートには数字の間に穴を開けてもよいが、いかなる場合においても、数字自体に穴を開けてはならない。
 55.06 サイドナンバープレート
 サイド・ナンバープレートは、リヤホイール・スピンドルを通る水平線より上に設けられ、ナンバープレートの前端はライダーのフットレスト後方200mmのところを通る垂直線より後方に位置してはならない。ナンバー・プレートは、はっきりと見えるように装着されなくてはならず、モーターサイクルの一部分や、シートに座ったライダー自身により隠れないようにしなくてはならない。
 別個のナンバープレートを装着する代わりに、ボディーに同寸法のスペースをつや消し色でペイントするか、あるいは固定してもよい。

- 55.07 数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に、地の色同様につや消して書かれなければならない。数字の最低寸法は下記の通りとする。
- | | | | |
|-------|-------|----------|------|
| 数字の高さ | 140mm | ストローク幅 | 25mm |
| 数字の幅 | 80mm | 数字間のスペース | 15mm |
- 55.08 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線。
- 55.09 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレート、またはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外されなくてはならない。
- 55.10 すべてのナンバープレートの周囲には、最低50mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されてはならない。この規則に適合していないナンバー・プレートを装着しているモーターサイクルは、車検長に依りレース参加の許可を得ることができない。
- 55.12 ナンバープレートの色
ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。
- | | |
|---------------------|---------------------|
| ジュニア……白地に赤文字 | 国内B級……白地に黒文字 |
| 国内A級……黄地に黒文字 | 国際B級……紺地に白文字 |
| 国際A級(125cc)……黒地に白文字 | 国際A級(250cc)……緑地に白文字 |
- その他、ナンバープレートの地色および数字の色について、モーターサイクルのクラスや競技の形式などによって変わる場合があり、大会特別規則によって示される。

01.63 燃料、燃料/オイルの混合液

すべての車両には無鉛ガソリンを使用しなくてはならない。(AV ガス・航空機用燃料の使用は禁止される)

仕様の詳細は MFJ 技術規則第7章、ガソリン・オイル・クーラントの項(139頁)参照。

※大会特別規則(全日本モトクロス特別規則等)により、ガソリンの名柄および供給方法が指定される場合、それに従わなくてはならない。

01.79 音量規制

- 79.01 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後端から500mmで、かつ中心線から後方45°で排気管と同じ高さとするが、少なくとも地面から20cm上方でなくてはならない。もしこれが不可能な場合、計測は45°上方で行ってもよい。
- 79.02 ノイズテストの際、ギヤ・ボックスにニュートラルがないマシンは、スタンドに載せた状態で測定を受けなくてはならない。
- 79.03 規制に適合しているサイレンサーには車検にてマークが付けられ、車検後にサイレンサーを変更する事が禁止される。ただし同様に車検合格し、マークを受けたスベア・サイレンサーに関しては例外とする。
- 79.04 ギヤはニュートラルとしてエンジンを回転させ、所定のrpm域に達するまでエンジンの回転を増していかなくてはならない。測定は、所定のrpmに達した時に行うものとする。
- 79.06 モトクロスに関して、音量測定を実施する平均ピストンスピードは13m/秒とする。現在のモトクロス車両の、排気量クラス内のエンジンストロークの類似性にもとづき、便宜上、測定は下記の固定回転数で実施する。
- | | | | |
|-----------------|----------|-----------------|----------|
| 80ccまで | 8,000rpm | 250ccを越え500ccまで | 4,500rpm |
| 80ccを越え125ccまで | 7,000rpm | 500ccを越える | 4,000rpm |
| 125ccを越え250ccまで | 5,000rpm | | |

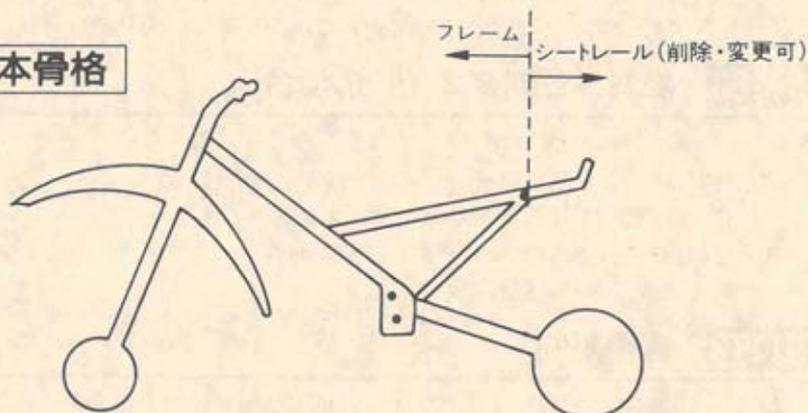
- 79.07 2気筒以上のエンジンの音量計測には、各エキゾースト・パイプの先端で測定される。
- 79.08 規制値をオーバーしているマシンは、レース前車検において再度測定を受けることができる。
- 79.11 現行の音量規制値
最大98dB/A、13m/秒で測定する。(原測として事項79.06が適用される)
- 79.12 周辺の音量は、モーターサイクルから半径5 m以内において90dB/A までとする。
- 79.15 音量測定は気温20°を基準とする。気温10°以下の場合許容誤差+1 dB/A が認められる。気温0°以下の場合許容誤差+2 dB/A が認められる。
- 79.16 レース後の最終検査においては、2 dB/A の許容誤差が認められる。
- 80.08 メーターの読み方は常に切捨てとする。(100.9dB/A=100dB/A)

国内の仕様

下記の項目は国内の事情を考慮し、国内の仕様にて開催する。よって基本仕様と異なる場合、下記の仕様の解釈が優先される。

- 2) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

フレームの基本骨格



トライアル 基本仕様

* トライアル基本仕様は'95年版 FIM トライアル技術規則をもとに、'96年からの FIM のおもな変更点をもり込んで MFJ トライアル基本仕様として編集しています。原文との比較がしやすいように、文頭にはもととなった FIM 規則の項目番号が表示してあります。

01.25 基本仕様

下記の仕様は、指定されるグループのすべての車両、およびすべての競技会に適用されるが、FIM スポーツコードに特別の規定がある場合は例外とする。ある種の競技へはさらに細かい仕様が必要になるが、これらはその競技会の特別規則 (SR) に明記される。

25.01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアームの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。チタニウム合金ナットとボルトは使用されてもよい。もし代替えとして非鉄製のファスナーまたはスピンドルを使用する場合、状況に応じて寸法も増さなくてはならない。

01.26 フレームの定義

前部はステアリング機構の取り付け部分より、エンジンユニット、ギヤボックスユニット及びリヤサスペンションを構成するすべての部分をフレームとする。

01.27 スタート装置

スタート装置は義務づけられる。

01.31 エキゾースト・パイプ

エキゾースト・パイプとサイレンサーは、音量規制に関する必要条件をすべて満たしてはならない。

- 31.01 エキゾースト・パイプの先端は、最低30mmにわたってモーターサイクルの中心軸と水平かつ平行でなくてはならない。(許容誤差±10°)
- 31.03 エキゾースト・パイプの後端は、リヤ・タイヤの垂直接線より後ろにあってはならない。

01.33 ハンドルバー

- 33.01 ハンドルバーの幅は、600mm未満でも850mmを越えてもならない。
- 33.05 ハンドルバーの先端が露出される場合は、固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされていなければならない。
- 33.08 ハンドルを左右いっばいに切った時ライダーの指が挟まないように、ハンドルとタンク

の間に30mm以上のすきまを確保するように、ストッパー（ステアリングダンパー以外のもの）を取りつけなくてはならない。

- 33.09 ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分を作らないために、慎重に丸みをつけて製作しなくてはならない。
- 33.10 ハンドル・プロテクターが使用される場合には、非粉砕材質でなくてはならず、手を入れるための開口部分が常に開いていなくてはならない。
- 33.11 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

01.35 コントロールレバー

- 35.01 すべてのハンドルバー・レバー類（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部がボール状（このボールの直径は最低19mm）でなくてはならない。このボールを平たくすることも認められるが、どのような場合も端部は丸くなっていてはならない（この平たくした部分の厚みは最低14mmとする）。レバー端部は、レバーと一体構造に固定されていなくてはならない。
- 35.03 各コントロール・レバー（ハンドおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 35.04 もしブレーキ・レバーが、フットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がり、又は変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

01.37 スロットルコントロール

- 37.01 スロットルコントロールは、手を離れた時に自動的に閉じるものでなくてはならない。

01.39 フットレスト

- 39.01 フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならず、さらにフットレストの先端には最低半径8mmの、一体構造のプロテクションが設けられていなくてはならない。
- 39.02 フットレストが折りたたみ式でない場合、及びゴムのカバーを装着していない場合は、その先端を最低半径8mm以上の球状に丸められていなくてはならない。

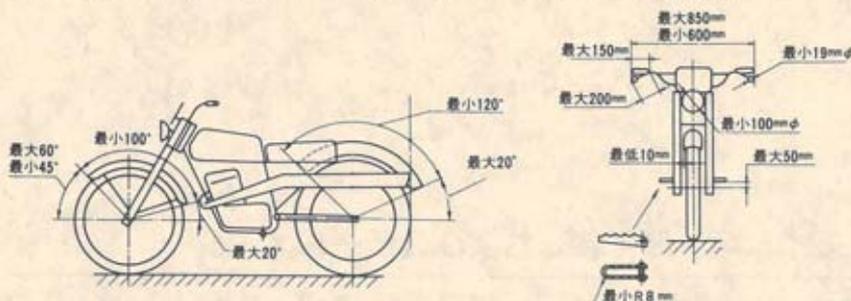
01.41 ブレーキ

- 41.01 すべてのモーターサイクルは、最低2つの効果的なブレーキ（各ホイールにひとつ）がなくてはならず、これは独立してホイールと同心的に作動しなくてはならない。

01.43 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 43.01 マッドガードはタイヤの両側方に張り出していなくてはならない。
- 43.02 フロント・マッドガードは、ホイールの周囲を最低100°にわたってカバーしていなくてはならない。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。
- 43.03 リヤ・マッドガードは（インドアトライアルを除く）、ホイールの周囲を最低120°にわたってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガード後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線が作り出す角度は20°を越えてはならない。リヤマッドガードのこの角度（最大20°）は、ライダーがモーターサイクルに座った状態で計測される。
- 43.04 インドアトライアルまたはアリーナトライアルのような公道を使用しない競技会では、

リヤ・マッドガードはリヤ・ホイールスピンドルを通る垂直線と、その垂直線に25°の角度で後方に引かれる線よりも後方まで及んでいなくてはならない。



01.45 ストリームライニング

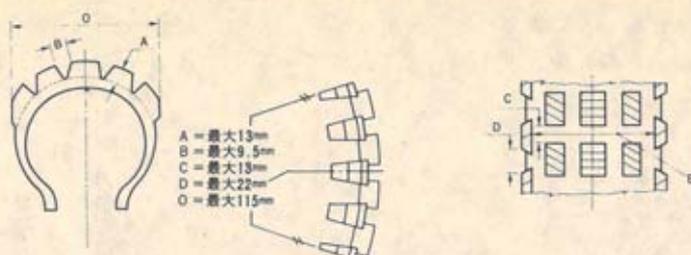
ストリームライニングの装着は禁止されている。

01.47 ホイールリム、タイヤ

- 47.01 メーカーが出荷した一体構造ホイール(キャスト、モールド、リベット)、又は従来の着脱式リムに対してスポーク、バルブ又は安全ベルト以外へはいかなる改造も禁止される。ただしタイヤがリムから外れることを防ぐために使用されるテンションスクリューは例外とする。

01.49 トライアルタイヤ

- 49.01 ホイールに正常に装着された状態でタイヤの全幅は、115mmを越えてはならない。
- 49.02 トレッドの深さ(A)はトレッド面から直角に測った場合、13mmを越えてはならない。同一円周のブロックはすべて同じ深さでなくてはならない。……157頁の図参照
- 49.03 ブロック間のトレッドの幅は、タイヤ幅方向(B)で9.5mm、円周方向(C)で13mmを越えてはならない。
- 49.04 ショルダーブロック(D)間のトレッド幅は、22mmを越えてはならない。
- 49.05 トレッド横幅(E)は、タイヤウォールに直角に測った場合、ブロックで中断されていない限り、タイヤ全幅に及んでいなければならない。
- 49.06 すべてのトレッドブロック(ショルダーブロックを除く)は、タイヤの軸に対し直角をして平行な長方形でなければならない。(タイヤは、図に適合し、逆回転させても同じ外観でなければならない。)
- 49.10 通常の販売ルート、または小売店を通じて入手できる一般公道用に認可されたタイヤのみが使用を許可される。
- 49.10.1 タイヤは一般の購入者が入手できるマニファクチャラーの商品カタログ、またはタイヤ仕様リストに掲載されているものでなくてはならない。
- 49.10.2 これらのタイヤは、荷重、スピードコードに関してヨーロッパ・タイヤ・リム技術機構(ETRTO)の定める条件に適合し、最低45Mの使用等級のものでなければならない。



01.56 ライト類、警告装置およびスピードメーター

- 1) モーターサイクル及びその装置類は、特別規則 (SR) に記載されない限り、その車両が登録されている国の法的条件に適合してはならない。

01.63 燃料、燃料／オイルの混合液

すべての車両には無鉛ガソリンを使用しなければならない。(AV ガス・航空機用燃料の使用は禁止される)

仕様の詳細は MFJ 技術規則第 7 章ガソリン・オイル・クーラントの項 (139 頁) 参照。

※大会特別規則 (全日本トリアル特別規則等) により、ガソリンの名柄および供給方法が指定される場合、それに従わなくてはならない。

01.79 音量規制

- 79.01 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後端から 500mm で、かつ中心線から後方 45° で排気管と同じ高さとするが、少なくとも地面から 20cm 上方でなくてはならない。もしこれが不可能な場合、計測は 45° 上方で行ってもよい。
- 79.02 ノイズテストの際、ギヤ・ボックスにニュートラルのないマシンについては、スタンドに載せた状態で測定を受けなくてはならない。
- 79.03 規制に適合しているサイレンサーには車検にてマークが付けられ、車検後にサイレンサーを変更する事は禁止される。ただし同様に車検合格し、マークを受けたスベア・サイレンサーに関しては例外とする。
- 79.04 ギヤはニュートラルとしてエンジンを回転させ、所定の rpm 域に達するまでエンジンの回転を増していかななくてはならない。測定は、所定の rpm に達したときに行うものとする。
- 79.06 トリアルに関して、音量測定を実施する平均ピストンスピードは 11m/秒とする。現在のトリアル車両のエンジンストロークの類似性にもとづき、便宜上測定は 5000rpm の固定回転数で実施する。
- 79.08 規制値をオーバーしているマシンは、再度測定を受けることができる。
- 79.11 現行の音量規制値
最大 94dB/A、11m/秒で測定する。(原則として事項 79.06 が適用される)
- 79.12 周辺への音量は、モーターサイクルから半径 5 m 以内において 80dB/A までとする。
- 79.15 音量測定は気温 20° を基準とする。気温 10° 以下の場合許容誤差 + 1 dB/A が認められる。気温 0° 以下の場合許容誤差 + 2 dB/A が認められる。
競技結果が発表される前に再車検が行なわれる競技会では少なくとも上位 3 名以上の音量測定が行なわれなくてはならない。この場合誤差 + 1 dB/A が認められる。

下記の項目は国内の事情を考慮し、国内の仕様にて開催する。よって基本仕様と異なる場合、下記の仕様の解釈が優先される。(日本で開催される国際格式競技会を除く)

1 マッドガードおよびホイールプロテクション

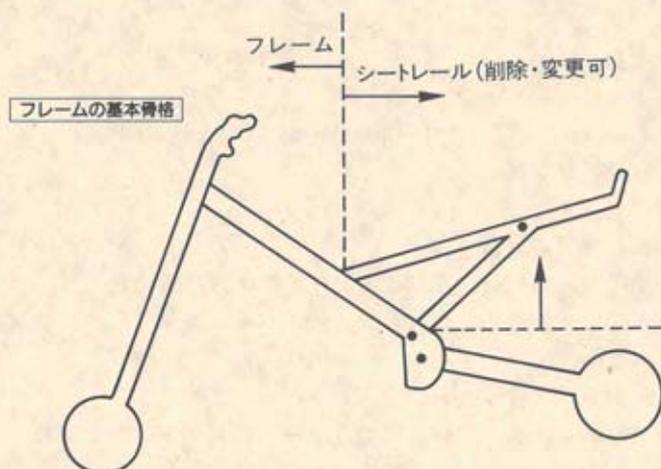
- 1) リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°にわたってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガードは、リヤホイール・スピンドルを通る垂直線から25°の角度で後方に引かれる線よりも後方まで及んでいなくてはならない。

2 ナンバープレート

- 1) ナンバープレートは長方形で頑丈な材質でできていなくてはならない。最低寸法は175mm×150mmとする。
- 2) ナンバープレートは1枚を車両の前面に見やすいよう前向きに取り付けなくてはならない。
- 3) 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線。「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線。
- 4) 数字および地色に蛍光色は一切認められない。
- 5) 判読しづらい文字等は車検長に依りレース参加の許可を得ることができない。
- 6) 国際A級及び国際B級部門についてはプレート下部にライダーの名前を記入するものとする。
- 7) 全日本選手権の国際A級・国際B級に関する特別規則
数字は英国式とし、観客とオフィシャルが明確に識別できるようにしなくてはならない。
(デザインされた書体の使用を認める)
- 8) ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。
ジュニア……黒地に白赤字 国内B級……白地に黒文字
国内A級……黄地に黒文字 国際B級……緑地に白文字
国際A級……赤地に白文字

3 ライト類、警告装置およびスピードメーター

- 1) 灯火器のレンズの処理または取りはずし、保安部品(バックミラー、補助ステップ、ウィンカー類)の取りはずしが義務づけられる。



第10章

SPクラスの仕様

(スーパープロダクション)

01 クラス区分

クラス	排気量範囲	2サイクル	4サイクル	最大限気筒数	最大限変速段数
400	250を越え400以下	×	○	4	6
250	125を越え250以下	○	×	2	6
250F	125を越え250以下	×	○	4	6
125	80を越え125以下	○	○	1	6
80	50を越え 80以下	○	○	1	6
50	50以下	○	○	1	6

02 出場車両

- 1) 車両は(市販レーサーを除く)一般生産型車両でMFJが公認したもの、又はSP用コンプレットマシンとしてMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則およびロードレース基本仕様(第7章)に示されているすべての条項に適合していること。
- 3) 車両のホイールリムの最大幅は下記のとおりとする。

クラス	最大幅フロント	最大幅リヤ
400以下	3.5インチ	4.5インチ

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更又は取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) シリンダー(スリーブ及びライナー含む)、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質・鋳造及び形状
- 5) クラッチの構造 *ただし04.22)参照
- 6) エンジン内部の部品の材質
- 7) 4サイクル車のバルブの径、リフト、タイミング及び圧縮比
- 8) 2サイクル車のシリンダー、ピストンに依るポートタイミング、排気デバイス、ポートサイズ、一次、二次の圧縮比
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き
- 10) 吸入、排気システムのシステム、バルブ数、ポート数、キャブレター数
- 11) クランクケースカバー類の材質・鋳造および形状

- 12) シリンダー (2サイクル)、シリンダーヘッド (4サイクル) のポートの形状、寸法
- 13) クランクシャフトアッセンブリー、ピストン
- 14) カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリー (リード単体含む)
- 16)(1) キャブレター *ただし04.16).(4)及び08.3).(1)参照
- (2) マニホールドタイプのフェイユエルインジェクションは公認車両に装備されているものだけに認められる。
- 17) フェイユエルタンク *ただし04.17)参照
- 22) プライマリーギヤ *ただし04.22)参照
- 23) ミッション *ただし04.23)参照
- 27) 4サイクル車のエアクリーナーボックス *ただし04.27)参照
- 42) リヤホイール
- 43) リヤブレーキ関係 *ただし04.43)参照
- 44) フロントホイール
- 45) フロントブレーキ関係 *ただし04.45)参照
- 50) フレームボディ *ただし04.50)参照
- 51) フロントフォーク *ただし04.51)参照
- 52)(1) リヤフォーク
- (2) リヤサスペンション、サスペンションのシステム *ただし04.52)参照
- 53) ステアリングシステムを含むボトムブリッジ、トップブリッジ
- 54) ストリームライニング (カウリング) およびマッドガード (フェンダー) の外観形状 (原則として取り外すことも認められない) *ただし04.55)参照

04

公認車両に対し下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様 (第7章) には適合していることを条件とする

- 16)(1) キャブレターのセッティング (取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲)
- (2) エアファンネルの取り付け又は寸法の変更 (キャブ本体は除く)
- (3) リストリクターの取り付け
リストリクターは5mmの区間に渡って最小断面積を確保するように処置されていなければならない。リストリクターの取り付け位置はキャブレターの混合気の通路内であれば自由とする。
- (4) 公認キャブレターの使用 (マグネシウム等高価素材のものは公認されない)
- 17)(1) フェイユエルタンクの給油口は改造変更出来るが位置は変えられない。
- (2) フェイユエルパイプ、フェイユエルコックの変更
- 18) エキゾーストパイプ、マフラーの変更 (但し音量規定に適合していること)
- 22) クラッチディスクの材質とスプリングの諸元
- 23) ミッションギヤのレシオ (但し公認部品に限られる)
- 27)(1) 2サイクル車両のエアクリーナーボックスの改造または取りはずしは許可されるが、外観上新たにエア取り入れ口等を追加することはできない。
- (2) 4サイクル車両のエアクリーナーボックスの改造は、下記条件の基に認められる。いずれの場合もクローズドシステム (ブローバイガスを直接大気へ放出しない) を維持していること。
- ① 公認キャブ取り付けのための改造 (キャブ取り付け部分のみ)

- ② 口径 ϕ 100mm相当 (8,000mm²誤差10%) を最大とするエア吸入口の拡大
- ③ ボックス内部の切削、取りはずし
- ④ 公認エアクリーナーボックスへの交換 (改造は認められない)
- (3) ブローパイプをエアクリーナーボックス内に導入する配管のための加工
- (4) エア吸入口の位置
 - ① エアファンネルの一番低い箇所 (148頁の図参照) の水平線よりも上に位置すること。
 - ② 吸入口がエアファンネルの一番低い箇所の水平線よりも下にある場合は、吸入口に至る吸入通路の底部の少なくとも一部分が、上記水平線の上に位置することを条件とする。
- (5) ブリーザーシステム

ブリーザーシステム (エアクリーナーボックスおよびその他のオイルキャッチタンク) は、ドレインパイプが詰まった場合に、合計で最低1,000ccの排出液を確保できる容量を持つこと。
- 43) リヤブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 45) フロントブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 48) タイヤは変更出来るが MFJ 公認 SP 用タイヤに限られる。ウエット時は MFJ 公認 SP 用レーシングレインタイヤの使用が認められる。
- 50) フレームボディーの不要なステー類のカット (但しフレームボディーの強度、鋼性に全く影響を与えないこと)
- 51)(1) フロントサスペンションのスプリングの変更
 - (2) フロントフォークの鋼性アップの為のスタビライザーの取り付け
- 52) リヤサスペンションのスプリングの変更
- 53) ハンドルバーの変更
- 54) カウリングの材質 (但しカーボン、ケブラー強化繊維等の高価素材を除く)
- 55)(1) シートカウルの形状・材質 (但しカーボン、ケブラー強化繊維等の高価素材を除く)
 - (2) ラジエター、オイルクーラー等にエアを取り入れるためのドリルによる穴開けは許可される。(直径10mm以下に限る)
 - (3) マッドガード (フェンダー) は、タイヤのサイズ変更に合わせて位置を変えることが許可される。
- 58) ロードレース 2 ストロークエンジンには AV ガス (1996年12月31日まで)、または無鉛ガソリンを使用することができる。

予告：1997年1月1日以降は無鉛に制限され、AV ガス、航空機用燃料等は使用できなくなる。

仕様の詳細は MFJ 技術規則第 7 章ガソリン・オイル・クーラントの項 (139頁) 参照。
 ※大会特別規則により、ガソリンの名柄および供給方法が指定された場合、これに従わなくてはならない。
- 59) すべての部品に関して調整・仕上げは認められる。

調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること (メタル合わせ、タペットクリアランス、点火時期等)

仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう (コンロッドみがき、ピストンみがき、コンパクションチャンパー等) 2 サイクル、4 サイクルともにポートについては、バリ取り、カーボン除去に限り認められる。

シリンダーポート、シリンダーヘッドポートにおけるバリとは以下のものを指す。

 - ① 型合わせバリ
 - ② シリンダー加工バリ (164頁の図参照)

「ポート内のザラつき」は鍍ハダと解釈し、切削、研磨は認められない。

- 60)(1) 不要なステー類（シートレールの一部含む）のカット
(2) ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加

05 重量

SPクラスの最低重量は下記のとおりとする（半乾燥重量）。

クラス	最低重量
400	145kg
250	115kg
250F	130kg
125	95kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 16)(1) キャブレターのサイズ（気筒あたりの最大径）

クラス	最大径サイズ
400	直径32mm相当以下
250	直径32mm相当以下
250F	直径31mm相当以下
125	直径32mm相当以下

注) キャブサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

マニホールドタイプのフュエルインジェクションへのキャブサイズ制限値も同様とする。

- (2) 規制値を越えるキャブレター装着車両については公認キャブレターに交換するか、リストリクターによって口径を調整しなければならない。
- 17)(1) フュエルタンクの給油口を改造した場合、ノンリターンバルブ付きのオーバーフローパイプとキャッチタンク（250cc以上）の取り付け。
(2) 電動式フュエルポンプを装備している場合は、転倒の際にただちにフュエルポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
- 19) ラジエターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け（250cc）
- 27)(1) エンジンブリーザーのキャッチタンク取り付け（容量は4サイクル車は500cc以上、2サイクル車は250cc以上）
(2) 4サイクル車両のキャッチタンクからのブローパイガスはエンジンに再吸入させること（図参照）
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け（ハンドルを握って操作可能な位置に取りつけなければならない）。
- 36) 灯火器のレンズの処置また取り外し。
- 38) 保安部品（スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類）の取り外し。
- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部部品のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造・変更にあたって特殊な材料の使用（チタニウム合金、カーボン、ケブラー強化繊維等の高価な材料）
（カーボンサイレンサーは1993年より完全禁止となった。）

- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用。
 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金の使用。
 48) タイヤへの追加工
 53) ステアリングダンパーのハンドルストッパーとしての使用。
 58) ガソリンの仕様及び供給方法は制限される。(ガソリン・オイル・クーラントの項139頁、ロードレース規則51頁参照)

08 MFJへの公認手続き・条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。
 *最低台数は第5章、第2条、完成車公認参照
 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付けて公認発効。発売日が会議日以降の場合は発売日から2ヶ月後の同日付けて公認発効する。
 3) 車両は以下の条件に適合している事
 (1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

クラス	最大限サイズ
400	直径32mm相当以下
250	直径32mm相当以下
250F	直径31mm相当以下
125	直径32mm相当以下

注) キャブサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面積部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

- (2) ホイールリム最大幅

クラス	最大幅フロント	最大幅リヤ
400以下	3.5インチ	4.5インチ

- (3) 01条のクラス区分に適合していること (排気量内にあること)。
 4) 専用コンプリートマシンはそのベース車両が公認車両であることを条件とする。

09 音量規定

FIM方式で測定し99dB/A以下であること。
 レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式のいずれも同一のモデル内にあつては、一切の追加工なしで単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められる。

注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。

(コンプリートマシンのベース機種 of 打刻型式に基づき判断される。)

'92年度までに公認を受けた車両は互換性の対象から外される。

('92年度末を区切りとして、この前後にまたがった組み合わせは禁止される)



耐久レースの追加仕様 (国内の各クラス)

01 クラス区分

一般生産車両をベースとしたSPクラスで行われる。スーパーバイクはFIM規則とする。

02 出場車両

- 1) 一般生産型車両でMFJが公認し、参加しようとする各クラスの仕様に適合していること。
- 2) ロードレースの基本仕様に合致していること。
- 3) 耐久用の仕様を満たしていること。

05 重量

それぞれの定められたスプリントレース用の最低重量に3kgを加えることとする。

灯火類の装備を義務づけられる耐久レースでは、定められたスプリント用の最低重量に5kgを加えられる。

11 耐久仕様

- 1) 車両にはスタート装置が装置されていなくてはならない。
- 17)(1) フュエルタンクは給油口を改造することは認められるが、位置は変えられない。
- (2) 最大容量を増やすための燃料タンクの改造は許されるが、サイドからの外観形状は変えられない。
- (3) フュエルフィルターキャップをクイックフィルタイプに変更することが許可される。

SP400	18ℓ以下
SP250	18ℓ以下
SP250F	15ℓ以下
- (4) 燃料は、マシンにしっかりと固定されたひとつのタンク内に入れられるものとする。シートタンク、および補助タンクは禁止される。すべての競技において給油のために簡単に脱着できる取り換えタンクを使用することは厳禁される。
- 31)(1) レースが夜間にかかる場合は公認された発電・充電装置を備えてあること。これらはレース期間中及びレース後の車検において正常に作動するものであること。
- (2) 灯火器はヘッドライト、ストップランプは正常に作動すること。またエキストラのライトを追加することは認められる。
- 42) ホイールを交換を容易にするための改造は、各々クラスの改造範囲でなければならない。
- 43) ブレーキ廻りのメンテナンス性向上のための改造は、各々のクラスの改造範囲内でなければならない。

- 49) ジャッキアップのための装置は一部をマシンに取りつけてもよいが、ストリームランニングから外側にあってはならず、レース期間中確実に固定されていること。これらはマシンの重量に含まれるものとする。

第14章

国内ロードレース GPクラスの仕様

(地方選手権)

車両規則は選手権ごとに下表のように適用される。特に国内ライセンスでは地方選手権とエリア選手権の両方に出場できるので、仕様の違いに注意すること。

選手権ごとの車両規則の適用

選手権	ライセンス区分	適用される車両規則	参照頁
地方選手権	国内ライセンス(NAT)	国内ロードレース GPクラスの仕様(第14章)	167頁～170頁
エリア選手権	国内ライセンス(NAT) 国際ライセンス(INT)	FIM規則01章 GPフォーミュラーの技術仕様	177頁～182頁
全日本選手権	国際ライセンス(INT)	FIM規則01章 GPフォーミュラーの技術仕様	177頁～182頁

01 クラス区分

クラス	排気量範囲	最大限気筒数	最大限変速段数
50	～50以下	1	6
80	50を越え 80以下	1	6
125	100を越え125以下	1	6
250	175を越え250以下	2	6

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサーまたは一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則およびロードレース基本仕様(第7章)に示されているすべての条項に適合していること。
- 3) 車両のリム幅(最大限リム幅)は下記のとおりとする。

クラス	最大幅
50	3.5インチ
80	3.5インチ
125	3.5インチ
250	5.5インチ

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

(仕様の変更とはその部分の改造、変更、寸法の変更または取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) (1) クランクケース *ただし04.4)参照
(2) 市販レーサーのシリンダー、シリンダーヘッド *ただし10条参照
- 10) バルブ数、ポート数、キャブ数

- 16) キャブレター *ただし04.16)及び10条参照
- 29) 特殊な高価な材質の使用 (チタニウム合金)
- 50)(1) 市販レーサーのフレームボディ
- (2) 一般市販車のフレームボディ *ただし04.50)参照
- 51) 市販レーサーのフロントフォーク *ただし04.51)及び10条参照
- 52) 市販レーサーのリアフォーク及びサスペンションとリンク *ただし04.52)及び10条参照

04 公認車両に対して下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様 (第7章) に適合していることを条件とする

- 4) クランクケースの切削に依る加工
- 12)(1) シリンダーの切削によるポートタイミングとポートエリアの変更。
- (2) シリンダーヘッドの切削に依る圧縮化、燃焼室の形状変更。
- 16) キャブレターのセッティング (取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲)。
- 50)(1) フレームボディの補強 (ただし一般生産車両に限る)
- (2) 不要なステー類の取りはずし、ただしフレームボディの強度、剛性に全く影響を与えないこと (ただし一般生産型車両に限る)
- 51) フロントサスペンションのスプリングの変更。
- 52) リアフォークの補強とリアサスペンションのスプリングの変更。
- 58) ロードレース2ストロークエンジンにはAVガス(1996年12月31日まで)、または無鉛ガソリンを使用することができる。

予告：1997年1月1日以降は無鉛に制限され、AVガス、航空機用燃料等は使用できなくなる。

仕様の詳細はMFJ技術規則第7章ガソリン・オイル・クーラントの項(139頁)参照。

*大会特別規則により、ガソリンの供給方法が指定される場合がある。

- 59) すべての部品に関して調整・仕上げは認められる。
- 調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること (メタル合わせ、タペットクリアランス、点火時期等)
- 仕上げとは各部品の基準粗度を向上させる作業をいう (ポートみがき、コンロッドみがき、コンパンションチャンバー等)
- 60) フレームボディとリアフォークを除き軽量化の為の改造は山来るが、最低重量以上であること。

05 重量

- 1) GPクラスの最低重量は下記のとおりとする (半乾燥重量)。

クラス	最低重量
50	70kg
80	70kg
125	70kg
250	100kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。
分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。
ダミーウェイトによる調整は認められない。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造変更が義務付けられる

- 17)(1) フュエルタンクの給油口を改造した場合、ノンリターンバルブ付きのオーバーフローパイプとキャッチタンク (250cc以上) の取り付け。
- (2) 電動式フュエルポンプを装備している場合は転倒の際にただちにフュエルポンプが自動的

に停止する装置を備えていなければならない。

- 19) ラジエーターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け (250cc以上)。
- 27)(1) エンジンブリーザーのキャッチタンクの取り付け (4サイクル車は500cc以上、2サイクルのギヤボックスからのブリーザーは250cc以上)。
- (2) 4サイクル車両のキャッチタンクからのブローバイガスはエンジンに再吸入させること。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け (ハンドルを握って操作可能な位置に)。
- 36) 灯火器のレンズの処理または取り外し。
- 38) 保安部品の取りはずし。
- 56) すべてのオイルドレンボルト及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造変更にあたって特殊な材料の使用 (チタニウム合金)
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金の使用
- 53) ステアリングダンパーのハンドルストッパーとしての使用
- 58) ガソリンの仕様及び供給方法は制限される。(ガソリン・オイル・クーラントの項139頁、ロードレース規則51頁参照)

08 MFJへの公認手続き、条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること、または競技専用車両 (市販レーサー) として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。
*最低台数は第5章、第2条、完成車公認参照
- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催される。
審査に合格した車両で、すでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付きて公認発効する。発売日が会議日以降の場合は、発売日の2ヶ月後の同日付きて公認発効する。
競技専用車両 (市販レーサー) の場合は公認発効までの期間を、各々1ヶ月後とする。
- 3) 車両は以下の条件に適合していること。

(1) 最大限リム幅

クラス	最大限
50	3.5インチ
80	3.5インチ
125	3.5インチ
250	5.5インチ

(2) 01条のクラス区分内にあること

09 音量規定

- 1) FIM方式で測定し105dB/A以下のこと。
2サイクルは13m/s、4サイクルは11m/sのピストンスピードとする。
レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

- 1) フレームの打刻型式とエンジン打刻型式のいずれも同一のモデル内にあるものは一切の追加加工なしで単品またはアセンブリーで組みつけ可能な部品は相互の交換が認められる。

注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。

(コンプリートマシンのベース機種の打刻型式に基づき判断される)

2) 下記の部品は同一メーカー同士でかつ公認車両であれば流用することが出来る。

- (1) ミッションアッセンブリーまたは単品
- (2) フロントフォークアッセンブリーまたは単品
- (3) リヤサスペンションユニットおよびリンク関係
- (4) リヤフォーク
- (5) キャブレター
- (6) シリンダー
- (7) シリンダーヘッド

3) 公認部品として下記の部品またはアッセンブリーが認められる。

- (1) フロントフォークアッセンブリーまたは部品
- (2) リヤサスペンションユニット、アッセンブリーまたは部品
- (3) リヤフォーク
- (4) キャブレター
- (5) シリンダー
- (6) シリンダーヘッド

注) 部品公認申請条件を満たしていること。

第15章

国内モトクロスの仕様

(国際B級、国内A級、国内B級)

01 クラス区分

クラス	排気量	最大限気筒数	最大限変速段数
80	~80以下	1	6
125	100を越え125以下	1	6
250	175を越え250以下	1	6

*ジュニアクラスは80cc以下に限定される。

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサー、または一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則及びモトクロス基本仕様(第8章)に示されているすべての条件に適合していること。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更ができない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更または取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) クランクケース、シリンダー、シリンダーヘッドの材質、鑄造及び形状 *ただし10条参照
- 10) 吸排気系のバブル数、ポート数、キャブ数。
- 12) シリンダー、シリンダーヘッド。
- 16) キャブレター *ただし10条参照
- 19) 冷却方式の変更
- 23) ミッションギヤ *ただし10条参照
- 50) フレームボディー
- 51) フロントフォーク *ただし04.52)及び10参照
- 52) リヤフォーク、リヤサスペンションユニット及びサスリンケージ *ただし04.52)及び10条参照

04 公認車両に対し下記事項の変更はできるが、モトクロス基本仕様(第8章)に適合していることを条件とする

- 5) クラッチの構造
- 11) クランクケースカバーの材質、形状

- 13) クランクシャフト (但しストローク変更は不可)、ピストン、リング。
- 16) キャブレターのセッティング (取り外し可能なジェット、ニール、スロットルバルブの範囲)
- 17) フューエルタンク、フューエルコック、フューエルライン。
- 18) エキゾースト系 (但し音量規定に適合していること)
- 19) 冷却系 (但し方式の変更は不可)
- 26) 分離給油関係の取りはずし、または変更 (但し方式の変更は不可)。
- 41) ファイナルレシオ
- 42) リヤホイールの変更
- 43) リヤブレーキ関係の変更
- 44) フロントホイールの変更
- 45) フロントブレーキの変更
- 48) タイヤの変更
- 51) フロントサスペンションのスプリングの変更
- 52) リヤサスペンションのスプリングの変更
- 58) すべての車両は無鉛ガソリンを使用しなければならない。(AV ガス、航空機用燃料等は使用できない)
仕様の詳細は MFJ 技術規則第 7 章ガソリン・オイル・クーラントの項 (139頁) 参照。
- 59) すべての部品に関して、調整・仕上げが認められる。

調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で、個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること。(メタル合わせ、タペットクリアランス、点火時期等)

仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう。(ピストンみがき、コンパクションチャンバー等) シリンダーポートについては、バリ取り、カーボン除去に限り認められる。

05 重量

- 1) 各クラスの最低車両重量は下記のとおりとする。(半乾燥重量)

クラス	最低重量
80	61kg
125	88kg
250	98kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。
分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。
グミーウェイトによる調整は認められない。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造、変更が義務づけられる

- 32) エンジンキルスイッチの取り付け (ハンドルを握って操作可能な位置に取りつけなければならない)
- 36) 灯火器のレンズ処置または取りはずし
- 38) 保安部品 (スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウィンカー類) の取りはずし
- 40) もしプライマリーチェーンが露出している場合、安全措置としてチェーンガードを装着していなければならない。チェーンガードは、いかなる場合においてもライダーがトランスミッションパーツに誤って触れることがないようにガードを取りつけられていなければならない。
- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライム部品へワイヤーロック

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造変更にあたって特殊な材料の使用 (チタニウム合金)
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金の使用

08 MFJへの公認手続き、条件

- 1) 車両は市販レーサー又は、一般公道用として定められた台数以上を出荷し、発売日が明確となっていること。

	国産車	輸入車
一般生産型車両	500台	25台
市販レーサー	100台	10台

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付きて公認発効する。発売日が会議以降の場合は発売日の2ヶ月後の同日付きて公認発効する。ただし市販レーサーは各々1ヶ月後とする。

09 音量規定

- 1) FIM方式で測定し98dB/A以下のこと。
レース終了後は、2dB/Aの誤差値が認められる。
- 2) 音量測定の際のエンジン回転数 (rpm) は、排気量により異なる。
80ccまで 8,000rpm
80ccを越え125ccまで 7,000rpm
125ccを越え250ccまで 5,000rpm
250ccを越える 3,000rpm

10 互換性

- 1) フレームの打刻型式とエンジン打刻型式のいずれも同一モデル内にある場合は、一切の追加加工なしで単品、またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品については相互に互換が認められる。
- 2) 下記の部品は同一メーカー同士でかつ公認車両であれば流用することが認められる。
 - (1) ミッションアッセンブリーまたは単品
 - (2) フロントフォークアッセンブリーまたは単品
 - (3) リヤサスペンションユニットまたはリンク関係
 - (4) リヤフォークアッセンブリーまたは単品
 - (5) キャブレター
 - (6) シリンダーコンプリート
 - (7) シリンダーヘッドコンプリート
- 3) 公認部品として下記の部品またはアッセンブリーが認められる。
 - (1) ミッションギヤセットまたは単品
 - (2) フロントフォークアッセンブリーまたは単品
 - (3) リヤサスペンションユニットアッセンブリーまたは単品
 - (4) リヤフォークコンプリート
 - (5) キャブレター
 - (6) シリンダーコンプリート

(7) シリンダーヘッドコンプリート

注) 部品公認申請条件を満たしていること。

第15章 補則 ジュニア部門の仕様

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサー、または一般生産型車両で MFI が公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則書及びモトクロス基本仕様 (第 8 章) に示されているすべての条件に適合していること。

03 公認車両に対し、下記04以外の改造、変更は認められない

04 公認車両に対し、下記事項の変更はできるが、モトクロス基本仕様 (第 8 章) に適合していることを条件とする

- 24) チェンジペダル。
- 26) 分離給油関係の取りはずし、または変更。(但し方式の変更は不可)
- 34) ポジション変更目的のコントロールワイヤーの変更
- 40) ドライブチェーン
- 41) ファイナルレシオ
- 46) ブレーキペダル
- 48) タイヤの変更
- 50) ステップ類
- 53) ハンドル及びその付属品
- 59) すべての部品に関して、調整・仕上げが認められる。

調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で、個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること。(メタル合わせ、タベットクリアランス、点火時期等)

仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう。(ポートみがき、コンロッドみがき、ピストンみがき、コンパクションチャンパー等)

国内トライアルの仕様

(国内A級、国内B級、ジュニア)

01 クラス区分

排気量によるクラス区分は特に設定しない。

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサー、または一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則及びトライアル基本仕様(第9章)に示されているすべての条件に適合していること。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更ができない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更または取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) クランクケース、シリンダー、シリンダーヘッドの材質、鑄造及び形状
- 10) 吸排気系のバルブ数、ポート数、キャブ数
- 42) リヤホイールスピンドルの材質の変更
- 44) フロントホイールスピンドルの材質の変更

04 公認車両に対し下記事項の変更はできるが、トライアル基本仕様(第9章)に適合していることを条件とする

- 18) エキゾースト系(ただし音量規定に適合していること。)
- 48) タイヤは変更できるが、MFJ公認トライアルタイヤに限られる。タイヤにはチェーン、スパイクを装備する等、改造を加えてはならない。
- 50) フレームボディーの改造
- 58) すべての車両は無鉛ガソリンを使用しなければならない。(AVガス、航空機用燃料等は使用できない)

仕様の詳細はMFJ技術規則第7章ガソリン・オイル・クーラントの項(139頁)参照。

- 59) すべての部品に関して、調整・仕上げが認められる。

調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で、個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること。(メタル合わせ、タベットクリアランス、点火時期等)

仕上げとは、各部品の基準付法内で表面粗度を向上させる作業をいう。(ポートみがき、コンロッドみがき、ピストンみがき、コンパクションチャンパー等)

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造、変更が義務づけられる

- 23) カウンターシャフトスプロケットには、指を挟まないようなカバーをつけること。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け。
- 38) 保安部品（スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウィンカー類）の取りはずし。
- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へは、ゆるみ、脱落等によるオイル漏れをおこさないような処置を施すこと。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造変更にあたって特殊な材料の使用。（チタニウム合金）

08 MFJ への公認手続き、条件

- 1) 車両は市販レーサー、又は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確となっていること。

	国産者	輸入車
一般生産型車両	500台	25台
市販レーサー	100台	5台

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両は、すでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付けて公認発効。発売日が会議日以降の場合は、発売日の2ヶ月後の同日付けて公認発効とする。但し市販レーサーに限り、各々1ヶ月後とする。

09 音量規定

- 1) FIM方式で測定し、94dB/A以下のこと。エンジンスピードは5000rpmとする。競技終了後は1dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

- 1) フレームの打刻型式とエンジン打刻型式のいずれも同一モデル内にあっては、一切の追加加工なしで単品、またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品については相互に互換が認められる。

第17章

全日本・エリア選手権 ロードレース 技術仕様

以下のクラスは全日本・エリア選手権ロードレース技術仕様により開催される。

全日本・エリア選手権：GP フォーミュラクラス

全日本・エリア選手権：スーパーバイククラス

地方選手権は別に定める国内の仕様にて開催される。

GP フォーミュラの技術仕様は以下の種目別仕様、スーパーバイクは種目別仕様と MFJ 技術規則第7章ロードレース基本仕様に合致していることとする。種目別仕様とロードレース基本仕様の間で解釈の違いが生じた場合は種目別仕様を優先する。

規則の追加、改訂は MFJ ライディングにて告示される。

*全日本・エリア選手権ロードレース技術仕様は、'95年版 FIM グランプリ技術規則、'95年版 FIM ロードレース技術規則をもとに、'96年からの両規則のおもな規則変更点をもり込んで MFJ 技術仕様として編集しています。原文との比較がしやすいように、文頭にはもととなった規則の項目番号が表示してあります。

GP フォーミュラの技術仕様 (全日本選手権、エリア選手権へ適用)

2.1 序 論

- 2.1.1 モーターサイクルとは、一本の軌跡を残す二輪車両で、内燃エンジンによって推進され、ひとりのライダーによってコントロールされるものである。
- 2.1.2 下記の MFJ ロードレース GP フォーミュラ規則に適合することを条件に、コンストラクターはデザイン、材質、およびモーターサイクルの全体的構造において自由に革新性を追求することができる。
- 2.1.3 テレメトリー
走行中のモーターサイクルから、またはモーターサイクルへの情報交換はおこなってはならない。オフィシャルのタイム計測装置は義務付けられる。

2.2 クラス

- 2.2.1 エンジン容積に基づいて下記のクラスに分類される
 - 125cc：80ccを越え125ccまで 最大単気筒
 - 250cc：175ccを越え250ccまで 最大2気筒
 - 500cc：350ccを越え500ccまで 最大4気筒

2.3 エンジン

- 2.3.1 エンジンは2ストロークまたは4ストロークの原理で作動するもののみとする。

全日本・エリア選手権ロードレース技術仕様

- 2.3.2 エンジンは自然吸気でなくてはならない。
- 2.3.3 エンジンの排気量はシリンダーの行程容積によって定義される。すなわち、シリンダー・ボア面積×ストロークである。
- 2.3.4 排気量に許容誤差は認められない。
- 2.3.5 エンジン排気量は外気温のもとで測定されなくてはならない。

2.4 ギヤ

- 2.4.1 ギヤの最大段数は6速とする。

2.5 車重

- 2.5.1 下記が許可される最低車重である：

125cc	……………	70kg	
250cc	単気筒……………	100kg	*1
	2気筒……………	100kg	*2
500cc	単気筒……………	100kg	
	2気筒……………	100kg	
	3気筒……………	115kg	
	4気筒……………	130kg	

*世界選手権においては*1=85kg、*2=95kgが適用される。

- 2.5.2 最低車重を達成するためにバラストの追加が許可される。
- 2.5.3 車重は最初の車検でチェックされる。しかし、メインの車重検査は、プラクティス・セッション終了後、あるいはレース終了後に実施される。
モーターサイクルの車重は、モーターサイクルが出場する状態、すなわちオイル、水、及び他の液体を含み(燃料は除く)、他のすべての追加のイクイップメント例えばオフィシャルのタイム計測装置、カメラ装備等を装着した状態で計測される。
- 2.5.4 燃料の残量といった可変的な要素を除くために、モーターサイクルは燃料タンクなしの状態にて車両重量を計測され、その際全クラスについて2kgの許容誤差が認められる。

2.6 燃料タンク

- 2.6.1 燃料キャップはリーク・ブルーフ(漏れ防止が施されているもの)で、ポジティブ・クロージングデバイス(確実にしめる装置)を装備していなくてはならない。
- 2.6.2 燃料タンク・ブリーザー・パイプにはノン・リターン・バルブが装着されていなくてはならない。
ブリーザーパイプは、最低容量250ccの適切な容器に排出しなくてはならない。
- 2.6.3 燃料タンクには火炎防止材質(防爆材)又はフュエルブラダー(燃料セル袋)が充填されていなくてはならない。

2.7 安全および構造基準

注意：図1、2、3も参照のこと

2.7.1 スロットルツイスト・グリップ

- 2.7.1.1 スロットルツイスト・グリップは、開放時に自動的に閉じるものでなくてはならない。

2.7.2 ステアリング

- 2.7.2.1 ハンドルバーの幅は最低450mmとし、先端はソリッド(中空でない)またはゴムで覆われたものとする。

ハンドルバーの幅とは、ハンドルバー・グリップまたはスロットル・ツイストグリップの外側と外側の間隔で測定されたものとする。

- 2.7.2.2 中心線から両側に、最低15°のステアリング回転角度がなくてはならない。
- 2.7.2.3 ハンドル・ロックした状態でハンドルバーとタンクの間で最低30mmの間隔があるように、ストッパーを設置しなくてはならない。

2.7.3 ブレーキ

- 2.7.3.1 モーターサイクルには各ホイールに最低1個の、独立して操作されるブレーキが装備されなくてはならない。

2.7.4 エキゾースト

- 2.7.4.1 エキゾーストの排出口は、リヤ・タイヤの後端から垂直に引かれた線の後方に突出してはならない。
- 2.7.4.2 パイプ最後端の30mmは水平で、モーターサイクルの中心線と平行でなくてはならない。許容誤差は、 $\pm 10^\circ$ とする。

2.7.5 フットレスト

- 2.7.5.1 フットレストの先端は丸型で、中空でなく球状で、その半径は最低8mmでなくてはならない。

2.7.6 ハンドルバー・レバー

- 2.7.6.1 レバーの長さは、ピボットポイントから測定して200mm以上あってはならない。
- 2.7.6.2 レバーは原則として、端部がホール状でなくてはならない。

2.7.7 ボディワーク

- 2.7.7.1 ウインドスクリーンエッジ、またはその他のすべてのストリームライニングの露出した部分のエッジは丸められていなければならない。
- 2.7.7.2 ボディワークの最大幅は600mmを超えてはならない。
シートまたはその後方にあるすべての物の幅は、450mmを越えてはならない。(エキゾースト・パイプは例外とする。)
- 2.7.7.3 ボディワークは、フロント・ホイール・スピンドルから前へ100mmのところ(マッドガードが装着される場合は例外とする)に垂直に引かれた線とリヤ・タイヤのエッジから垂直に引かれた線を超えてはならない。
- 2.7.7.4 横から見た場合、下記を判別することができなくてはならない：
 - a) 最低180°にわたるリヤ・ホイール・リム
 - b) マッドガードまたはフォークに覆われた部分を除くフロント・ホイール・リム全体
 - c) ノーマル・ポジションに座ったライダー。上腕を除く。

注意：上記の規則の裏をかくために、透明の材質を使用することは禁止される。

- 2.7.7.5 モーターサイクルのいかなる部分も、リヤ・タイヤの後端から垂直に引かれた線より後方に突出してはならない。
- 2.7.7.6 シートのベースとシートが一番高い地点と差は最大150mmとする。
- 2.7.7.7 マッドガードは義務づけられない。装着された場合、フロント・マッドガードは下記まで伸びてはならない：
 - a) フロント・ホイール・スピンドルを通る水平の線から上と前に45°に引かれた線の前
 - b) フロント・ホイール・スピンドルからリヤまで水平に引かれた線の下
- 2.7.7.8 ウイングは、それがフェアリングあるいはシートの一部で、フェアリングとシートの幅、ハンドルバーの高さを超えない場合には装置を許可される。

尖ったエッジは丸くされなくてはならない。動くエアロダイナミック・デバイスは禁止される。

2.7.8 クリアランス

2.7.8.1 荷重のかからない状態のモーターサイクルは、タイヤ以外が路面に接地しない状態で、垂直線から50°の角度で傾斜が可能でなくてはならない。

2.7.8.2 モーターサイクル・サスペンションがどのようなポジションにあり、リヤ・ホイール・アジャストメントがどのようなポジションにあっても、タイヤの円周に沿って最低15mmのクリアランスがなくてはならない。

2.7.9 プリーザー・パイプ

2.7.9.1 エンジンまたはギヤボックスからのプリーザー・パイプは、最低容量250ccの適切な容器に排出しなくてはならない。個々のプリーザー・パイプごとに別個の容器が装備されなくてはならない。

2.7.10 チタニウム及び軽合金

フレーム、フロント・フォーク、ハンドル・バー、スイングアーム・スピンドルホイール・スピンドルの構造にチタニウムを使用することは禁止される。

ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。

2.8 タイヤとリム

2.8.1 レーシング・タイヤが使用されなくてはならない。

2.8.2 最大リム幅は下記の通りとする：

	フロント	リヤ
125cc	2.5インチ	3.5インチ
250cc	4.0インチ	5.5インチ
500cc	4.0インチ	6.25インチ

2.9 ナンバーとバックグラウンド(下地)

① 全日本選手権に適用されている規則

2.9.1 モーターサイクルのフロントと両サイドにレーシング・ナンバーが装着され、観客とオフィシャルが明白に識別できるようにしなければならない。

2.9.2 ナンバーは、図4に明記させられている寸法に適合しなくてはならない。

2.9.3 ナンバーは黒か白とし、バックグラウンドの色の上に書かれた際に判別しやすいようにする。

2.9.4 バックグラウンドは最低限、下記の面積が単色でなくてはならない。バックグラウンドに蛍光色は禁止される。

幅 275mm

高さ 200mm

2.9.5 ナンバープレートのバックグラウンドは垂直から30°以上傾斜してはならない。

2.9.6 ナンバープレートのバックグラウンドの湾曲による突出は、最低幅と最低高において60mm以上超えてはならない。

2.9.7 ナンバーの周囲には最低25mmのクリアー・エリア(余白)が設けられなくてはならない。

2.9.8 ナンバーの明瞭度に関して論議が持ち上がった場合、車検長の決定が最終的なものとする。

② エリア選手権に適用される規則

エリア手権においてはロードレース基本仕様—01.55ナンバープレート (P144) の規則が適用される。(ナンバープレートの地色、及び数字の色等が規制されている)

2.10 燃料、オイル及びクーラント

国内におけるロードレース競技会 (世界選手権を除く) において、燃料は下記の仕様に制限されている。

- ① 市場で入手可能な日本工業規格 (JIS) に規定されたアブガス 3 号の仕様を満たし、市販されていること。

ガソリンの仕様の詳細は MFJ 技術規則第 7 章ガソリン・オイル・クーラントの項 (139 頁) 参照

- ② 大会特別規則 (全日本ロードレース選手権特別規則等) によってガソリンの供給方法を指定した場合、これに従わなくてはならない。
- ③ 予告: '97 年 1 月 1 日より、ロードレース 2 ストロークエンジンに対しても、無鉛ガソリンに制限される。

図 1

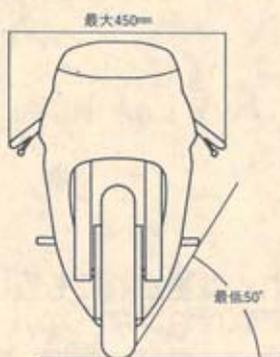


図 2

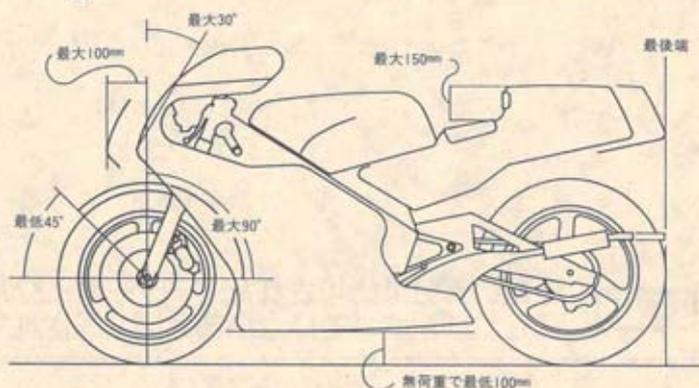


図 4

ナンバープレート

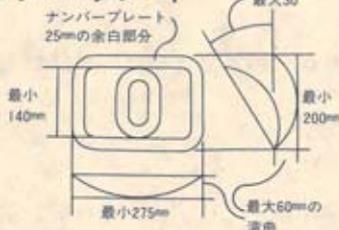
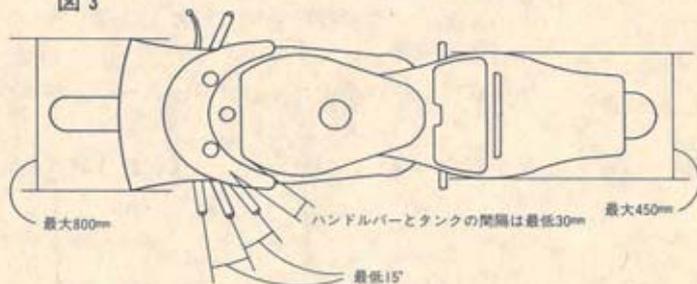


図 3



2.11 音量規制

FIM 方式で測定し 105dB/A とする。詳細はロードレース基本仕様 (147 頁・音量規制参照)

スーパーバイクの技術仕様 (全日本選手権・エリア選手権へ適用)

ロードレース・スポーツプロダクションフォーミュラ (スーパーバイク)

スーパーバイク・モーターサイクルの前、および後ろから及び両側面からの外観形状は(別記された場合を除いて)原則として車両公認時のものと合致しなくてはならない。

スポーツプロダクション(スーパーバイク)用のモーターサイクルは、全て車両公認を受けなくてはならない。全日本・エリア選手権ロードレースにはFIM公認車両およびMFJ公認車両が出場できる。

59.01 スーパーバイクのクラス

	4サイクル	気筒数
スーパーバイク	600ccを越え 750cc以下	4
	600ccを越え 900cc以下	3
	750ccを越え 1000cc以下	2

59.02 燃料

国内におけるロードレース競技会(世界選手権を除く)において、燃料は下記の仕様に制限されている。

- ① 市場で入手可能な無鉛ガソリンで最大鉛含有量は0.013g/l(無鉛)、最大モーターオクタンは89(MON)とする。

ガソリンの仕様の詳細はMFJ技術規則第7章ガソリン・オイルクーラントの項(139頁)参照

- ② 大会特別規則(全日本ロードレース選手権特別規則等)によってガソリンの供給方法を指定した場合、これに従わなくてはならない。

59.04 下記の部分は認可されたモーターサイクルのそれと変更されても良い ここに明記されていない部分は公認されたものでなければならない

- 59.04.1 ボアはシリンダーのパタンを変更しなければ増大されても良いが、ただしこの増大によってそのクラスの排気量を超えてはならない。排気量がそのクラスの制限を越えなければ、ボアを拡大することができる。

予告事項:1997年1月1日より、スーパーバイクの車両の排気量は公認時の排気量から拡大できない。

- 59.04.2 エンジンパーツの研磨および軽量化は許可される。キャブレター、インジェクターは除く。(事項59.04.26にも注意)

シリンダー、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスシエルの材質は溶接又は機械加工によってのみ、追加、又は削除することができる。(公認時の材質と鋳造が使われなくてはならない。)

シリンダーはスリーピングやライニングによって修理されてもよい。しかし公認時の材質タイプと表面処理は維持されなくてはならない(クローム、シリコン、セラミック等)

バルブやポート(吸気および排気)の数と、キャブレター、インジェクターの数を含む。吸排気システムは、公認時のものでなくてはならない。(事項59.04.6で許可されるものを除く)

- 59.04.3 エンジン内部の動くパーツ、ギヤボックスおよびクラッチ・パーツ。
- 59.04.4 ギヤ・レシオ。ギヤのスペック。6速までに制限されたギヤ段数。スプロケット。
- 59.04.5 ジェネレーター。キックレバー・ペダルを含む電動・手動始動装置。スタータークラ
ンクギヤ及びスターターシャフトは取りはずしても良い。
- 59.04.6 エキゾーストパイプ、サイレンサー及び配列。
- 59.04.7 フットレスト、リヤブレーキレバー及びギヤレバー。
フットレストの位置は変更できるが、必ずリヤ・ホイールの前に設けなくてはなら
ない。
フットレストは可倒式タイプであっても良いが、この場合ノーマルポジションに自動
的に戻る装置がなくてはならない。
フットレストの先端は、中空でなく球状の最低半径8mmの丸型のプロテクションになっ
ていなくてはならない。
フットレストが可倒式でない場合、プラスチック製テフロン製もしくはそれと同等の
材質で、その先端を加工しなくてはならない。
- 59.04.8 ハンドルバー、コントロールレバー及びケーブル、マスターシリンダー、キャリパー、
ブレーキパッドまたはシュー、ブレーキホース及びブレーキカップリング。
- 59.04.9 フロント・フォークは全体的あるいは部分的に交換可能だが、認可されたモデルのそ
れと同じタイプ(リーディング・リンク、テレスコピック等)でなくてはならない。
- 59.04.10 スイングアーム、リヤショックアブソーバーは交換または移動されても良い。但し、
同様のシステムを使用しなければならない。例：デュアルショック、モノショック等
- 59.04.11 燃料タンクは、外から見えるならば外観上は認可されたモデルのそれと同じでなく
てはならない。オリジナルのタンクを変更して、最大容量を達成することは認可される。
(基本仕様01.56フェュエルタンクおよびオイルタンク、01.4 (145頁)にも注意)
タンクの両側の間にあるクロス・オーバー・ラインは許可される(最大内径10mm)。
フェュエルバルブとフェュエルフィルターキャップを含むフェュエルライン。
プラクティス中に使われたのと同じサイズの燃料タンクが、大会期間中使われなくて
はならない。
- 59.04.12 車両公認時のオイル・ウォータークーラー。マシンの外観を変更しない範囲において
変更および追加が認められる。
- 59.04.13 マッドガード(フェンダー)の材質。マッドガードはホイールタイヤのサイズ増大に
合わせて位置を変えることが許可される。追加のマッドガードをスイングアームに取り
付けることができる。
- 59.04.14 ストリームライニングの材質、燃料タンク、フェアリングおよびシートに隣接したリ
ヤ・パーツの材質。表面に現れるすべてのエッジは先端が丸められていなくてはなら
ない。オイル・クーラーにエアーを取り入れるためのドリルによる穴開けは許される。
直径10mm以上の穴についてはメタル・ガーゼか繊細なメッシュによりカバーされなく
てはならない。(フロントゼッケンナンバープレートに穴を開けることは許可される
が、数字自体に穴を開けることは許可されない)
- 59.04.15 フレームの改造はガゼット(補強板)またはチューブの追加のみすることができる。
本来存在するガゼットまたはチューブを取り外してはならない。(事項01.26にも注
意)。
- 59.04.16 シート
- 59.04.17 ホイール及びホイール関連のパーツ、タイヤ、ベアリング、シール等(事項59.04.25及
び59.06.10にも注意)。

カーボン複合体ホイールの使用は許可されない。ただし車両製造メーカーが、公認された一般市販モデルに標準装備されたものを除く。

- 59.04.18 エアー・クリーナーエレメント、ツール・ボックス、ライセンス・プレート（登録標識）用ブラケットは取り外してもよい。エアー・クリーナー・ボックスは改造されてもよい（レース用の特別デザインが許可される）。（事項59.06.6にも注意）
エアクリーナーボックスは、インダクション・ベルマウス（キャブレター、インジェクターのエア吸入口）とすべてのエンジン・ブリーザー・チューブの周囲で完全に密閉され、エアーは、ベルマウス・リップ（エアファンネル）の一番低い位置（図C参照）より上からのみ進入できるようにされなくてはならない。許容されるエアー進入口の最大合計面積は、8000mm²+10%の許容誤差とする。（キャブレション・インストルメントを完全にエアーボックスの中に収めることもできる）
ブリーザーシステム（エアボックス及びその他のブリーザー・オイル・コレクターボックス）は、ドレンパイプが詰まった場合に、最低1000ccの排出液を維持できるものでなくてはならない。
- 59.04.19 正圧のかかるオイル・ラインは、もし変更されるならばスチール製で、型鉄で曲げた、またはネジ式のコネクターを持っていてはならない。
- 59.04.20 ステアリング・ダンパーは追加されても良いが、装着方法は正当な方法に従ったものとする。既存のステアリング・ストップが適切でない場合、金属製のステアリング・ストップをフレームに取り付けることができる。いかなる場合においても、ダンパーはステアリング・ロック・リミティング・デバイス（ステアリング切れ角ストッパー）としての役目を果たしてはならない。最低ステアリング・ロックは15°とする。
- 59.04.22 タイヤ維持装置（タイヤ、リテンションデバイス）は許可される。
- 59.04.23 チェーン：どのタイプ・ブランドのものでも良い。
- 59.04.24 どのタイプの潤滑オイル、ブレイキおよびサスペンション・フルード（液）を使用してもよい。どのタイプのスパークプラグ、プラグキャップ、インナー・チューブ（装着される場合）、チューブレス・バルブを使用してもよい。ホイール・バランス・ウエイトは取り外しても、変更しても、追加してもよい。
ベアリング（ボール、ローラー、テイパー、プレイン等）はどのタイプ、メーカーでも使用できる。
電気装置、電気ケーブル、コネクター、バッテリー、スイッチ類、外観上での表面処理とステッカー類
- 59.04.25 ブレイキディスク。ディスクの材質をカーボンファイバーに置き換えることは許可されない。
- 59.04.26 ジェット、スロットル・バルブ、ニードル（バタフライではない）及びベル・マウスのサイズ。
キャブレター、インジェクターの変更は下記に基づき認められる。
・キャブレターまたはインジェクターは車両公認時のもの、または車両メーカーが当該車両のキットパーツとして設定し、車両とともに公認されたものでなくてはならない。
- 59.04.27 公認時の車両に装着されていない装備を取りつけても良い。但し、事項01.18(テレメトリー)を順守すること。

59.05 車 重

スーパーバイク 162kg（すべての車両）

燃料タンクなしの状態では、燃料なしの状態でおこなう。計測の前にラジエーターに水を加えても良い。レース後の重量測定では、1%の誤差が許められる。ラジエーターに水を追加する以外はレースを終えた状態で、レース後、指定の重量に適合しなくてはならない。すべての車両重量は、燃料なしの状態とする。

59.06 公認車両が下記に適合しない場合、下記の通り変更されなくてはならない。

- 59.06.1 モーターサイクルには、始動しているエンジン及びその他のすべての電動部品を停止することのできる効果的なイグニッション・キル・スイッチ、またはボタンが、ハンドル・バーの右あるいは左に設けられていなくてはならない(グリップを握って届く位置になくてはならない)。
- 59.06.2 スロットルコントロールは手で握っていない時に自動的に戻るものでなければならない。
- 59.06.3 電動燃料ポンプはレースでの事故の時に自動的に戻るものでなければならない。車検時にテストできるように電動ポンプの設計にはテスト機能が設けられていなければならない。
- 59.06.4 セーフティ・バー、センターおよびサイド・スタンドは取り外されなくてはならない(固定されたブラケットはそのままなければならない)。
- 59.06.5 すべてのドレーン・プラグは、ワイヤー・ロックされなくてはならない。外部のオイルフィルター・スクリュウおよびボルトでオイルキャピティ(オイルパン)に進入するものは、すべて安全にワイヤー・ロックされなくてはならない。
- 59.06.6 ブリーザー、またはオーバーフロー・パイプが装着される場合、これらはその装着されたパイプの排出口から排出しなくてはならない(事項56.02に基づいて)。オリジナルのクローズド・システムは維持されなくてはならない。直接大気へ排気することは許可されない。(事項59.04.18参照)
- 59.06.7 オイルクーラーは、リヤのマッドガード(フェンダー)の上、又はそれよりも上に設けられてはならない。
- 59.06.8 ヘッドライト、リヤライト、およびウインカーは取り外されなくてはならない。しかし、原則として側面外形は維持されなくてはならない。
- 59.06.9 燃料タンクベンチレーション・パイプは、燃料漏れを防止する装置が取り付けられていなければならない。
- 59.06.10 直径16インチより小さいホイールリムの使用は認められない。
- 59.06.11 すでに取り付けられているストッパーが適当でない場合、メタルステアリングストッパーをフレームに取り付けることが認められる。

59.08 認証の手順

スーパーバイクモーターサイクルには認証が必要とされる。(事項60.08を参照)。明確化のために、もしひとつのモデルが認証され、翌年型のモデルが異なった仕様(例えばキャブレター・サイズ)となった場合、レース用として現行年型のモデルに翌年型のキャブレターを装着することはできない。

01.61 エンデュランス(国際格式)の追加仕様

- 61.01 本来すべてのモーターサイクルには、正常に作動する電装類が完全に装備されていなく

てはならない。フロントのヘッドライトを追加することは許可される。

- 61.02 ライト点灯が要請されるレースにおいては、モーターサイクルに二つの別個のリヤ・ライトと、作動するジェネレーター(最低出力100W)を装備することが義務づけられる。電装類を追加することが許可される。
- 61.03 さらに、後続ライダーの視認性を上げるために、モーターサイクルのリヤに最低面積40cm²の赤い反射面が設けられなくてはならない。
夜間に行なわれるプラクティスおよびレースにおいては、ヘルメット後部および側部に25cm²の赤いステッカーと50cm²の白いステッカーを貼付しなくてはならない。
- 61.04 すべてのモーターサイクルにはスタート装置が装着されていなくてはならない。
- 61.04.10 最大容量と最適ライディング・ポジションを達成するための燃料タンクの改造及びフェューエル・フィルターキャップのみクイック・フィル・タイプに変更することが許可される。(事項51.01.4にも注意)

61.05 車両最低重量

スーパーバイク 167kg (すべての車両)

第18章 FIM 技術仕様 (モトクロス・トライアル)

モトクロス

国際A級部門は下記に示すFIM技術仕様にて開催される。よって下記に示す規則とMFJ基本仕様第8条モトクロス基本仕様に合致していなくてはならない。FIM技術仕様とMFJ基本仕様の間で解釈の違いが生じた場合は、FIM技術仕様を優先する。

FIM 規則01章 モトクロス技術仕様

01 クラス区分

クラス	排気量範囲	最大限気筒数
125	100を越え125以下	1
250	175を越え250以下	—

02 出場車両

- 1) 出場の車両に制限はない
- 2) 車両はMFJ技術規則第8章モトクロス基本仕様に示される、すべての条件に適合していなければならない。

05 重量

車両の最低重量は下記のとおりとする。(半乾燥重量)

クラス	最低重量
80	65kg
125	88kg
250	98kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 1) もしプライマリーチェーンが露出している場合、安全措置としてチェーンガードを装着しなければならない。チェーンガードはいかなる場合においてもライダーがトランスミッションパーツに誤って触れることがないようにガードを取りつけていなければならない。カウンターシャフトスプロケットにもガードが取り付けられていなければならない。

トライアル

国際A級・国際B級部門は下記に示すFIM技術仕様にて開催されるが、下記に示す規則とMFJ技術規則第9条トライアル基本仕様に適合していることとする。FIM規則とMFJ規則が相違する場合は、FIM技術規則を優先する。

FIM 規則01章 トライアル技術仕様

01 クラス区分

国際A級

国際B級

*車両の排気量によるクラス区分は設定されない。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

カウンターシャフト・スプロケットには安全ガードが取り付けられていなければならない。

ドラッグレースの仕様

ドラッグレースの基本仕様

01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、およびホイール・スピンドルの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。チタニウム合金のナットとボルトの使用は許可される。

03 エギゾースト・パイプ

エギゾースト・パイプはリヤホイールの後ろに伸びてはならない。またライダー、燃料タンク、およびタイヤから離れて放出されるようにする。フレキシブル・パイプは許可されない。

04 ハンドルバー

- 1) ハンドルバーの最低幅は、80ccまでのマシンは最低400mm。80ccを越えるマシンは最低450mmとする。500ccを越えるマシンは最低560mmとする。
- 2) ハンドルバーの最低幅はグリップ外側の先端から、反対側のグリップの外側先端までの距離で測定される。
- 3) ハンドルバーの先端が露出される場合は固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされていなければならない。
- 4) ハンドルバーは、標準仕様の位置でなければならない。溶接された鋼鉄またはクロモリ鋼鉄延長ハンドルバーは認める。但し、標準ハンドルバーの位置より100mm以上越えてはならない。
- 5) ハンドルバーの中心線、または中央位置から両側に対する回転角度は最低各15°以上なくてはならない。
- 6) ストリームライニングがある場合、ハンドルバーの位置がどこにあっても、フロント・ホイールがストリームライニングに接触してはならない。
- 7) ライダーの指が挟まれないようにするために、ハンドルを左右いっぱいにも切ってもハンドルバー（レバーを含む）と燃料タンクの間、最低30mmの間隔があるように、ストッパー（ステアリングダンパー以外のもの）を取りつけなくてはならない。
- 8) ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分ができないように丸みをつけて製作しなくてはならない。
- 9) 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

05 コントロールレバー

- 1) すべてのハンドルバー・レバー（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部が丸くなっているなければならない。
- 2) ピボット点からレバーの端（ボール状の先端）まで測った場合のコントロール・レバーの長さは200mmを越えてはならない。
- 3) 各コントロールレバー（ハンドルおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 4) もしブレーキ・レバーがフットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がったり、又は変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

06 スロットルコントロール

- 1) スロットルコントロールは、手を離れた時に自動的に閉じるものでなくてはならない。
- 2) オートマチック・クラッチを用いるモーターサイクルには、パーシナウトの後でアシスタントがマシンをスターティングラインに押して戻す際に、スロットルが開くのを防ぐための安全装置が装着されていなければならない（ツイストグリップ・スリーブとハンドルバーにピンを介入し、目立った飾りふさを装着すれば十分）。

07 フットレスト

- 1) フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならず、さらにフットレストの先端には半径最低8mmの、一体構造のプロテクションが設けられていなくてはならない。
- 2) もしフットレストが折りたたみ式でない場合、及びゴムのカバーを装着していない場合は、その先端を半径最低8mm以上の球形に丸められていなくてはならない。
- 3) フットレストは、前後のホイールの中心を結ぶ線よりも100mm以上、上に設けられていなくてはならない。またリヤ・ホイールの中心を通る垂直線よりも380mm以上前になくてはならない。フットレストはコントロール・ペダルの操作が行いやすい位置にしなくてはならない。

08 ホイール

モーターサイクルにはフロントにモーターサイクル用に製造されたホイールを装備していなければならない。リヤ・ホイールリムの幅はリヤ・タイヤの接地面よりも50mm以上狭くなければならない。

09 タイヤおよびチューブ

タイヤはスリック・タイプまたはトレッドの深さが最低2mmのものとする。トップスピードが200km/hを越えるモーターサイクルの場合、フロント・タイヤは最低“V”レートあるいはロードレース・タイプとする。リヤ・タイヤのチューブは天然ゴム製のレーシングタイプとする。

10 ブレーキ

- 1) モーターサイクルには、各ホイールにひとつずつ、ホイールと同心的に独立して作動する有効なブレーキが装備されていなくてはならない。
- 2) ディスクブレーキの最低直径は175mm、ドラムブレーキの最低直径は、150mmとする。500cc以上のモーターサイクルはフロント及びリアにディスクブレーキを装備していなければならない。フロントシングルディスクは、最低254mm(10インチ)×5mm、フロントダブルディスク

ドラッグレースの基本仕様

は最低203mm(8インチ)×5mm。フロントシングルディスクの場合、リアディスクは、最低254mm(10インチ)×5mm。フロントダブルディスクの場合、リアディスクは、最低216mm(8½インチ)×5mm。ラインロックの使用を認める。

11 フロントフォーク

フロントフォークは油圧タイプとする。フォーク・チューブはトップ・フォーク・クラウンより30mm以上突出してはならない。最低ストロークは、50mmとする。フォークがボトムした状態で、ホイール以外のいかなる部分も路面に接地してはならない。

トップ・フォーク・チューブの最低直径は：

350ccを越え750cc以下 28mm

750ccを越え 32mm

12 最低地上高

ライダーがポジションにつき、正当な空気圧(リヤタイヤ4 PSI(0.3気圧))で、フォークが完全に圧縮された状態での最低地上高は50mmとする。垂直位置からモーターサイクルを左右に12°づつ傾けることが可能でなければならない。これはホイール以外のいかなる部分も路面に接地しない状態で達成されなければならない。

13 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 1) マッドガードはタイヤの両側方に張り出していなくてはならない。
- 2) フロント・マッドガードは、ホイールの周囲を最低100°に渡ってカバーしていなくてはならない。この部分において、下記の角度を守っていればホイール自体がカバーされてもよい。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。マッドガードの后端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は20°を越えてはならない。
- 3) リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°に渡ってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガードの后端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は120°を越えてはならない。
- 4) ストリームライニングがある場合には、マッドガードは必要とされない。ストリームライニングが無い場合にはマッドガードが必要とされる。シートのフェアリングがリヤ・タイヤの外側の垂直接線にまで達している場合には(許容誤差-50mm)、リヤ・マッドガードを装着する必要は無い。

14 ストリームライニング

- 1) ストリームライニングは、ライダーがストリームライニングのパーツを取り外さずにマシンに乗り降り出来るようにできていなければならない。また、ライダーがモーターサイクルを操作するのを妨げてはならない。

15 シート

シートはライダーに安全なライディング・ポジションを提供するように作られ、危険なほど不快であってはならない。最低シート高は500mm(ライダーが乗車してリヤタイヤ0.3気圧において)

16 ナンバープレート

- 1) ナンバープレートは長方形で頑丈な材質でできていなければならない。最低寸法は285mm×235mmとする。
- 2) 水平面から50mm以上カーブしていないプレートは、カバーされたり曲げたりされてはならない。
- 3) ナンバープレートはモーターサイクルの両側に、外に向かって垂直に固定されなくてはならない。ナンバープレートははっきりと見えるように装着され、モーターサイクルのいかなる部分、またはライダーが自分のシートに座った時に身体で隠れてしまわないようにしてはならない。ワイリーバーが付いている車両はワイリーバーに付けることが望ましい。
- 4) 別個のナンバープレートを装着する代わりに、ボディまたはストリームライニングに同寸法のスペースをつや消し色でペイントするか、あるいは固定してもよい。
- 5) 数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に地の色同様につや消して書かなければならない。

数字の最低寸法は下記のとおりとする。

数字の高さ	140mm
数字の幅	80mm
ストローク幅	25mm
数字間のスペース	15mm

- 6) 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線
- 7) 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレート、またはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外されなくてはならない。
- 8) すべてのナンバープレートの周囲には最低50mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されてはならない。この規則に適合していないナンバー・プレートを装着しているモーターサイクルは、車検長に依りレース参加の許可を得ることができない。
- 9) ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。

PB	(プロトックバイク)	黄地に黒文字
SB-EX	(ストックバイクエキスパート)	白地に黒文字
SB	(ストックバイク)	白地に黒文字
MB	(ミッドストックバイク)	白地に黒文字
HD	(ハーレーダビッドソン)	白地に黒文字
CB-I、II	(カスタムプロダクションバイク I、II)	黒字に白文字

17 ウイリーバー

ワイリーバーの装着が強く勧められる。ワイリーバーの長さは、フロントアクスルセンターからワイリーバーアクスルセンターまで最大3.300mm以内である事。金属製のワイリーバー車輪は禁止する。

18 プロテクティブ・カバー

すべてのオープン・トランスミッションにはカバーが設けられ、回転するパーツとの接触が保護される。機械式駆動のコンプレッサーには“ポップ・オフ・バルブ”インテーク・マニフォールドへのゴム製コネクション、または爆発を防ぐための他のデバイスが設けられていなければならない。

19 フュエルタンク及びオイルタンク

- 1) 燃料タンクはフレームに安全に固定されていなければならない。
- 2) すべてのオイルドレーンボルトは確実に固定され、ドリルで穴を開け、ワイヤーで所定の箇所に固定されなければならない。オイル供給パイプは所定の位置に適切にワイヤー止めされなくてはならない。オイル通路に進入する外部オイル・フィルター及びオイル圧力ラインのスクリューやボルトには、安全にワイヤーロックされなければならない。
- 3) 燃料およびオイル・フィルター・キャップ
燃料およびオイル・フィルター・キャップは、閉じた状態で濡れないようになっていなくてはならない。さらにこれらはいかなる場合においても誤って開くことのないように完全にロックされていなくてはならない。

20 燃料システム

すべてのモーターサイクルには、機械的な燃料シャットオフ・バルブが装着されていなければならない。ポンプによって駆動されるフュエル・インジェクション・システムにはエアロクイップまたは同様のハイプレッシャー・チューブがもうけられていなければならない。イグニッションによって停止できないエンジンの場合、すぐに作動する燃料シャット・オフ・バルブがもうけられていなければならない。これはライダーが両手でハンドルを握った状態で操作できなければならない。また、これは、ライダーがモーターサイクルを離れた際にエンジンへの燃料の供給を止めるような構造（どの方向においても作動するように）になっていなければならない。シャットオフバルブはエンジンスタート時に延長された状態で1m以内の長さのコードによって、常にライダーに連結されなくてはならない。

21 キャブレターとフュエル・インジェクション

キャブレターとフュエル・インジェクター・インレットは、バックファイヤーが生じた際に、ライダーが怪我をしないような位置に置かれるか、覆われていなければならない。フュエル・インジェクションには、デュアル・ケーブルのポジティブ・リターン・スロットル（または2本のリターン・スプリング）が必要とされる。

22 キル・スイッチ

モーターサイクルには、ライダーがモーターサイクルのコントロールを失った時に、エンジンへのすべての電源をカットする電気式接触が装備されていなければならない。これはエンジン始動時には常にライダーにコネクトされていなければならない。

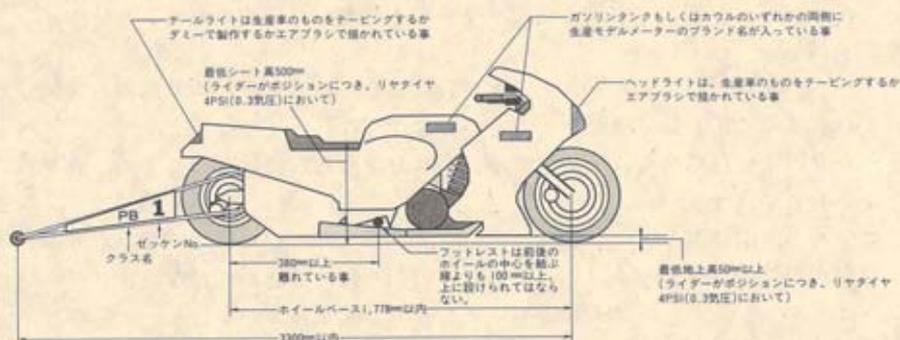
23 オイル・キャッチ・タンク

- 1) オイル・ブリーザー・パイプが装着されている場合、排出口はキャッチ・タンクに放出するようになっていなければならない。（下記の物も安全なようにワイヤー・ロックされていなければならない。リヤ・スプロケット、フロント・アクスル、リヤ・アクスル、ブレーキ・キャリパーのピン、ブレーキ・ディスク、フットブレーキのマスターシリンダー。）
- 2) オイルキャッチタンクはアクシデント発生時でも容易に破損したり脱落せず、かつ高温に耐えられる材質であること。
- 3) キャッチタンクに溜まったオイルはエンジンにもどるリターンパイプを取り付けることが望ましい。……ロードレース基本仕様の図（147頁参照）。

24 チェーン

チェーンはマスターリンクのないクローズド・タイプとする。またはマスターリンクがある場合には安全にワイヤーロックされなくてはならない。

※外観はストック状態を維持すること
(生産モデルの外見と同じ形をしていなければならない。
他のモデルと違ってはならない)



PB(プロストックバイク)クラスの車両規制 (A級・B級)

01 クラス区分

定義：このクラスはストックの外観（メーカーが一般に販売したモーターサイクルをドラッグレース用に改造）でガソリンを燃焼するモーターサイクル用のクラスである。

クラス	ベースエンジン	最大限排気量	最大限気筒数	最大限変速数
プロストックバイク(PB)	ハーレーVツイン	2,294.18cc (140立方インチ)	2	6
	2バルブエンジン	1,507.60cc (92立方インチ)	6	6
	4バルブエンジン	1,294.57cc (79立方インチ)	6	6

03 車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数

04 下記部品は各項の制限内で改造出来る(ドラッグレースの基本仕様 に合致すること)

- 42)(2) リヤホイールは交換出来るが下記制限内とする。
最低直径 15インチ 最大直径 18インチ
- 44)(1) フロントホイールは交換出来るが下記制限内とする。
最低直径 16インチ 最大直径 19インチ
- 50)(1) フレームボディ
修正・変更は認められる。但しキャスター角は最大で40°、シート高は最低50cm (ライダーがポジションにつきリヤタイヤ4 PSI(0.3気圧)において。) ホイールベースは70インチ

ドラッグレースの基本仕様

(1778mm) 以内

51)(1) フロントサスペンション

フロントサスペンションユニットは交換出来る。ただしサスペンションストロークは最低35mm(O.E.M.タイプ)。アフターマーケット製の場合、最低直径34mm。サスペンションストロークは38mm。

52)(1) リヤサスペンション

リヤサスペンションの改造・変更(リジット化含む)は認められる。

54) カウリング

- (1) オートバイ用として生産されていないと認められない。生産モデルの外見と同じ形をしていなければならない。他のモデルと混じってはならない。
- (2) パーツの変更は認められるが生産時の形状を維持しなければならない。カウルの両側にブランド名が入っていること。
- (3) カウルの下部はエキゾーストパイプのクリアランスのために修正及び取り除いてもよい。
- (4) カウルの外側にエアークロスホースの取り付けは認められない。
- (5) ヘッドライト、テールライトはエアブラシ等で描かれていること。

55) シート・シートカウル

改造変更出来るがライダーが後ろに滑るのを防ぐステップがついていることが望ましい。

05 重量

重量、最大排気量

PBクラスの最低重量は下記とする。

ライダーが全装備で乗車した状態で、249.47kg(550ポンド)、ハーレーVツイン272.15kg(600ポンド)。

06 車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 17) 電動式燃料ポンプを装備している場合は、転倒の際にただちに燃料ポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
- 27)(1) エンジンブリーザーのキャッチタンク取り付け(4サイクル車は500cc以上、2サイクルは250cc以上)
- 36) 灯火器のレンズの処置または取り外し
- 40) チェーンガード
リヤアクスルを越えてチェーンの上部をカバーすること。チェーンガードは鋼鉄製または厚さ3.2mm以上のアルミ製のものに限る。固定は3カ所以上とする。
- 53) ステアリング・ダンパーの取り付け
- 56) すべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。
- 61) ウイリーバーの取り付け
フロントアクセルセンターからウイリーバーアクセルセンターまでは最大3,300mm以内である事。金属製のウイリーバー車輪は禁止する。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 23) シフトは手動またはエアシフターとし、コンピュータによるシフトチェンジは禁止する。
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。

- 53) ステアリングダンパーを取りつけた場合ハンドル切れ角のストッパーとしてはならない。
- 58) 燃料はガソリンとし、アルコール燃料は禁止する。燃料に亜酸化窒素、一酸化二窒素の使用は一切認めない。輸入レーシングガソリンの使用は事前に申告し許可を得た場合以外は使用を認めない。

ロードレース ジュニアクラスの仕様

01 クラス区分

カテゴリー	クラス	排気量範囲	最大限気筒数	最大限変速段数
SP (スーパープロダクション)	50	～50以下	1	6
	80	50を越え80以下	1	6
GP	50	～50以下	1	6
	80	50を越え80以下	1	6

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサーまたは一般生産型車両でMFJが公認したもの。または一般生産型車両をベースとしたSP用コンプリートマシンとしてMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則及びロードレース基本仕様（第7章）に示されているすべての条項に適合していること。
- 3) ホイールリム直径が16インチ以上で、80cc以下の二輪車。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、取りはずしをいう)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) シリンダー(スリーブ及びライナーを含む)、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質、鋳造および形状
- 5) クラッチの構造
- 6) エンジン内部の部品の材質及び寸法形状
- 7) 4サイクルエンジンのバルブの径、バルブのリフト量、バルブタイミング及び圧縮比
- 8) 2サイクルエンジンのシリンダー、ピストンに依るポートタイミング、ポートサイズ、一次、二次圧縮比
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き
- 10) 吸入、排気系統のシステム、バルブの数、ポートの数、キャブレターの数
- 11) クランクケースカバー類の材質、鋳造、及び形状
- 12) 2サイクルのシリンダー、4サイクルのシリンダーヘッドのポートの寸法、形状
- 13) クランクシャフトアッセンブリー、ピストンの材質、寸法、形状
- 14) カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリーの材質、形状、

寸法

- 16) キャブレター *ただし04.16)及び08.3)(1)参照
- 17) フュエルタンク
- 22) プライマリーギヤのレシオ、及び寸法形状 *ただし04.22)参照
- 23) ミッションギヤのレシオ、及び寸法形状
- 42) リヤホイール
- 43) リヤブレーキ関係 *ただし04.43)参照
- 44) フロントホイール
- 45) フロントブレーキ関係*ただし04.45)参照
- 48) タイヤ *ただし08.3)(4)参照
- 50) フレームボディ *ただし04.50)参照
- 51) フロントフォーク *ただし04.51)参照
- 52) リヤフォーク、リヤクッション、リヤクッションリンケージ
- 53) ステアリングシステム、トップ、ボトムブリッジ *ただし04.53)参照
- 54) ストリームライニングの形状 *ただし04.54)参照

04 公認車両に対して下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様(第7章)に適合していることを条件とする。

- 16) キャブレターのセッティング、(取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲) エアファンネルの取り付け、または寸法の変更。(キャブ本体を除く)
- 22) クラッチディスクの材質とスプリングの諸元
- 25) スタート装置の取り外し
- 27) エアクリーナーボックスの改造
- 43) リヤブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 45) フロントブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 51) フロントサスペンションセッティングのためのオイル交換、セット荷重調整
- 53) ステアリングダンパーの取り付け
- 54) カウリングの材質(但しカーボン、ケブラー等高価素材は除く)
- 55) シートカウルの形状、材質(但しカーボン、ケブラー等高価素材は除く)
- 59) すべての部品についての調整・仕上げは自由である。
- 60) 不要なステー類のカットは可(但し軽量化目的の材料は除く)

05 重量

クラス	最低限重量
SP 50	77kg
80	79kg
GP 50	77kg
80	79kg

最低限重量は半乾燥重量とする。
半乾燥重量とは走行可能状態からガソリンを抜いた値とする。
分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合 改造変更が義務付けられる

- 16)(1) キャブレターのサイズ(気筒あたりの最大径)

クラス	最大限サイズ
50(SP、GP)	直径18mm相当以下
80(SP、GP)	直径28mm相当以下

ロードレースジュニアの仕様

- (2) 規制を越えるキャブレター装着車は公認キャブで、かつ規制以下のキャブレターに交換すること。
- 17) 電動式フュエルポンプを装着している車両は、転倒時に自動的に停止する装置を備えていること。
- 19) ラジエターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け (250cc以上)
- 27)(1) エンジンブリーザーのキャッチタンクの取り付け (4サイクル車は500cc以上、2サイクルのギヤボックスからのブリーザー250cc以上)
- (2) 4サイクル車のキャッチタンクからのブローバイガスはエンジンに再吸入させること。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け (ハンドルを握って操作可能な位置にとりつけなくてはならない。)
- 36) 灯火器のレンズの処置または取り外し。
- 38) 保安部品の取りはずし (スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類。)
- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造・変更にあたって特殊な材料の使用 (チタン合金、カーボン、ケブラー強化繊維等の高価な材料)
- (カーボンサイレンサーも完全禁止)
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用
- 48) タイヤへの追加加工
- 53) ステアリングダンパーを取りつけた場合、ハンドル切れ角のストッパーとしての使用。
- 58) ガソリンの仕様及び供給方法は制限される。(ガソリン・オイル・クーラントの項139頁参照)

08 MFJへの公認手続、条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること、または市販レーサーとして定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。

	国産車	輸入車
一般生産型車両	500台	25台
市販レーサー	25台	10台

* SPコンプリート車は、ベースとなる車両が公認を取得していること。台数の制限はない。

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヵ月後の同日付きで公認発行する。発売日が会議日以降の場合は発売日の2ヵ月後の同日付け出公認発行とする。但し市販レーサー、SPコンプリート車は各々1ヵ月後とする。
- 3) 申請する車両は以下の仕様に適合していることを条件とする。
- (1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

クラス	最大限サイズ
50(SP, GP)	直径18mm相当以下
80(SP, GP)	直径28mm相当以下

注) キャブレターのサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

- (2) ホイールリムのサイズ
直径は16インチ以上であること。

クラス	最大幅フロント	最大幅フロント
50(SP、GP)	2.15インチ	2.75インチ
80(SP、GP)	2.15インチ	2.75インチ

- (3) タイヤはメーカーのラインで装着されている50/80ccクラスの一般公道用タイヤで、上記リムサイズに適合しているもの。
- (4) 01条のクラス区分内にあること。

09 音量規定

FIM方式で測定し99dB/A以下であること。
レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内にあっては一切の追加工なしで単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められるが、'93年1月1日以降の公認車両同士に限られる。

注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。
(コンプリートマシンのゼース機構の打刻型式に基づき判断される。)

ミニバイクの仕様

01 クラス区分

クラス	排気量範囲	2サイクル	4サイクル	最大限気筒数	最大限変速段数
N5(スクーター50cc一部改造)	50cc以下	○	○	1	6
S5(スポーツバイク50cc一部改造)	50cc以下	○	○	1	6
S8(スポーツバイク80cc一部改造)	50ccを越え80cc以下	○	○	1	6

02 出場車両

- 1) 車両は(市販レーサーを除く)一般生産型車両で、MFJが公認したもの。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更ができない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更または取り外しをいう)

- 1) エンジンの型式。
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク。
- 4) シリンダー(スリーブ及びライナー含む)、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質・鑄造及び形状。
- 5) クラッチの構造(但しディスクの材質とスプリングは除く) -04.22参照。
- 6) エンジン内部の部品の材質。
- 7) 4サイクル車のバルブの径、リフト、タイミング及び圧縮比。
- 8) 2サイクル車のシリンダーピストンに依るポートタイミング、ポートサイズ、一次、二次の圧縮比。
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き。
- 10) 吸入、排気系統のシステム、バルブ数、ポート数、キャブレター数。
- 11) クランクケースカバー類の材質・鑄造および、形状。
- 12) シリンダー、シリンダーヘッド。
- 13) クランクシャフトアッセンブリー、ピストン。
- 14) カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリー。
- 16) キャブレター(メインジェットのみ変更可)。
- 17) フュエルタンク。
- 22) プライマリーギヤ。
- 23) ミッション。
- 27) ブリーザーシステム。

- 42) リヤホイール。
- 43) リヤブレーキ関係。
- 44) フロントホイール。
- 45) フロントブレーキ関係。
- 50) フレームボディ。
- 51) フロントフォーク。
- 52)(1) リヤフォーク。
- (2) リヤサスペンション。
- 53) ステアリングシステムを含むボトムブリッジ、トップブリッジ。
- 54) ストリームライニング。

04 公認車両に対し下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様(第7章)には適合していることを条件とする

- 16)(1) キャブレターのメインジェットの変更は可。
- (2) ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加ができる。
- 30) イグニッションコイル、点火ユニット、リミッターの改造・変更は可。
- 31) プラグの変更は可。
- 36) スピードメーターの取りはずしは可。
- 40) チェーンの変更は可。
- 41) スプロケットの変更は可。
- 48) タイヤ
一般市販され通常ルートで購入出来るもののみ交換は可。ただし、スリックタイヤ(インターメディアイト含む)および摩耗限度を越えたタイヤの使用は禁止。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合 改造・変更が義務づけられる

- 32) エンジンキルスイッチの取り付け(ハンドルを握って操作可能な位置に)
- 36) 灯火器のレンズの処置または取り外し
- 38) 保安部品(スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類)の取り外し
- 56) すべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造・変更にあたって特殊な材料の使用(チタニウム合金、カーボン強化繊維等の高価な材料)
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 48) タイヤへの追加工
- 53) ステアリングダンパーを取りつけた場合、ハンドル切れ角のストッパーとしてはならない。
- 58) ガソリンは通常のスタンドで購入できるか各サーキットのスタンドで購入できるレースガス又はアブガスに限る。

08 MFJへの公認手続き・条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。

ミニバイクの仕様

		国産車	輸入車
一般生産型車両	250cc以下	500台	25台

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヵ月後の同日付けて公認発行。発売日が会議日以降の場合は発売日の2ヵ月後の同日付けて公認発行する。

09 音量規定

FIM方式で測定し99dB/A以下であること。
レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内にあっては一切の追加工なしで部品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められる。
'92年度までに公認を受けた車両は互換性の対象から外される。
('93年1月1日以降の公認車両同士に限られる)

細則 10

MFJ ライセンス 昇格・降格に関する 規則

1 目的

本規則は、(財)日本モーターサイクルスポーツ協会(以下MFJという)が発給管理する競技ライセンスの昇格・降格に関して規定し、モーターサイクル競技の公正を図ることを目的とする。

2 自動昇格

1) 自動昇格とは

- (1) 下記に述べる期間内に規定の得点または順位を得た場合、ライセンスは上位区分に昇格する。自動昇格者にはMFJより昇格が通知される。
- (2) 昇格後のライセンス区分が有効になるのは翌年の1月1日からとする。(’95年の成績で昇格した場合’96年1月1日から有効とする。)

3 ’96年度の自動昇格対象期間

’96年度の自動昇格対象期間は1996年1月1日から1996年10月31日までとする。

4 自動昇格に必要な得点

- 1) 自動昇格に必要な得点(ポイント)は公認競技会の格式別にその成績に応じて下記のように与えられる。(ドラッグレースは別途定める)
- 2) ジュニア部門の公認競技会における得点(ポイント)は競技会の格式にかかわらず下記②その他の公認競技会の得点(ポイント)とする。

①全日本選手権・エリア選手権および地方選手権競技会

順位	得点	25以上	22-24	20-21	18-19	16-17	14-15	12-13	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	不成立
2位	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	
3位	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15		
4位	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13			
5位	11	11	11	11	11	11	11	11	11				
6位	10	10	10	10	10	10	10	10					
7位	9	9	9	9	9	9	9						
8位	8	8	8	8	8								
9位	7	7	7	7									
10位	6	6	6										
11位	5	5											
12位	4	4											
13位	3												
14位	2												
15位	1												

②その他の公認競技会(トライアルは除く)

順位	予定出場台数					
	12以上	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位	10	10	10	10	10	不成立
2位	9	9	9	9	9	
3位	8	8	8	8		
4位	7	7	7	7		
5位	6	6	6			
6位	5	5	5			
7位	4	4				
8位	3	3				
9位	2					
10位	1					

注：出走台数は、そのクラスの決勝レースのスタートラインに並んだ台数とする。ただし、公式予選がある場合は、予選のスタートラインに並んだ総台数とする。

5 ロードレースライセンスの昇格

1) ジュニア→国内

- (1) ジュニアライセンスにて GP50・GP80クラスにて優秀な成績をおさめ昇格を希望するものは、当該シリーズの主催者ならびに所属県協会の推薦を得て申請し MFJ スポーツ委員会にて認められた場合に昇格できる。
- (2) 当該年度に16歳になる者は、自動的にフレッシュマンとなる。
- (3) 昇格した後も16歳に達するまでは参加できるクラスは原則的に下記を上限とする。
GP125、SP250F(この解除を希望する場合は、親権者の承諾書を添えてスポーツ委員会に申請し許可を得ること)

2) フレッシュマン→国内

下記条件のいずれかを満たし申請することにより、国内ライセンスが随時取得できる。

- (1) 公認サーキットでの3時間走行証明を得る(複数のサーキットでの合計は不可)。
※走行証明の有効期間は発行より1年間。
- (2) 承認ロードレース競技会にて6位以内の成績を納めること。(過去2年以内)
- (3) 承認ロードレース競技会にて過去2回以上参加した実績を有する。(過去2年以内)
- (4) 国内ライセンス講習会を受けること。
※講習会終了証の有効期限は6ヶ月。

3) 国内→国際

国内部門から国際部門への昇格

1. 毎年1月～10月に開催された各地方選手権の GP125/250で下記の得点(ポイント)で自動昇格。

(SP250/400にて下記のポイントを得た場合は希望者のみ昇格できる。)

北海道(HSP 選手権、十勝選手権の合計)	60点以上
SUGO 選手権	50点以上
仙台選手権	50点以上
エビス選手権	50点以上
関東選手権(筑波・富士・那須・間瀬)	50点以上
筑波選手権	50点以上
間瀬選手権	60点以上
那須選手権	60点以上
鈴鹿選手権	50点以上
中山選手権	60点以上
西日本選手権(MINE)	50点以上
TI 選手権	60点以上
四国選手権(阿讃)	60点以上
九州選手権(HSR 九州・SPA 直入)	60点以上

2. エリア選手権の GP125/250/スーパーバイクで獲得ポイントが30点以上の者
(SPクラスで30点以上の者は申請により昇格できる)

6 モトクロスライセンスの昇格

1) ジュニア→国内B級

- (1) 公認競技会において各地方で下記に示す得点以上を獲得し、昇格申請を提出した者。(複数のブロックにまたがる得点の合計はしない。)

注：得点は格式にかかわらず細則10・4自動昇格に必要な得点（203頁）に順ずる。（当該年度に16歳になる者は自動的に国内B級となる）

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	20	20	20	20	20	20	20	20

- (2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県協会およびブロックの承認推薦された者で、MFJ スポーツ委員会が承認した者。
- (3) MFJ スポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

2) 国内B級→国内A級

- (1) 公認競技会において各地方で下記の得点を得た者（複数のブロックにまたがる得点の合計はしない。）

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	40	40	30	30	30	40	50	40

- (2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部およびブロックの承認推薦された者で、MFJ スポーツ委員会が承認した者。
- (3) MFJ スポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

3) 国内A級→国際B級

- (1) 公認競技会において各地方で下記の得点を得た者（複数のブロックにまたがる得点の合計はしない）

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	85	85	50	50	50	60	100	60

- (2) 前記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部およびブロックの承認推薦された者で、MFJ スポーツ委員会が承認した者。
- (3) MFJ スポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

4) 国際B級→国際A級

- (1) 全日本選手権ランキングで、各クラス1位から15位にランクされた者。
- (2) 各地方ブロックの地方選手権にてシリーズチャンピオン（250cc、125cc）となり本人が希望し、かつ当該ブロックの許可を得た者。
- (3) MFJ スポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

7 トライアルライセンスの昇格

1) ジュニア→国内A級

- (1) ジュニア部門は国内B級部門との混走が認められ、国内B級とジュニア部門の参加者が合計10名以上の公認競技会において下記成績を得た者。（当該年度に16歳になる者は国内B級となる）

- ① 国内B級・ジュニア部門混走で合計参加者が29名以下の公認競技会で総合優勝した者（国内B級・ジュニア部門が同セクション、同ラップ数で行われた場合のみ）。
- ② 国内B級・ジュニア部門混走で合計参加者が30名以上の公認競技会で総合優勝者および2位の者（国内B級・ジュニア部門が同セクション、同ラップ数で行われた場合のみ）。

- (2) その他、上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部の承認推薦された者で、MFJ スポーツ委員会が承認した者。
- (3) MFJ スポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

2) 国内B級→国内A級

- (1) 国内B級部門参加者10名以上の公認競技会において下記の成績をおさめた者。
- ① 国内B級部門で参加者29名以下の公認競技会において国内B級部門での優勝者（次の大会より国内A部門で出場すること）。
 - ② 国内B級部門で参加者30名以上の公認競技会において国内B級部門での優勝者および2位の2名の者（次の大会より国内A部門で出場すること）。
- ※(1)(2)においてジュニア部門と混走の場合、成績は総合成績とし、人数の繰り上げは認められない。
- (2) その他、上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県協会およびブロック承認された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。
- (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

3) 国内A級→国際B級

- (1) 各ブロックごとの地方選手権（10月31日まで）において、下記の人数で得点上位の成績を得た者。ただし、同点者のある場合は、この人数を超えることができる。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	2	5	15	10	10	6	5	7

- (2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部およびブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。
- (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

4) 国際B級→国際A級

- (1) 全日本選手権ランキングで、1位から8位にランクされた者。ただし、同点者のある場合はこの人数を超えることができる。
- (2) 各地方ブロックの地方選手権にてシリーズチャンピオンとなり、本人が希望し、かつ当該ブロックの許可を得た者。
- (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

8 ドラッグレースライセンスの昇格

1) B級部門→A級部門

- (1) 対象クラス：ストックバイク
- (2) 昇格基準：地方選手権において100ポイント以上の得点を得たもの。

9 自動降格の基準

- 1) ライセンスの更新がなされなかった場合は、その期間によって下表によりライセンス等級が自動降格される。

●自動降格基準表

未更新期間	種目 部門	モトクロス・トライアル				ロードレース
		国内B級	国内A級	国際B級	国際A級	国際
1年		国内B級	国内A級	国際B級	国際A級	国際
2年		//	//	//	//	//
3年		//	国内B級	国内A級	//	//
4年		//	//	国内B級	国際B級	国内
5年		//	//	//	//	//
6年以上		//	//	//	国内A級	//

※ロードレース国内ライセンスについては5年以上の未更新期間がある場合は、MFJ公認サーキットの走行証明が必要。

10 特別昇格およびその手続き

- 1) 昇格基準と同等とみなされる成績を得た者で、昇格を希望する者は、特別昇格の申請ができる。
- 2) 申請は、前年の11月1日から12月31日までMFJ事務局に到着されることを要し、それ以外の申請は受理されない。
- 3) 申請は所定の申請書に必要事項を記入し、所属する県支部およびブロックの承認を得て、MFJ事務局に申請するものとする。
なお、所定の申請書は、県協会またはMFJ事務局に用意されており、請求に応じて送配布される。
- 4) 申請にあたっては、申請書に申請料3,000円を添えて県協会に提出すること。
- 5) 特別昇格についての最終決定はMFJスポーツ委員会の審査結果による。

11 特別降格およびその手続き

- 1) MFJ競技ライセンス資格の降格を希望する者は次の手続きによって申請し、MFJスポーツ委員会の審査によって認められた場合は、降格することができる。
- 2) 前項の申請は、特別降格をしようとする前年の11月1日から12月31日までMFJ事務局に到着されることを要する。申請者の用紙は、県協会又はMFJ事務局に準備され、それに必要事項を記入し申請料3,000円を添えて県協会およびブロック協議会の承認を得、MFJ事務局に申請する。
- 3) 降格承認後は降格が決められた日より、その年度の終了する日まで、再昇格基準が適用される。
- 4) 特別降格についての最終的な決定は、MFJスポーツ委員会の審査結果による。
※特別降格申請は、原則的にそのライセンス区分にて1年以上経過し、得点の得られなかった者のみとする。

12 再昇格基準

ライセンスの降格があった者が、次の基準に適合することとなった場合は、原則としてMFJスポーツ委員会において次の競技会から再昇格することを決定する。再昇格された者は、昇格されたライセンスと引き換えに旧ライセンスを、MFJ事務局に返納しなければならない。(但し、特別降格申請が認められた年度のみ適用する。)

- 1) **ロードレース**
 - (1) 地方選手権以上のシリーズ大会において、原則として優勝した者。
 - (2) 公式記録によるラップタイム等により、MFJスポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。
- 2) **モトクロス**
 - (1) 国際B級部門から国内A級部門に降格した場合は、スポーツ常任委員会にて審議し、承認された者。
 - (2) 国内B級部門に降格した場合は、MFJ公認競技会において優勝した者。
 - (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。
- 3) **トライアル**
 - (1) 国際B級部門に降格した場合、全日本選手権シリーズにおいて優勝した者。
 - (2) 国内A級部門に降格した場合は、地方選手権シリーズにおいて優勝した者。
 - (3) 国内B級部門に降格した場合は、MFJ公認競技会において6位以内に入賞した者。

- (4) その他 MFJ スポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。

附 則

本規則は、1996年1月1日から施行する。

全日本選手権ランキング決定基準

1) 全日本選手権ランキング順位決定方法

全日本選手権ランキングの順位づけは次の方法により決定される。

- (1) 全日本選手権シリーズ大会で得たすべての得点を合計し、総合得点の多い者から順位を決定する。ただし、40点未満のものはチャンピオンとせず、ランキング2位とする。
- (2) 上記1)で同点となった場合、上位入賞回数の多い者が上位となる。
- (3) 上記2)で決定できない場合、前年度のランキング上位のものを上位とする。
- (4) 上記3)で決定できない場合、MFJ スポーツ委員会において最終決定する。

全日本選手権認定表彰式典

全日本選手権ランキング決定基準に基づき決定された、ロードレース、モトクロス、トライアル、ドラッグレース、スノーモビルA級の全日本選手権各クラス上位1位～3位の者は、その榮譽をたたえ、1996年12月14日に開催される'96MFJ全日本選手権ランキング認定表彰式にて表彰される。受賞者は必ず出席しなければいけない。

MFJ 公認クラブ等の 名称に関する規程

この規程は、財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（以下「MFJ」という）に登録するクラブ及び団体（以下「クラブ等」という）の名称の取り扱いに関して規定する。

第1条 クラブ等の登録

クラブ等が、MFJに登録する場合は、5名以上のライセンス（Lライセンスを含む）を取得していなければならない。クラブ等が、公認競技会の主催者となる場合の条件は、別に定める。

第2条 クラブ等の名称の使用

クラブ等の名称は、MFJの承認を受けたものでなければ使用してはならない。
承認の申請は、MFJに行なわなければならない。

第3条 使用してはならない名称

次の各項に掲げる名称については承認されない。

1. 国際モーターサイクルリスト連盟（FIM）及びFIM加盟の各国モーターサイクルリスト連盟（各国モーターサイクル協会）の名称及びその略称。
2. MFJに既に登録されているクラブ等の名称及びその略称、ただし、当該クラブ等の同系列であり、地名等を付し、かつ、名称に関する権利保有者の名称使用についての同意書を得た場合はこの限りでない。
3. 著名な商品名、会社名及びこれに類似する名称。ただし、当該関係会社（二輪車メーカーを除く）と同系列等直接又は間接に関係があり、かつ名称使用の同意書がある場合はこの限りでない。
4. 連盟（Federation）、協会（Association）、組合（Union）など、および同義語など。
5. 日本、国際、アジア、極東、ナショナル、ロイヤル、インペリアル、太平洋などの誇大にわたる名称及びこれとの同意義語。

第4条 その他承認されない名称

新規登録の場合、第2条の各項に該当する以外の名称であっても、公序良俗に反するか、または社会通念上奇異に感じられる名称並びに実質と内容が伴わない名称については、MFJスポーツ委員会において審査し、却下しまたは変更を求めることがある。

更新登録の場合において、その名実が相反することとなった場合は、改称を求めることがある。

第5条 使用の文字

クラブ等の名称は、漢字、片仮名、平仮名および数字のいずれかをを用いた組合せによって表示

されなければならない。略称は、ローマ字で示すこととする。ただし地名を付記するものはこの限りではない。

第6条

クラブ等が新規に登録する際、必要により当該クラブ等に対しその名称の由来について、説明書の添付を求めることがある。

第7条 名称の変更

MFJに既に登録されたクラブ等の名称変更の申請がなされたときは、これを審査し、この規定の趣旨に反しないと認めた場合は、これを承認することとする。

第8条 附 則

本規定は、昭和61年2月20日から施行する。本規定施行の際、既に承認されているクラブ等の名称は、この規定の趣旨に反しない限りはなお従前の例による。

MFJ 共済会制度

種 目	MFJ 共済会掛金 (1名1大会)	共済会見舞金支払額		請求のために必要な書類
		最高限度額 (死亡、後遺症100%)	共済会見舞金支払額	
ロードレース SP、GP、SB、ノーマル車、シン グル・ツイン、クラシック、 S50、S80等のロードレース	全日本 4,500円 4,000円	MFJ 共済会見舞金 1,000万円 (MFJ が契約した傷 害保険含む)	MFJ 共済会見舞金 A 通院実日数(ギプス等 の固定期間および通 勤、通学、就業が不可 能として診断された 日数含む)×1,000円 B 入院実日数×1,500円 C 診断書作成補助金 5,000円	○MFJ 共済会見舞金請 求書 (様式9) ○完治したときの医師の 診断書 (様式10) 死亡、後遺症の場合は、 上記、様式9のほかに 傷害保険請求用紙(三 井海上)等の各種書類 が必要となります。
サイドカー (パッセージャー分含む)	2,000円			
ミニロードレース (GP50、GP80、SP50、SP80に限る)	2,000円			
ドラッグレース	2,000円			
モトクロス (市販車、レーサー125cc以上)	1,500円			
ミニモトクロス (80cc以下)	500円			
トライアル	300円			
ミニバイクレース	500円			
エンデュロ	1,000円			
ジムカーナ	500円			
スノーモビル	500円			
ツーリング・ラリー	500円			
ロードレースライセンス講習会 (ライセンス保持者のレーシングスクール含む)	1,000円			
モトクロスライセンス講習会 (ライセンス保持者のレーシングスクール含む)	500円			
トライアルライセンス講習会 (ライセンス保持者のテクニカルスクール含む)	300円			
スノーモビルライセンス講習会	500円			
ミニバイク講習会	500円			
ロードレース競技役員講習会	200円			
モトクロス競技役員講習会	200円			
トライアル競技役員講習会	200円			
ビッドクルー	年間 500円			

☆見舞金の支払われる期間は、受傷日から最高180日間以内の入院および通院の実日数分となります。

☆見舞金の請求期限は、受傷日より一年以内です。一年以上経過しますとその請求権は無効となります。

☆見舞金の支払われる適用範囲は、公認または承認された当該競技会の公式日程期間(主催者が申請した大会期間)で、かつ競技監督の統轄下において行われた競技中、または公式練習中に発生した事故とする(車サーキットが行う特別スポーツ走行時の事故は、見舞金の請求は出来ません)。

☆同一大会で二種目以上出場する場合は、掛金の高い種目が適用されます。

☆MFJ 共済会は治療費の支払いはありません。

☆死亡、後遺症見舞金を受ける場合は、入院見舞金および診断書作成補助金は受けられません。

☆死亡見舞金の請求者は、法定相続人に限られます。

☆競技役員、講師の共済会見舞金は別に定める MFJ 共済会制度によります。

共済会見舞金請求の手続きは…

1. まず主催者に連絡

負傷したその日に主催者に連絡してください。万一その日に連絡できない場合は、負傷日より2日後までにご連絡ください。なお、連絡がない場合は、見舞金が支払われませんのでご注意ください。

2. 大会主催者から MFJ 共済会 見舞金請求書(様式9)と 診断書書式(様式10)をもらう

ケガをした大会の主催者または MFJ に、MFJ 共済会見舞金請求書(様式9)と MFJ 共済会指定の診断書書式(様式10)を請求してください。

3. 請求先は主催事務局

請求書中に必要な事項を記入し、治療先の医師に診断書の記入を依頼してください。書類は一括して負傷者本人(代理人でもよい)が主催者事務局長宛に請求してください。見舞金は書類に不備のない場合に限り、2ヶ月以内に指定口座に振り込まれます。



付
録

MFJ公認車両

★は公認が継続された車輛

('95年12月15日現在)

■本田技研工業株式会社 〒107 東京都港区南青山2-1-1 ☎03-3423-1111

●一般市販車 (オンロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
CB400 SUPER FOUR	NC31	NC23E	399	55.0×42.0	'92.7.12	○					
CBR600F	PC25	PC25E	599	65.0×45.2	'92.11.1	○					
★VFR750R (初回公認 '87年)	RC30	RC07E	748	70.0×48.6	'93.1.26	○	○				
★VFR400 (初回公認 '88年)	NC30	NC13E	399	55.0×42.0	'93.11.23	○					
★NSR250RSP (初回公認 '88年)	MC18	MC16E	249	54.0×54.5	'93.11.23	○					
★CBR250R (初回公認 '88年)	MC19	MC14E	249	48.5×33.8	'93.11.23	○					
NSR250R	MC28	MC16E	249	54.0×54.5	'94.1.10	○					
NSR250R SE	MC28	MC16E	249	54.0×54.5	'94.1.10	○					
NSR250R SP	MC28	MC16E	249	54.0×54.5	'94.2.10	○					
CBR400RR	NC29	NC23E	399	55.0×42.0	'94.2.28	○					
RVF/RC45	RC45	RC45E	749	72.0×46.0	'94.3.25	○	○				
RVF	NC35	NC13E	399	55.0×42.0	'94.3.25	○					
NSI	AC12	AC08E	49	39.0×41.4	'94.5.22	○					
CB400SUPERFOUR	NC31	NC23E	399	55.0×42.0	'94.5.22	○					
NSR50	AC10	AC08E	49	39.0×41.4	'94.5.22	○					

●一般市販車 (オフロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
★TLR250R (初回公認 '86年)	MD18	MD18E	244	72.0×60.0	'93.1.26					○	
★TLM200R (初回公認 '87年)	MD15	MD15E	193	67.0×55.0	'93.1.26					○	
XLR200R	MD29	MD29E	196.0	63.5×62.2	'93.10.24						
XLR125R	JD16	JD09E	124.0	56.5×49.5	'93.10.24						
★TLM220R (初回公認 '88年)	MD23	MD23E	216	69.0×58.0	'93.11.23						
CRM250	MD24	MD24E	246	66.0×72.0	'94.5.22						

●スポーツ専用市販車 (モトクロス)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
CR125R	JED1	JED1E	124.8	54.0×54.5	'92.9.20				○		
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'92.9.20				○		
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'93.9.24				○		
CR125R	JED1	JED1E	124.8	54.0×54.5	'93.9.24				○		
CR80R	HE01	HE01E	79.4	46.0×47.8	'93.9.24				○		
★CR125R (初回公認 '88年)	JED1	JED1E	124.8	54.0×54.5	'93.10.26				○		
★CR250R (初回公認 '88年)	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'93.10.26				○		
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'94.9.23				○		
CR125R	JED1	JED1E	124.8	54.0×54.5	'94.9.23				○		
★XR250R	ME06	ME06E	249	73.0×59.5	'95.7.25				○		
XR250R	ME08	ME08E	249	73.0×59.5	'95.8.25				○		
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'95.9.22				○		
CR125R	JED1	JED1E	124.8	54.0×54.5	'95.9.22				○		
CR80R	HE04	HE04	79.4	46.0×47.8	'95.11.24				○		
CR80R2	HE04	HE04	79.4	46.0×47.8	'95.11.24				○		

■株ホンダレーシング 〒351 埼玉県朝霞市泉水3-15-1 ☎048-461-9511

●スポーツ専用市販車 (ロードレーサー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
'92RS125R	RS125RF	RS125RE	124	54.0×54.5	'92.2.1				○		
'93RS250R	RS250RF	RS250RE	249	54.0×54.5	'92.12.1				○		
'93RS125R	RS125RF	RS125RE	124	54.0×54.5	'93.1.1				○		
★'87RS250R (初回公認 '86年)	RS250RF	RS250RE	249.0	54.0×54.5	'93.3.23				○		
★'87RS125R (初回公認 '86年)	RS125RF	RS125RE	124.0	54.0×54.5	'93.3.23				○		
★'88RS125R (初回公認 '87年)	RS125RF	RS125RE	124.0	54.0×54.5	'93.3.23				○		
'94RS125R	RS125RF	RS125RE	124.0	54.0×54.5	'93.12.1				○		
'94RS250R	RS250RF	RS250RE	249.0	54.0×54.5	'94.1.1				○		
★'89RS250R (初回公認 '88年)	RS250SF	RS250RE	249.0	54.0×54.5	'94.1.25				○		
★'89RS125R (初回公認 '89年)	RS125RF	RS125RE	124.0	54.0×54.5	'94.1.25				○		
★'88RS250R (初回公認 '88年)	RS250RF	RS250RE	249.0	54.0×54.5	'94.1.25				○		
★'90RS250R (初回公認 '89年)	RS250RF	RS250RE	249.0	54.0×54.5	'94.1.25				○		
★'90RS125R (初回公認 '89年)	RS125RF	RS125RE	124.0	54.0×54.5	'94.1.25				○		
'95RS125R	JR01	JR01E	124.0	54.0×54.5	'94.11.1				○		
'95RS250R	MR01	MR01E	249.0	54.0×54.5	'94.12.1				○		
★'91-RS250R	RS250RF	RS250RE	249.0	54.0×54.5	'95.1.24				○		
★'90-NSR250RK	NH3F	NH3E	249	54.0×54.5	'95.1.24				○		
'96RS125R	JR01	JR01E	124	54.0×54.5	'95.11.1				○		
'96RS250R	MR01	MR01E	249	54.0×54.5	'95.12.1				○		

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
*85RTL250S (初回公認 '84年)	RTL250SF		249.0	70.0×64.9	'93. 3. 23					○	
*86RTL250S (初回公認 '86年)	RTL250SF		249.0	70.0×64.9	'93. 3. 23					○	
*87RTL250S (初回公認 '86年)	RTL250SF	RTL250E	249.0	70.0×64.9	'93. 3. 23					○	
*86TLM240R (初回公認 '85年)	TLM240F		236.0	72.0×58.0	'93. 3. 23					○	
*87TLM240R (初回公認 '86年)	TLM240F		236.0	72.0×58.0	'93. 3. 23					○	
*84TLR260	TLR260F	TLRE	261.0	71.0×66.0	'94. 1. 1					○	
*88TLM250R (初回公認 '88年)	TLM250F		249.0	74.0×58.0	'94. 1. 25					○	
*88RTL250S (初回公認 '88年)	RTL250SF		249.0	70.0×64.9	'94. 1. 25					○	
*89TLM250R (初回公認 '88年)	TLM250F		249.0	74.0×58.0	'94. 1. 25					○	
*89RTL250S (初回公認 '88年)	RTL250SF		249.0	70.0×64.9	'94. 1. 25					○	
*91TLR260	TLR260F	TLRE	261.0	71.0×66.0	'95. 1. 1					○	
*91TLM260R (初回公認 '90年)	TLM260RF	NNI	256.2	75.0×58.0	'95. 1. 24					○	
*90TLM260R (初回公認 '90年)	TLM260RF	NNI	256.2	75.0×58.0	'95. 1. 24					○	

■ヤマハ発動機株式会社 〒438 静岡県磐田市新貝2500 ☎0538-37-4111

●一般市販車 (オンロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
TZR250SP	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'92. 2. 20	○					
TZR50	3TU	3TU	49	40.0×39.7	'92. 4. 10	○		○			
TZR250R	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'92. 4. 8	○					
TDM850	4EP	4EP	849	89.5×67.5	'92. 6. 7						
TZR250RS	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'92. 7. 5	○					
FZR250R	3LN	3LN	249.7	48.0×34.5	'93. 4. 10	○					
TZR250R	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'93. 4. 25	○					
YZF750SP	4JD	4JD	749	72.0×46.0	'93. 5. 5		○				
SR500	1JN	2J2	499	87.0×84.0	'93. 4. 25						
R1-Z	3XC	3XC	249	56.4×50.0	'93. 2. 24						
SR400	1JR	2H6	399	87.0×67.2	'93. 4. 25	○					
TZR50R	4EU	4EU	49	40.0×39.7	'93. 5. 10	○					
*FZR400R (初回公認 '87年)	1WG	1WG	399	56.0×40.5	'93. 2. 23	○					
XJR400	4HM	4HM	399	55.0×42.0	'93. 5. 27	○					
SRV250	4DN	4DN	248	49.0×66.0	'93. 6. 27	○					
SRV250	4DN	4DN	248	49.0×66.0	'93. 7. 22	○					
SRV250S	4DN	4DN	248	49.0×66.0	'93. 7. 22	○					
TZR250RSP	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'93. 2. 15	○					
FZR400RRSP	3TJ	1WG	399	56.0×40.5	'93. 2. 8	○					
TZR250RS	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'93. 3. 8	○					
TZR250R SP	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'94. 2. 15	○					
TZR250RS	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'94. 3. 12	○					
TZM50R	4KJ	4EU	49	40.0×39.7	'94. 4. 26	○					
XJR1200	4KG	4CC	1188	77.0×63.8	'94. 5. 4						
*TZR125 (初回公認 '88年)	2UT	2RM	124	56.4×50.0	'94. 4. 26	○					
*TZR125 (初回公認 '87年)	2RM	2RM	124	56.4×50.0	'94. 4. 26	○					
XJR400S	4HM	4HM	399	55.0×42.0	'94. 8. 28	○					
*FZR750R	3FV	3FV	749	72.0×46.0	'95. 1. 24	○	○				
TZR250SPR	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'95. 2. 15	○		○			
YZF750SP	4JD	4JD	749	72.0×46.0	'95. 3. 9	○	○				
TZR50R	4EU	4EU	49	40.0×39.7	'95. 4. 1	○					
TRX850	4NX	4NX	849	89.5×67.5	'95. 5. 1		○				
XJR1200	4KG	4CC	1188	77.0×63.8	'95. 5. 1						
XJR400	4HM	4HM	399	55.0×42.0	'95. 5. 10	○					
XJR400R	4HM	4HM	399	55.0×42.0	'95. 4. 28	○					

●一般市販車 (オフロード)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
XT225	1KH	1KH	223	70.0×58.0	'92. 7. 16					○	
XT400E	4DW	5Y7	399	87.0×67.2	'92. 11. 1					○	
TT250R	4GY	4GY	249	73.0×59.6	'93. 5. 24						
XT225W	4JG	1KH	223	70.0×58.0	'93. 8. 11						
TT250Raid	4GY	4GY	249	73.0×59.6	'94. 5. 28						
TY250ZS	4ML	4ML	249	74.0×58.0	'95. 2. 1					○	
XT225W	4JG	1KH	223	70.0×58.0	'95. 4. 1						
TT250R	4GY	4GY	249	72.0×59.6	'95. 5. 1						
TT250RRaid	4GY	4GY	249	72.0×59.6	'95. 6. 1						

●スポーツ専用市販車 (ロードレーサー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
TZ250	4DP	4DP	249	56.0×50.7	'92. 1. 20				○		
TZ50	3XM	3XM	49	40.0×39.7	'92. 4. 1	○					
TZ250	4DP	4DP	249	56.0×50.7	'92. 12. 14				○		
TZ125	4JT	4JT	124	56.0×50.7	'93. 11. 9				○		

TZ250	4DT	4DT	249	56.0×50.7	'93.12.15						○			
TZ125	4JT	4JT	124	56.0×50.7	'94.12.20						○			
TZ250	4DP	4DP	249	56.0×50.7	'95.1.5						○			
★ TZ250 (初回公認 '89年)	3TC	3TC	249	56.0×50.7	'95.1.24						○			
TZ125	4JT	4JT	124	56.0×50.7	'95.10.26						○			
TZ250	4TW	4TW	249	56.0×50.7	'95.11.24						○			

●スポーツ専用市販車 (モトクロス)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED			
YZ250	4DA	4DA	249	68.0×68.8	'92.9.20						○			
WR250Z	4DC	4DC	249	68.0×68.8	'92.2.14						○			
YZ250	4EW	4EW	249	68.0×68.8	'92.9.27						○			
YZ80	4GT	4GT	79	46.0×47.8	'92.11.13						○			
YZ125	4EX	4EX	124	56.0×50.7	'92.11.13						○			
YZ250	4JX	4JX	249	68.0×68.8	'93.9.7						○			
YZ80LW	4LB	4LB	79.4	46.0×47.8	'93.10.10						○			
WR250Z	4JW	4JW	249	68.0×68.8	'93.11.13						○			
YZ125	4JY	4JY	124	54.0×54.5	'93.11.4						○			
YZ125	4PE	4PE	124	54.0×54.5	'94.9.10						○			
YZ80LW	4LB	4LB	79.4	46.0×47.8	'94.9.1						○			
YZ250	4MX	4MX	249	68.0×68.8	'94.10.20						○			
WR250Z	4JW	4JW	249	68.0×68.8	'94.11.1						○			
★ YZ250 (初回公認 '88年)	3JE	3JE	246	68.0×68.0	'95.2.28						○			
YZ80	4GT	4GT	79.4	46.0×47.8	'95.8.20						○			
YZ125	4SS	4SS	124	54.0×54.5	'95.9.1						○			
YZ250	4SR	4SR	249	68.0×68.8	'95.9.25						○			

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED			
TY250Z	4GG	4GG	249	74.0×58.0	'93.1.15						○			
TY250Z	4GG	4GG	249	74.0×58.0	'94.1.6						○			
TY250Z	4GG	4GG	249	74.0×58.0	'94.1.15						○			
TY250Z	4GG	4GG	249	74.0×58.0	'95.1.15						○			

■ズキ株 〒432-91 静岡県浜松市高塚町300 ☎053-440-2376

●一般市販車 (オンロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED			
ウルフ125	NF13A	F116	124	56.0×50.6	'92.3.9	○								
RG125I	NF13A	F116	124	56.0×50.6	'92.3.9	○								
グース250	NJ46A	J422	249	73.0×59.6	'92.3.28	○								
グース350	NK42A	K406	348	79.0×71.2	'92.3.9	○								
GSX-R750	GR7BC	R722	749.68	70.0×48.7	'92.3.22	○	○							
GSX-R400RSP	GK76A	K709	397.820	56.0×40.4	'93.3.29	○								
RGV250I SP	VJ22A	J206	249.13	56.0×50.6	'93.2.22	○								
GSX-R750 SP	GR7BC	R722	794	70.0×48.7	'94.5.23	○	○							
★ RGV250I SP (初回公認 '90年)	VJ22A	J206	249.2	56.0×50.6	'95.5.23	○								
★ GSX-R400RSP (初回公認 '90年)	GK76A	K709	398	56.0×40.4	'95.5.23	○								

●一般市販車 (オフロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED			
RMX250S	SJ13A	J113	249.6	67.0×70.8	'92.7.28						○			
RMX250	PJ12A	J112	249.6	67.0×70.8	'92.10.10						○			
RMX250S	SJ13A	R722	249.6	67.0×70.8	'92.6.26						○			

●スポーツ専用市販車 (モトクロス)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED			
RM80	RC12A	C114	79.5	46.5×46.8	'92.7.15						○			
RM125	RF14A	F114	124.8	54.0×54.5	'92.7.25						○			
RM250	RJ16A	J110	249.6	67.0×70.8	'92.7.15						○			
RMX250	PJ12A	J112	249.6	67.0×70.8	'92.10.10						○			
RM250R	RJ16A	J114	249.6	67.0×70.8	'93.8.27						○			
RM125R	RF14A	F114	124.8	54.0×54.5	'93.8.27						○			
RM80XR	RC12A	C114	79.5	46.5×46.8	'93.8.27						○			
DR350R	JS1DK41A	K404	349	79.0×71.2	'93.8.30						○			
RM80 Large-Wheel	RC12A	C114	79.5	46.5×46.8	'94.2.25						○			
RMX250	PJ12A	J112	249.6	67.0×70.8	'94.3.22						○			
RM250S	RJ16A	J114	249.6	67.0×70.8	'94.7.28						○			
RM125S	RF14A	F114	124.8	54.0×54.5	'94.7.28						○			
RM80ラージホイール仕様	RC12B	C114	79.5	46.5×46.8	'94.12.22						○			
RMX250	PJ12A	J112	249.6	67.0×70.3	'95.3.28						○			
RM80ラージホイール仕様	RC12B	C114	79.5	46.5×46.8	'95.6.23						○			
RM125	RF15A	F114	124.8	54.0×54.5	'95.8.27						○			
RM250	RJ17A	J115	249.3	66.4×72.0	'95.10.28						○			

■川崎重工業株式会社 〒673 兵庫県明石市川崎町1-1 ☎078-921-1317

●一般市販車 (オンロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
XANTHUS	ZR400D	ZX400GE	398	57.0×39.0	'92.10.4						
ZXR250	ZX250C	ZX250CE	249	49.0×33.1	'93.4.1	○					
ZXR400	ZX400L	ZX400GE	398	57.0×39.0	'93.4.1	○					
ZXR400R	ZX400L	ZX400GE	398	57.0×39.0	'93.4.1	○					
ZXR750	ZX750J	ZX750JE	749	71.0×47.3	'93.4.15	○					
XANTHUS	ZR400C	ZX400GE	398	57.0×39.0	'93.2.27	○					
BALJUS ('91年3月発売)	ZR250A	ZX250CE	249	49.0×33.1	'93.6.27						
BALJUS ('93年2月発売)	ZR250A	ZX250CE	249	49.0×33.1	'93.6.27	○					
ZEPHYR	ZR400C	ZR400AE	399	55.0×42.0	'93.6.27	○					
ZXR750R	ZX750J	ZX750JE	749	71.0×47.3	'94.2.28	○	○				
ZRX	ZR400E	ZX400KE	399	57.5×38.5	'94.4.25	○					
★ Zx-4 (初回公認 '88年)	ZX400G	ZX400GE	398	57.0×39.0	'94.2.22	○					
★ KR-1 (初回公認 '88年)	KR250B	KR250BE	249	56.0×50.6	'94.2.22	○					
★ ZXR750 (初回公認 '89年)	ZX750H	ZX750FE	748	68.0×51.5	'94.11.22	○	○				
★ ZXR400R (初回公認 '89年)	ZX400H	ZX400GE	398	57.0×39.0	'94.11.22	○					
★ ZXR400 (初回公認 '89年)	ZX400H	ZX400GE	398	57.0×39.0	'94.11.22	○					
★ ZXR250R (初回公認 '89年)	ZX250A	ZX250AE	249	48.0×34.5	'94.11.22	○					
★ ZXR250 (初回公認 '89年)	ZX250A	ZX250AE	249	48.0×34.5	'94.11.22	○					
★ KR-1R (初回公認 '89年)	KR250C	KR250BE	249	56.0×50.6	'94.11.22	○					
★ KR-1S (初回公認 '89年)	KR250C	KR250BE	249	56.0×50.6	'94.11.22	○					
ZXR-II	ZR400E	ZX400KE	399	57.5×38.5	'95.3.24	○					
GPZ1100	ZXT10E	ZXT10CE	1052	76.0×58.0	'95.5.28						

●一般市販車 (オフロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
KLE250 ANHELO	LE250A	EX250AE	248	62.0×41.2	'93.6.27						
KLX250SR	LX250E	LX250DE	249	72.0×61.2	'93.6.27				○		
KLX250ES	LX250E	LX250DE	249	72.0×61.2	'94.5.22				○		
KDX220SR	DX220B	DX220AE	216	69.0×58.0	'94.6.26				○		

●スポーツ専用市販車 (モトクロス)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
KX250	KX250J	KX250JE	249	66.4×72.0	'92.9.4				○		
KX125	KX125J	KX125JE	124	54.0×45.5	'92.9.4				○		
KX80	KX080S	KX080SE	79	47.0×45.8	'92.9.4				○		
KX80-II	KX080V	KX080SE	79	47.0×45.8	'92.9.4				○		
KX60	KX060B	KX060BE	60	43.0×41.6	'92.9.4				○		
KX250	KX250K	KX250KE	249	66.4×72.0	'93.8.27				○		
KX125	KX125K	KX125KE	124	54.0×45.5	'93.8.27				○		
KLX250R	LX250D	LX250DE	249	72.0×61.2	'93.5.27				○		
KX80	KX080S	KX080SE	79	47.0×45.8	'93.8.27				○		
KX80-II	KX080V	KX080SE	79	47.0×45.8	'93.8.27				○		
KX60	KX060B	KX060BE	60	43.0×41.6	'93.8.27				○		
KDX220R	DX220A	DX220AE	216	69.0×58.0	'94.5.26				○		
★ KX250 (初回公認 '87年)	KX250F	KX250FE	249	64.7×70.0	'94.4.26				○		
KX250	KX250K	KX250KE	249.3	66.4×72.0	'94.8.20				○		
KX125	KX125K	KX125KE	124.8	54.0×45.5	'94.8.20				○		
KX80	KX080S	KX080SE	79	47.0×45.8	'94.9.10				○		
KX80-II	KX080V	KX080SE	79	47.0×45.8	'94.9.10				○		
KX60	KX060B	KX060BE	60	43.0×41.6	'94.9.10				○		
KX250	KX250K	KX250KE	249.3	66.4×72.0	'95.8.20				○		
KX125	KX125K	KX125KE	124.8	54.0×45.5	'95.8.20				○		
KX80	KX080S	KX080SE	79	47.0×45.8	'95.9.10				○		
KX80-II	KX080V	KX080SE	79	47.0×45.8	'95.9.10				○		
KX60	KX060B	KX060BE	60	43.0×41.6	'95.9.10				○		

■株式会社ファンティックジャパン 〒240-01 神奈川県三浦郡葉山町長柄512-1 ☎0468-76-2677

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
FANTIC K-R00	361	FM361	123.7	52.8×56.5	'92.4.3					○	
FANTIC K-R00	363	FM363	212	69.0×56.5	'92.4.3					○	
FANTIC K-R00	364	FM364	249.4	74.0×58.0	'92.4.3					○	
FANTIC K-R00	364	FM364	249.4	74.0×58.0	'93.4.3					○	

■株式会社オオタニモータープロダクト 〒171 東京都板橋区上板橋3-12-4 ☎03-3934-6666

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
FANTIC K-R00	364	FM364	249.4	74.0×58.0	'94.4.22					○	

■株カスノモーターサイクル 〒612 京都府京都市伏見区下鳥羽円面田町95 ☎075-622-0225

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
ファンティックセクション249R	FM364	FM364	249.4	74.0×58.0	'95. 3.28					○	

■ボスコ・モト 〒562 大阪府箕面市外院3-1-6 ☎0727-29-3365

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
アブリーア クライマー280	HE型	ROTAX244	276.6	76.0×61.0	'92. 4. 3					○	
アブリーア クライマー240	HE型	ROTAX244	276.6	76.0×61.0	'92. 4. 3					○	
アブリーア クライマー240	HE型	ROTAX244	238.2	70.5×61.0	'93. 3.23					○	
アブリーア クライマー280	HE型	ROTAX244	276.6	76.0×61.0	'93. 3.23					○	

■南モリワキエンジニアリング 〒513 三重県鈴鹿市南玉垣町6477-1 ☎0593-82-4501

●スポーツ専用市販車 (ロードレーサー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
MORIWAKI MH80R	MH80RF	HE04E	79.4	46.0×47.8	'92. 2.25				○		

■株レイズ 〒577 大阪府東大阪市長田西5-80 ☎06-746-1010

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
BETA ZERO	BETA B4	BETA6300	239.2	72.8×57.5	'92. 3. 4					○	
BETA SYNT240	BETA B4	BETA6300	239.2	72.8×57.5	'92. 8. 7					○	
BETA ZERO125	BETA B1	BETA6300	123.6	54.0×54.0	'92. 8. 7					○	
BETA Super Trial50	BETA T3	BETA4M	49.86	40.0×39.7	'92. 8. 7					○	
BETA SYNT240	B4	6300	239.2	72.8×57.5	'93. 3.23					○	
BETA ZERO240	B4	6300	239.2	72.8×57.5	'93. 3.23					○	
BETA ZERO260	B4	6300	260.7	76.0×57.5	'93. 3.23					○	
BETA TECHNO250	BETA B4	BETA6300	247.7	72.5×60.0	'94. 1.28					○	
BETA SYNT125	BETA B5	BETA6300	123.6	54.0×54.0	'94. 5.26					○	
BETA TECHNO250	BETA B6	BETA6605	247.5	72.5×60.0	'94.12.22					○	
BETA TECHNO125	BETA B5	BETA6300	123.6	54×54	'95. 5.25					○	

■株亜路欧 〒154 東京都世田谷区太子堂2-7-1 ☎03-3419-6053

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
GAS-GAS TRIAL125AG	VTR GC		124.8	56.0×50.0	'92. 4. 3					○	
GAS-GAS CONTACTGT-25	VTRG-G		237.9	71.0×60.0	'92. 5.10					○	
GAS-GAS CONTACTGT12	VTRG-G		123.2	56.0×50.0	'92.11. 6					○	
GAS-GAS CONTACTGT16	VTRG-G		141.4	60.0×50.0	'92.11. 6					○	
GAS-GAS CONTACT T-25	VTR GG		237.9	71.0×60.0	'93. 3.23					○	
GAS-GAS CONTACT JT25	VTR GG		237.9	71.0×60.0	'94. 2.25					○	
GASGAS CONTACT JT25Cino	VTRGG		237.9	71.0×60.0	'95. 3.28					○	
GASGAS CONTACT JT16	VTRGG		143.1	60.0×50.6	'95. 3.28					○	

■株サイクルワールド 〒673 兵庫県神戸市西区森友4-13 ☎078-928-6644

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
MONTEGA COTA-311	VTDNTO2AOMM		237	71.0×60.0	'92. 7. 2					○	

■南アルプスヴァン 〒407-02 山梨県韭崎市穴山町7804 ☎0551-23-2658

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
スコルパワークス294	ST	376	272	72.0×68.0	'94. 7.28					○	
スコルパワークス295	SC29	376	249.7	68.9×67.0	'95. 7.27					○	

■ヤマハオートセンター(株) 〒444 愛知県岡崎市大平町字市木28 ☎0564-24-5312

●一般市販車 (オンロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
ベルガルダヤマハTZR125RR	4DL	4DL	124.8	56.0×50.68	'94. 9.26		○				

MFJ公認部品

(*95年12月15日現在)

●株菅生RC・SUGO 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111

部品名	型式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
FZR750Rクロスミッション	3FV-RM	FZR750R	'92. 4. 3	○			
YZF750SPフロントフォークセット	4FN-70-FF	YZF750SP	'93. 4. 23				
YZF750SPクロスミッションASSY	4FN-00-SCM	YZF750SP	'93. 4. 23				
FZR400RRSPフロントフォークセット	3TJ-70-FF	FZR400RRSP	'93. 4. 23				
TZR250RSPクロスミッションキット	SXV-17400-70	TZR250R SP	'93. 12. 22	○			
TZR250R SPクロスミッションオプション	3XV-17400-OP	TZR250R SP	'93. 12. 22	○			
FZR400RR-SPインダクションボックスセット	3TJ-14400-7B	FZR400RR-SP	'94. 1. 26	○			
FZR400RR'92インダクションボックスセット	3TJ-14410-70	FZR400RR	'94. 2. 23	○			
YZF750SP'94インダクションボックスセット	4FN-14410-71	YZF750SP	'94. 2. 23	○			
YZF750SP'93インダクションボックスセット	4FN-14410-70	YZF750SP	'94. 2. 23	○			
FZR750R'91~'92インダクションボックスセット	3FV-14410-72	FZR750R(OW01)	'94. 2. 23	○			
XJR400クロスミッションASSY	4HM-Y7400-70	XJR400	'95. 2. 10	○			

●株エムシー・インターナショナル 〒550 大阪市西区新町4-15-18 ☎06-536-0901

部品名	型式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
リザーバータンク一体型リアショック	WP3614 BA/VAP	TZ125/250 RS125/250	'95. 2. 24		○		
USD FORK (初回公認 '90年)	WP-3548RC/MA	125ccレーサー	'95. 1. 24		○		

●株オーエックスレーシング 〒133 東京都江戸川区北篠崎2-97 ☎03-3679-4266

部品名	型式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
TZR125φ30キャブレター	YC-1011	TZR125	'92. 4. 1	○			

●株オートリメッサ 〒431-02 静岡県浜松市篠原町21339 ☎053-448-9851

部品名	型式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
トランスミッション	17E	GSX-R750WN	'92. 4. 10	○			
リヤクッションASSY	17E	GSX-R750WN	'92. 4. 10				
フロントフォークASSY	17E50	GSX-R750W	'92. 6. 12				
リヤクッションASSY	17E	GSX-R750W/SP	'94. 5. 26				
キャブレターボックス	17E	GSX-R750SP	'94. 4. 26	○			
フロントフォークASSY	17E	GSX-R750W/SP	'94. 5. 26				
トランスミッション	17E	GSX-R750WN/SP	'92. 4. 10	○			

●株カロッツェリアジャパン 〒103 東京都中央区日本橋浜町1-6-8 ☎03-3863-4333

部品名	型式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
オーリンズショックアブソーバー	HO-8063	VFR750R	'92. 6. 5				
オーリンズショックアブソーバー	KA-0490	ZXR750	'92. 6. 5				
オーリンズショックアブソーバー	KA-2070	ZXR750	'92. 6. 5				
オーリンズショックアブソーバー	SU-0031	GSX-R750	'92. 6. 12				
MX用フロントフォーク	FG3000	H-Y-S-K各社, 125cc, 250ccモトクローザー	'93. 4. 23			○	
オーリンズショックアブソーバー	YA2430	YZF750	'93. 5. 27				
オーリンズショックアブソーバー	HA2823	FZR400RR	'93. 5. 27				
オーリンズショックアブソーバー	KA3040	ZXR400	'93. 5. 27				
オーリンズショックアブソーバー	HO3250	CR250	'93. 5. 27			○	
オーリンズショックアブソーバー	YA3250	YZ250	'93. 5. 27			○	
オーリンズショックアブソーバー	SU3250	RM250	'93. 5. 27			○	
オーリンズショックアブソーバー	KA3250	KX250	'93. 5. 27			○	
オーリンズショックアブソーバー	HO4040	RC45	'94. 5. 26				
オーリンズショックアブソーバー	YA3040	TZR250	'94. 5. 26				
オーリンズショックアブソーバー	YA4010	TZ125	'94. 5. 26			○	
オーリンズ獨立フロントフォーク	FG9360	各機種750	'94. 5. 26				
オーリンズ獨立フロントフォーク	FG9410	各機種125	'94. 5. 26			○	
リアサスペンション	H05160ビギンバックタイプ	RS125R	'95. 6. 23			○	
リアサスペンション	H05070ビギンバックタイプ	RS250R	'95. 6. 23			○	

●カワサキモーターズジャパン株 〒673 兵庫県明石市川崎町1-1 ☎078-922-5039

部品名	型式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
ZXR400R用リヤショックダンパーASSY	Z32RC-1	ZXR400R	'92. 1. 5				
ZXR750R用トランスミッションセット		ZXR750R	'92. 1. 5	○			
ZXR750R SP仕様 (輸出用)トランスミッションセット(A)		'91ZXR750R '91~'93ZXR750	'93. 3. 15	○			
ZXR750・750R用トランスミッションセット(A-1)		'91ZXR750R '91~'93ZXR750	'93. 3. 15	○			
'93ZXR750R用オプションミッションセット(B)	13330-1004	'91ZXR750R '91~'93ZXR750	'93. 3. 15	○			
'93ZXR750R用オプションミッションセット(B-1)		'91ZXR750R '91~'93ZXR750	'93. 3. 15	○			
'93ZXR750R用オプションミッションセット(B-2)		'91ZXR750R '91~'93ZXR750	'93. 3. 15	○			
ZXR750・750R用エアボックスキット		ZXR750 '93~ZXR750R'93~	'94. 2. 4	○			
ZXR400・400R・ザンザス用エアボックスキット		ZXR400 ZXR400Rザンザス('91~'94)	'94. 2. 5	○			
'91~'93ZXR400・400R・ザンザス用エアボックスキット		ZXR400 ZXR400Rザンザス('91~'93)	'94. 1. 26	○			
'93~ZXR750・750R用エアボックスキット		ZXR750 '93~ZXR750R'93~	'94. 1. 26	○			
ZXR750・750R用エアボックスキット		ZXR750'91・'92 ZXR750R'91・'92	'94. 1. 26	○			

●株クルーズ 〒981-15 宮城県角田市角田町152 ☎0224-62-0671

部品名	型式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
キャブレター	PJ38S PAX	RS125, RS250R, TZ250	'92. 2. 4		○		

●株式会社ビート工業 〒591 大阪府堺市八丁町4-102-10 ☎0722-57-7600

部品名	型式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
BEETフルパワーカムキット	S5-A	ZXR400	'92. 6. 5				
NASSETクロスミッションASSY	ZRM-C	ZEPHYR400/750 GPZ400R/600R	'94. 5. 26	○			
NASSETクロスミッションASSY	ZRM-E	ZRX, ZZR400/600	'94. 7. 28	○			

●南バムレーシング 〒110 東京都台東区台東4-13-23 ☎03-3833-5232

部品名	型式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
FLATCR4連小型32φ (ホンダVFR400R用インシュレータセット)	FOR-S(1+7)FOR2 (インシュレータ)	VFR400R	'92. 5. 7	○			
'91・'92RS125Rフロントフォークカードリッジキット	T2601-180-0A	RS125R	'93. 4. 23		○		
'93RS125Rフロントフォークカードリッジキット	T2601-180-1A	RS125R	'93. 4. 23		○		
PWK39MS	1000-45R-0000	TZR125 RS125R	'94. 2. 25		○		
PJ39Sキャブレター	1000-S32-A000	RS125R RS250R	'94. 2. 25		○		
FLATCR4連小型32φVFR用インシュレータセット	FOR-D, FOR2 (インシュレータ)	VFR400R RVF	'92. 5. 7	○			

●株式会社ホンダレーシング 〒351 埼玉県朝霞市泉水3-15-1 ☎048-461-9511

部品名	型式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
NSR250Rトランスミッション	NKD	NSR250R	'92. 2. 9	○	○		
NSR250RシリンダASSY	NKD	NSR250R	'92. 2. 9		○		
VFR750Rリアクッション	NLO	VFR750R	'92. 3. 4				
VFR750Rトランスミッションセット	NLO	VFR750R	'92. 3. 4				
VFR750R R/LフロントフォークASSY	NLO	VFR750R	'92. 3. 4				
CBR400RRトランスミッションセット	NKB	CBR400RR	'92. 5. 7	○			
NSR250RフロントフォークASSY	NFS-661	NSR250R	'92. 6. 5				
NSR250RフロントフォークASSY	NFS-711	NSR250R	'92. 6. 5				
トランスミッション NSR250R (MC28)		NSR250R	'94. 1. 28		○		
エアクリナーアッパーカバー	NKA	VFR400R RVF	'94. 2. 23		○		
エアクリナーボックスセット	NKB	CBR400RR	'94. 3. 15		○		
トランスミッション		RVF (NC35)	'94. 3. 22		○		
VFR400Rトランスミッション	NLI	VFR400R RVF (NC35)	'92. 2. 4	○			
★ NSR250Rトランスミッション (初回公認 '90年)	NH3	NSR250R	'95. 1. 24	○	○		
★ NSR250Rフロントクッション (初回公認 '90年)	NH3	NSR250R	'95. 1. 24		○		
★ NSR250Rリアクッション (初回公認 '90年)	NH3	NSR250R	'95. 1. 24		○		
★ NSR250Rトランスミッション (初回公認 '90年)	NH3	NSR250R (NC18)	'95. 4. 25	○	○		
★ VFR400Rトランスミッション (初回公認 '90年)	NLI	VFR400R (NC30)	'95. 4. 25	○			

●株式会社ニキニ 〒101 東京都千代田区外神田6-13-11 ☎03-3833-2736

部品名	型式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
キャブレターキット	TM32SS	GSXR400	'92. 8. 7	○			

●南モリワキエンジニアリング 〒513 三重県鈴鹿市南玉垣町6477-1 ☎0593-82-4501

部品名	型式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
CBR400RRフロントフォークキット	H08F	CBR400RR	'92. 6. 5				
CBR400RRリヤサスペンションキット	H08R	CBR400RR	'92. 6. 5				

●ヤマハ発動機株式会社 〒438 静岡県磐田市新貝2500 ☎0538-37-4111

部品名	型式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
TZ250オプションギヤ	4DP	TZ250	'92. 1. 20		○		
TZ250同軸ミッションギヤ、スプロケット	4DP	TZ250	'92. 1. 20		○		
TZ250同軸ミッションギヤ	4DP	TZ250	'92. 12. 3		○		
TZ250オプションミッションギヤ	4DP	TZ250	'92. 12. 3		○		
TZ250同軸ミッションギヤ		TZ125	'92. 11. 9		○		

●スズキ株式会社 〒432-91 静岡県浜松市高塚町300 ☎053-440-2376

部品名	型式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
キャブレターアッソ	BDST35 (φ32)	GSX-R400R	'93. 2. 29	○			
キャブレターアッソ	TM32	RGV250T RGI25T	'93. 1. 22	○			

●株式会社エス・アル・エス スガヤ 〒130 東京都墨田区本所3-3-7 ☎03-3625-7100

部品名	型式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
RG125T用トランスミッション	93M-SRS-125	RG125FN	'93. 4. 15	○			

●オートショップスガハラ南 〒114 東京都北区王子3-20-2 ☎03-3914-7500

部品名	型式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
エアボックスキット		CBR400RR'90~	'94. 3. 10	○			

●株式会社アドクレイション 〒152 東京都目黒区目黒本町2-23-14 ☎03-5721-2878

部品名	型式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
QUANTUM RACING DAMPER (リア・ダンパー)	QRS-4	VFR750 YZF750 GSX-R750 ZXR750	'94. 2. 25	○			
QUANTUM RACING DAMPER (リア・ダンパー)	QRS-4	RS125R RS250R TZ125 TZ250	'94. 2. 25		○		

●T-CRAFT COMPETITION 〒320 栃木県宇都宮市下戸祭2-4-3 ☎0286-21-5500

部品名	型式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
ラムエアボックスセット	TC91AI	ZXR750R'91	'94. 2. 23				

●南イトウ 〒355 埼玉県東松山市大字唐子1244 ☎0493-23-0113

部品名	型式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
エアクリナーBOX		ZXR750'91・'92	'94. 3. 23	○			

●株式会社ショーワ 〒437-11 静岡県磐田郡浅羽町松原字駒川2601 ☎0538-23-2200

部品名	型式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
リヤダンパーキット	46B	CR125/250	'95. 4. 28			○	
フロントフォークキット	45B	CR125/250	'95. 4. 28			○	

MFJ公認ヘルメット

取得規格 / T用=ツーリング用, M用=モトクロス用, TR用=トライアル用,
R用=ロードレース用, R特選=ロードレース特選
形状 / J=ジェットタイプ, F=フルフェイスタイプ

●昭栄化工(株)

〒110東京都台東区上野5-8-5 cp10ビル ☎03-5688-5185

名 称	取得規格	形状	公認年月
JET-X	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.1.11
RSV	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.1.11
VZ	JIS-C・M用	F	'89.6.13
VZ-II	JIS-C・M用	F	'89.6.13
VX-4R	JIS-C・M用	F	'89.11.7
FX-1	JIS-C・R用	J	'90.5.8
RHV	JIS-C・R用	F	'90.9.4
FX-TOURING	JIS-C・M用	J	'90.4.10
X-8	JIS-C・R特選用	F	'93.1.27
TSV	JIS-C・R特選用	F	'93.1.27
VF-X	JIS-C・M用	F	'93.1.27
X-8 SP	JIS-C・R特選用	F	'93.2.24
FX-AFREET	JIS-C・M用	F	'93.2.24
NEW SR-X7	JIS-C・TR, T用	J	'93.2.24
TR-2P	JIS-B・TR用	J	'93.2.24
FX-J	JIS-C・M用	F	'93.2.24
BL-J	JIS-B・TR, T用	J	'93.2.24
ES-J	JIS-B・T用	F	'93.2.24
X-FOUR Light	JIS-C・R用	F	'93.4.28
NRV	SNELL M90 JIS-C種	F	'93.11.23
X-8V	SNELL JIS-C・R特選	F	'94.12.1
VF-X2	SNELL JIS-C・M用	F	'94.12.1
KH-S(NRV)	SNELL, JIS-C RR特選	F	'95.1.25
KM-SA(FX-1)	JIS-C・MX用	F	'95.1.25
FX-HORNET	JIS-C・MX用	F	'95.3.1
RFD	JIS-C・R用	F	'95.6.10

●(株)アライヘルメット

〒330埼玉県大宮市東町2-12 ☎048-641-3825

名 称	取得規格	形状	公認年月
F-V	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
GIGA	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
ASTRO-R	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
MX-2	JIS-C・M用	J	'89.6.13
RAPIDE-VIIIIR	JIS-C・R用, SNELL M85	F	'90.5.8
RAPIDE-μ	JIS-C・R用, SNELL M85	F	'90.5.8
MX-Enduro	JIS-C・M用, SNELL M85	J	'90.5.8
AT-S	JIS-B・TR用	F	'90.5.8
Super cLc RX-7RR	JIS-C・R特用	F	'93.1.27
OW	JIS-C・R, M用	F	'93.2.24
VX	JIS-C種 M用	F	'94.11.30

●東京シート(株)

〒351埼玉県朝霞市栄町3-7-27 ☎048-462-1121

名 称	取得規格	形状	公認年月
AMI(L-06)	JIS-B・TR, T用	F	'87.10.7
AMI(L-07)	JIS-B・TR, T用	F	'87.10.7
AMI(L-08)	JIS-B・TR, T用	F	'87.10.7
RHEOS(R-21)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-92)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-93)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-94)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-95)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-96)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-97)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
SEED(J-23)	JIS-B・TR, T用	J	'87.10.7
Ami	JIS-B・TR, T用	J	'88.1.18
SEED-R22	JIS-C・R用	F	'88.1.18
SEED-R23	JIS-C・R用	F	'88.1.18
RHEOS R98	JIS-C・R用	F	'88.1.18
RHEOS R99	JIS-C・R用	F	'88.1.18
RHEOS R92LED	JIS-C・R用	F	'88.7.5

RHEOS RR101	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR102	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR103	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR104	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR301	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR302	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS PA101	JIS-C・R用	F	'89.2.14
RHEOS PA102	JIS-C・R用	F	'89.2.14
RHEOS PA103	JIS-C・R用	F	'89.2.14
RHEOS(RC)	JIS-C・R用	F	'91.2.20
Rheos(RD)	JIS-C・R用	F	'92.3.11
Rheos(JB)	JIS-C・M・T用	J	'92.4.17
HONDA Rheos(RC)	SNELL R特選	F	'92.5.13
Rheos RC	JIS-C・R用	F	'93.6.20
ami L10	JIS-C・TR, T用	J	'93.7.28
ami J10	JIS-C・TR, T用	J	'93.7.28
RHEOS		J	'93.1.7
RHEOS(RE2)	JIS-C種	F	'94.4.27
RHEOS HRC RE-2	JIS-C・R用	F	'95.3.1

●(株)コミネオートセンター

〒111東京都台東区小島2-20-11 ☎03-3862-9811

名 称	取得規格	形状	公認年月
KF-RV	JIS-C・R用	F	'86.3.26
KF-RC	JIS-C・R用	F	'86.9.9
ANSWER	SNELL JIS-C・M用	F	'86.9.9
NARVA NC-2	JIS-C・R特選	F	'88.10.5
NARVA CROSS	JIS-C・M用	J	'90.1.9
Spazzio	JIS-C・R用	F	'90.4.3
JT	JIS-C・M用	J	'90.4.3
Answer	SNELL・MX用	F	'95.8.23

●(株)エフイーティー

〒157東京都世田谷区船谷1-9-24 ☎03-3329-3951

名 称	取得規格	形状	公認年月
NOLAN N35 AIR	JIS-C・R用	F	'88.5.6
NOLAN N35 AIR	JIS-C・R用	F	'88.5.13
AXO SPORT X-49	JIS-C・M用	F	'89.6.13
AXO SPORT RX-1	JIS-C・M用	J	'91.8.20
AXO SPORT RX-2	JIS-C・M用	F	'92.9.25

●大日本インキ化学工業(株)

〒103東京都中央区日本橋3-7-20 ☎03-3278-9806

名 称	取得規格	形状	公認年月
DIC(TY-1)	JIS-C・R用	F	'86.4.30
DIC(DF-1)	JIS-C・R用	F	'86.1.9
DIC(DF-2)	JIS-C・R用	F	'87.3.31
DIC(GP'87)	JIS-C・R用	F	'87.7.7
DIC(K)	JIS-C・R用	F	'87.9.4
DIC(AR)	JIS-C・R用	F	'87.9.4
DIC(ZIO)	JIS-C・R用	F	'87.11.4
SUZUKI(ONE)S50C		F	'81.1.18

●興和精機(株)

〒105東京都港区芝1-13-17 ☎03-3453-6011

名 称	取得規格	形状	公認年月
GRIFFIN(G100TD)	JIS-B・TR, T用	J	'86.10.23
GRIFFIN(GS-520)	JIS-B・T用	F	'86.10.23
GRIFFIN(GX-707)	JIS-B・T用	F	'86.10.23
GRIFFIN(GS530)	JIS-B・T用	F	'86.11.23
GRIFFIN(GX707)	JIS-C・M用	F	'87.3.4
GRIFFIN(GS530)	JIS-C・R用	F	'87.3.4

●(株)光輪モーターズ

〒110東京都台東区上野4-26-4 ☎03-3841-3411

名 称	取得規格	形状	公認年月
AGV(KR2000)	JIS-C・R用	F	'86.1.30
AGV QUASAR	JIS-C・R用	F	'95.3.1

●ワールド通商(株)

〒113東京都文京区本郷1-24-1 本郷MFビル3F ☎03-3818-5451

名 称	取得規格	形状	公認年月
ボルシェ・デザイン(CP-4)	JIS-C・R用	F	'86.2.25

付 録

KIWI(K-16)	JIS-C・R用	F	'86.7.2
KIWI(K-20)	JIS-C・R用	F	'88.1.6

●(株)モトワールド

〒110東京都台東区台東3-31-4

名 称	取得規格	形 状	会 社 年 月
ANSWER A-TECH-5	JIS-C・R用	F	'88.8.4

●(株)谷尾商会

〒530大阪府大阪市北区松ヶ枝町5-4 ☎06-358-0651

名 称	取得規格	形 状	会 社 年 月
NAVA 3A/C	JIS-C・R用	F	'86.4.28
NAVA-8	JIS-C・R用	F	'87.7.7

●(株)ヤナセ

〒108東京都港区芝浦1-6-38

名 称	取得規格	形 状	会 社 年 月
FJ(FJ-01)	JIS-C・R用	F	'86.5.28
FJ(FJ-02)	JIS-C・R用	F	'86.4.28
F-J(FJ-II・インテグラ)	JIS-C・R用	F	'87.7.7

●クノー工業(株)

〒141東京都品川区西五反田7-22-17 TOC内 ☎03-3494-3371

名 称	取得規格	形 状	会 社 年 月
EF-2	JIS-C・M用	J	'86.8.5
DELTA	JIS-C・M用	J	'86.8.5
AIGLE	JIS-C・M用	J	'86.8.5
LYNX	JIS-C・M用	J	'86.8.5
SETA(045)	JIS-C・R用	F	'87.3.4

●ユニコ(株)

〒106東京都港区六本木7-3-17 ☎03-3478-2707

名 称	取得規格	形 状	会 社 年 月
VS-2	JIS-C・R用	F	'86.3.26
NEF(VS-2)	JIS-C・R用	F	'86.12.15
NEF-RO2	JIS-C・R用	F	'88.6.10

●(株)立花

〒133東京都江戸川区本一色3-16-20 ☎03-3653-6277

名 称	取得規格	形 状	会 社 年 月
カスタム ES-2 (A型)	JIS-A・T用	J	'92.4.8
カスタム(A型)	JIS-A・T用	J	'92.3.11
ライジン(A型)	JIS-A・TR用	J	'93.2.24
ライジン(レザートップ)	JIS-A・TR用	J	'93.2.24

●ヤマハ大船渡製造(株)

〒022岩手県大船渡市大船渡町字欠の下向1-1 ☎0192-27-4101

名 称	取得規格	形 状	会 社 年 月
GEORAMA-TS	JIS-C・R用	F	'86.1.30
GEORAMA-RS	JIS-C・R用	F	'86.2.24
FE-X	JIS-C・R用	F	'86.2.24
OE	JIS-C・M用	F	'86.2.24
GEORAMA-GFV	JIS-C・R用	F	'86.3.15
GEORAMA-GFV-R	JIS-C・R用	F	'89.9.5
GFS	JIS-C・R用	F	'89.10.11
YFR	JIS-C・R用	F	'90.5.8
YFV	JIS-C・R用	F	'90.5.8
INPURE(YOA)	JIS-C・R用	F	'90.5.8
YFV(HJ1)	SNELL・R特選	F	'91.7.3
GFV(YON)	JIS-C・R用	F	'92.6.3
YJ-X(YON)	JIS-C・M用	J	'92.7.8
STAIR	JIS-C・R特選	F	'93.6.23
GIBSON	JIS-C・M用	F	'92.2.5
YSF(YOH)	JIS-C種 R用	F	'94.7.27
YSF(RODEM)(YOH)	SNELL・R特選	F	'95.1.25

●(株)ジャバンプロダクト

〒133東京都江戸川区上一色416-1 ☎03-3655-9055

名 称	取得規格	形 状	会 社 年 月
R120N R2-1	JIS-C・R用	F	'86.7.2

●(株)RSタイチ

〒574大阪府大東市中垣内3-1-25 ☎0720-74-3268

名 称	取得規格	形 状	会 社 年 月
JT(ALS-1)	JIS-C・M用	J	'87.9.4

JT(ALS-2)	JIS-C・M用	F	'87.9.4
-----------	----------	---	---------

●旺文社バシフィック(株)

〒162東京都新宿区横寺町55 ☎03-3266-6035

名 称	取得規格	形 状	会 社 年 月
NAVA	JIS-C・T用	セミJ	'86.7.26

●(株)大部

〒110東京都台東区北上野1-7-1 ☎03-3843-6426

名 称	取得規格	形 状	会 社 年 月
BELL(MAG-4)	SNELL JIS-C・M用	J	'86.9.30

●(株)丸万茂又

〒530大阪府大阪市北区西天満6-1-5 ☎06-364-4678

名 称	取得規格	形 状	会 社 年 月
MAC	JIS-C・R用	F	'87.8.5

●(株)ドルフィン・インターナショナル

〒193東京都八王子市散田町5-24-11 ☎0426-65-7843

名 称	取得規格	形 状	会 社 年 月
BELL MOTO5	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.5.9

●日栄プラスチック(株)

〒362埼玉県北足立郡伊奈町大字小室字志久4429 ☎048-723-0611

名 称	取得規格	形 状	会 社 年 月
DIC(DFX)	SNELL・R特選	F	'91.2.15
Gibson(YX)	JIS-C・M用	F	'91.2.5
DIC(RT35・06)	JIS-C・R用	F	'92.7.8
DIC-VR	JIS-C・R用	F	'89.12.12
SYDEEN	SNELL C・R用	F	'89.3.7
DIC-Inc State	JIS C・M用	J	'89.5.9
DIC-zio-SX	JIS C・R用	F	'89.7.20
DIC ZR	JIS C・R用	F	'89.11.7

●オーケー販売(株)

〒577大阪府東大阪市御厨西ノ町60 ☎06-783-5906

名 称	取得規格	形 状	会 社 年 月
RS-1	JIS C・R用	F	'91.6.6
RS-1R	JIS C・R用	F	'92.9.25
EX-R/S-93G	JIS C・R用	F	'93.6.23
S-94G	JIS-C・R用	F	'95.4.20
RX-R	JIS-C・R用	F	'95.4.20

●ヤマハ発動機(株)

〒438静岡県磐田市新貝2500 ☎0538-37-4111

名 称	取得規格	形 状	会 社 年 月
YZ07	JIS C・R用	F	'93.6.23

●(株)イエローコーン

〒154東京都世田谷区新町2-7-1 ☎03-3439-3752

名 称	取得規格	形 状	会 社 年 月
SIMPSON(BANDIT5)	JIS C種	F	'94.1.26

●エッチージェイシージャパン

〒287-02千葉県香取郡大栄町前林996-2 ☎0478-73-7912

名 称	取得規格	形 状	会 社 年 月
FG-X 3	JIS-C・MX用	F	'95.4.26
FG-10K	JIS-C・RR特選	F	'95.4.26

●フランコ商事(株)

〒540大阪府大阪市中央区上町1-14-13 TAPSビル4F ☎06-761-6505

名 称	取得規格	形 状	会 社 年 月
SHARK(XRC-CARBON)	JIS-C・R用	F	'95.8.23

●山本光学(株)

〒577大阪府東大阪市長堂3-25-8 ☎06-783-1109

名 称	取得規格	形 状	会 社 年 月
YAMAHA	JIS-B・TR用	F	'95.1.25

●岡田商事(株)

〒105東京都港区芝大門1-3-7 ☎03-5473-0371

名 称	取得規格	形 状	会 社 年 月
BELL(MOTO6)	JIS C種	F	'94.5.10
BELL(RACE STAR)	JIS C種	F	'94.6.29

公認レーシングスーツ

●(株)カドヤ

〒111東京都台東区西浅草3-29-21 ☎03-3843-2000

名 称	型 式	公認月日
ON THE RACE G2	RP, PX, MM, RD, PT	'90.10.23
NEW CONCEPTER	MDシリーズ(MD1,24集)	'90.10.23
KADOYA	OR-SR	'90.10.23
ON THE RACE G2	RP-FS 0020	'91.4.10
ON THE RACE G2	G2/RP(G2/RP-125)	'92.3.11
ON THE RACE G2	G2/RP(G2/RP-07,08)	'92.3.11
KADOYA	OR	'95.6.28
K'S LEATHER	CLASH KING	'95.6.28

●(株)クシタニ

〒430静岡県浜松市三島町231☎053-441-2251

名 称	型 式	公認月日
KUSHITANI	KR KRN	'90.10.23
KUSHITANI	KI	'90.10.23
KUSHITANI	K	'91.1.18
KUSHITANI	KV	'91.1.18
KUSHITANI	オーダーメイド	'91.2.8
KUSHITANI	KI-101,102,103	'91.4.10
KUSHITANI	KX-1	'91.11.5
KUSHITANI	KX-1	'91.11.5
KUSHITANI	KI-X(KI-107X)	'92.11.1
KUSHITANI	KI-XM(KI-106)	'92.11.1
KUSHITANI	KI-X	'93.3.24
KUSHITANI	KI-X(KI-109, KI-111)	'94.1.10
KUSHITANI	KI-X(KI-112, KI-113)	'94.11.23

●(株)ルック

〒125東京都高層区亀有4-3-7 ☎03-3604-7800

名 称	型 式	公認月日
SR	SR01-03	'90.10.23
RS	RS1-V	'90.10.23
SS	SS1-III	'90.10.23
Look	(オーダー)	'90.10.23
ラファール3	オーダーメイド	'91.4.20
GPシリーズ		'92.11.28
SPシリーズ	SP	'93.11.24

●(株)RSタイチ

〒574大阪府大東市中埴内3-1-25 ☎0720-74-3268

名 称	型 式	公認月日
Nixeレーシングレザースーツ	NXL	'90.9.29
NIXEレーシングレザースーツ	NXL005,006,007,008,009	'91.9.8
NIXEレーシングレザースーツ	NXL,NXL(オーダー)	'91.1.18
NIXEレーシングレザースーツ	NXL(NXL001)	'92.10.7
NIXEレーシングレザースーツ	NXL(NXL012,015)	'92.10.7
NIXEレーシングレザースーツ	NXL(NXL011)	'92.10.14
NIXE NXL	NXL016	'94.1.26
NIXE NXL	NXL017・018	'94.1.26
NIXEレーシングレザースーツ	NXL	'94.12.28

●(株)アズ・スポーツ

〒158東京都世田谷区玉川谷1-1-3 ☎03-3709-3750

名 称	型 式	公認月日
Justyn /	J-001R~J-023R	'90.10.23
Justyn / J-PRO-R	JPR-001R~JPR-004R	'90.10.23
A's Racing	AS001SO~AS007SO	'90.10.23

●(株)大都

〒110東京都台東区北上野1-7-1 ☎03-3843-6426

名 称	型 式	公認月日
THE BIKE	RCシリーズ	'90.10.23
D'S	DRS-3007,3008	'91.5.8
THE BIKE	オーダーメイド	'91.5.8
THE BIKE	FR-10,11,12,13	'91.6.5

THE BIKE	FR-3,5,6,7,8,9	'91.2.6
THE BIKE	GP-3,GP-5	'91.2.6
THE BIKE	RC-355,RS-NB	'93.8.25

●(株)光輪モータース

〒110東京都台東区東上野4-26-4 ☎03-3841-3411

名 称	型 式	公認月日
PLICANA	グループC(PT-MS)	'90.10.23
PLICANA	グループA(PT-RXIGP)	'91.2.6
PLICANA	グループB(PT-NIGP)	'91.2.6
PLICANA	グループH(PT-ATHLS)	'91.2.6
PLICANA	PT-ZEAI	'91.11.5

●(有)セクレテール

〒152東京都目黒区目黒本町6-21-15☎03-3714-0533

名 称	型 式	公認月日
セクレテール	RF,RC,RS,TR,MFR	'90.10.23
セクレテール	(オーダー)	'90.10.23
セクレテール	MFR-912	'92.3.11
セクレテール	RS-26,27	'92.3.11
セクレテール	RS-28,29,30,REP,	'92.11.28
セクレテール	RF,RS,REP	'93.5.26
セクレテール	RF3,RS4,RF94,RF945	'94.10.25

●(株)テグナー

〒607京都府京都市山科区川田前畑町1-8 ☎075-501-7137

名 称	型 式	公認月日
テグナー	R-1	'90.10.23
テグナー	R-2	'90.10.23
テグナー	R-6	'90.10.23

●(株)ナカタケ

〒721広島県福山市港町2-16-22 ☎0849-23-2423

名 称	型 式	公認月日
ナカタケ	NS・ゴーズアップシリーズ	'90.10.23
ナカタケ	NS-R	'91.11.5

●(株)邑輝総研

〒150東京都目黒区青葉台3-18-10 #201 ☎03-3462-1591

名 称	型 式	公認月日
Boldor	レーシングダウンピース	'90.10.23

●ツナギのクウタ

〒300-35 茨城県結城郡八千代町佐野16 ☎0296-49-0626

名 称	型 式	公認月日
クウタ	(オーダー)	'90.9.29

●(有)ライブラ

〒491愛知県一宮市大和町若安賀字角出62 ☎0586-44-6451

名 称	型 式	公認月日
ライブラレーシングスーツ	LRS-01	'90.10.23
COSMIC(Libra)	オーダーメイド	'92.1.9

●東京ベルト(株)

〒181東京都三鷹市下連雀1-13-7 ☎0422-45-2970

名 称	型 式	公認月日
TO BEL	TBシリーズ	'90.10.23

●(有)フォーヘッドインターナショナル

〒271千葉県松戸市穂台37 ☎0473-64-6555

名 称	型 式	公認月日
フォーヘッド(FOR HEAD)	(オーダーメイド)	'90.11.17
フォーヘッド(FOR HEAD)	FH-001,002,009	'90.11.17

●(株)レインボー

〒110東京都台東区北上野1-5-5 ☎03-3843-5606

名 称	型 式	公認月日
レインボー	(オーダーメイドレーシング)	'90.11.17

●(有)アールシーエム

〒661兵庫県尼崎市武庫の里1-11-1-104 ☎06-431-8066

名 称	型 式	公認月日
Teril	オーダーメイド	'91.5.8

ファルコン	オーダーメイド	'91.5.8
HAL	オーダーメイド	'91.5.8
FALCON	FS	'91.3.12
Toril	TX, TXR	'91.3.12
HAL	01A, 02A, 03A, 05A, 06A	'91.5.8
アラスト	オーダーメイド	'91.11.5

●(株)アイアンドエイ

〒660兵庫県尼崎市大物町1-1-15 ☎06-401-1011

名	称	型	式	登録月日
B-LINE		オーダーメイド		'91.5.8

●(株)アダチ

〒462愛知県名古屋市中区丸の内4-5-1 ☎052-902-4343

名	称	型	式	登録月日
JRP		オーダーメイド		'91.2.6
MOTO FLASH		オーダーメイド		'91.2.6
RSA		オーダーメイド		'91.2.6
MOTOR KING MICHIKO KOSHINO		オーダーメイド		'92.3.11

●(株)アチーブ

〒340埼玉県草加市谷塚仲町288-1 ☎0489-24-7164

名	称	型	式	登録月日
レーシングスーツYONEZO		オーダーメイド		'91.1.8

●(有)エフワン

〒114東京都北区豊島4-14-2 ☎03-3912-5149

名	称	型	式	登録月日
エフワン		FR-1A, 6B, 6A, 71, 72, 73, 74, 75		'91.5.8
F-ONE		FR-G2B		'91.2.6

●ジュベットレザーハウス

〒434静岡県浜北市小松4646-9 ☎053-586-6001

名	称	型	式	登録月日
JUBET		オーダーメイド		'91.4.10

●(株)キジマ

〒123東京都足立区西新井4-16-3 ☎03-3897-2167

名	称	型	式	登録月日
KISS		オーダーメイド		'91.4.10
KISS RACING		プロトワン・プロトツー		'91.2.6

●(株)ギャロップ

〒171東京都豊島区目白2-2-2平口ビル2F ☎03-3982-7531

名	称	型	式	登録月日
FORZA		FO-404, 405, 406		'91.2.6
FORZA		オーダーメイド		'91.2.6
R-SPORTS		R-SPORTS02, 401, 402, 403		'91.5.8
FORZA		FO-407		'91.10.16
STREET SLIDER		SSシリーズSS-03		'92.9.5
TRX		X-シリーズ		'93.1.27
FORZA		FOシリーズ		'93.2.24
ワンズワン		GOシリーズ		'93.5.26
STREET SLIDER		SSシリーズ		'93.5.26
モトブラザGT		GTシリーズ		'93.11.23
FORZA FOシリーズ		FO-411		'94.4.27
FORZA FOシリーズ		FO-412		'94.9.15
FORZA FOシリーズ		FO-413		'94.10.31

●(株)ホンダショップアルトモトスポーツグラッド

〒537大阪府東成区大今里3-15-25 ☎06-971-6381

名	称	型	式	登録月日
KIKUTANI		AK		'93.2.24

●(有)後藤商店

〒208東京都武蔵村山市学園3-18-1 ☎0425-65-6663

名	称	型	式	登録月日
GOTO MD-Performance		MD-1~Ⅲ		'91.1.8
GOTO		オーダーメイド		'91.1.8
GOTO MD-Performance		MD-Y9, 10, 11		'91.4.28

●(株)コミネオートセンター

〒111東京都台東区小島2-20-11 ☎03-3862-9811

名	称	型	式	登録月日
Spazioレーシング		A, S-11		'91.2.6
KOMINE Spazio		オーダーメイド		'91.2.6
Spazio		S-14R		'91.5.8
Spazio		S-B, S-8, S-10, S-14		'91.6.5
Spazio		S-15		'92.1.9
Spazio		S-16		'92.11.28

●ジニアス

〒539大阪府東大阪市客町4-14 ☎0729-87-0165

名	称	型	式	登録月日
ジニアス		SIR-G		'91.2.6

●ステージレザ

〒133東京都江戸川区北小岩7-14-10 ☎03-3672-4968

名	称	型	式	登録月日
PRO STAGE		レーシングワンピース		'91.1.18

●ダイネーゼジャパンインク

〒554大阪府吹田市南吹田5-9-1 ☎06-369-0581

名	称	型	式	登録月日
ダイネーゼ		T, MONZA, T, MISANO, T, SILVERSTONE		'91.8.7
ダイネーゼ		T, GRAPHIC, T, FREDDA, T, CHELLI, TEAM		'91.8.7
ダイネーゼ		T, STROM, T, FCH, T, HEDBERG, T, SPINATA		'92.5.13
ダイネーゼ		T, K.S		'93.4.28
ダイネーゼ T-SAFETY PRO		T-SAFETY PRO		'94.6.29

●(株)谷尾商会

〒530大阪府大阪市北区松ヶ枝町5-4 ☎06-358-0651

名	称	型	式	登録月日
ラビーン		RVX-1~5		'91.1.18

●南海部品(株)

〒530大阪府大阪市北区曾根崎新地2-6-28 ☎06-344-1581

名	称	型	式	登録月日
ナンカイ		SDシリーズ		'91.2.6
SRシリーズ		SRシリーズ		'91.2.8
ナンカイ		オーダーメイド		'91.6.5
ナンカイ		NR-011R平レブリカスーツ		'91.6.5
ナンカイ		NR-50プロレーシングスーツ		'91.6.5
ナンカイ		NRシリーズ		'91.1.8
ナンカイ		SR-16		'92.5.13
ナンカイ		SR-17		'92.5.13
ナンカイ		NR-51		'92.5.13
ナンカイ		SD-8		'92.11.1
ナンカイ		NR-52		'92.11.1
ナンカイ		NR-51, SR-16, 17		'93.3.24
SRシリーズ		SR-18		'93.11.24
'94年ドゥーハンレブリカニューモデル		NR-06R8, NR-013R1		'93.4.27
SDシリーズ		SD-SPECIAL		'94.4.27
'94D・ビーターマルボレーシングレブリカ		NR-015R1		'94.4.27
'94原田哲也レーシングレブリカ		NR-018R1		'94.7.27
'94A・パロスラッキー・ストライクレーシングレブリカ		NR-014R1		'94.7.27
'94辻村猛レーシングレブリカ		NR-016R1		'94.7.27
'94井形とも子レーシングレブリカ		NR-017R1		'94.7.27
ナンカイ		NR-53プロレーシングスーツ		'95.3.1
ナンカイ		NR-54プロレーシングスーツ		'95.3.1
ナンカイ		SD-12レーシングスーツ		'95.3.1
ナンカイ		SD-13レーシングスーツ		'95.3.1
ナンカイ		プロレーシングレブリカスーツ		'95.10.25

●(有)ハイブ

〒116東京都荒川区南千住6-59-16 ☎03-3803-6292

名	称	型	式	登録月日
ハイブ		オーダーメイド		'91.3.12

●バギー(株)

〒636-03 奈良県磯城郡西川町梅戸226 ☎07454-3-0177

名	称	型	式	登録月日
バギー、ベルベットBR		オーダーメイド		'91.4.10
バギー、ベルベットBR		A, AP, AR		'91.1.18

●(有)ビッグスター

〒110東京都台東区北上野1-5-5 ☎03-3487-1480

名 称	型 式	公認月日
ビッグスター	オーダーメイド	'91.4.10

●ファクトリースズキ

〒982宮城県仙台市太白区郡山穴田東25-1 ☎022-248-5315

名 称	型 式	公認月日
PRIDE ONE	オーダーメイド	'91.9.4

●(有)フジタレザー

〒502岐阜県岐阜市福光西2-10-15 ☎0582-33-5620

名 称	型 式	公認月日
フジタレザー	オーダーメイド	'91.6.5

●ユニバース

〒183東京都府中市寿町1-1-10 ☎0423-60-6311

名 称	型 式	公認月日
STUFF U	SU1003,5,6,7 STAGE	'91.3.12
STUFF U	オーダーメイド	'91.3.12
PROSPEC	RC-001,RC-002	'91.6.5

●ブレンレザー

〒579大阪府東大阪市石切町2-44-22 ☎0729-88-2664

名 称	型 式	公認月日
ブレンレザー	オーダーメイド	'91.3.12

●モータースポーツミスターヒロ

〒580大阪府松原市立部2-499-1 ☎0723-36-1550

名 称	型 式	公認月日
Mr.hiro	オーダーメイド	'91.9.4

●アレス

〒340埼玉県草加市青柳町7-11-22 ☎0489-31-4319

名 称	型 式	公認月日
アレス	オーダーメイド	'91.2.6

●ヤマハ発動機(株)

〒438静岡県磐田市新貝2500 ☎0538-37-4420

名 称	型 式	公認月日
YAMAHA YL-Aシリーズ	YL-340,336,337,338	'91.2.6
Takai R	TR TRL	'90.10.23
PRO SHOP TAKAI	オーダーメイド	
Takai R	TR TRL	'91.5.8

●ライティングコスチュームT&T

〒673兵庫県神戸市西区油上4-13-8 ☎078-974-8682

名 称	型 式	公認月日
T&T	TS	'91.1.18

●レーシングプロショップO.S.F.C

〒954-04 新潟県西蒲原郡西川町新栄町296 ☎0256-88-7441

名 称	型 式	公認月日
レーシングプロショップO.S.F.C	O.S.F.C	'91.2.6

●(有)ワンステップライダー

〒452愛知県名古屋市中区西区赤城町1 ☎052-502-7517

名 称	型 式	公認月日
OSR	YR-07	'90.11.17

●パパス

〒116東京都荒川区南千住2-16-15高畑ビル1F ☎03-3801-0438

名 称	型 式	公認月日
Papa's	オーダーメイド	'92.1.9

●(有)福富洋商会

〒300-11 茨城県稲敷郡阿見町大字荒川沖1924-1 ☎0298-42-8161

名 称	型 式	公認月日
SURE (シュアー)	オーダーメイド	'92.1.9

●BCピロータ

〒193東京都八王子市千人町3-4-21 ☎0426-46-9661

名 称	型 式	公認月日
BCピロータ	オーダーメイド	'92.1.9

●(株)プランツ

〒111東京都台東区駒形1-10-7 ☎03-3847-2891

名 称	型 式	公認月日
ハロスギア レーシングスーツ	OP-1オーダーメイド	'92.1.9

●レザーハウスA&M

〒277千葉県柏市花野井1925 ☎0471-33-1664

名 称	型 式	公認月日
レザースーツA&M	オーダー	

●美津濃(株)

〒559大阪府大阪市住之江区南港北1-12-35 ☎06-614-8124

名 称	型 式	公認月日
MIZUNO	オーダーメイド	'92.3.11

●WORK BOX KASAI

〒985宮城県多賀城市笠神2-2-1 ☎022-366-6879

名 称	型 式	公認月日
[built]	オーダーメイド	'92.3.11

●ツカサプランニング

〒120東京都足立区青井3-34-3 ☎03-3801-0438

名 称	型 式	公認月日
HELIO TROPE	HELIO RACING	'92.3.11

●(有)レーシングショップアイティーエ

〒982宮城県仙台市太白区若葉町25-25 ☎022-229-0490

名 称	型 式	公認月日
ITAレーシングスーツ	ITAオーダー	'92.3.11

●アトリエ・ワン

〒485愛知県小牧市南外山長田64-1 ☎0568-71-3040

名 称	型 式	公認月日
A-ONE RACING	オーダーメイド	'92.7.8

●レースサービスAxtas

〒182東京都調布市飛田給1-34-16 ☎0424-84-9115

名 称	型 式	公認月日
Axtas	AYシリーズ	'94.2.23

●(株)ホンダアクセス

〒352埼玉県原州市野火止8-18-4 ☎048-477-9143

名 称	型 式	公認月日
Super Bold'os	デイトナ、イモラ、ホッケンハイム、キャブシ、ラダナセカ、アッセン、イースタンクワータ、スズカ、ヘレス、シルバーストーン、別カガ	'94.9.28

●RSA Leathers

〒110愛知県西春日井郡師勝町六ッ師女夫越 ☎0568-25-7830

名 称	型 式	公認月日
RSA Leathers	フルオーダー	'95.8.23



●井上ゴム工業株

〒450愛知県名古屋市中村区名駅南1-23-17笹島ビル8F ☎052-581-0701

ク イ ヤ 名	サイ ズ	公認月日
TRIAL WINNER	4.00R18, TR-7	'86.3.26
TRIAL WINNER TR-9	4.00R18	'86.7.8
PRO-TECH NS-50F	2.75-174PR, 2.75-184PR, 80/100R16, 80/90R16	

付 録

付録

NS-50R	2.75-174PR, 3.00-174PR, 90/90R18, 90/90R17	
PRO-TECH NS-10F	90/90R18, 100/80R17, 100/90R16, 110/70R17, 110/80R17, 110/80R18, 120/70R17, 120/80R16	
NS-10R	110/80R18, 120/80R17, 120/80R18, 130/70R17, 130/90R16, 140/60R18, 140/70R18, 160/60R18	
SPATOLA SPO IF RADIAL	110/70R17 54H 120/60R17 55H 150/60R17 66H 160/60R17 69H	'92.7.1
TRIAL WINNER TRO11F TUBE TYPE	2.75-21	'92.10.1
TRIAL WINNER TRO11F TUBELESS	4.00R18	'92.10.1

●日本ミシュランタイヤ株式会社

〒102東京都千代田区富士見1-6-1富士見ビル ☎03-5210-2731

タイヤ名	サイズ	登録月日
MICHELIN TRIAL COMPETITIONX11TL	4.00R18 TL	'87.7.8
ラジアル A59X	130/60R16, 120/80R16, 130/60R17 (59H, 59Z), 110/70R17, 120/70R17 (58, 58Z)	
ラジアル M59X	160/60R16, 160/80R16, 180/55R17, 180/60R17 (69H, 69Z), 160/60R18, 150/70R17	
ハイスポートラジアル TX11	120/80R16, 130/60R17, 120/70R17, 100/80R17, 110/80R17, 120/60R17 (55H, 55Z), 110/70R17, 110/80R18	
ハイスポートラジアル TX23	160/80R16, 180/55R17, 150/60R17, 180/60R17 (69H, 69Z), 130/70R17, 150/70R17	
P2301	12/60R17	
P3104	15/61R17, 18/67R17	
P1201	12/60R17	
P3103	15/61R17, 18/67R17	
MICHELIN TRIAL COMPETITION	2.75-21TT	'91.11.1
MICHELIN TRIAL COMPETITION	2.75-21TL	'91.11.1
MICHELIN TRIAL COMPETITIONX11TL	4.00R18TL	'91.11.1
A59X	120/60R17 55Z	'92.4.3
MICHELIN TRIAL COMPETITIONX11TL	4.00R18TL	'92.5.1
ハイスポートラジアル TX11B/TX23	110/70ZR17, 120/70ZR17, 120/60ZR17, 190/50ZR17, 180/55ZR18	'94.7.28
ハイスポートラジアル TX15	130/70ZR16, 110/70ZR17, 120/60ZR17	'95.5.25
ハイスポートラジアル TX25	150/60ZR17, 160/60ZR17	'95.5.25
ハイスポートラジアル TX15RACE	110/70ZR17, 130/70ZR17, 120/60ZR17	'95.9.22
ハイスポートラジアル TX25RACE	150/60ZR17, 160/60ZR17, 180/50ZR17	'95.9.22

●阿部商会株式会社

〒101東京都千代田区神田美土代町3 ☎03-3233-2212

タイヤ名	サイズ	登録月日
ビレロトリアルタイヤ・MT73ガットラリアル	2.75-21 MT73	'90.9.7
MP77スポーツレーシング	110/70ZR17, 120/60ZR17, 120/70ZR17, 150/60ZR17, 160/60ZR17, 180/55ZR17, 140/60ZR18, 170/60ZR18	'91.7.4
MT75レーシング	100/80T16, 100/80T17, 130/70T17, 140/70T17, 130/70T18	'91.7.4

●株日本ダンロップ

〒651兵庫県神戸市中央区臨浜町3-6-9 ☎078-265-3000

タイヤ名	サイズ	登録月日
K320	2.75-21 4PR	'86.11.23
K320	4.00R18 4PR	'86.11.23
TT500F GP	80/90R16, 90/90R16, 100/90R16, 90/80R17, 100/88R17 (52H, 57H, 54H)	
TT50GP	90/90R17, 120/80R17, 140/80R17, 130/70R17, 140/70R17, 100/90R18, 130/70R18	
RIDEEN GPR-30E	110/70R17, 120/70R17, 120/60R17, 100/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 170/60R17, 140/60R18, 150/60R18	
MR677	3.25/4.75R17, 4.00/6.00R18, 2.50/3.00R18, 2.75/3.75R18, 3.25/5.75R17, 3.25/5.75R18, 2.65/3.25R17, 2.85/4.00R17, 3.80/6.00R17, 3.60/6.70R18	
RIDEEN GPR-60F	110/70R1754H, 120/60R1755H	'91.5.9
RIDEEN GPR-60	150/60R1766H, 160/60R1769H, 140/60R1864H, 150/60R1867H	'91.5.9
TT700F GP	100/80-1752H, 110/70-1754H, 100/90-1654H	'91.5.9
TT700 GP	130/70-1762H, 140/70-1766H, 120/80-1763H, 130/70-1863H, 130/90-1667H	'91.5.9
TT700F GP	90/90-18, 110/80-17	'92.3.4
TT700 GP	110/80-18, 110/90-18, 120/80-18, 140/70-18, 150/70-17	'92.3.4
K375F	100/80-17	'92.2.4
K375FG	100/80-17	'92.2.4
K375	120/80-17	'92.2.4
K420GP チューブレス	4.00R18 4PR	'92.4.1
K420GP チューブレス	4.00R18 4PR	'92.4.1
TT500F GP	100/80-17 52S	'92.6.20
TT500GP	120/80-17 61S	'92.6.20
K420チューブタイプ	2.75-21 (45K)	'92.11.6
K420チューブレスタイプ	2.75-21 (45K)	'92.11.6
K420GP チューブタイプ	2.75-21 (45M)	'92.12.3
K420GP チューブレス	2.75-21 (45M)	'92.12.3
K420GP チューブタイプ	4.00R18 (64M)	'92.12.15
K420GP チューブレス	4.00R18 (64M)	'92.12.15
GPR50F	110/70R17 54H 120/60R17 54H 120/70R17 58H	'93.2.20
GPR50	140/60R17 63H 140/60R18 64H 150/60R17 66H 150/60R18 67H 160/60R17 69H	'93.2.20
MR777	150/60R17	'93.3.23
MR977	90/75R17, 115/65R17, 120/70R17, 160/60R17	'94.3.22
D801F チューブタイプ	2.75-21, 4P, R (45M)	'94.5.1
D801F チューブレスタイプ	2.75-21, 4P, R (45M)	'94.5.1
D801 チューブタイプ	4.00R18, 4P, R (64M)	'94.5.1
D801 チューブレスタイプ	4.00R18, 4P, R (64M)	'94.5.1
MR977	110/70R17	'94.7.28
Rideen GPR-50F SP	110/70R17 54H, 120/60R17 55H, 120/70R17 58H	'95.2.15
Rideen GPR-50 SP	140/60R17 63H, 140/60R18 64H, 150/60R17 66H, 150/60R18 67H, 160/60R17 69H	'95.2.15

TT900F GP	86/90-16 43P, 90/90-17 46S, 100/90-17 52S, 100/90-16 54H, 100/80-17 52H, 100/80-17 57H, 110/70-17 56H	'95. 2. 15	
TT900GP	90/90-17 49P, 100/90-17 52S, 120/80-17 61S, 120/90-17 64H, 120/90-18 62H, 120/70-17 62H, 140/70-17 66H, 150/70-17 69H, 150/70-18 70H	'95. 2. 15	
KR244	使用可能リム 4.50~5.50	3.25/5.90R17	'95.11.28

●株ブリチストン

〒104東京都中央区京橋1-10-1 ☎03-3563-6819

タイヤ名	サイズ	登録月日
BATTLAX BT-72FS	110/80R17, 110/70R17, 120/60R17, 120/70R17	
BATTLAX BT-72RS	140/70R17, 140/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 120/80R18, 140/60R18, 150/60R18, 170/60R17	
BATTLAX BT-09SS	90/90-16, 90/80-17	
BATTLAX BT-70FS	110/70-17, 120/60-17, 120/70-17, 130/60-17, 140/60-17, 140/60-18, 150/60-17, 150/60-18, 160/60-17, 170/60-17	
ME72	85/595R18, 85/575R17, 110/590R17, 95/600R18, 140/630R18, 120/595R17, 150/600R17	
ME76	105/575R17, 150/635R18, 155/620R17	
BATTLAX BT-50F	120/70ZR17, 130/60ZR17	'91. 6. 7
BATTLAX BT-50R	170/60ZR17, 180/55ZR17, 160/60ZR18	'91. 6. 7
ME77	90/575R17	'91. 6. 1
ME78	105/585R17	'91. 6. 1
BATTLAX BT-09SS SOFT	90/90-16, 90/80-17, 100/80-17	'92. 4. 20
BATTLAX BT-10SS SOFT	120/80-17, 100/90-18	'92. 4. 20
BATTLAX BT-80S F RADIAL	110/70R17, 120/70R17, 120/60R17	'92. 3. 20
BATTLAX BT-80S R RADIAL	150/60R17, 160/60R17, 150/60R18	'92. 3. 20
BATTLAX BT-50	120/70ZR17	'92. 4. 20
ME77	90/570R17	'92. 6. 10
ME77	105/585R17	'92. 6. 10
ME77	160/625R17	'92. 6. 20
ME77	150/635R18	'92. 6. 20
ME77	155/620R17	'93. 7. 1
BATTLAX BT-39F SS	90/90-17, 100/80-17, 80/90-16	
BATTLAX BT-39R SS	100/90-18, 120/90-17, 100/80-17	
BATTLAX BT-80S F RADIAL	110/70R17, 120/60R17, 120/70R17	
BATTLAX BT-80S R RADIAL	130/60R17, 160/60R17, 150/60R18	
ME01Z	120/600R17	'94. 2. 10
BATTLAX BT-80F-RADIAL	110/70R17 54H, 120/60R17 55H, 120/70R17 58H	'94. 7. 20
BATTLAX BT-80R-RADIAL	130/60R17 66H, 160/60R17 69H	'94. 5. 20
BATTLAX BT-90F-RADIAL	110/70 R17 54H 120/60 R17 55H 120/70 R17 58H	'95. 1. 20
BATTLAX BT-90R-RADIAL	150/60 R17 66H 160/60 R17 69H 140/60 R18 64H 150/60 R18 67H	'95. 1. 20
BATTLAX BT-90F RADIAL	110/70R17 54H, 120/60R17 55H 120/70R17 58H	'95. 1. 20
BATTLAX BT-90R RADIAL	130/60R17 66H, 160/60R17 69H 140/60R18 64H, 150/60R18 67H	'95. 1. 20
ME01F	90/580R17	'95. 3. 15
RACING BATTLAX RADIAL WET ME01Z	110/590R17	'95. 5. 1
BATTLAX BT-90F RADIAL	110/70R17 54H, 120/70R17 58H	'95. 7. 19

ME77Z	使用可能リム2.75~3.50	110/585R17	'95.11.28
ME76	使用可能リム3.00~3.75	120/595R17	'95.11.28
ME04Z	使用可能リム4.50~5.50	160/620R17	'95.11.28

●横浜ゴム株

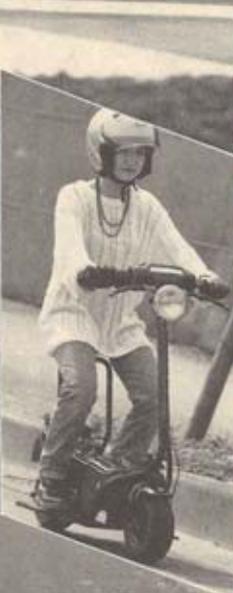
〒105東京都港区新橋5-36-11 ☎03-3432-7111

タイヤ名	サイズ	登録月日
F-003A2	80/90R16, 90/90R16, 90/80R17, 90/90R17, 100/90R18,	
F-610	80/595R18, 85/570R17, 90/600R18, 100/580R17, 110/600R17, 120/605R17, 135/640R18, 150/600R17, 150/630R18, 180/630R17, 180/655R18	
F-003	110/70R17, 120/60R17, 140/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 140/60R18, 150/60R18, 120/70R17, 170/60R17, 170/60R18	
F-006	110/70R17, 120/60R17, 140/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 140/60R18, 150/60R18, 120/70R17, 170/60R17, 170/60R18	
GETTAR F007RR	110/70F175H, 120/60F1755H	'91. 6. 10
GETTAR F007RR	140/60R1763H, 150/60R1867H	'91. 7. 1
GETTAR F007RR	150/60F1766H, 160/60F1769H	'91. 6. 10
GETTAR F007RR	110/70R17 54H	'92. 4. 3
GETTAR F007RR	120/60R17 55H	'92. 4. 3
GETTAR F007RR	140/60R17 63H 150/60R17 66H 150/60R18 67H 160/60R17 69H	'92. 4. 3
GETTAR F007RR	110/70R17 54H 120/60R17 55H	'92. 7. 15
GETTAR F007RR	140/60R17 63H 150/60R17 66H 150/60R18 67H 160/60R17 69H	'92. 7. 15
GETTAR F610 GETTAR R610	110/600R17, 120/605R17, 150/600R17, 105/580R17,	'93. 6. 15
GETTAR F007RR GETTAR R007RR	100/80-17 52S 120/80-17 61S	'93. 6. 10
GETTAR R610	150/600R17, 150/630R18,	'94. 2. 25
GETTAR R007A SPRINT	110/70R17 54H, 120/60R17 55H 120/60R17 66H, 160/60R17 69H 140/60R17 63H, 150/60R18 67H	'94. 7. 20

MFJ 公認車両(スノーモビル)

部門		クラス				
排気量		SJクラス	S4クラス	S3クラス	S2クラス	S1クラス
	水冷エンジン	—	~125ccまで	126cc~350ccまで	351cc~500ccまで	オープン
	空冷エンジン	~125ccまで	126cc~350ccまで	351cc~500ccまで	501cc~750ccまで	オープン
車 両 名	SV80 (E) SV125E	CS340 (E) S340 S250 ET250 ET300 ET340 GPX338 EC340 TXL340 S300T S350DX INDY SPORTS INDY LITE	PZ480 PZ480ED PZ480E PZ480LT PZ480SP S440 SS440 GPX433 INDY-TRAIL CUTLASS-SS TXL-INDY VT480E FORMURA-SL	PZ480 PZ480ED PZ480E PZ480LT PZ480SP S440 SS440 GPX433 INDY-TRAIL CUTLASS-SS TXL-INDY VT480E FORMURA-SL	S540 EC540 XL540 INDY500 (SP) INDY400 PROWER440 SKI-DOO FORMULA MX-Z VX500E EX570SX EX570LT VX500LT INDY XCR440 FORMURA-Z INDY 500EFI Formula SLS	EX570 (E) EX570SP INDY650 (FXL) FORMULA-MACHI EL-TIGRE WILD-CAT WILD-CAT700 FORMULA-PLUS VX750 INDY XLT ARCTIC CAT INDY STORM INDY XLT SPECIAL SKI-DOO MACH Z VX600E EX570LT VX600LT VX600XT VX800E VX800LT INDY XCR600 (SP) MXZ583 Formula III ※他クラス車両

その他の部門車両区分 ▶ フレッシュマンレース、レディース・ジュニア、OBレースのクラス区分は主催者により定める。



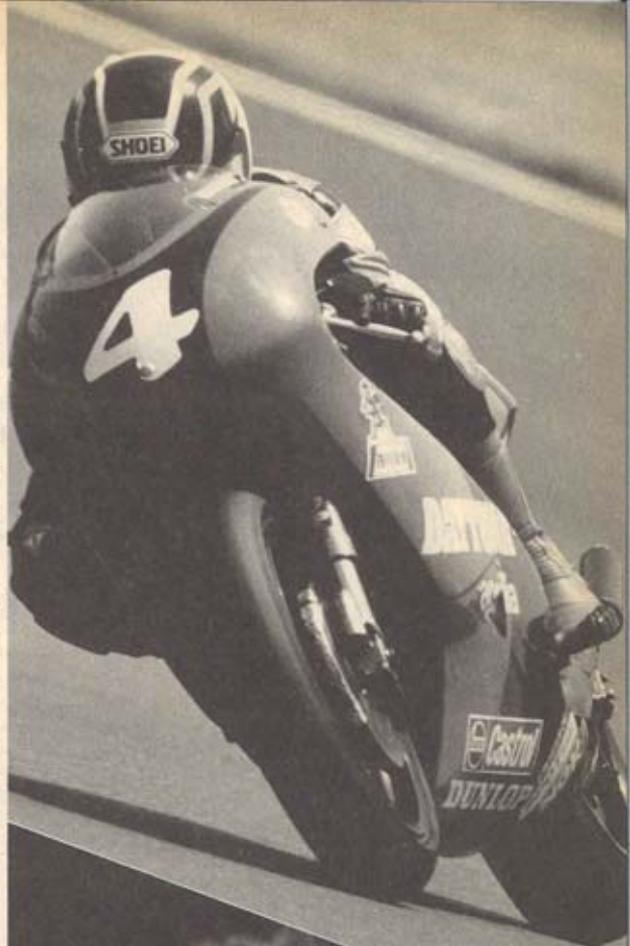
レース、ニューモデル、レジャー、用品まで
充実した内容と天下一品の面白さ。

モーター サイクリスト

毎月1日発売/定価550円

フレッシュで、豊かな「MCライフ」を応援します。

断然面白い！
八重洲出版の
2
大バイク
マガジン



ダイナミックにスケールアップ/した伝統の
モーターサイクリストのアダルト版。

別冊 MOTOR CYCLIST

毎月15日発売/定価650円

MFJ

全国公認サーキット

- 北海道：HSP(北海道スピードパーク)
：十勝インターナショナルスピードウェイ
宮城県：スポーツランドSUGO
：仙台ハイランドレースウェイ
新潟県：日本海間瀬サーキット
福島県：エビスサーキット
：エビスサーキット西コース
栃木県：那須モータースポーツランド
茨城県：筑波サーキット
静岡県：富士スピードウェイ(FISCO)
三重県：鈴鹿サーキット
：鈴鹿サーキット南コース
兵庫県：猪名川サーキット
岡山県：TIサーキット・英田
：中山サーキット
山口県：MINEサーキット
徳島県：阿讃サーキット
大分県：スポーツ&セーフティライディングフィールド・SPA直入
：オートポリスインターナショナルレーシングコース
熊本県：HSR九州(ホンダセーフティ&ライディングブラザ九州)

▶HSP(北海道スピードパーク)

〒044 北海道虻田郡倶知安町宇峠下155
☎0136(23)3880

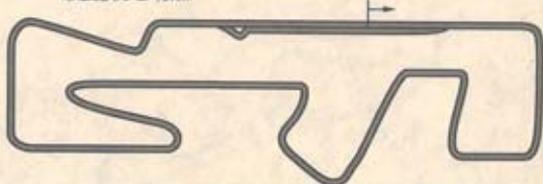
全長距離/1,389.44m
最大直線長/365m
ピット数/15個
走行路幅員/9~12m
交通/札幌市内より95km



▶十勝インターナショナルスピードウェイ

〒089-15 北海道河西郡更別村字弘和477番地
☎0155(52)3910

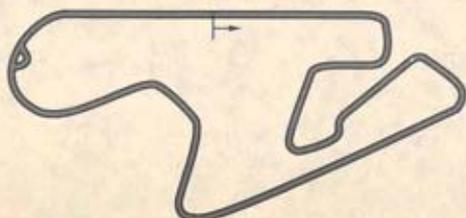
全長距離/グランプリコース 5,091.45m
/クラブマンコース 3,405.87m
最大直線長/1,010m
ピット数/36個
走行路幅員/13.5~15m
交通/帯広空港から15km
帯広駅から40km



▶スポーツランドSUGO

〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生
☎0224(83)3111

全長距離/3,737.5m
最大直線長/704.5m
ピット数/45個
走行路幅員/10~12.5m
交通/東北自動車道・村田ICより約10km



▶仙台ハイランドレースウェイ

〒989-34 宮城県仙台市青葉区新川早坂12
☎022(395)2120

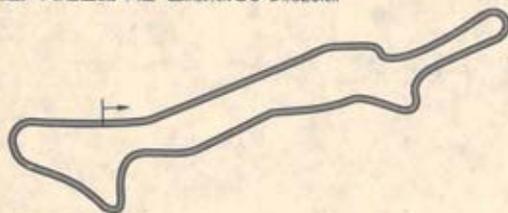
全長距離/4,029.60m
最大直線長/584.34m
ピット数/35個
走行路幅員/12~15m
交通/東北自動車道
仙台宮城ICより約20km



▶日本海間瀬サーキット

〒953-01 新潟県西蒲原郡岩室村間瀬610
☎0256(85)2201

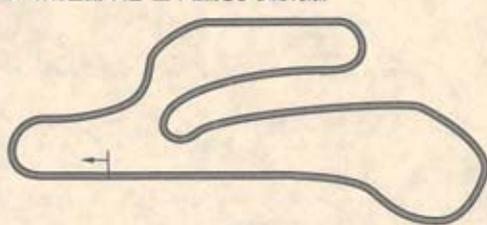
全長距離/2,000m
ピット数/15箇
走行路幅員/8~12m
交通/関越自動車道・巻湯東I.Cより約20km



▶エビスサーキット

〒964 福島県二本松市沢松倉1
☎0243(24)2972

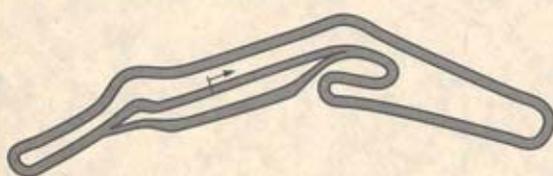
全長距離/2,061m
最大直線長/420m
ピット数/20箇
走行路幅員/10~12m
交通/東北自動車道・二本松I.Cより約10km



▶エビスサーキット西コース

〒964 福島県二本松市沢倉1
☎0243(24)2972

全長距離/2,103m
最大直線長/275.92m
ピット数/60箇
走行路幅員/10~15m
交通/東北自動車道・二本松I.Cより約10km



▶那須モータースポーツランド

〒325 栃木県黒磯市寺子字坂の上877
☎0287(63)7300

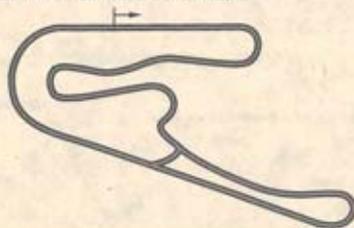


全長距離/1,120m
最大直線長/280m
ピット数/12箇
走行路幅員/7.5~12m
交通/東北自動車道・那須I.Cより約10km

▶筑波サーキット

〒300-34 茨城県結城郡千代川村大字村岡
☎0296(44)3146

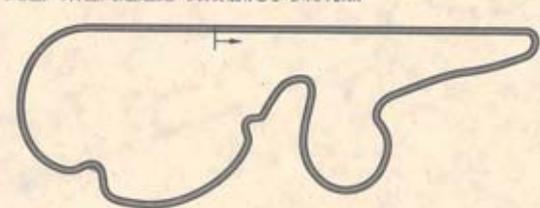
全長距離/2,070m
最大直線長/437.75m
ピット数/30箇
走行路幅員/10~15m
交通/常磐自動車道・谷和原I.Cより約25km



▶富士スピードウェイ(FISCO)

〒410-13 静岡県駿東郡小山町大御神
☎0550(78)1234

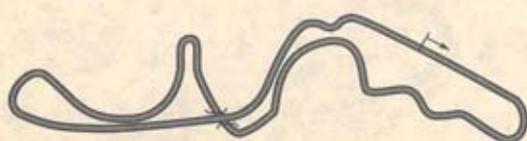
全長距離/4,474m
最大直線長/1,600m
ピット数/45箇
走行路幅員/12~15m
交通/東名高速道路・御殿橋I.Cより約10km



▶鈴鹿サーキット

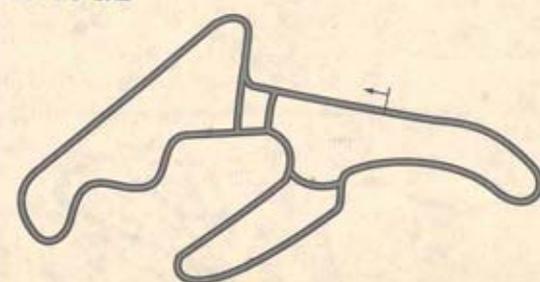
〒510-88 三重県鈴鹿市相生町7992
☎0593(78)1111

全長距離/5,864.03m
最大直線長/900m
ピット数/48箇
走行路幅員/9.2~12m
交通/東名阪自動車道・鈴鹿I.Cより約13km



▶鈴鹿サーキット南コース

全長距離/1,264m
最大直線長/190m
ピット数/20箇

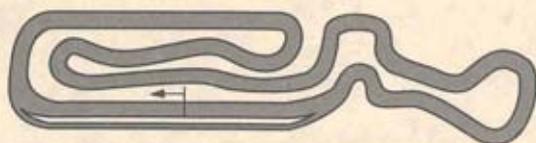


▶ 猪名川サーキット

〒666-02 兵庫県川辺郡猪名川町清水字前谷72-1

☎0727(69)0193

全長距離/1,021m
最大直線長/131.7m
ピット数/30個
走行路幅員/8~12m
交通/県道川西篠山線から1.5km



▶ TIサーキット・英田

〒701-26 岡山県英田郡英田町滝宮1210

☎08687(4)3311

全長距離/3,702m
最大直線長/680m
ピット数/54個
走行路幅員/12~15m
交通/中国自動車道・美作I.Cより約26km

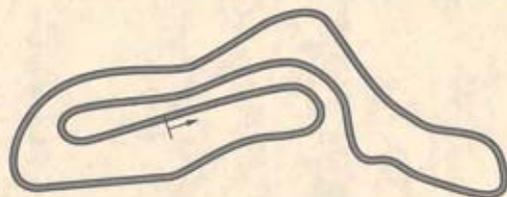


▶ 中山サーキット

〒709-04 岡山県和気郡和気町大中山751

☎0869(93)2333

全長距離/2,007m
最大直線長/250m
ピット数/56個
走行路幅員/10~18m
交通/山陽自動車道・和気I.Cより約800m



▶ MINEサーキット

〒759-21 山口県祿市西厚保町長尾

☎08375(8)0321

全長距離/3,238.98m
最大直線長/900m
ピット数/46個
走行路幅員/10~15m
交通/中国自動車道
小月I.Cより約16km、美祿I.Cより約18km

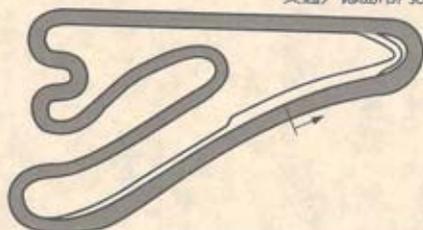


▶ 阿讃サーキット

〒771-25 徳島県三好郡三好町大字東山字滝久保319

☎0883(79)3705

全長距離/1,004.31m
最大直線長/2229.549m
ピット数/10個
走行路幅員/9~12m
交通/徳島市内より約70km



▶ スポーツ&セーフティ

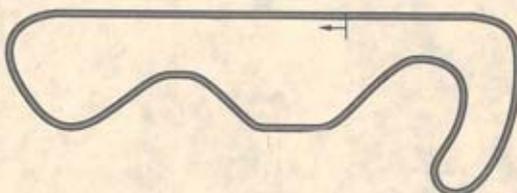
ライディングフィールド・SPA直入

〒878-04 大分県直入郡直入町大字上田北字浦原510-15

☎0974(75)3191

交通/大分市内より40km

全長距離/1,430m
最大直線長/420m
ピット数/24個
走行路幅員/10~11m

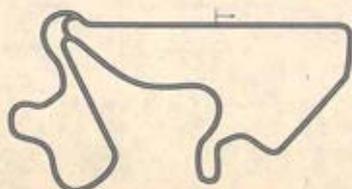


▶ オートポリスインターナショナルレーシングコース

〒877-03 大分県日田郡上津江村

☎0973(26)1111

全長距離/4,674m
最大直線長/902m
ピット数/46個
走行路幅員/12~15m
交通/九州自動車道・菊水I.Cより約45km
大分自動車道・日田I.Cより約45km



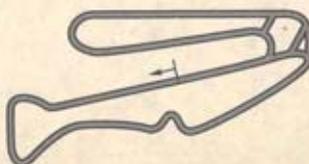
▶ HSR九州

ホンダセーフティ&ライディングプラザ九州

〒869-12 熊本県菊池郡大津町大字平川11500

☎096(293)1370

全長距離/1,987m
最大直線長/350m
ピット数/30個
走行路幅員/9~12m
交通/九州縦貫道路・熊本I.Cより約15km



歴代チャンピオンレース

ROAD RACE

DRAG RACE

TRIAL

MOTOCROSS

SNOWMOBIL

STADIUM TRIAL

ROAD RACE

●ロードレース部門 ('67~'95年)

年	部 門	クラス	氏 名
'67	ジュニア	50cc	柴田 正之
		90cc	中 隆道
		125cc	大沢 安男
		250cc	太田 耕治
'68	ジュニア	50cc	伊藤 光夫
		90cc	滋野 靖恒
		125cc	増田 弘司
		250cc	矢野 啓司
'69	ジュニア	50cc	角谷 新二
		90cc	鈴木 聖弘
		125cc	大脇 俊夫
		250cc	中山 仁
'70	ジュニア	50cc	酒井 善一
		90cc	森井 茂夫
		125cc	谷口 哲哉
		250cc	栗木 良明
'71	ジュニア	50cc	神谷 馬場
		90cc	和田 忠雄
		125cc	和松 正宏
		250cc	松永 善
'72	ジュニア	50cc	野田 正彦
		90cc	斎藤 茂憲
		125cc	中尾 康夫
		250cc	数井 隆
'73	ジュニア	50cc	角谷 新二
		90cc	高井 俊彦
		125cc	尾崎 彦二
		250cc	里村 祥二
'74	ジュニア	50cc	小田 豊
		90cc	隅谷 守男
		125cc	隅谷 秀夫
		250cc	隅谷 守男
'75	ジュニア	50cc	岩道 博
		90cc	柴谷 正昭
		125cc	小塚 法廷
		250cc	鍋田 正明
'76	ジュニア	50cc	江崎 正
		90cc	青山 英二
		125cc	糟野 雅治
		250cc	只野 光男
'77	ジュニア	50cc	近藤 英二
		90cc	小田 豊
		125cc	大脇 俊夫
		250cc	河崎 裕之
'78	ジュニア	50cc	平井 裕
		90cc	上田 公次
		125cc	大橋 富夫
		250cc	松谷 光明
'79	ジュニア	50cc	渡辺 富士夫
		90cc	青木 辰己
		125cc	内田 隆
		250cc	加藤 昇平
'80	ジュニア	50cc	江崎 正
		90cc	遠藤 恒雄
		125cc	中尾 康夫
		250cc	浅見 貞男
'81	ジュニア	50cc	金谷 秀夫
		90cc	杉本 泉
		125cc	大脇 俊夫
		250cc	金谷 秀夫
'82	ジュニア	50cc	菅原 伸夫
		90cc	坂上 真一
		125cc	上野 昭孝
		250cc	富江 昭孝
'83	ジュニア	50cc	毛利 良一
		90cc	大本 十生
		125cc	大本 十生
		250cc	片山 敬済
'84	ジュニア	50cc	渡辺 富士夫
		90cc	阿部 孝夫
		125cc	内田 隆
		250cc	小田 豊
'85	ジュニア	50cc	小田 豊
		90cc	小田 豊
		125cc	小田 豊
		250cc	小田 豊

●ROAD RACE

年	部 門	クラス	氏 名
'73	ノービス	90cc	杉野 順三
		125cc	山守 守
		250cc	橋本 久仁啓
		350cc	新田 茂
'74	ノービス	90cc	新田 茂
		125cc	山崎 公達
		250cc	佐藤 順造
		350cc	毛利 良一
'75	ノービス	90cc	角谷 新二
		125cc	根本 健
		250cc	同崎 隆史
		350cc	佐藤 健正
'76	ノービス	90cc	酒井 正克
		125cc	合津 悟志
		250cc	石井 康夫
		350cc	橋本 久仁啓
'77	ノービス	90cc	鈴木 裕之
		125cc	岩道 博
		250cc	坂本 裕介
		350cc	青木 辰己
'78	ノービス	90cc	片橋 英治
		125cc	東金 俊彦
		250cc	橋谷 保
		350cc	酒井 克
'79	ノービス	90cc	大島 孝治
		125cc	相沢 清男
		250cc	石井 康男
		350cc	江崎 正
'80	ノービス	90cc	浅見 貞男
		125cc	牧野 栄浩
		250cc	川上 恵司
		350cc	木下 育男
'81	ノービス	90cc	東金 一博
		125cc	水谷 浩之
		250cc	太田 良一
		350cc	飯田 順造
'82	ノービス	90cc	高井 俊次郎
		125cc	毛利 順造
		250cc	佐藤 裕之
		350cc	高井 俊次郎
'83	ノービス	90cc	鈴木 利彦
		125cc	伊藤 裕之
		250cc	藤本 泰
		350cc	川上 清久
'84	ノービス	90cc	山名 久
		125cc	徳外 仁久
		250cc	飯田 裕之
		350cc	鈴木 修一
'85	ノービス	90cc	毛利 良一
		125cc	平野 芳男
		250cc	上田 幸也
		350cc	長谷川 嘉久
'86	ノービス	90cc	伊藤 裕之
		125cc	伊藤 巧
		250cc	藤本 泰東
		350cc	上田 公次
'87	ノービス	90cc	上田 公次
		125cc	上田 公次
		250cc	石川 岩夫
		350cc	上野 真一
'88	ノービス	90cc	富田 英志
		125cc	斉藤 光雄
		250cc	吉村 俊宏
		350cc	阿部 三吉
'89	ノービス	90cc	阿部 忠彦
		125cc	三夫 三夫
		250cc	水谷 恵司
		350cc	木下 勝
'90	ノービス	90cc	五百部 徳雄
		125cc	窪田 正二
		250cc	山本 隆一
		350cc	山本 清孝
'91	ノービス	90cc	垣内 光男
		125cc	田中 一
		250cc	瀬田 明
		350cc	平 忠彦
'92	ノービス	90cc	鈴木 修
		125cc	鈴木 修
		250cc	鈴木 修
		350cc	鈴木 修

●ROAD RACE

年	部 門	クラス	氏 名
'81	ノ ー ビ ス	125cc	荒木 利春
		250cc	中山 博文
		125cc	竹村 浩生
		250cc	七尾 道夫
'82	ノ ー ビ ス	125cc	一ノ瀬 明憲
		250cc	藤本 泰東
		350cc	藤本 惠司
		500cc	藤本 惠司
'83	ノ ー ビ ス	125cc	藤田 雅樹
		250cc	三浦 昇
		125cc	荒木 利春
		250cc	小林 大
'84	ノ ー ビ ス	125cc	一ノ瀬 明憲
		250cc	福田 照男
		500cc	水谷 勝
		500cc	水谷 勝
'85	ノ ー ビ ス	125cc	宮城 光
		250cc	宮城 建一
		125cc	宮城 光
		250cc	宮城 光
'86	ノ ー ビ ス	125cc	藤田 雅樹
		250cc	坂口 彰
		125cc	栗谷 二郎
		250cc	栗谷 二郎
'87	ノ ー ビ ス	125cc	齊藤 兼一
		250cc	山田 浩史
		250cc	山田 浩史
		250cc	山田 浩史
'88	ノ ー ビ ス	125cc	宮城 光
		250cc	宮城 光
		125cc	清水 雅弘
		250cc	清水 雅弘
'89	ノ ー ビ ス	125cc	八代 俊二
		250cc	江崎 正二
		250cc	栗谷 二郎
		500cc	栗谷 二郎
'90	ノ ー ビ ス	125cc	持田 利明
		250cc	太田 浩一
		250cc	井上 實博
		250cc	井上 實博
'91	ノ ー ビ ス	125cc	辻本 隆一
		250cc	山本 敏久
		250cc	山本 敏久
		500cc	山本 敏久
'92	ノ ー ビ ス	125cc	町井 邦生
		250cc	藤沢 哲也
		250cc	町井 邦生
		250cc	町井 邦生
'93	ノ ー ビ ス	125cc	山本 健一
		250cc	辻本 信二
		250cc	片山 惠司
		500cc	片山 惠司
'94	ノ ー ビ ス	125cc	新垣 敏之
		250cc	佐藤 健一
		250cc	佐藤 健一
		250cc	佐藤 健一
'95	ノ ー ビ ス	125cc	田口 益光
		250cc	大島 久
		250cc	清水 雅弘
		500cc	藤原 儀彦
'96	ノ ー ビ ス	125cc	白井 直樹
		250cc	原田 哲也
		250cc	水井 康友
		250cc	水井 康友
'97	ノ ー ビ ス	125cc	塩森 俊修
		250cc	宮崎 祥司
		250cc	廣瀬 幸幸
		500cc	本間 利彦
'98	ノ ー ビ ス	125cc	福島 聡
		250cc	坂田 和人
		250cc	新井 秀也
		250cc	新井 秀也
'99	ノ ー ビ ス	125cc	ダグ・ボレン
		250cc	ダグ・ボレン
		250cc	山崎 冬樹
		500cc	岡田 忠之

●ROAD RACE

年	部 門	クラス	氏 名
'90	国内 A 級	SP750	吉川和多留
		フォーミュラ3	高橋 勝義
		77cc	渡辺 正人
		125cc	森兼 正明
'91	国内 A 級	77cc	鶴田 竜二
		125cc	森北 貴行
		250cc	小林 敏也
		500cc	岩橋 健一郎
'92	国内 A 級	125cc	坂田 和人
		250cc	岡田 忠之
		500cc	伊藤 真一
		500cc	伊藤 真一
'93	国内 A 級	フォーミュラ3	松戸 直樹
		SP750	阿部 徹
		125cc	榎垣 幸則
		250cc	宇川 徹
'94	国内 A 級	フォーミュラ3	椎名 明
		77cc	高橋 勝義
		125cc	高崎 祥司
		250cc	小野 真央
'95	国内 A 級	125cc	岡田 忠之
		250cc	岡田 忠之
		500cc	ピーター・ゴット
		500cc	ピーター・ゴット
'96	国内 A 級	125cc	齊藤 明
		250cc	原田 哲也
		500cc	グリン・ビーター
		500cc	塚本 昭一
'97	国内 A 級	125cc	加藤 義昌
		250cc	宇川 徹
		500cc	阿部 典史
		500cc	北川 圭一
'98	国内 A 級	125cc	宮坂 賢
		250cc	宇川 徹
		500cc	吉川和多留
		500cc	吉川和多留
'99	国内 A 級	125cc	宇井 陽一
		250cc	沼田 憲保
		500cc	青木 拓磨
		500cc	青木 拓磨

MOTOCROSS
●モトクロス部門 ('67~'95年)

年	部 門	クラス	氏 名
'67	アマチュア	50cc	黒川 陸
		90cc	河野 和憲
		125cc	高橋 道雄
		250cc	高橋 道雄
'68	アマチュア	25cc以上	森下 博
		90cc	山本 隆
		125cc	吉村 太一
		250cc	山本 隆
'69	アマチュア	50cc	堀 勇
		90cc	堀 勇
		125cc	堀 勇
		250cc	山下 和男
'70	アマチュア	50cc	山下 和男
		90cc	山下 和男
		125cc	山下 和男
		250cc	山下 和男
'71	アマチュア	50cc	堀 勇
		90cc	堀 勇
		125cc	堀 勇
		250cc	堀 勇
'72	アマチュア	50cc	堀 勇
		90cc	堀 勇
		125cc	堀 勇
		250cc	堀 勇
'73	アマチュア	50cc	堀 勇
		90cc	堀 勇
		125cc	堀 勇
		250cc	堀 勇
'74	アマチュア	50cc	堀 勇
		90cc	堀 勇
		125cc	堀 勇
		250cc	堀 勇
'75	アマチュア	50cc	堀 勇
		90cc	堀 勇
		125cc	堀 勇
		250cc	堀 勇
'76	アマチュア	50cc	堀 勇
		90cc	堀 勇
		125cc	堀 勇
		250cc	堀 勇
'77	アマチュア	50cc	堀 勇
		90cc	堀 勇
		125cc	堀 勇
		250cc	堀 勇
'78	アマチュア	50cc	堀 勇
		90cc	堀 勇
		125cc	堀 勇
		250cc	堀 勇
'79	アマチュア	50cc	堀 勇
		90cc	堀 勇
		125cc	堀 勇
		250cc	堀 勇

●MOTOCROSS

年	部 門	クラス	氏 名
'70	ノービス	50cc	一色 薫
		90cc	小田切 信雄
		125cc	平野 芳男
		250cc	青木 雅和
'71	ジュニア	90cc	鈴木 都良夫
		125cc	鈴木 都良夫
		250cc	岩尾 一敏
		250cc	岩尾 一敏
'72	セニア	125cc	吉村 太一
		250cc	吉村 太一
		90cc	栗原 和年
		125cc	栗原 和年
'73	ノービス	90cc	栗原 和年
		125cc	栗原 和年
		250cc	栗原 和年
		250cc	栗原 和年
'74	ジュニア	90cc	中村 忠
		125cc	中村 忠
		250cc	竹浦 正治
		250cc	竹浦 正治
'75	エキスパート	125cc	瀬尾 勝彦
		250cc	瀬尾 勝彦
		125cc	矢島 金次郎
		250cc	上野 広一
'76	セニア	90cc	藤 秀信
		125cc	藤 秀信
		250cc	藤 秀信
		250cc	藤 秀信
'77	エキスパート	125cc	小田切 信雄
		250cc	池田 勝
		90cc	唐沢 栄三郎
		125cc	唐沢 栄三郎
'78	ジュニア	125cc	唐沢 栄三郎
		250cc	唐沢 栄三郎
		125cc	鈴木 秀明
		250cc	鈴木 都良夫
'79	ノービス	90cc	菅家 惠
		125cc	村上 光則
		250cc	村上 光則
		250cc	村上 光則
'80	ジュニア	90cc	吉田 哲郎
		125cc	吉田 哲郎
		250cc	吉田 哲郎
		250cc	吉田 哲郎
'81	エキスパート	125cc	岸川 清秀
		250cc	岸川 清秀
		250cc	岸川 清秀
		250cc	岸川 清秀
'82	セニア	125cc	鈴木 都良夫
		250cc	鈴木 秀明
		90cc	谷川 敬二
		125cc	谷川 敬二
'83	ジュニア	125cc	谷川 敬二
		250cc	谷川 敬二
		250cc	谷川 敬二
		250cc	谷川 敬二
'84	エキスパート	125cc	渡辺 明
		250cc	渡辺 明
		125cc	鈴木 秀明
		250cc	鈴木 秀明
'85	ジュニア	90cc	北村 陸
		125cc	北村 陸
		250cc	北村 陸
		250cc	北村 陸
'86	エキスパート	125cc	青山 金助
		250cc	青山 金助
		125cc	東福寺 保雄
		250cc	東福寺 保雄
'87	セニア	125cc	杉尾 良文
		250cc	杉尾 良文
		125cc	増田 耕二
		250cc	増田 耕二
'88	ジュニア	90cc	月岡 尚人
		125cc	月岡 尚人
		250cc	横山 隆夫
		250cc	横山 隆夫
'89	エキスパート	125cc	光安 鉄美
		250cc	光安 鉄美
		250cc	青山 金助
		250cc	青山 金助
'90	セニア	125cc	鈴木 都良夫
		250cc	鈴木 都良夫
		125cc	竹沢 正治
		250cc	竹沢 正治
'91	ジュニア	90cc	渡辺 義一
		125cc	渡辺 義一
		250cc	福田 正敏
		250cc	福田 正敏
'92	エキスパート	125cc	佐藤 健二
		250cc	佐藤 健二
		250cc	大藤 浩一
		250cc	大藤 浩一
'93	セニア	125cc	瀬尾 勝彦
		250cc	瀬尾 勝彦
		125cc	瀬尾 勝彦
		250cc	瀬尾 勝彦
'94	ジュニア	90cc	原本 寛
		125cc	原本 寛
		250cc	松市 健
		250cc	松市 健
'95	エキスパート	125cc	佐々木 隆
		250cc	佐々木 隆
		125cc	瀬尾 勝彦
		250cc	瀬尾 勝彦

付録

付録

●MOTOCROSS

年	部 門	クラス	氏 名
'79	ジュニア	90cc	齊藤 武男
		125cc	大久保和親
		250cc	堀口 雅史
エキスパート	ジュニア	125cc	秋元 春夫
		250cc	原口 衛
		セニア	125cc
セニア	ジュニア	250cc	小野沢良一
		125cc	小野沢良一
		250cc	谷川龍太郎
'80	国際B級	125cc	庄司 覚
		250cc	東福寺保雄
		国際A級	125cc
'81	ジュニア	125cc	勝一 学
		250cc	茶谷 学
		国際B級	125cc
国際B級	国際A級	250cc	同部 篤史
		125cc	東福寺保雄
		250cc	福本 敏夫
'82	ジュニア	125cc	ロンキンダー
		250cc	馬場 善人
		国際B級	125cc
国際B級	国際A級	250cc	小橋 勝年
		125cc	大関 昌典
		250cc	東福寺保雄
'83	ジュニア	125cc	天田 淳
		250cc	天田 淳
		国際B級	125cc
国際B級	国際A級	250cc	茶谷 学
		125cc	庄司 覚
		250cc	杉尾 良文
'84	ジュニア	125cc	舘所 伸一
		250cc	小栗 伸幸
		国際B級	125cc
国際B級	国際A級	250cc	鶴田 忍
		125cc	東福寺保雄
		250cc	スパーマーン
'85	ジュニア	125cc	長沼 朝之
		250cc	花田 茂樹
		国際B級	125cc
国際B級	国際A級	250cc	田道 武
		125cc	同部 篤史
		250cc	スパーマーン
'86	ジュニア	125cc	藤本 正勝
		250cc	吉田 和泉
		国際B級	125cc
国際B級	国際A級	250cc	花田 茂樹
		125cc	伊田井佐夫
		250cc	東福寺保雄
'87	ジュニア	125cc	岸田 隆夫
		250cc	橋本 慎二
		国際B級	125cc
国際B級	国際A級	250cc	石橋 博也
		125cc	同部 篤史
		250cc	東福寺保雄
'88	ジュニア	125cc	大塚 元和
		250cc	大塚 元和
		国際B級	125cc
国際B級	国際A級	250cc	大塚 忠和
		125cc	同部 篤史
		250cc	東福寺保雄
'89	ジュニア	125cc	黒古 尚利
		250cc	黒古 尚利
		国際B級	125cc
国際B級	国際A級	250cc	榎本 正則
		125cc	光安 鉄美
		250cc	同部 篤史

●MOTOCROSS

年	部 門	クラス	氏 名
'90	国内A級	125cc	萩島 忠雄
		250cc	萩島 忠雄
		国際B級	125cc
国際B級	国際A級	250cc	村橋健太郎
		125cc	東福寺保雄
		250cc	東福寺保雄
'91	国際B級	125cc	半場 謙吾
		250cc	城田 賢一
		国際A級	125cc
'92	国際B級	250cc	佐々木裕介
		125cc	田沢 豊男
		国際A級	125cc
'93	国際B級	250cc	益留信太郎
		125cc	益留信太郎
		国際A級	125cc
'94	国際B級	250cc	倉林啓一郎
		125cc	成田 亮
		国際A級	125cc
'95	国際B級	250cc	小田切一剛
		125cc	矢島 健一
		国際A級	125cc
'96	国際B級	250cc	川島雄一郎
		125cc	シブ・マビシ
		国際A級	125cc

TRIAL

●トライアル部門 ('67~'95年)

年	部 門	クラス	氏 名
'73	選抜		木 村 治 男
'74	ノービス	ジュニア	伊 吹 健 次
		ジュニア	伊 吹 健 次
'75	ジュニア	エキスパート	蜂 巣 秀 男
		エキスパート	蜂 巣 秀 男
'76	ジュニア	エキスパート	町 田 晴 男
		エキスパート	町 田 晴 男
'77	ジュニア	エキスパート	山 本 昌 也
		エキスパート	山 本 昌 也
'78	ジュニア	エキスパート	近 田 民 雄
		エキスパート	近 田 民 雄
'79	ジュニア	エキスパート	佐 藤 雄 一
		エキスパート	佐 藤 雄 一
'80	ジュニア	国際A級	広 木 一 美
		国際A級	広 木 一 美
'81	ジュニア	国際A級	石 黒 原 正 美
		国際A級	石 黒 原 正 美
'82	国際B級	国際A級	高 田 雅 孝
		国際A級	高 田 雅 孝
'83	国際B級	国際A級	和 山 弘 行
		国際A級	和 山 弘 行
'84	国際B級	国際A級	米 沢 満 夫
		国際A級	米 沢 満 夫
'85	国際B級	国際A級	泉 山 裕 朗
		国際A級	泉 山 裕 朗
'86	国際B級	国際A級	小 山 林 直 樹
		国際A級	小 山 林 直 樹
'87	国際B級	国際A級	小 伊 藤 敦 志
		国際A級	小 伊 藤 敦 志
'88	国際B級	国際A級	成 田 匠 志
		国際A級	成 田 匠 志
'89	国際B級	国際A級	宮 成 道 昌
		国際A級	宮 成 道 昌
'90	国際B級	国際A級	前 野 繁 志
		国際A級	前 野 繁 志
'91	国際B級	国際A級	本 中 元 治
		国際A級	本 中 元 治
'92	国際B級	国際A級	小 川 友 幸
		国際A級	小 川 友 幸

●TRIAL

年	部 門	クラス	氏 名
'93	国際B級	国際A級	田 中 善 弘
		国際A級	バスカル・クトリエ
'94	国際B級	国際A級	寺 澤 慎 也
		国際A級	成 田 亮
'95	国際B級	国際A級	成 田 亮
		国際A級	成 田 亮

STADIUM TRIAL

●スタジアムトライアル部門 ('67~'93年)

年	部 門	クラス	氏 名
'91	国際A級		中 川 義 博
'92	国際A級		バスカル・クトリエ
'93	国際A級		バスカル・クトリエ

SNOW MOBILE

●スノーモービル部門 ('71~'95年)

年	部 門	クラス	氏 名
'71	モディファイ300cc	モディファイ400cc	大月 信和
		モディファイ400cc	青木 雅和
		モディファイ401cc	大月 信和
'72	モディファイ300cc	モディファイ400cc	丹治 章
		モディファイ400cc	丹治 章
		モディファイ401cc	丹治 章
'73	モディファイ340cc	モディファイ440cc	伊藤 盛男
		モディファイ440cc	小田切信雄
'74	モディファイ340cc	モディファイ440cc	伊藤 盛男
		モディファイ440cc	伊藤 盛男
'75	モディファイ340cc	モディファイ440cc	伊藤 盛男
		モディファイ440cc	伊藤 盛男
'76	モディファイ340cc	モディファイ440cc	春名 薫
		モディファイ440cc	春名 薫
'77	モディファイ340cc	モディファイ440cc	藤本 整司
		モディファイ440cc	高橋 和雄
'78	モディファイ340cc	モディファイ440cc	丹治 章
		モディファイ440cc	丹治 章
'79	モディファイ340cc	モディファイ440cc	高橋 和雄
		モディファイ440cc	高橋 和雄
'80	モディファイ340cc	モディファイ440cc	高橋 和雄
		モディファイ440cc	高橋 和雄
		モディファイ440cc	高橋 和雄
'81	モディファイオープン	モディファイ540cc	領毛 信治
		モディファイ340cc	木田 勝義
		モディファイ300cc	佐々木善之
'82	モディファイオープン	モディファイ540cc	高橋 和雄
		モディファイ340cc	高橋 和雄
		モディファイ300cc	佐野 博
'83	モディファイオープン	モディファイ540cc	藤本 正勝
		モディファイ340cc	中山 忠
		モディファイ300cc	中山 忠
'84	モディファイオープン	モディファイ540cc	高橋 和雄
		モディファイ340cc	高橋 和雄
		モディファイ300cc	今野 博
'85	モディファイオープン	モディファイ540cc	高橋 和雄
		モディファイ340cc	高橋 和雄
		モディファイ300cc	今野 博
'86	モディファイオープン	モディファイ540cc	高橋 和雄
		モディファイ340cc	高橋 和雄
		モディファイ300cc	今野 博
'87	モディファイオープン	モディファイ540cc	高橋 和雄
		モディファイ340cc	高橋 和雄
		モディファイ300cc	今野 博
'88	モディファイオープン	モディファイ540cc	高橋 和雄
		モディファイ340cc	高橋 和雄
		モディファイ300cc	今野 博
'89	モディファイオープン	モディファイ540cc	高橋 和雄
		モディファイ340cc	高橋 和雄
		モディファイ300cc	今野 博
'90	モディファイオープン	モディファイ540cc	高橋 和雄
		モディファイ340cc	高橋 和雄
		モディファイ300cc	今野 博
'91	モディファイオープン	モディファイ540cc	高橋 和雄
		モディファイ340cc	高橋 和雄
		モディファイ300cc	今野 博
'92	モディファイオープン	モディファイ540cc	高橋 和雄
		モディファイ340cc	高橋 和雄
		モディファイ300cc	今野 博

● SNOW MOBILE

'88	モディファイオープン	遠藤 和也
	モディファイ540cc	江口 亨一
	モディファイ340cc	遠藤 和也
'89	モディファイオープン	熊谷 留夫
	モディファイ540cc	江口 亨一
	モディファイ340cc	遠藤 和也
'90	モディファイA級S1	江口 亨二
	モディファイA級S3	熊谷 留夫
	モディファイA級S4	江口 亨一
	モディファイB級S1	沼倉 照義
	モディファイB級S3	羽田野 達也
	モディファイB級S4	梅沢 文雄
'91	モディファイA級S1	成田 正弘
	モディファイA級S3	江口 亨一
	モディファイA級S4	大野 勇
	モディファイB級S1	内野 令一
	モディファイB級S3	梅沢 康二
	モディファイB級S4	木村 明剛
'92	モディファイA級S1	成田 正弘
	モディファイA級S3	上高 泰隆
	モディファイA級S4	高橋 晴彦
	モディファイB級S1	山内 康裕
	モディファイB級S3	又村 哲哉
	モディファイB級S4	八木橋 光治
'93	モディファイA級S1	上高 泰隆
	モディファイA級S3	三好 一浩
	モディファイA級S4	高橋 晴彦
	モディファイB級S1	千葉 賢一
	モディファイB級S3	千葉 賢一
	モディファイB級S4	泉沢 克美
'94	モディファイA級S1	上高 泰隆
	モディファイA級S2	上高 泰隆
	モディファイA級S3	中村 光貴
	モディファイA級S4	高橋 晴彦
	モディファイB級S1	関井 誠
	モディファイB級S2	大和 長武
モディファイB級S3	郷 和幸	
モディファイB級S4	芦田 幸廣	

● SNOW MOBILE

'95	モディファイA級S1	戸沢 真司
	モディファイA級S2	上高 泰隆
	モディファイA級S3	三好 一浩
	モディファイA級S4	上野 忠夫
	モディファイB級S1	松田 智典
モディファイB級S2	柏倉 秀伸	
モディファイB級S3	熊谷 聡真	
モディファイB級S4	松田 智典	

DRAG RACE

●ドラッグレース部門 ('93~'95年)

年	クラス	氏名
'93	プロストックバイク	田中 文樹
'94	プロストックバイク	田中 文樹
'95	プロストックバイク	上中 靖司

SUPERCROSS

●スーパークロス部門 ('94~'95年)

年	クラス	氏名
'94	125cc	高見 俊次
	250cc	櫻本 正剛
'95	125cc	辻本 幸二
	250cc	小橋 雅也

タイトルホルダーの証 MFJチャンピオンカード

MFJ [財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会] では、全日本選手権での最上級クラスでチャンピオンを獲得したライダーの功績をたたえ、チャンピオンを獲得したライダーに対し、MFJチャンピオンカードを発給しています。このチャンピオンカードを提示すると、全日本選手権等のイベント(特別イベント等除く)の入場がフリーパスとなり、過去の功績のあるライダーが気軽にサーキットに来れるものです。その中で建設的な意見を具申するなど、モーターサイクルスポーツ界に寄与してほしいと考えています。

ピットクルーに関する 指導要項

ピットクルーはライダーを補佐し、レースを円滑に進めるレースに欠かせない重要な役割を負っている。ライダーに変わって必要な情報を得たり、事務手続きをするなどのマネージャー的な役割や、レースの作戦を立てる監督的な役割、直接マシンの調整・修理をするメカニックまで、様々な立場の人がピットクルーライセンスを取得してレースに参加している。実際にレースにおいてピットクルーとして登録し作業する際には、下記のことには注意しなければならない。

1) ピットクルーの登録

① 基本的に下記の人数のピットクルーが登録可能である。

- ・ロードレース
 - 地方選手権以下：2名以内
 - エリア選手権：4名以内
 - 全日本選手権：6名以内
- ・モトクロス
 - 地方選手権以下：2名以内
 - 全日本選手権：2名以内

② ロードレースの場合、地方選手権においては最低1名のピットクルーを登録することが義務づけられる。これはライダーが負傷した場合、帰りの交通手段の確保や病院での手続き、家族への連絡が必ず必要となるためである。

2) ピットクルーの登録と変更・追加

ピットクルーはエントリー用紙のピットクルー登録欄に記入し、登録する。いったん登録したピットクルーは選手受付時に変更することは可能だが、申請人数より追加することはできない。変更の際は変更手数料1,000円が必要となる。

3) ピットクルーの服装

安全上長袖・長ズボンを着用すること。ロードレースのピットロードやスタート時にエンジン始動を手伝うときや足場の悪いモトクロスなどは半ズボンやサンダル履きは避けること。特に全日本選手権等の観客の多いイベントでは品位ある服装にすること。

4) ピットクルーの立ち入り範囲

- ① ロードレース
 - 各サーキットによって異なるが、ピット作業エリアとピットサインを出すプラットフォーム、スタート進行時にはコース上に入ることができる。
- ② モトクロス
 - 各大会ごとにコースレイアウトによってサインエリアが定められ公式通知、ライダーズミーティング等で説明される。

5) ピットクルーの遵守事項

全てのピットクルーは、自らの参加する競技に関する規則を熟知していなければならない。
また、安全に対する認識を持っていること。

① ロードレース

- ・ピットロードにおいては、ピットイン・ピットアウト車に十分注意すること。
また、無資格のゲスト、子供等がピットロードに出ないように注意する。
- ・火気に注意する。特に喫煙は指定の場所で行うこと。
- ・スタート進行時は、スタートが遅延しないよう作業すること。時間がきたら速やかにコース外に退去すること。
- ・メカニックは特にブレーキ系とオイル回りの安全対策を常にチェックすること。

② モトクロス

- ・指定されたサインエリアの区分から出てサインを出さないこと。
- ・指定のエリアを遵守すること。

6) ペナルティ

ピットクルーが犯した行為に対するペナルティは、そのピットクルーが登録されているライダーに対して与えられる。

7) レース運営への協力

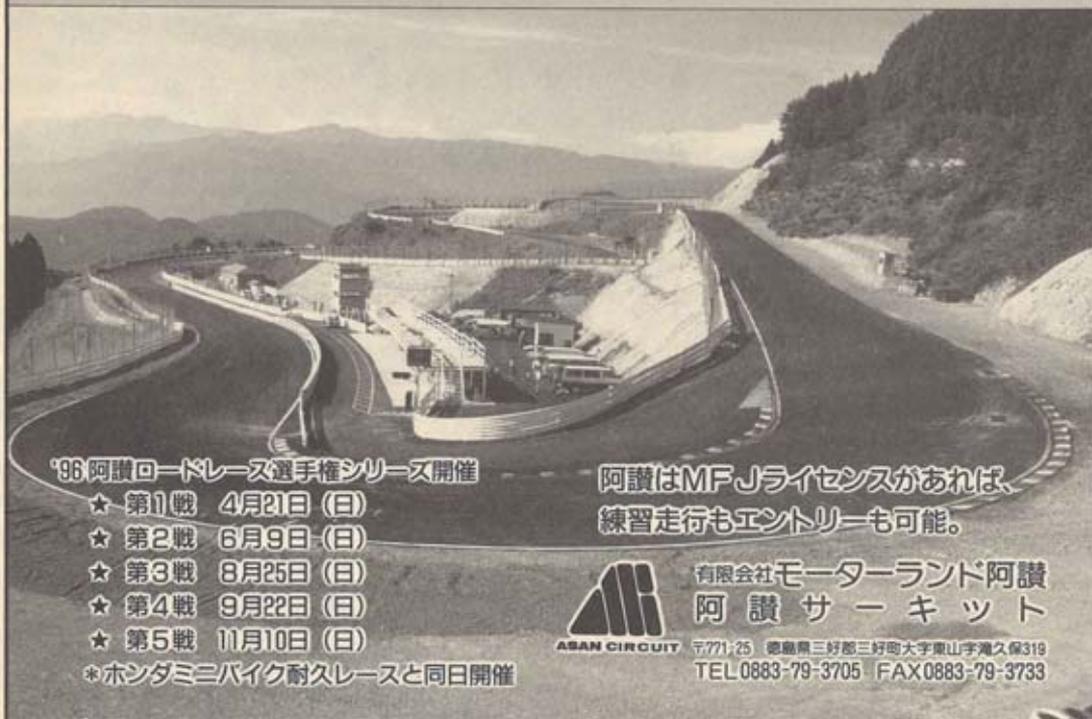
ライダーが黒旗を提示された場合は、ピット側に向けてもそれを提示するので、ピットサインでもその状況を伝え早急に停止するように伝達する。

特にオイルを撒いて走行しているときや、部品が脱落しそうな場合は他のライダーに大きな危険を及ぼすので、各自緊急時のサインを取り決めておくこと。

8) MFJ 共済会

MFJ ピットクルーライセンス料には、年間の MFJ 共済会費が含まれている。この MFJ 共済会費見舞金制度は、当該ピットクルーが正式に登録され、参加する大会の公式期間中に発生した事故等に対し適用される。

ASAN CIRCUIT



'96阿讃ロードレース選手権シリーズ開催

- ★ 第1戦 4月21日(日)
- ★ 第2戦 6月9日(日)
- ★ 第3戦 8月25日(日)
- ★ 第4戦 9月22日(日)
- ★ 第5戦 11月10日(日)

*ホンダミニバイク耐久レースと同日開催

阿讃はMFJライセンスがあれば、
練習走行もエントリも可能。



有限会社モーターランド阿讃
阿讃サーキット

〒771-25 徳島県三好郡三好町大字東山字滝久保319
TEL 0883-79-3705 FAX 0883-79-3733

(コピー可)

※この用紙をコピーして使用しても結構です。

住所・氏名変更用紙

住所・氏名を変更する場合は届出をお願いします。

枠内を全て記入して下さい。

住所変更届 (郵送・FAX用)	フリガナ (必ず記入)					
	氏名		1. 男			
			2. 女			
住所変更	請	年	月	日	(才)	
氏名変更	ライセンスNo.		都府一 都府一 都府一			
新住所 〒	都道府県	市町 区 村 郡				
			TEL	()		
月 日より変更します / 変更しました (平成 年 月 日)						

住所変更の届けは、郵送
かFAXでお願いします。

〒103
東京都中央区東日本橋
2-16-7
第2オカノビル7F
MFJ事務局 登録課

☎ 03-3865-8441
FAX 03-3865-8446

※変更届を提出後、変更ま
でに若干時間がかかります。
必ず現住所地及び新住
所地の郵便局に転居・転入
届けを出して下さい。

※氏名変更の方は、その変更を証明する免許証、保険証等の
コピーを併せて送って下さい。

(96 規則書)

※該当するものを○で囲んで下さい。

MFJ

ライセンスのご案内

レース参加!! その前にライセンス

CHALLENGE

モーターサイクルスポーツに
チャレンジしたい方、大募集!!

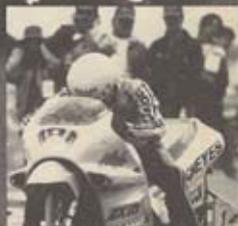
MFJではモーターサイクルスポーツを楽しむ、競技活動する仲間を募集しています。モーターサイクルスポーツには公認競技会(ロードレース、モトクロス、トライアル、ドラッグレース、スノーモビル)や、承認競技会(勝敗にこだわらず楽しむためのスポーツ)、承認行事(バイク仲間との交流を楽しむ)といったイベントがあります。自分にあった競技種目を選び、その「MFJ競技ライセンス」を取得してモーターサイクルスポーツにチャレンジして下さい。MFJでは、そんな皆さんを全ての競技会を通じて応援致します。



THRILLING ROAD RACE

SCRAMBLE SNOWMOBILE

EXCITING MOTOCROSS



POWER DRAG RACE



MIRACLE TRIAL

ライセンス取得者の特典

- 全国各地で開催されている公認・承認競技会への参加。
- 月刊「MFJライディング」誌、「MFJ国内競技規則書」の送付。
- 全日本モトクロス選手権シリーズ戦全戦無料ご招待。
- 全日本ロードレース&トライアル選手権シリーズ戦全戦入場料の30%OFF。
※チケット購入時にライセンスを提示して下さい。
- MFJオリジナルステッカーの贈呈。
- MFJオリジナルグッズのメンバー価格での提供。
- 最寄りのMFJスポーツ協力店を通じて、各種イベントやレジャー情報の提供。
- ライダーズビッグ保障プラン(ライダーのための生命保険)の加入斡旋。
- 競技中の事故に対して、MFJ共済会制度の適用により見舞金のお支払い。
- その他、各種特典がいっぱい。

'86年度MFJライセンス会員料金
【ライセンスの取得条件と料金は】

種別	カテゴリ	ライセンスの取得条件		ライセンス料
		①	②	
ロードレース	国内 プロダクション、レーサー 2級まで、5級まで、5級 3級、5級、6級	公認ロードレースでの1000km以上走行記録(走行距離平均)を 取得した方	公認ロードレース・国内トライ アル選手権会を主催した方	9,000円
	フレッシュマン レーサー2級まで、5級 まで、5級、6級、6級、 ジュニア・ジュニア	公認ロードレースライセンス 取得した方	公認ロードレース・フレッシュ マン選手権会を主催した方	8,000円
モトクロス	ジュニア (12-14歳) 5級、6級、6級、6級	公認ロードレース・ジュニアライセンス 取得した方		8,000円
	国内 ジュニア 1級まで(9歳まで)			9,500円
トライアル	国内 ジュニア 1級まで	競技会参加を要している方 (選別あり)	公認モトクロス、トライアル、 スノーモビルのライセンス 取得した方	9,500円
	スノーモビル ジュニア 1級まで			8,000円
ドラッグレース	スノーモビル	公認ドラッグレースライセンス 取得した方		8,000円
エンデュロ	—	競技会参加を要している方 (選別あり)	公認エンデュロライセンス 取得した方	9,000円
トライアル	—		公認トライアル選手権会を 主催した方	9,000円
スノーモビル	—		9歳以上	7,500円

MFJ
MOTORCYCLE FEDERATION OF JAPAN



MFJ競技ライセンス会員申込書



様式 16 (個人用) コピー使用可

太枠内を記入してください。

年度	種目	クラブコード	
MFJライセンス会員No	フリガナ (必ず記入)	現住所 〒	
	氏名	都道府県	市区郡
	1. 男 2. 女		
	※氏名の変更は運転免許証等のコピーを添付して下さい。		
新規	生年月日 大正・昭和 年 月 日	様方	
継続	自宅 TEL No ()		
ライセンス追加	連絡先 TEL No (昼間連絡のとれる場所) ()	(アパート・マンション名・部屋番号も必ず記入のこと)	
クラブ員追加		住所コード	
再発行(紛失)			
住所変更			

いずれの種目にも運転免許が必要です。受けていない人は、講習会修了証を添付して下さい。	種目/ライセンス区分	①ロードレース	フリッシュマン	サーキット名 ()	走行証明
		①ジュニア		サーキットライセンスNo ()	
		②フレッシュマン			
		③国内	国内	公認サーキットで右欄に3時間以上走行の証明印を押してもらって下さい。又は国内ライセンス講習会修了証を添付して下さい。	※走行券、カード不可 ※有効期限 1年
		④講習会修了証			
①原付 ②自二 ③普通 ④講習会修了証		⑥国際			
運転免許証No					

種目/ライセンス区分	②モトクロス	③トライアル	⑤スノーモビル	①ドラッグレース	②エンデューロ	⑥ピットクルー	Lライセンス
	①ジュニア	①ジュニア	①ジュニア	⑧B級	⑤エンデューロ	①ピットクルー (16歳以上)	Lライセンス (9歳以上)
	③国内B級	③国内B級	③B級	⑨A級			
	④国内A級	④国内A級	④A級				
	⑤国際B級	⑤国際B級					
	⑥国際A級	⑥国際A級					

写真
近影写真貼付 (無背景、無帽)
①サイズ 3×2.4cm
②枚数 控+種目数
③裏に氏名を記入

(MFJ記入) 入金ルート							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

取扱所	①MFJスポーツ協力店 ②県協会 ③MFJ公認サーキット	受付日/受領印	MFJスポーツ協力店	県協会	MFJ公認サーキット
			月 日 受付	月 日 受付	月 日 受付
	(MFJ指定のゴム印を押して下さい)	受領金額	円	円	円

ライセンス申込書送付先

〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F 電話03-3865-8441

MFJ	発行
-----	----

※申し込み方法及び料金は前面をごらん下さい。('96規則)

RIDER'Sビッグ保障プラン

1 無配当新定期保険(災害入院特約・疾病入院・手術特約付)

万一の死亡はもとより、入院・手術まで保障。

給付金の種類	支払事由	給付金額
入院給付金 (入院日額×(入院日数-4日)) (入院 120日限度)	災害で入院を開始し5日以上の継続入院のとき	日額 5,000円
	病気で5日以上の継続入院のとき	
手術給付金 (手術に応じて入院日額の50・75・150%)	病気で災害で所定の手術を受けた場合	種類により 25・15・7.5万円
死亡保険金	災害で死亡された場合	500万円
	病気で死亡された場合	

月払保険料例(口座振替・特約保険料を含む)

年齢	男性	女性
20才	2,495円	2,180円
30才	2,850円	2,440円
40才	3,540円	3,005円

- 契約年齢は5歳～60歳。
- 保険期間は10年。
- 保険料は1歳きざみで異なります。

2 医療保険(無配当・ガン倍額支払特約付)

入院・手術・手術まで医療費の幅広い保障。

給付金の種類	支払事由	給付金額
入院給付金 (入院日額×入院日数) (入院 120日限度)	災害で5日以上入院・病院で継続して8日以上入院された場合	日額 5,000円
	ガンと診断され継続して8日以上入院された場合	日額 10,000円
手術給付金 (手術に応じて入院日額の50・75・150%)	病気で災害で所定の手術を受けた場合	種類により 25・15・7.5万円
看護給付金 (入院日額×看護日数) (1看護 120日限度)	病気で災害で入院中、継続して8日以上所定の付添看護を受けたとき	日額 5,000円
死亡保険金	病気で死亡された場合	50万円
	災害・ガンで死亡された場合	100万円

月払保険料例(口座振替・特約保険料を含む)

年齢	男性	女性
20才	1,705円	1,580円
30才	1,900円	1,795円
40才	2,345円	2,185円

- 契約年齢は5歳～60歳。
- 保険期間は10年。
- 保険料は1歳きざみで異なります。

RIDERSビッグ保障プランは、ほとんどすべての不慮の事故・病気を安い保険料で幅広く保障いたします。

RIDER'Sビッグ・保障プラン Q&A

Q.1 趣味としてモーターサイクル・スポーツを楽しんでいます。万一の場合の保障は?

この保険はロードレース・モトクロス・トライアル・スノーモビルなど、趣味を楽しむモーターサイクル・スポーツ中(練習中や予選・決勝も対象)はもろ論、一般的な交通事故・傷害・災害事故・仕事上の労災事故、また病気やガンまでオールマイティに保障いたします。

保障内容は、死亡の場合は【死亡保険金】、入院された場合は【入院給付金】、手術された場合は【手術給付金】をお支払いします。さらに医療保険には【看護給付金】もお支払いします。詳しくは資料・パンフレットをご参照ください。

※参考まで、一般の傷害保険(損害保険会社が取扱う交通事故傷害保険・普通傷害保険など)は「危険なスポーツでの傷害事故は免責(適用除外)」と約款(契約上の取り決め)で定められていて全く保障されません。ご注意ください。

Q.2 通院や自宅療養のときは保障してくれますか?

残念ながら、通院や自宅療養は保障の対象ではありません。人間ドック等、検査を目的とする入院も保障の対象外です。このプランは、オールマイティ(広範囲な保障)と加入しやすい(割安な保険料)というニーズを優先し、最低限必要なものだけにスポットをあて、保険を設定いたしましたので、あしからず、まさにMFJメンバーの為の保険です。

Q.3 現在、ケガで通院しています。加入出来ますか?

残念ながら、契約できません。契約する時点が「健康な方」という条件がありますので、しっかりとケガを治したあとにお申込みください。

なお、医師(はり・整骨医等)の指導や指示を受け服薬中の方、リハビリ中の方、障害などで定期検査を指示されている方、また妊娠中の女性の方も同様に契約出来ません。また、ご職業・既往症などによっても契約が出来ない場合もありますので、お問合せください。

「備えあれば、憂いなし」ということわざがありますが、ぜひ保険もパーツの1つと考え、健康なときに加入する事をおすすめします。

Q.4 入院した場合の保障期間と給付金は?

1事故ないし1入院のケガ・病気に対する給付金のお支払い対象期間120日間。通算してそれぞれ700日間。つまりケガ・病気を合計して1400日間(10年の保険期間中)も保障します。なお、保険種類によって算出方法が異なります。

無配当新定期保険

お支払い給付金=5,000円×(入院日数-4日)

医療保険

お支払い給付金=5,000円×入院日数

(ただし、ケガは5日、病気8日以上の継続入院です。)

Q.5 申込締切日と保障開始日? 保険料とその払込方法は?

締切日は毎月1日。保障の開始日は翌々月の1日。保険料は契約時の年齢別保険料が10年間(保険期間)にわたり適用となります。保険料のお支払いは第1回目から安心確実な銀行自動振替です。つまり、正式申込みから契約、保険料が振替・保障開始となるまで約3か月の手続期間を必要としますので計画的にお申込みください。なお、年齢が若ければ保険料が割安です。早めに資料を請求ください。

Q.6 ライセンスを継続しないその後の事。また保険の請求方法は?

このプランは、日本モーターサイクル協会に登録された皆様に、一般に契約するよりも割安な集団割引保険料、そして幅広い保障の保険をおとけする任意保険制度です。ライセンス未継続のOBの方もメンバーズ・サービスとして、そのまま自動継続(10年単位で自動更新)いたしますのでご安心ください。保険料も同額で口座自動振替と変わりありません。

なお、保険金・給付金の請求のほか、住所・銀行口座の変更、解約などの手続きは、MFJ保険事務局または最寄りの日本団体生命保険㈱の本店・各営業所までご連絡ください。所定の手続きの方法をご案内します。

お問い合わせ・資料請求について

お問い合わせ・資料請求は下記のテレフォンセンターまたはおハガキでどうぞ。詳しい案内書・申込書をお送りいたします。受付時間AM9:00~PM5:00(月~金)

☎03(3865)8426 保険事務局直通

☎045(201)2188 日本団体生命保険㈱代表

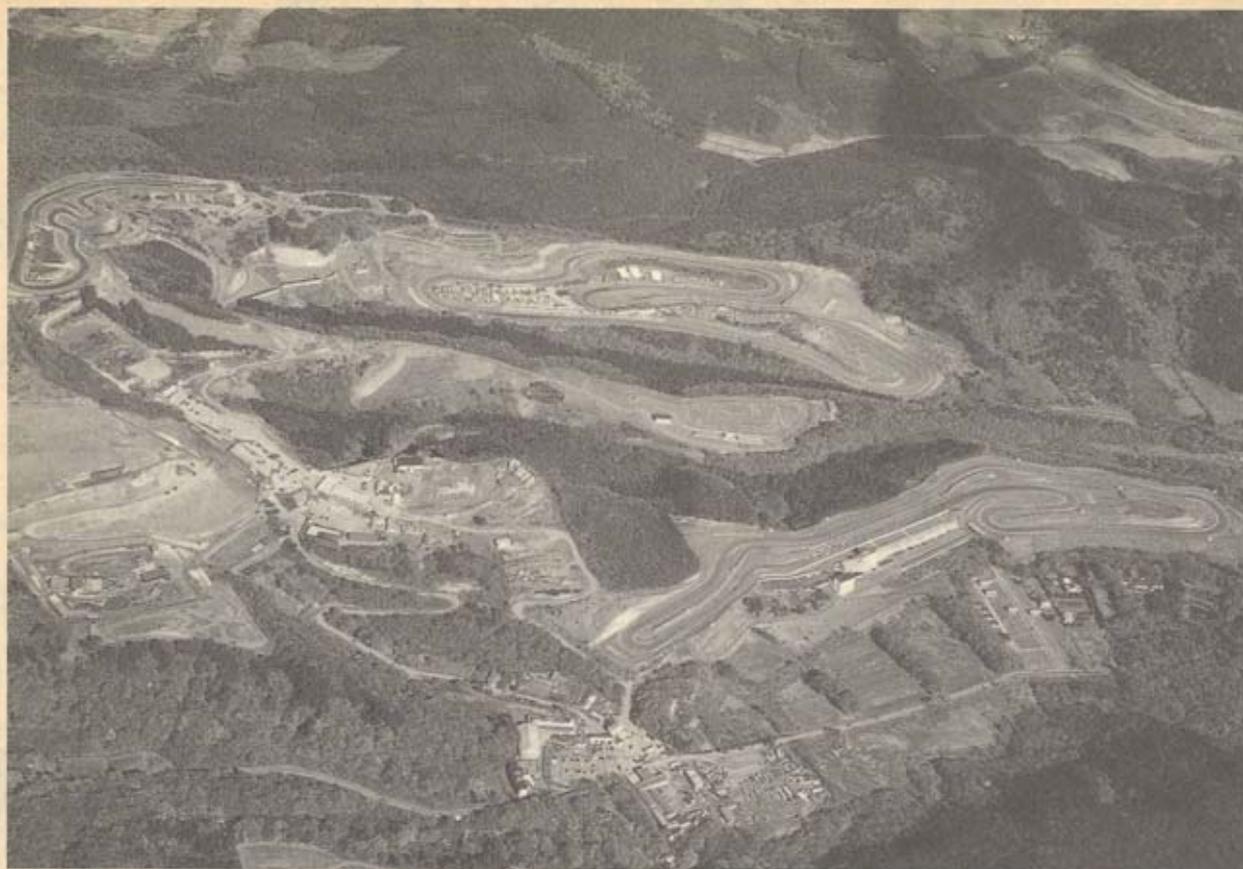
※日本モーターサイクルスポーツ協会担当へお問い合わせ下さい。

① 東京の拠点
② 住所フリーダイヤル
③ 受付時間
④ 申込書
⑤ 電話番号
⑥ MFJオンラインサービス

50 東京はがき
〒103 東京都中央区
第二オオカビル7F
MFJ内
保険事務局 保

- ①無配当新定期保険②医療保険のいずれか一方をお選びください。
- ご契約の際には「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。
- ご職業・既往症などによっては契約が出来ない場合があります。
- このプランは満期金や配当金がない掛け捨て型の生命保険です。

引受保険会社 日本団体生命保険㈱



開催日程(二輪・四輪)	スケジュール	持参するもの	申込用紙、運転免許証、印鑑、筆記用具、写真2枚(2.5cm×3cm)、承諾書・印鑑証明(未成年者のみ)、受講料33,000円(入会金、年会費含む)、保険証
2月	開催日よりタイムスケジュールが異なりますので、ご予約の際ご確認ください。 *日程の追加及び中止の場合があります。	走行に必要なもの	二輪 実技車両(125cc以上のスポーツバイク・レーサー可) 皮ツナギ、ヘルメット、グローブ、ブーツ 四輪 実技車両(JAF国内競技車両にもとづく車両、又ノーマル車両、シートベルトは3点式以上のもの) ヘルメット、グローブ、レーシングシューズ、レーシングウェア(運転に適した服装)
3月			
4月	定員	申込方法	●必ず電話予約してください。 ●開催日の1ヶ月前より受付開始いたします。 ●予約先…エビススポーツクラブ事務所 ☎0243-24-2972
5月			
6月	100名		
7月	二輪		
8月		60名	
9月	四輪		
10月			
11月			
12月			

ESCライセンス料金とスポーツ走行料金 (ロード二輪・四輪は、西東コース共通会員とする。)

	ロード二輪	ロード四輪	ロードミニバイク	スーパーカート車	モトクロス	カート	ミニバイク	ジムカーナ
入会金	8,000円	8,000円	5,000円	5,000円	3,000円	3,000円	3,000円	3,000円
年会費	20,000円	20,000円	10,000円	15,000円	8,000円	8,000円	8,000円	8,500円
講習料	5,000円	5,000円						
合計	33,000円	33,000円	15,000円	20,000円	11,000円	11,000円	11,000円	11,500円
*更新料	20,000円	20,000円	10,000円	15,000円	8,000円	8,000円	8,000円	8,500円
走行料	会員 30分 2,000円	30分 平日2,500円 土日祝3,000円	30分 1,500円	2,000円	1日 1,000円	3H 1,000円	3H 1,000円	3H 1,500円
	非会員				1日 3,000円	3H 3,000円	3H 3,000円	3H 3,500円
保険料(1口)	500円	500円	500円	500円	500円	500円	500円	500円

*更新料は更新時期によって料金が異なります。

エビスサーキット

福島県二本松市沢松倉1 TEL0243-24-2972

2つの強カグリップ、デビュー。

ぶっつきりと、とびつきり、2つの高レベルのBATTLEAXグリップがでた。

BT-90 RADIALは、グリップの良さ、アクセルオンでのマシンコントロール性、それにグリップの持続性がいからラストスパートもきく。

文字通り、ぶっつきり、ゼッケンNO1のサーキット・グリップだ。

また、とびつきりのワインディング・グリップ、BT-92 RADIAL。

MS-BELTをはじめ、ハイ&ローの組み合わせからなるスラントグループボタンなどの採用。

乗り心地はもちろん、ウェットグリップも大幅に向上した。

さあ、ワインディングロードへ。

NEW

サーキット・グリップ

**BT-90
RADIAL**

Rear

NEW

ワインディング・グリップ

**BT-92
RADIAL**

Rear



BATTLEAX
from BRIDGESTONE MOTORSPORT



BRIDGESTONE

 国旗	 赤旗	 黄旗	 黒旗
 白旗	SIGNAL FLAGS		 青旗
 緑旗	 赤ストライプ付黄旗	 チェッカー旗	サイズ 60×80cm (赤のみ) 80×100cm

PLAYER'S NUMBER



生地 ターポリン
色 白・赤・緑・青・黄色

生地 メッシュ
色 白・赤・紺・青・黄色



生地 布
色 希望の色

ブルゾン



生地 ポリエステル (防水加工)
サイズ S・M・L・LL・3L
色 オレンジ・ピンク・緑・黄色

株式会社 中尾商事

〒164 東京都中野区上高田1-1-43
TEL 03-3364-5621
FAX 03-3367-4437

+++++ベストライダーの皆さまへ+++++

ベストライダーに欠かせない

バイクの《自賠責保険》

★法律によって加入が義務づけられている保険です。

自賠責保険を
けすにバイクを
運転する

- ◎6ヶ月以下の懲役または5万円以下の罰金
- ◎6点の減点
- ◎30日の免許停止処分

大きな安心、
おとどけします



バイクの自賠責保険料

(平成5年4月1日改定)

	原付自転車 (125cc以下の2輪)	軽二輪自動車 (125cc超 250cc以下)
3年	11,600円	28,000円
2年	9,800円	21,000円
1年	7,850円	13,650円

損害保険代理店

ホンダ開発株式会社

本社 〒107 東京都港区南青山2丁目1番1号(ホンダ青山ビル) ☎03-3423-2312

事業部

和光事業部 〒351-01	埼玉県和光市本町9番1号	☎048-461-0843
狭山事業部 〒350-13	埼玉県狭山市新狭山3丁目9番2号	☎0429-53-7351
浜松事業部 〒433	静岡県浜松市葵東1丁目13番2号	☎053-436-2241
鈴鹿事業部 〒513	三重県鈴鹿市大池3丁目13番20号	☎0593-79-5407
熊本事業部 〒869-12	熊本県菊池郡大津町大字平川1500番地	☎096-293-6222
栃木事業部 〒321-33	栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台56番地2	☎0286-77-3108

●ヘルメットのあしひもはしっかりと締まります。安全確保のために適さないでください。 ●カクゴご希望の方は郵便切手郵便を添えて本社までお送りください。
 ●商品は改良のため予告なく仕様変更することもあります。 ●部品、修理、その他要望・質問等は販売店の営業所サービス課までお問い合わせください。
 船橋工場株式会社 本社・東京支店/〒110 東京都台東区上野5-5-5 CP10ビル7F 03/5686-5185
 大阪支店 06-885-2123 九州営業所 092/411-7048 仙台営業所 022/216-0255 名古屋営業所 052/323-7825



換気性を高めたVベンチレーション&インナー・リリース、
 2つの機能でライターに新しい快適さをもたらすX-8V、デビュー。

Vの体感。



QRT(Quick Release)システムインナー・ベントシステム、
 手動で調整できる前後の内部パッド、
 センター・サイドパッド、ストラップホルダーまで取り出し可能。



後方下部のパッドはスルーシフトをすることで、
 夏は涼しく冬は暖かくなります。

X-8V

AERO-VORTEX ¥36,500



QRSB
 クラッシュリコーズ・システム・ベントシステム
 の採用により、フロントのエアフロー
 を確保可能。



QRT(Quick Release)システム
 インナー・ベントシステム、
 手動で調整できる前後の内部パッド、
 センター・サイドパッド、ストラップホルダーまで取り出し可能。



チーシューズベンチレーション
 チーシューズによる換気性能を向上させ、
 夏は涼しく冬は暖かくなります。



アジャスター ロアエアインテーク
 インナー・ベントシステムの採用により、
 夏は涼しく冬は暖かくなります。



インナー・ベントシステム
 インナー・ベントシステムの採用により、
 夏は涼しく冬は暖かくなります。

●規格：SNR規格 規格：JIS規格(規格) ●カラー：白、黒、レッド、ブルー、オレンジ、シルバー ●サイズ：XS、S、M ●構造：カーボンファイバー・グラス繊維、アルミ合金
 システム、シェル4PC (1は標準装備のソフトシェークと別売のD17アー、D17アー、D17アーの4種類、各¥3,000です。 ※特別価格中) ●シェル4PC (1は別売のソフトシェーク、ソフトシェークの2種類、
 各¥4,500です。 QP-112は、エアロファイバースタイル(別売)別売、5枚入り¥1,000です。

The Power of Wonder



イグニッションキーを回したその瞬間の手応えが明らかに違う。
不思議なくらいアイドリングに落ち着きがでてきた。
しかも加速フィーリングが滑らかで、見違えるようだ。
NGK Vシリーズプラグ。
その時から、
小気味良い走りが始まる。

NGK **V** **シリーズプラグ**



THE CHAMP WINS AGAIN.

'95世界選手権ロードレースGP250クラスで
ダンロップタイヤ装着車が
チャンピオンを獲得。3年連続の快挙！



GP250 class
M. BIAGGI

Inheriting the Superior performance of the tyres
that rode to a proud victory
at the '95 Road Race World Championship.

GPR-50Sp GPR-80

Rideen

